

2022(令和4)年度

事業年報



公益財団法人 宮城県対がん協会

はじめに



この度、「2022年度（令和4年度）事業年報」が完成しましたので、ご報告申し上げます。県内各自治体ならびに大学や医師会の諸先生、企業・団体の皆様におかれましては、日頃より当協会のがん検診事業の実施にあたり、心温まるご指導、ご支援をいただき感謝申し上げます。皆様におかれましては、本年報をご覧ください、さらなるご教授を賜りますと幸いです。

さて、2022年度も前年度に引き続きコロナ禍でのがん検診事業の遂行となりました。当協会では国のコロナ対策方針や独自に定めた感染対策に従い、コロナ禍でも安心して受診できる体制を整え検診事業を行いました。新たな変異株であるオミクロン株が県内各地で猛威を振るった第6波、第7波の影響もあり、ほとんどのがん検診で受診者の当初目標数を達成することができませんでした。そのような状況でも、1977年に当協会が開始しました乳がん検診の受診者が6月に累計200万人を突破し、村田町におきまして記念式典を執り行うことができたのは明るい出来事でした。また、仙台市の胃がん内視鏡検診では、前年度を上回る受診者数を確保することができ、市当局および登録医療機関との連携のもとに、国内では最も充実した胃がん内視鏡検診の実施体制が整いつつあります。その他、がん予防対策の調査研究、がんに関する普及啓発活動、がんの相談支援事業、各種研修会の開催による医師および医療従事者などがん検診実施者の養成、「黒川利雄がん研究基金」による若手医師への研究助成、精度管理を重視した各種がん検診の実施等、がん征圧に向けた各種公益事業の推進にも従来通り取り組みました。また、新がん検診センター建設事業につきましては、11月に起工式を無事行うことができ、本格着工となりました。センター建設のための募金事業には募金委員会を設置し、現在も多くの皆様からご支援をいただいております。当協会は高い精度管理のもと、今後も良質で皆様に満足していただけるがん検診を目指して努力を続けてまいります。皆様の変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年3月

公益財団法人宮城県対がん協会
会 長 下瀬川 徹

医心人心

東北大学大学院医学系研究科
公衆衛生学分野 教授

寶澤 篤



宮城県対がん協会にはいつも大変お世話になっております。私からは公衆衛生の観点から、正しいエビデンスの普及とその徹底についてお話をさせていただければと思います。

悪性新生物はわが国の死因第一位であることは言うまでもありませんが、その危険因子の多くは明瞭であり、国立がん研究センターの研究により、非喫煙・節酒・活発な身体活動・塩蔵品を控える・適正 BMI の5つすべてを満たしている人は、一つも順守していない人と比べがん罹患リスクが半分以下になることが知られています。

また、早期発見された悪性新生物の5年生存率も高く、全がんでのデータではいわゆる「限局がん」では5年相対生存率は90%を越えており、早期発見に成功すればすでに死病ではなくなっています。

しかしながら、これだけ正しいエビデンスが蓄積されてもがんの罹患率は高まっています。また、宮城は他県と比べ非常に高率を示しているとはいえ、がん検診の受診率は55-65%となっており、早期発見・早期治療のチャンスをみすみす失っている方が30%以上います。さらに（こちら宮城は優秀なのですが）二次検診の受診率も85-95%にとどまり、せっかく検診でスクリーニングされ、早期に治療できる可能性があったにも関わらず精密検査のチャンスを失っている方が多くいらっしゃいます。いうまでもなく、定期的に検診を受けていない方、さらには異常所見があるにもかかわらず二次検診を受けず放置してしまっている方からステージの進行した状態でがんが発見されてきます。

普段我々が診察できている外にこそ真のハイリスク者が存在していることとなります。

この課題は、私が専門にしている循環器疾患についても同様で、特定健康診査の受診率が約半数、高血圧を指摘された者のうち受診するのが約半数、さらに受診してい

る患者のうち十分にコントロールされている者の割合が約半数と危険因子を放置している人たちが多くいます。

これら危険因子について十分に知識が与えられず、また知識があっても行動に移さない方々を同様に変わっていくかが社会全体を健康にする一つの方向性だと思います。

そのために必要なのは何か、正直難しい課題ではあります…が、私が参画していた岩手県大迫町における家庭血圧測定事業にそのヒントがあると考えています。この町では町民全員に家庭血圧を測定していただくことで、世界の家庭血圧の基準値の発信源となりましたが、あわせて調査開始後、死亡率の減少と医療費の低下が観察されました。これは住民に血圧を自ら測らせることで住民の血圧への認知を上昇させ、おそらくは高血圧放置率を下げたのではないと考えます。

皆が当たり前知っている危険因子、正しいエビデンスへの「気づき」を与えることが健康に関心のない方の行動を変えうると考えています。

がんに苦しむ人、がんで若くして命を失う人を減らすために、普段自分たちがアプローチしていない人たちへの声かけが重要だと思っています。道は険しいと思いますがその徹底により、多くの方々に自分の健康を知っていただき、皆が健康長寿を享受できる社会を目指していきたいと思っています。

目 次

公益事業

| | |
|-------------------------|----|
| 1. 調査研究事業 | 1 |
| 2. 普及啓発事業 | 4 |
| 3. がん総合相談・健康相談 | 8 |
| 4. 地域統括相談支援センター事業 | 8 |
| 5. 医療従事者の研修 | 8 |
| 6. 「黒川利雄がん研究基金」研究助成事業 | 9 |
| 7. 県内保健医療の非常時における協力支援事業 | 10 |
| 8. 各種がん検診対策委員会・診断委員会 | 10 |
| 9. がん検診事業 | 11 |
| 10. 事後管理 | 12 |
| 11. 検診料 | 12 |
| 12. 募金活動 | 13 |
| 13. 委託金・補助金 | 13 |
| 14. 施設整備 | 14 |

検診成績

| | |
|--------------|-----|
| 宮城県におけるがんの実態 | 15 |
| 胃がん検診 | 24 |
| 子宮がん検診 | 52 |
| 乳がん検診 | 72 |
| 肺がん検診 | 90 |
| 大腸がん検診 | 96 |
| 肝・胆・膵疾患検診 | 108 |

| | |
|-----------------|-----|
| 前立腺がん検診..... | 110 |
| がん・生活習慣病健診..... | 116 |
| 細胞診検体数の内訳..... | 128 |
| 病理組織検体数の内訳..... | 128 |

トピックス

| | |
|-----------------------------|-----|
| 第62回 日本消化器がん検診学会総会を終えて..... | 130 |
| 日本初 がん検診センターの歴史..... | 133 |

研究発表

| | |
|--|-----|
| 胃内視鏡検診の基本的な考え方と対策型ならびに職域がん検診としての精度管理の課題について..... | 135 |
| 宮城県肺がん検診喀痰細胞診の成績からみる近年の傾向と細胞像..... | 147 |
| 対策型大腸がん検診における高齢者のFITカットオフ値に関する検討..... | 150 |

資 料

| | |
|--------------------------|-----|
| 宮城県対がん協会の沿革概要..... | 153 |
| 役員等名簿..... | 164 |
| 黒川利雄がん研究基金運営委員会委員..... | 165 |
| 各種検診対策委員会並びに診断委員会名簿..... | 166 |
| 組織機構図..... | 175 |
| 個人情報規約..... | 176 |
| 編集後記..... | 181 |

公益事業

1. 調査研究事業

がんの予防、検診方法、検診評価等がん検診に関する調査研究事業を進めました。また、医療技術者および関係役職員は学会、研究会に派遣し、医療技術の向上と学術交流を深め質の向上に努めました。

1) 研究課題設定による研究及び研究成果の発表

当協会における研究課題を設定し、各種学会及び研究会等において研究成果を発表しました。

研究課題

- ① 胃がん検診に関する研究
- ② 大腸がん検診に関する研究
- ③ 肝・胆・膵がん検診に関する研究
- ④ 子宮頸がん及び体がん検診に関する研究
- ⑤ 乳がん検診に関する研究
- ⑥ 肺がん検診に関する研究
- ⑦ 前立腺がん検診に関する研究
- ⑧ がん登録による悪性新生物の研究

職員による学会発表

[口演発表]

| 部門 | 月日 (開催地) | 学会名・テーマ | 発表者 |
|---------------------|--|---|---------------------------------------|
| 胃 が ん | 2022. 5. 13～15 (WEB参加) | 第103回 日本消化器内視鏡学会総会 ・JGES Core Session1 「AI画像診断による内視鏡検診補助読影システムの構築」 | 浅 沼 清 孝 |
| | 2022. 6. 10～12 (WEB参加) | 第61回 日本消化器がん検診学会総会 ・スポンサードセミナー 「胃がん検診の観点から見たAIの有用性」 ・パネルディスカッション7 「新型コロナウイルス (COVID-19) パンデミックによる当協会の胃X線検診への影響」 ・特別講演4 「消化管内視鏡スクリーニング認定医制度について」 | 加 藤 勝 章 浅 沼 清 孝 加 藤 勝 章 |
| | 2022. 6. 24～26 ホテルヒューイット 甲子園 (ハイブリット開催) | 第28回 日本ヘリコバクター学会学術集会 ・シンポジウム 「対策型胃X線検診を通じての胃がん予防対策について」 | 千 葉 隆 士 |

| 部門 | 月日（開催地） | 学会名・テーマ | 発表者 |
|------|---|---|--|
| 胃 | 2022. 7. 1～2 大手門パルズ (ハイブリット開催) | 第60回 日本消化器がん検診学会東北地方会 ・スポンサーセミナー 「胃がん検診の観点からみたAIの有用性」 ・パネルディスカッション4 「宮城県の胃がん検診の現状と課題」 | 加藤 勝章 千葉 隆士 |
| | 2022. 10. 27～30 福岡国際センター (ハイブリット開催) | JDDW2022 ・パネルディスカッション3 「精度の高い胃がん検診への取り組み」 ・JDDW2022女性医師・研究者プログラム 「働き方改革：日本消化器がん検診学会の取り組み ー読影補助認定技師による胃X線読影業務のタスクシフトを目指してー」 ・サテライトシンポジウム90 「胃がん内視鏡検診の現状と課題～課題解決に向けたAIの可能性～」 ・教育講演1 「胃がん検診ー内視鏡と胃X線ー」 | 加藤 勝章 加藤 勝章 加藤 勝章 加藤 勝章 |
| がん | 2022. 7. 2 (WEB参加) | 第60回 日本消化器がん検診学会東北地方会 「前年精密検査で胃潰瘍癒痕と診断された胃集検発見がんの1例」 「技師コメントのカテゴリ判定を用いた技師読影精度の検討」 | 今野 祐蔵 金子 貴安 |
| | 2022. 11. 5～6 仙台市 | 第61回 日本臨床細胞学会秋期大会 「宮城県肺がん検診喀痰細胞診の成績からみる近年の傾向と細胞像」 | 中川 朋美 |
| 大腸がん | 2022. 6. 10～12 (WEB参加) | 第61回 日本消化器がん検診学会総会 ・附置研究会2 「大腸内視鏡検診医に求められる資質」 | 只野 敏浩 |
| | 2022. 10. 27～30 福岡国際センター (ハイブリット開催) | JDDW2022 ・デジタルポスターセッション2 「対策型大腸がん検診における高齢者のFITカットオフ値に関する検討」 | 只野 敏浩 |
| その他 | 2022. 9. 2～3 幕張メッセ | 第63回 日本人間ドック学会学術集会 ・ワークショップ2 「がん検診における精検受診状況のモニタリングの重要性と課題について」 | 加藤 勝章 |
| | 2022. 2. 18 (WEB参加) | 2022年度宮臨技病理・細胞診部門研修会 ～病理検査における医療安全と最近のトピック～ 「病理検査室における医療安全の取り組み～検体受付から報告書作成まで～」 | 佐藤 しげみ |

[誌上発表]

| | | |
|---|--|-------|
| 胃 | ・ 消化器内視鏡増大号 内視鏡データリファレンスブック 2022 34(4):606-624, 2022. 4 「胃内視鏡検診」 | 加藤 勝章 |
| | ・ 胃と腸 57(9):1103-1112, 2022. 8 「本邦における胃がん検診精度管理の現状と将来への取り組み」 | 加藤 勝章 |
| が | ・ リスク層別化に基づく上部消化管内視鏡スクリーニング 62, 2022. 10 「胃癌罹患リスクを考慮した胃内視鏡観察の重要性」 | 加藤 勝章 |
| | ・ 実践上、ここがポイント！人間ドックの上部消化管内視鏡検査 2-10, 2023. 2 「人間ドック内視鏡実施前の重要確認事項 精度管理」 | 加藤 勝章 |
| ん | ・ Gastroenterological Endoscopy 65(1):5-18, 2023. 1 「胃内視鏡検診の基本的な考え方と対策型ならびに職域がん検診としての精度管理の課題について」 | 加藤 勝章 |

その他の学会・研修会への参加

| | | | |
|---------------|---------------------|-------|----------|
| (1) 放射線技師関係 | (第61回 日本消化器がん検診学会総会 | 他 4回 | 延べ 14名) |
| (2) 保健師・看護師関係 | (第88回 日本消化器内視鏡技師学会 | 他 37回 | 延べ 112名) |
| (3) 検査技師関係 | (第63回 日本臨床細胞学会総会 | 他 37回 | 延べ 129名) |
| (4) 事務職関係 | (2022年度 がん征圧全国大会 | 他 4回 | 延べ 13名) |

2) がん研究事業に関する寄付

東北大学医学部、東北医科薬科大学等の各講座に対し、集団検診の体系化に関する研究に寄付を行い、予防医療体系に占めるがん検診の位置付けの確立に努めました。

| 研究課題 | 助成先 |
|-------------------|-------------------|
| 胃がん検診の体系化に関する研究 | 東北大学医学部 消化器病態学分野 |
| 子宮がん検診の体系化に関する研究 | 東北大学医学部 産科学婦人科学分野 |
| 乳がん検診の体系化に関する研究 | 東北大学医学部 消化器外科学分野 |
| | 東北大学医学部 腫瘍外科学分野 |
| | 東北医科薬科大学 乳腺内分泌外科 |
| 悪性新生物の病理学的研究 | 東北大学医学部 病理診断学分野 |
| X線撮影装置の画質向上に関する研究 | 東北大学医学部 保健学科 |

3) 研究事業への参加

2021年度に引き続き厚生労働省の研究事業、大規模実証事業（日本対がん協会との協同）に参加し、国のがん対策の一翼を担うなど、重要な役割を果たしました。また、2022年度も日本医療研究開発機構（AMED）の研究事業に参加し、研究登録者への検診受診勧奨及びアンケート調査の実施、新規研究参加の呼びかけを行いました。

「がん検診の精度管理における指標の確立に関する研究」

「がん検診の利益・不利益等の適切な情報提供の方法の確立に資する研究」

「子宮頸がん検診におけるHPV検査導入に向けた実際の運用と課題の検討のための研究」

「職域におけるレセプトを用いたがん検診精度管理指標の測定システムの開発と実装に関する研究」

「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」

「超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験」

「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」

2. 普及啓発事業

がんの一次予防の励行と、がん検診に対する意識の高揚を目的とした機関紙及びリーフレットを配布するとともに、ホームページやラジオ等で情報発信を行いました。健康まつりについてははまだ実施を見合わせる市町村も多かったものの、健康教育や各種講演会は開催回数も増え、3年ぶりに県民市民の皆様にご来場いただいたの「がん講演会」を開催し、がん検診の重要性について伝えました。今年度で10年目となるがん教育事業では、若年期女性に対する普及啓発として、大学等にて産婦人科医師による予防講演会を実施いたしました。また、今年度新たに、働く人のがん教育サポート事業として県内事業所職員を対象としたがん教育を実施しました。

さらに、がん予防と生活習慣に関する正しい知識や最新のがん情報、精度の高い検診方法、診断から治療方法等の研修会を、市町村及び事業所等の保健師・看護師や保健衛生担当者等を対象に開催し、知識及び技術の向上に努めました。

1) 主な普及啓発事業

① 健康教育などによる普及啓発活動

| | | 回 数 | 人 数 |
|-----------|------------------|-----|-----|
| 健 康 教 育 | 地区組織（保健推進員、食改員等） | 16 | 918 |
| | 各種団体（JA女性部、事業所等） | 2 | 83 |
| | 学校関係 | 10 | 507 |
| | 一般住民 | 0 | 0 |
| | その他 | 5 | 94 |
| 健 康 ま つ り | 市町村他 | 1 | 70 |

②乳がん検診受診者累計記念式典

2022年6月15日

会 場：村田町中央公民館

内 容：200万人目の受診者への記念品を贈呈し、村田町長大沼克巳様よりご祝辞をたまわりました。

③がん征圧月間行事

がん征圧月間の周知とがんの知識の普及を目的とし、宮城県並びに仙台市と共催で以下の事業を行いました。

(1) がん予防パネル展

パネル展示会場 宮城県庁舎1階ロビー 9月 9日 ～ 9月 22日

(2) がん予防懸垂幕の掲示

9月 1日 ～ 9月 30日

懸垂幕掲示場所 仙台市役所
仙台市太白区役所
仙台市泉区役所

(3) がん講演会

2022年9月28日

会 場：仙台シルバーセンター交流ホール

講 演：「コロナ禍でも忘れてはいけない大腸がん検診」 参集者：100人

東北大学病院 消化器内科

助 教

志 賀 永 嗣

④2023年度がん検診事業説明会並びにがん予防研修会

2022年10月5日

会 場：フォレスト仙台

参集者：60人

[がん検診事業説明会]

2023年度がん検診事業計画について

公益財団法人宮城県対がん協会

事務局長

阿 部 洋

[がん予防研修会]

講 演：「我が国における大腸がん検診の現状と展望（当協会の取り組みを交えて）」

公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター

消化器内視鏡検診副センター長兼消化器担当医長

只 野 敏 浩

講 演：「乳がん検診の精度管理」

東北医科薬科大学乳腺内分泌外科教授

公益財団法人宮城県対がん協会乳腺担当科長

公益財団法人宮城県対がん協会乳がん検診診断委員長

鈴 木 昭 彦

⑤報道機関による普及活動

9月のがん征圧月間に、マスメディアによる広範囲な「がん予防」に関する知識の普及を推進しました。また、県政ラジオを含む複数のラジオ番組での普及啓発活動や、6月の乳がん検診受診者200万人達成記念式典、11月の新がんセンター建設事業起工等を報道していただき、がんに関する情報提供を行ってまいりました。その他、仙台市を中心とした地域情報を掲載するWEBサイトへの情報提供し、SNSで発信していただくなど、地域住民のがんに関する知識の普及に努めました。

⑥機関紙並びに印刷物等の配布

| 名 称 | 内 訳 | 部 数 | 備 考 |
|--------|----------------|--------|-----------|
| 機 関 紙 | 「ともしび」(年2回) | 22,000 | |
| | 日本対がん協会報(年13回) | 7,800 | 日本対がん協会作成 |
| リーフレット | 胃がん | 2,000 | |
| | 胃内視鏡 | 2,000 | |
| | 子宮がん | 2,000 | |
| | 乳がん | 2,000 | |
| | ブレスト・アウェアネス | 2,000 | |
| | 肺がん | 2,000 | |
| | 受動喫煙について考えよう | 2,000 | |
| | 大腸がん | 2,000 | |
| | 前立腺がん | 2,000 | |
| | 受診勧奨用 | 63,000 | |
| | がん検診 | 2,000 | 日本対がん協会作成 |
| | がん講演会 | 5,000 | |

| 名 称 | 内 訳 | 部 数 | 備 考 |
|--------|-------------|-------|-----------|
| パンフレット | 事業案内 | 500 | |
| | がんなんでも相談 | 2,500 | |
| | 寄り添い方ハンドブック | 50 | |
| ポスター | がん征圧月間 | 220 | 日本対がん協会作成 |
| | がん予防(禁煙) | 220 | 日本対がん協会作成 |
| | がん講演会 | 100 | |

2) 各種大会の開催および参加

①宮婦連ブロック別研修会

当協会では「知っていますか？プレスト・アウェアネス～受けましょう乳がん検診～」というテーマのもと、各ブロック別研修会に出席し講話を行いました。

| ブロック別 | 日 程 | 場 所 | 出席者数 |
|---------|-------------|-------------|------|
| 仙 北ブロック | 2022年 7月 6日 | 若柳総合文化センター | 300人 |
| 中 央ブロック | 2022年 7月 7日 | 亙理中央公民館 | 100人 |
| 大河原ブロック | 2022年 7月13日 | 蔵王町ふるさと文化会館 | 75人 |

②2022年度がん征圧全国大会

2022年9月2日

会 場：三重県（WEB開催）

記念セミナー：「がん対策の現状と展望」

③宮婦連大会・健康と医療を考える中央集会

2022年9月7日

会 場：仙台市国際センター 大ホール

講 演：「新型コロナ これまでとこれから」（動画上映）

公益財団法人結核予防会理事長

尾 身 茂

④ピンクリボン仙台推進委員会講演会

2022年10月15日

会 場：仙台急患センターホール

講 演：下記の演題によるリレートークを実施。

「乳がんを知ろう」

東北医科薬科大学乳腺内分泌外科教授

鈴 木 昭 彦

「女子プロレスラー橋本千紘のマンモグラフィ体験談」

センダイガールズプロレスリング

橋 本 千 紘

「ご存知ですか？プレスト・アウェアネス」

公益財団法人宮城県対がん協会看護課長

盛 田 美 樹

「仙台市の乳がん検診をはじめとした市民健診について」

仙台市保健福祉部参事

千 葉 由 美 子

※例年、普及啓発事業として実施している「一番町啓発行進（街頭活動キャンペーン）」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し中止となりました。また、「リレー・フォー・ライフ2022 inみやぎ」は、悪天候のため中止となりました。

3. がん総合相談・健康相談

当協会の医師が直接面談を行い、患者やその家族の悩み、不安、疑問などに応じる「がん相談窓口」を開設しました。また、保健師等による面談や電話等での健康相談を行い様々な相談が寄せられました。

4. 地域統括相談支援センター事業

宮城県からの事業を受託し、同支援センターの仕様書に基づき、がん患者本人及び家族から療養上の悩みや不安、日常生活の相談に応じました。また、「がん患者会・サロン ネットワークみやぎ」の運営支援や、WEBを使ったがんピアサポーターの養成研修会を開催しました。

2022年度は、ホームページによる事業の案内や市町村広報紙、情報誌等への「相談窓口」の掲載依頼により、330件の相談に応じました。

5. 医療従事者の研修

当協会は、医師や医療従事者を対象とした、がんの医療及び治療に関する高度な専門知識・技術等の養成をする為の拠点施設であるとともに、がん対策に関わる人々の研修・交流の場としての機能が充実していることから、他機関からの依頼に応じた研修の受託、がん対策に関する研修会を企画実施しました。

- ① 仙台市胃がん内視鏡検診各種研修会を開催
- ② 東北大学医学部保健学科検査技術科学専攻学生の学外実習を受託
- ③ 宮城大学看護学群学生の看護学実習を受託
- ④ 東北文化学園大学医療福祉学部看護科学外実習を受託

| 職 種 | 委 託 機 関 | 人 数 | 日 数 |
|--------|--------------------|-----|-----|
| 臨床検査学生 | 東北大学医学部保健学科 検査技術科学 | 35名 | 6日 |
| 看護学生 | 宮城大学看護学群 看護学 | 2名 | 2日 |
| | 東北文化学園大学医療福祉学部 看護科 | 4名 | 6日 |

6. 「黒川利雄がん研究基金」研究助成事業

「黒川利雄がん研究基金」は、1989年6月、当協会初代会長の故黒川利雄先生の遺志を受け、がん予防および早期発見に関する技術の開発等に係わる医師等の研究助成並びに顕彰を行うことを目的に創設されました。



1990年度の第1回から、2022年度（第33回）まで、延べ134名、総額8,670万円の研究助成を行いました。

当基金では、今後研究助成金や顕彰を幅広くするためにも、さらなる基金の増額を図る所存であります。

第33回の式典は下瀬川徹会長の挨拶、正宗淳運営委員会委員長による選考経過報告、加藤勝章がん検診センター所長より研究者の紹介があり、下瀬川徹会長が一人ひとりに証書と助成金のほか記念品として黒川利雄先生の座右の銘であった「山上に 山あり 山また山」を刻した碑石版を贈呈しました。

それに対し、研究者を代表して嶋田修一先生が謝辞を述べられました。



贈呈式での記念撮影（2022年6月 パレスへいあん）
前列左より尾形先生、嶋田先生、下瀬川会長、西條先生、小野寺先生
後列左より阿部事務局長、正宗委員長、加藤所長、伊藤所長

〔研究助成対象及び研究者〕

| | | |
|---------|--|----------|
| 西 條 憲 | 東北大学病院 腫瘍内科 | 助成金 70万円 |
| | 『DNAメチル化状態に基づいた頭頸部癌薬物療法のバイオマーカー開発』 | |
| 嶋 田 修 一 | 東北大学病院 泌尿器科 | 助成金 50万円 |
| | 『去勢抵抗性前立腺癌におけるミオフェリンを標的とした新規治療戦略の確立』 | |
| 小 野 寺 賢 | 東北大学病院 呼吸器外科 | 助成金 50万円 |
| | 『臨床病期IA期非小細胞肺癌におけるリンパ節転移陰性因子 ならびにリンパ節郭清が免疫系に与える影響の検討』 | |
| 尾 形 洋 平 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 | 助成金 50万円 |
| | 『画像強調内視鏡による食道表在癌の視認性の検証と新規食道癌リスク診断モデルの開発』 | |

7. 県内保健医療の非常時における協力支援事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業に当協会医師を派遣しました。今後も宮城県内において感染症や大規模な災害が発生した際に、地方自治体や医師会等からの協力要請に応じ、保健医療や福祉の向上に寄与してまいります。

8. 各種がん検診対策委員会・診断委員会

各種がん検診の対策委員会および診断委員会を、定期的かつ必要に応じて開催し、がん検診の体系化の確立および検診方式並びに診断方法等を検討するとともに、症例検討会等を行い診断技術の向上に努めました。新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら、対面形式等やオンライン形式等での実施となりました。

(2023年3月31日現在)

| 委員会名 | 委員長名 | 開催回数 |
|--------------|--------------------------|------|
| 胃がん対策委員会 | 副会長理事 正宗 淳 東北大学教授 | 1 |
| 胃集検診断委員会 | 学術顧問 小池 智幸 東北大学准教授 | 2 |
| 婦人科検診診断委員会 | 学術顧問 新倉 仁 仙台医療センター | 2 |
| 大腸がん対策委員会 | 副会長理事 正宗 淳 東北大学教授 | 1 |
| 大腸がん診断委員会 | 学術顧問 木内 喜孝 東北大学教授 | 1 |
| 乳がん対策委員会 | 理事 石田 孝宣 東北大学教授 | 2 |
| 乳がん診断委員会 | 鈴木 昭彦 東北医科薬科大学教授 | 2 |
| 宮城県肺がん対策協議会 | 評議員 岡田 克典 東北大学教授 | 1 |
| 前立腺がん対策診断委員会 | 学術顧問 伊藤 明宏 東北大学教授 | 1 |
| 肝・胆・膵疾患対策委員会 | 副会長理事 正宗 淳 東北大学教授 | 1 |
| 肝・胆・膵疾患診断委員会 | 副会長理事 正宗 淳 東北大学教授 | 1 |

9.がん検診事業

各種がん検診については、精度管理を重視した検診を継続するとともに、受診率の向上を図り、信頼される検診を目指しました。当協会が実施している検診成績は国が示すがん検診の事業評価における主要指標の基準値に比し、顕著なる高位を示し、事業評価のためのチェックリスト及び仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目においても上位でクリアしており、関係方面から高い評価を得ました。

1) 宮城県生活習慣病検診管理指導協議会委員

宮城県が生活習慣病検診の実施方法および精度管理に関する重要事項を協議するため設置しています。

副会長理事 佐藤和宏 業務執行理事 加藤勝章

2) 宮城県生活習慣病検診管理指導協議会専門部会委員

宮城県が健康診査をより効果的、効率的に実施するため設置しています。

(1) 胃がん部会

副会長理事 正宗淳 学術顧問 小池智幸
業務執行理事 加藤勝章

(2) 子宮がん部会

理事 伊藤潔

(3) 乳がん部会

理事 石田孝宣

3) 仙台市胃がん検診胃内視鏡検査運営協議会

会長理事 下瀬川徹 副会長理事 正宗淳

注. 各委員は当協会役員のみを掲載 (2023年3月現在)

10. 事後管理

検診事業の事後管理の充実に向けて、積極的な取り組みを行いました。

1) 事後管理及び指導

検診精度を管理するため、医師会、東北大学病院、県立がんセンター、国公立病院などと連携を密にし、発見患者の医療機関への誘導および追跡管理の徹底を図りました。

また、市町村の保健師、事業所の衛生管理者との連携を密にし、経過観察者の方々に保健指導および健康相談を行うなど事後指導の充実を図りました。

2) 精密検査検討会

郡市医師会開催の精密検査検討会に参加し、精度管理と精検受診率の向上に努めました。

3) 婦人科検診の精度管理

宮城県産婦人科医会との協同により、精検該当者および経過観察者の受診率の向上に努めました。

4) 胃がん内視鏡検診の精度管理

前年度に引き続き、仙台市・大衡村で胃がん内視鏡検診を実施し、実施主体・当該医師会の協力のもとに、検診の精度管理向上に努めました。

11. 検診料

単位：円

| 検診種目 | 2022年度 | 2021年度 | 摘要 |
|------------|--------|--------|----|
| 胃がん検診 | 5,500 | 5,500 | 据置 |
| 子宮頸がん検診 | 7,348 | 7,348 | 据置 |
| 子宮体がん検診 | 7,348 | 7,348 | 据置 |
| 乳がん検診 超音波 | 6,270 | 6,270 | 据置 |
| マンモグラフィ2方向 | 8,470 | 8,470 | 据置 |
| マンモグラフィ1方向 | 4,950 | 4,950 | 据置 |
| 大腸がん検診 | 1,650 | 1,650 | 据置 |
| 前立腺がん検診 | 2,200 | 2,200 | 据置 |
| がん・生活習慣病健診 | 39,600 | 39,600 | 据置 |

注. 検診料金は税込表示

12. 募 金 活 動

当協会は、民間における「がん征圧」推進母体としての普及啓発、調査研究、がん相談等の事業推進を行うため、個人、法人、組織団体等を対象として募金活動を行いました。また、新がん検診センター建設に向け、2022年7月1日から2024年3月31日までの期限を設定して募金委員会を設立し、募金活動を行いました。

賛助会費・寄付金

| | | |
|-------------------|-------|--------------|
| (1) 個人会員 | 320 人 | 884,000 円 |
| (2) 法人会員 | 68 件 | 750,000 円 |
| (3) 医師会員 | 268 人 | 3,760,000 円 |
| (4) 特定維持会員 | 28 件 | 3,640,000 円 |
| (5) 篤志寄付金 | 21 件 | 235,177 円 |
| (6) 黒川利雄がん研究基金寄付金 | 5 件 | 316,000 円 |
| (7) 新検診センター建設寄付金 | 767 件 | 22,795,185 円 |

13. 委 託 金 ・ 補 助 金

宮城県からの委託事業を実施したほか、国や県および公益助成機関等からの補助金を受け事業を実施しました。

委 託 事 業

| | |
|--------------------------|-------------|
| (1) 宮城県地域統括相談支援センター事業委託金 | 4,740,000 円 |
| (2) 宮城県がん教育事業委託金 | 500,000 円 |

補 助 事 業

| | |
|---------------------------------|-----------|
| (1) 宮城県がん征圧月間補助金 | 250,000 円 |
| (2) 宮城県医療機関等原油価格・物価高騰対策事業費補助金 | 200,000 円 |
| (3) 国立がん研究センター厚生労働科学研究費 | 500,000 円 |
| (3) 日本対がん協会がん征圧月間補助金 | 50,000 円 |
| (4) 社会保険診療報酬支払基金 オンライン資格確認関係補助金 | 429,000 円 |

14. 施設整備

単位：円

| 区分 | 品名 | 数量 | 金額 |
|---------|---------------------------------|----|-------------|
| 土地 | 仙台市青葉区上杉5丁目18-2 | 1 | 256,215,000 |
| 建物 | ドック待合ファンコイルユニット交換 | 3 | 900,000 |
| 付属設備 | ドックデータ収集システム用 LAN 配線工事 | 1 | 1,520,000 |
| 車両運搬具 | 胃検診車11きぼう イメージ管 | 1 | 9,519,000 |
| 医療機器 | 全自動血圧計 架台椅子セット | 1 | 155,000 |
| | 超音波装置診断装置 Noblus 電子リニア端子 | 4 | 3,000,000 |
| | 超音波装置診断装置 ARIETTA70 電子コンベックス探触子 | 1 | 600,000 |
| | 心電図検査装置 フクダ電子 FCP-8700 解析付心電計 | 1 | 1,800,000 |
| | 聴力計オージオメータリオン AA-58 | 1 | 442,000 |
| 器具備品 | プリンター RICOH SP8400 | 2 | 791,000 |
| | 医事会計一体型電子カルテシステム | 1 | 10,820,000 |
| | 医事セルフレジシステム1 | 1 | 1,980,000 |
| | オンライン資格確認顔認証カードリーダー | 1 | 390,000 |
| | 受付用 PC | 2 | 268,000 |
| | ノートパソコン | 2 | 238,000 |
| | 下部消化器担当医師用 PC | 1 | 135,000 |
| | 医事セルフレジシステム2 | 1 | 1,900,000 |
| プログラム開発 | がん・生活習慣病健診機能強化開発1 | 1 | 3,600,000 |
| | がん・生活習慣病健診機能強化開発2 | 1 | 2,040,000 |
| | 胃がん検診予約管理システム開発 | 1 | 2,000,000 |
| | 大腸がん検診予約管理システム開発 | 1 | 1,200,000 |
| | 電子カルテ連携/スコープ追加プログラム | 1 | 350,000 |
| | 胃内視鏡検診システム 機能追加プログラム | 1 | 490,000 |
| | がん・生活習慣病健診機能強化開発2追加 | 1 | 800,000 |
| | 乳がん検診・子宮がん検診予約管理システム開発 | 1 | 1,600,000 |
| 合 計 | | 33 | 302,753,000 |

(金額は税抜表示)

[リース物件]

単位：円

| 区分 | 品名 | 期間 | リース額/年 |
|------|---------------------------------------|----|---------|
| 器具備品 | RICOH IM C4500 複合機 | 5年 | 132,000 |
| 医療機器 | 眼圧計トプコン CT-800A 電動光学台コーワ KOS-KY450セット | 4年 | 367,000 |
| 合 計 | | | 499,000 |

(金額は税抜表示)

検 診 成 績

がんの臓器別死亡数と粗死亡率

| | | 死 亡 数 | | | | | | 粗 死 亡 率 | | | |
|------------|---|-------|-------|------|---------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|
| | | 宮 城 県 | | | 全 国 | | | 宮 城 県 | | 全 国 | |
| | | 2022年 | 2021年 | 増△減 | 2022年 | 2021年 | 増△減 | 2022年 | 2021年 | 2022年 | 2021年 |
| 全 がん | 計 | 7,195 | 6,969 | 226 | 385,797 | 381,505 | 4,292 | 318.7 | 307.2 | 316.1 | 310.7 |
| | 男 | 4,158 | 4,017 | 141 | 223,291 | 222,467 | 824 | 377.7 | 363.2 | 376.5 | 372.7 |
| | 女 | 3,037 | 2,952 | 85 | 162,506 | 159,038 | 3,468 | 262.6 | 254.0 | 259.1 | 252.1 |
| 食 道 | 計 | 202 | 210 | △ 8 | 10,918 | 10,958 | △ 40 | 8.9 | 9.3 | 8.9 | 8.9 |
| | 男 | 149 | 177 | △ 28 | 8,790 | 8,864 | △ 74 | 13.5 | 16.0 | 14.8 | 14.9 |
| | 女 | 53 | 33 | 20 | 2,128 | 2,094 | 34 | 4.6 | 2.8 | 3.4 | 3.3 |
| 胃 | 計 | 754 | 700 | 54 | 40,711 | 41,624 | △913 | 33.4 | 30.9 | 33.4 | 33.9 |
| | 男 | 487 | 436 | 51 | 26,455 | 27,196 | △741 | 44.2 | 39.4 | 44.6 | 45.6 |
| | 女 | 267 | 264 | 3 | 14,256 | 14,428 | △172 | 23.1 | 22.7 | 22.7 | 22.9 |
| 大 腸 | 計 | 1,004 | 951 | 53 | 53,088 | 52,418 | 670 | 44.5 | 41.9 | 43.5 | 42.7 |
| | 男 | 518 | 497 | 21 | 28,099 | 28,080 | 19 | 47.0 | 44.9 | 47.4 | 47.0 |
| | 女 | 486 | 454 | 32 | 24,989 | 24,338 | 651 | 42.0 | 39.1 | 39.8 | 38.6 |
| 肝 臓 | 計 | 388 | 423 | △ 35 | 23,620 | 24,102 | △482 | 17.2 | 18.6 | 19.4 | 19.6 |
| | 男 | 272 | 269 | 3 | 15,717 | 15,913 | △196 | 24.7 | 24.3 | 26.5 | 26.7 |
| | 女 | 116 | 154 | △ 38 | 7,903 | 8,189 | △286 | 10.0 | 13.3 | 12.6 | 13.0 |
| 膵 臓 | 計 | 745 | 765 | △ 20 | 39,468 | 38,579 | 889 | 33.0 | 33.7 | 32.3 | 31.4 |
| | 男 | 375 | 390 | △ 15 | 19,608 | 19,334 | 274 | 34.1 | 35.3 | 33.1 | 32.4 |
| | 女 | 370 | 375 | △ 5 | 19,860 | 19,245 | 615 | 32.0 | 32.3 | 31.7 | 30.5 |
| 気 管 支 肺 | 計 | 1,472 | 1,369 | 103 | 76,663 | 76,212 | 451 | 65.2 | 60.4 | 62.8 | 62.1 |
| | 男 | 1048 | 974 | 74 | 53,750 | 53,278 | 472 | 95.2 | 88.1 | 90.6 | 89.3 |
| | 女 | 424 | 395 | 29 | 22,913 | 22,934 | △ 21 | 36.7 | 34.0 | 36.5 | 36.3 |
| 前 立 腺 | 計 | 246 | 220 | 26 | 13,439 | 13,217 | 222 | 22.3 | 19.9 | 22.7 | 22.1 |
| | 男 | 246 | 220 | 26 | 13,439 | 13,217 | 222 | 22.3 | 19.9 | 22.7 | 22.1 |
| | 女 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 乳 房 | 計 | 273 | 254 | 19 | 16,021 | 14,908 | 1,113 | 12.1 | 11.2 | 13.1 | 12.1 |
| | 男 | 2 | 2 | 0 | 109 | 105 | 4 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 |
| | 女 | 271 | 252 | 19 | 15,912 | 14,803 | 1,109 | 23.4 | 21.7 | 25.4 | 23.5 |
| 子 宮 | 計 | 145 | 112 | 33 | 7,157 | 6,818 | 339 | 12.5 | 9.6 | 11.4 | 10.8 |
| | 男 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 女 | 145 | 112 | 33 | 7,157 | 6,818 | 339 | 12.5 | 9.6 | 11.4 | 10.8 |
| 白 血 病 | 計 | 172 | 157 | 15 | 9,759 | 9,124 | 635 | 7.6 | 6.9 | 8.0 | 7.4 |
| | 男 | 96 | 88 | 8 | 6,007 | 5,549 | 458 | 8.7 | 8.0 | 10.1 | 9.3 |
| | 女 | 76 | 69 | 7 | 3,752 | 3,575 | 177 | 6.6 | 5.9 | 6.0 | 5.7 |
| そ の 他 | 計 | 1,794 | 1,808 | △ 14 | 94,953 | 93,545 | 1,408 | 79.5 | 79.7 | 77.8 | 76.2 |
| | 男 | 965 | 964 | 1 | 51,317 | 50,931 | 386 | 87.6 | 87.1 | 86.5 | 85.3 |
| | 女 | 829 | 844 | △ 15 | 43,636 | 42,614 | 1,022 | 71.7 | 72.6 | 69.6 | 67.5 |

(資料) 人口動態統計確定数(粗死亡率:人口10万対)

宮城県における主ながんの性別、部位別罹患数（2019年）

| 性 別 | ICD-10 | 男 | | 女 | |
|-------------|---------|--------|-------|-------|-------|
| | | 罹患数 | (%) | 罹患数 | (%) |
| 全 部 位 | C00-C96 | 10,514 | 100.0 | 8,013 | 100.0 |
| 胃 | C16 | 1,904 | 18.1 | 858 | 10.7 |
| 大腸（結腸・直腸） | C18-C20 | 1,606 | 15.3 | 1,251 | 15.6 |
| （ 結 腸 ） | C18 | 1,004 | 9.5 | 877 | 10.9 |
| （ 直 腸 ） | C19-C20 | 602 | 5.7 | 374 | 4.7 |
| 肝および肝内胆管 | C22 | 407 | 3.9 | 176 | 2.2 |
| 膵 臓 | C25 | 428 | 4.1 | 415 | 5.2 |
| 肺 | C33-C34 | 1,600 | 15.2 | 815 | 10.2 |
| 乳 房 | C50 | 9 | 0.1 | 1,758 | 21.9 |
| 子 宮 | C53-C55 | — | — | 434 | 5.4 |
| （ 子 宮 頸 部 ） | C53 | — | — | 142 | 1.8 |
| （ 子 宮 体 部 ） | C54 | — | — | 287 | 4 |
| 前 立 腺 | C61 | 1,476 | 14.0 | — | — |
| そ の 他 の が ん | | 3,084 | 29.3 | 2,306 | 28.8 |

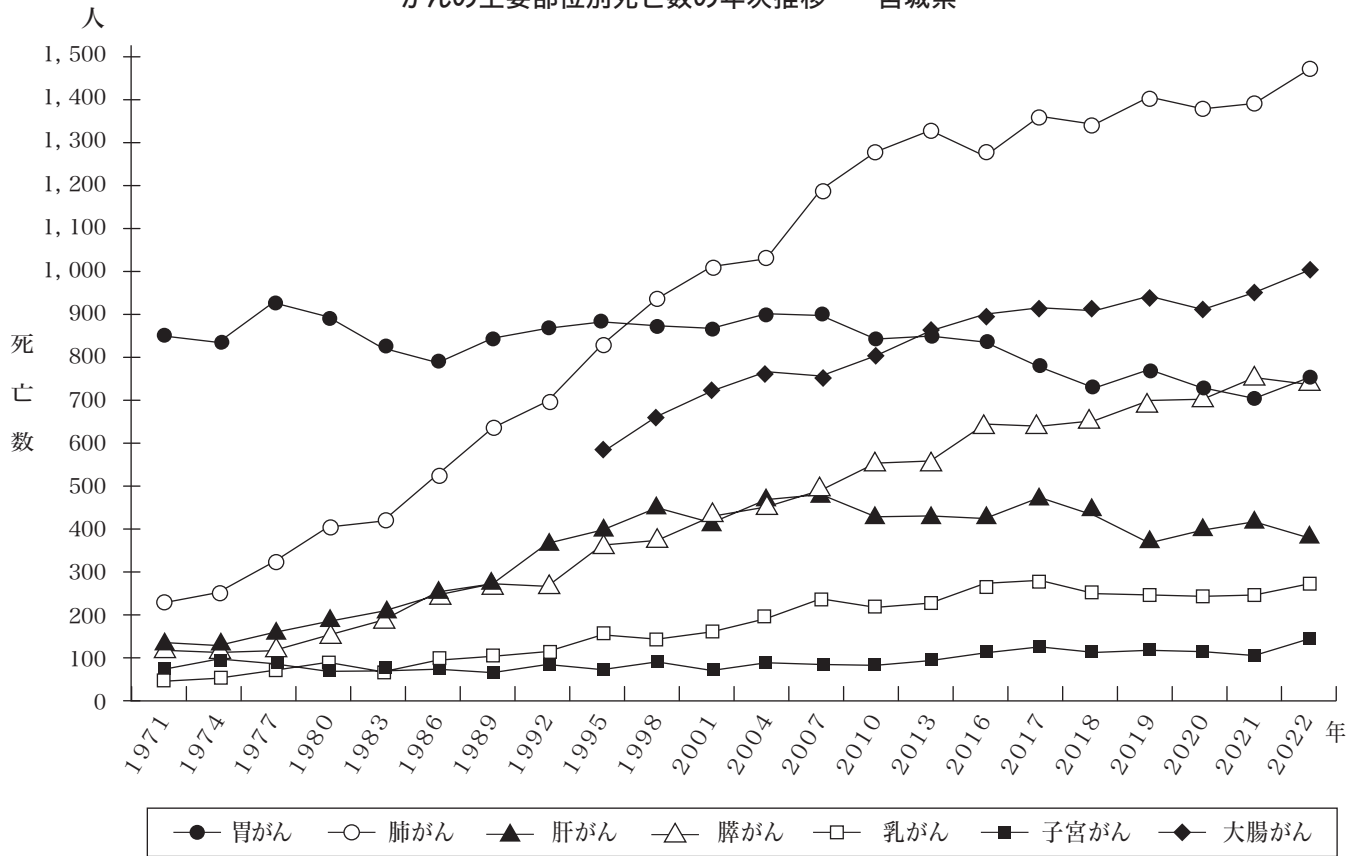
| | | | | | | |
|-----------|---------|-----------|-----|---|-----|---|
| 粘 膜 が ん | 大 腸 | D010-D012 | 547 | — | 309 | — |
| | （ 結 腸 ） | D010 | 408 | — | 227 | — |
| | （ 直 腸 ） | D011-D012 | 139 | — | 82 | — |
| 上 皮 内 が ん | 乳 房 | D05 | 1 | — | 250 | — |
| | 子 宮 頸 部 | D06 | — | — | 338 | — |

死亡情報のみによるもの(DCO)の割合=1.3%

罹患数(I)と死亡数(M)の比 I/M比=2.72 または、M/I比=0.37

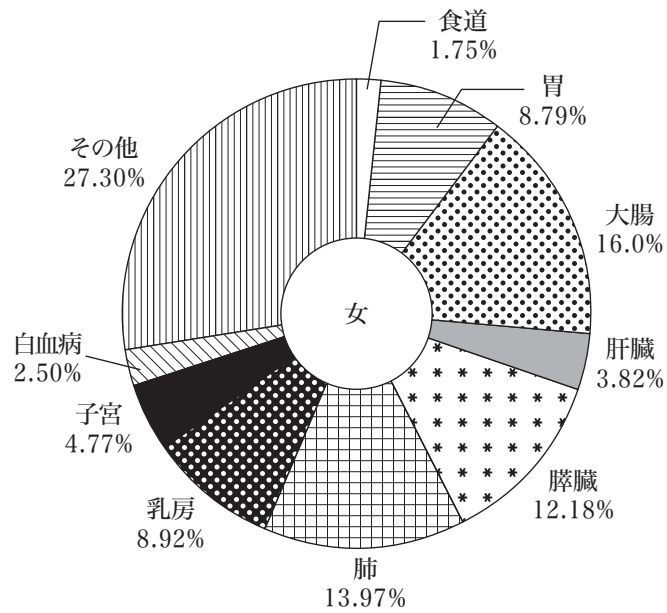
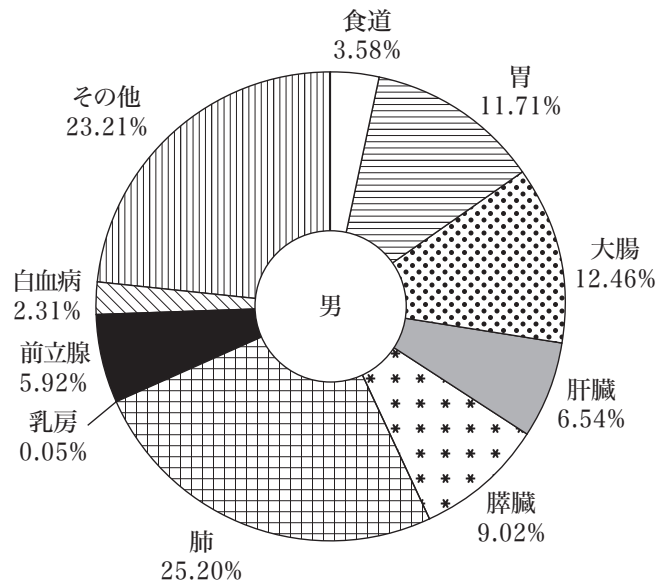
※宮城県立がんセンター宮城県がん登録室による集計結果（宮城県のがん罹患）

がんの主要部位別死亡数の年次推移 -宮城県-



注. 1995年より、結腸・直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物の合わせた数を大腸がんとして計上

2022年がん死亡率の部位別割合 -宮城県-



過去5年間の罹患数の推移 ー宮城県ー

| 年 部 位 | | 男 | | | | | 女 | | | | |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 胃 | | 1,906 | 1,871 | 1,914 | 1,913 | 1,904 | 834 | 846 | 853 | 900 | 858 |
| 大腸（結腸・直腸） | | 1,455 | 1,639 | 1,510 | 1,589 | 1,606 | 1,179 | 1,267 | 1,298 | 1,193 | 1,251 |
| （ 結 腸 ） | | 893 | 1,037 | 948 | 1,001 | 1,004 | 869 | 926 | 942 | 899 | 877 |
| （ 直 腸 ） | | 562 | 602 | 562 | 588 | 602 | 310 | 341 | 356 | 294 | 374 |
| 肝および肝内胆管 | | 421 | 433 | 407 | 418 | 407 | 201 | 235 | 197 | 182 | 176 |
| 膵 臓 | | 381 | 389 | 405 | 392 | 428 | 333 | 359 | 391 | 400 | 415 |
| 肺 | | 1,444 | 1,494 | 1,513 | 1,460 | 1,600 | 653 | 719 | 760 | 752 | 815 |
| 乳 房 | | 13 | 18 | 11 | 11 | 9 | 1,567 | 1,655 | 1,758 | 1,822 | 1,758 |
| 子 宮 | | — | — | — | — | — | 457 | 444 | 429 | 462 | 434 |
| （ 子 宮 頸 部 ） | | — | — | — | — | — | 169 | 149 | 138 | 155 | 142 |
| （ 子 宮 体 部 ） | | — | — | — | — | — | 269 | 289 | 280 | 302 | 287 |
| 粘 膜 が ん | 大 腸 | 512 | 483 | 537 | 569 | 547 | 264 | 282 | 266 | 285 | 309 |
| | （結 腸） | 347 | 333 | 364 | 404 | 408 | 184 | 197 | 187 | 198 | 227 |
| | （直 腸） | 165 | 150 | 173 | 165 | 139 | 80 | 85 | 79 | 87 | 82 |
| 上 皮 内 が ん | 乳 房 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 214 | 260 | 276 | 263 | 250 |
| | 子 宮 頸 部 | — | — | — | — | — | 363 | 425 | 390 | 438 | 338 |

※宮城県立がんセンター宮城県がん登録室による集計結果（宮城県のがん罹患）

過去5年間の年齢調整罹患率の推移 ー宮城県ー

| 年 部 位 | | 男 | | | | | 女 | | | | |
|-------------|--|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 胃 | | 61.3 | 57.6 | 56.7 | 55.8 | 52.8 | 21.3 | 20.7 | 20.9 | 22.0 | 19.1 |
| 大腸（結腸・直腸） | | 51.8 | 56.1 | 51.5 | 52.6 | 52.4 | 32.0 | 33.3 | 34.5 | 31.6 | 32.5 |
| （ 結 腸 ） | | 30.2 | 33.2 | 30.3 | 31.2 | 29.5 | 21.8 | 22.5 | 22.5 | 22.4 | 20.8 |
| （ 直 腸 ） | | 21.5 | 22.8 | 21.3 | 21.5 | 22.9 | 10.2 | 10.8 | 12.1 | 9.3 | 11.7 |
| 肝および肝内胆管 | | 13.9 | 13.5 | 12.7 | 12.7 | 11.5 | 3.7 | 4.7 | 3.6 | 4.1 | 3.0 |
| 膵 臓 | | 12.6 | 12.0 | 12.3 | 12.1 | 12.1 | 7.6 | 7.2 | 9.1 | 8.7 | 8.4 |
| 肺 | | 44.6 | 43.7 | 44.5 | 41.1 | 43.9 | 17.0 | 19.4 | 19.2 | 17.7 | 19.7 |
| 乳 房 | | 0.4 | 0.5 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 72.3 | 77.1 | 79.9 | 80.2 | 79.5 |
| 子 宮 | | — | — | — | — | — | 22.7 | 22.6 | 21.3 | 23.2 | 21.9 |
| （ 子 宮 頸 部 ） | | — | — | — | — | — | 10.0 | 8.1 | 7.3 | 8.8 | 7.2 |
| （ 子 宮 体 部 ） | | — | — | — | — | — | 12.4 | 14.3 | 13.5 | 14.3 | 14.6 |

※宮城県立がんセンター宮城県がん登録室による集計結果（宮城県のがん罹患）

※年齢調整罹患率…標準人口はWHOの世界人口を使用（人口10万対）

過去5年間の死亡数の推移 ー宮城県ー

| 年 部 位 | 男 | | | | | 女 | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 胃 | 499 | 569 | 501 | 471 | 497 | 257 | 267 | 277 | 258 | 275 |
| 大腸（結腸・直腸） | 435 | 467 | 467 | 453 | 507 | 404 | 434 | 449 | 456 | 436 |
| （ 結 腸 ） | 265 | 292 | 299 | 295 | 321 | 316 | 345 | 356 | 348 | 329 |
| （ 直 腸 ） | 170 | 175 | 168 | 158 | 186 | 88 | 89 | 93 | 108 | 107 |
| 肝および肝内胆管 | 301 | 263 | 318 | 299 | 232 | 161 | 162 | 156 | 133 | 136 |
| 膵 臓 | 305 | 341 | 341 | 310 | 347 | 302 | 304 | 299 | 343 | 353 |
| 肺 | 996 | 908 | 982 | 949 | 989 | 343 | 361 | 380 | 394 | 418 |
| 乳 房 | 4 | 2 | 2 | 3 | 1 | 229 | 272 | 279 | 247 | 246 |
| 子 宮 | — | — | — | — | — | 132 | 112 | 126 | 113 | 118 |
| （ 子 宮 頸 部 ） | — | — | — | — | — | 49 | 39 | 52 | 39 | 46 |
| （ 子 宮 体 部 ） | — | — | — | — | — | 56 | 48 | 50 | 51 | 40 |

※宮城県立がんセンター宮城県がん登録室による集計結果

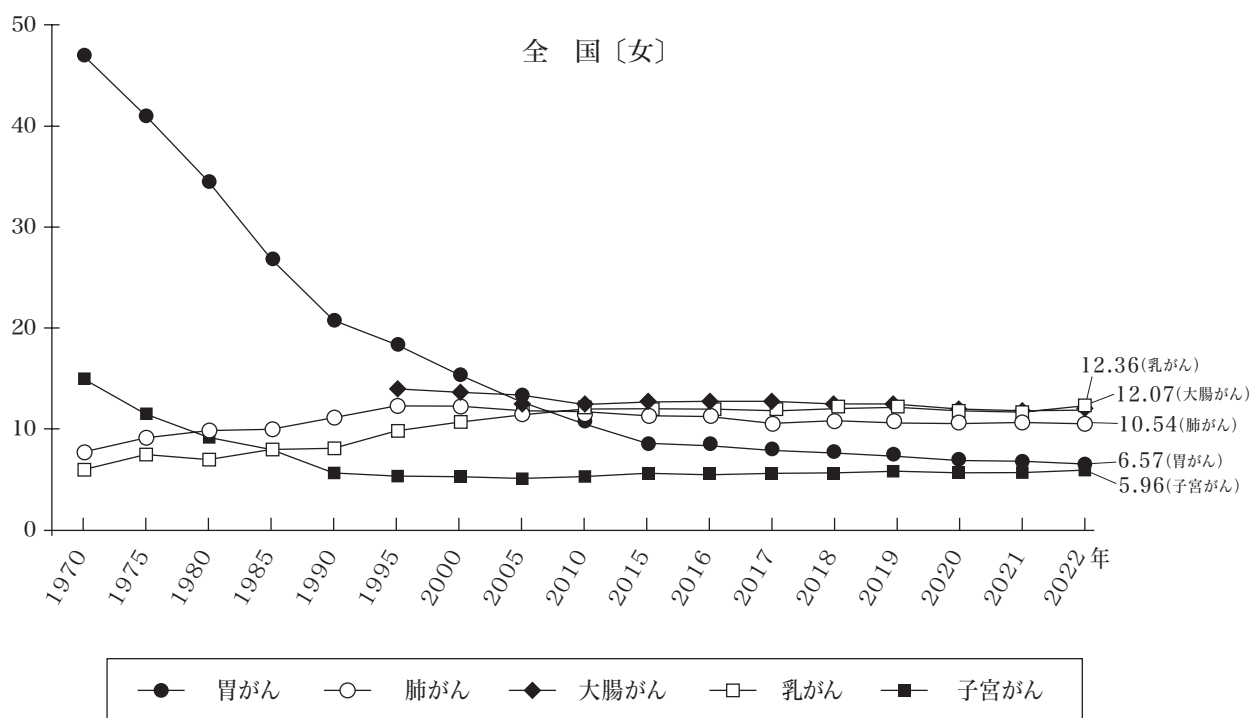
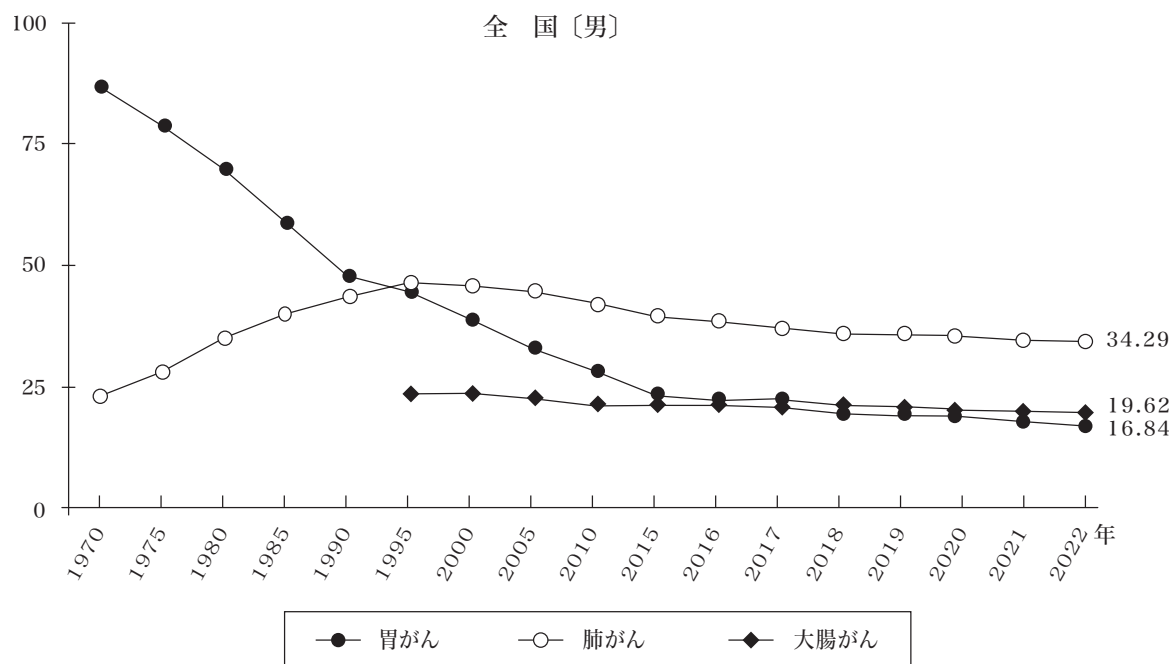
過去5年間の年齢調整死亡率の推移 ー宮城県ー

| 年 部 位 | 男 | | | | | 女 | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
| 胃 | 15.1 | 15.7 | 12.8 | 12.7 | 12.5 | 5.1 | 5.2 | 5.4 | 5.1 | 4.7 |
| 大腸（結腸・直腸） | 12.9 | 13.4 | 13.3 | 12.2 | 13.7 | 7.6 | 7.9 | 8.4 | 9.1 | 8.0 |
| （ 結 腸 ） | 7.4 | 8.0 | 8.1 | 7.5 | 7.9 | 5.8 | 6.3 | 6.5 | 6.3 | 5.5 |
| （ 直 腸 ） | 5.6 | 5.4 | 5.2 | 4.7 | 5.8 | 1.8 | 1.6 | 1.9 | 2.8 | 2.5 |
| 肝および肝内胆管 | 8.8 | 7.5 | 8.7 | 7.9 | 6.2 | 2.7 | 2.4 | 2.6 | 2.4 | 2.3 |
| 膵 臓 | 9.5 | 10.0 | 9.6 | 8.5 | 9.1 | 5.9 | 5.4 | 5.5 | 6.5 | 6.0 |
| 肺 | 27.6 | 23.2 | 24.7 | 23.4 | 23.5 | 6.7 | 6.3 | 7.0 | 6.9 | 6.9 |
| 乳 房 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 8.4 | 10.3 | 10.0 | 8.3 | 8.5 |
| 子 宮 | — | — | — | — | — | 4.6 | 4.2 | 4.5 | 3.6 | 4.5 |
| （ 子 宮 頸 部 ） | — | — | — | — | — | 2.2 | 2.0 | 2.0 | 1.6 | 2.4 |
| （ 子 宮 体 部 ） | — | — | — | — | — | 1.8 | 1.4 | 1.6 | 1.2 | 1.2 |

※宮城県立がんセンター宮城県がん登録室による集計結果

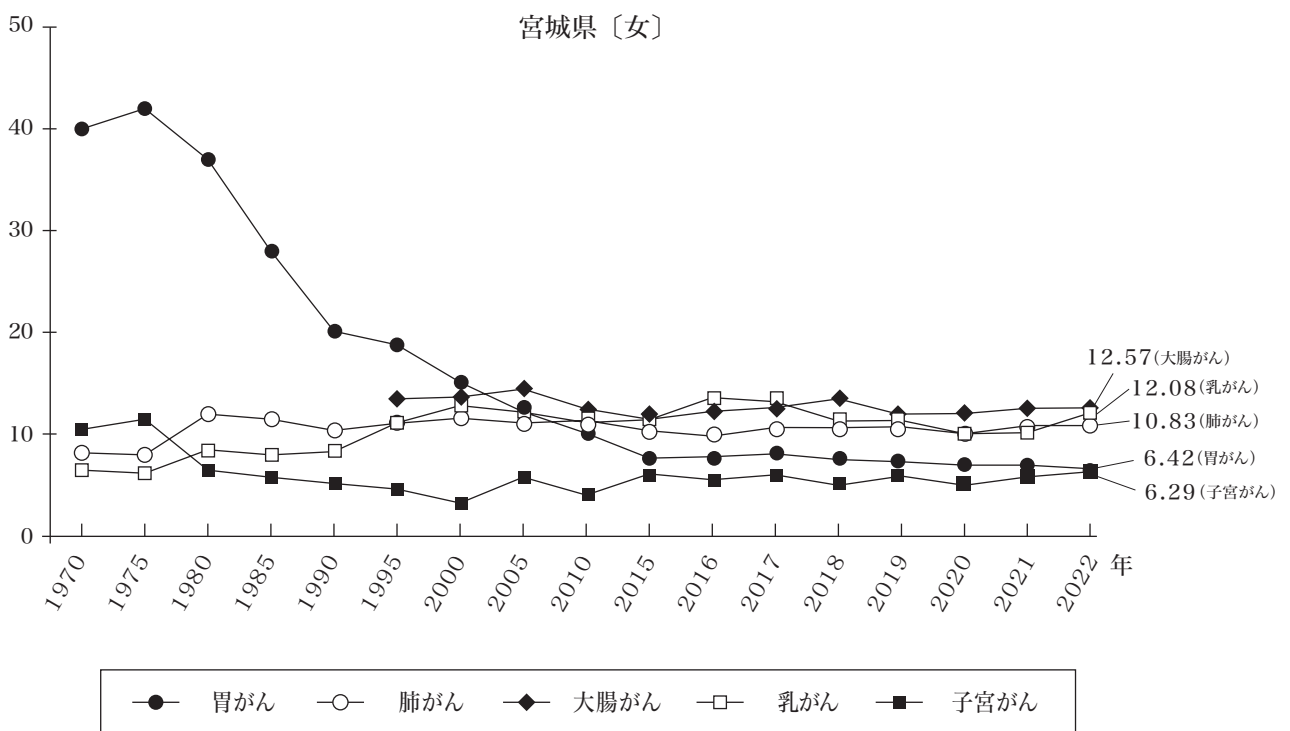
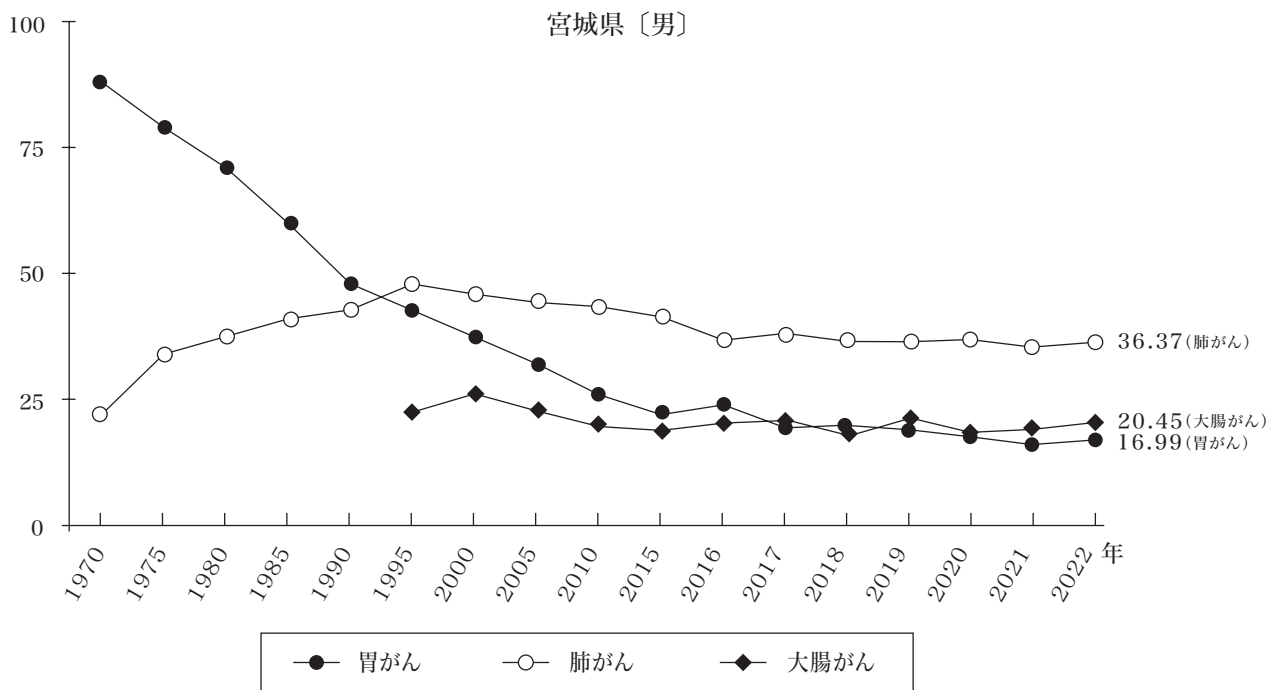
※年齢調整死亡率…標準人口はWHOの世界人口を使用（人口10万対）

主ながんの年齢調整死亡率の年次推移



- 注 1. 2022年の人口は2023年住民基本台帳人口を使用
 2. 年齢調整死亡率の基準人口は1985年のモデル人口を使用
 3. 宮城県における主ながんの5年間の推移については20～21頁に掲載

(資料) 人口動態統計確定数



胃 がん 検 診

2022年度の胃X線検査は、新型コロナ感染の影響により、受診数は2019年度比12.1%下回っている状況で未だ検診控えが続いている。一方導入4年目となる対策型胃内視鏡検査については、受診数は伸びている。

2022年度の胃がん検診は35の地域と249の職域に対して実施した。胃X線検査は、日本消化器がん検診学会の新・胃X線撮影法ガイドラインに則り高濃度低粘性バリウムを用いた二重造影による8枚撮影法で実施した。稼働台数は、検診車16台と当センターの2台により延べ3,467台であった。

対策型の胃内視鏡検査は、2つの自治体(仙台市と大衡村)の50歳以上の希望者(前年度未受診者)を対象に行った。更に一次検査機関(105施設)で撮影した画像を当協会のデータサーバーに集約し、協会内の読影委員会で二次読影後一次検査機関にフィードバックを行うとともに、受診者への結果発送も担っている。また、仙台市の内視鏡検査を当協会に予約された方で希望者に対し研究事業(J-SASGリスク別の胃がん検診研究)も併せて実施した(3年目)。

胃X線検査

<一次検査>

受診総数は132,495名で、昨年度より1,405名減少し、コロナ禍前の2019年度と比較すると18,306名の減少である。地域検診は、昨年度より1,582名減少した。地域検診の内訳は、性別では女性が多く男性の約1.3倍であった。年齢階級別では40代女性(前年度比90.3%)と60代女性(前年度比95.8%)が大きく減少した。一方、高齢者の割合は高く75歳以上は前年度比108.1%であった(表1・2・3・4)。また、職域検診は昨年度より177名増加した。性別では男性が多く女性の1.8倍、年齢階級別では60歳以上が前年度比114.5%であった(表5)。

<精密検査>

受診総数132,495名に対する精検該当数(率)は、6,817名(5.2%)であった(表2・3)。地域検診の精検受診率は92.1%で、女性は95.0%と高率であったが、男性90.1%(40~65歳は80%台)であった。職域の精検受診率は女性93.4%に対し男性79.9%(50代前半は73.2%)と低かった(表4・5)。

<発見がん>

一次検診からの発見胃がんは261名(発見率0.20%)、早期がんは210名(早期がん率80.46%)であった。発見率は昨年度を0.02ポイント上昇したが、早期がん率は3.35ポイント減少し、進行がん率は前年度比3.35ポイント上昇した。

発見胃がんの内訳は、地域から253例(発見率0.23%、早期がん率80.6%)であった(表4)。職域からは8例(発見率0.04%、早期がん率75.00%)であった(表5)。

性別では、男性の胃がん発見率が高く0.32%、女性は0.09%であった。年齢階級別では、高齢になるにつれ発見率は高くなり、65歳以上で0.33%、50歳未満では0.01%であった(表3)。受診歴別では、初回者からの発見率は0.32%(早期がん率77.61%)であった。また非初回者では発

見率 0.17%（早期がん率 81.44%）で、初回者の胃がん発見率が高く、早期がん率は非初回者が高かった。

食道がんは 37 例、その他の悪性腫瘍は 3 例発見された。

内視鏡治療の割合は、一次検診からの発見胃がんでは 49.8%、食道がんは 37.8%であった。

対策型胃内視鏡検査

<一次検査>

受診総数は 14,830 名で、昨年度より 971 名増加した。性別では、女性が多く男性の 1.4 倍であった。年齢階級別では、70 代（46.9%）が最も多く、60 代（24.3%）の順であった。65 歳以上が 79.5%を占め高齢者の割合が高かった（表 7・8）。

<精密検査>

受診総数 14,830 名に対する精検該当数（率）は、795 名（5.4%）であった。内訳は検診時生検を実施した割合は 5.0%、そのうち要再検は受診総数の 0.2%であった。検診時生検未受診のうち要再検になった割合は 0.4%であった。内視鏡検査は当日精検が多いため、精検受診率は 99.5%と高率であった（表 7・8）。

<発見がん>

一次検診からの発見胃がんは 99 例（発見率 0.67%、早期がん率 93.94%）であった。性別では、男性の胃がん発見率が高く 1.17%、女性は 0.30%であった。年齢階級別では、高齢者の発見率が高く、65 歳以上で 0.77%であった（表 7・8）。受診歴別では、初回者からの発見率は 0.65%（早期がん率 90.00%）、非初回者は 0.68%（早期がん率 95.65%）であった。がん発見率と早期がん率ともに非初回者が高かった。

食道がんは 23 例、その他の悪性腫瘍は 6 例発見された。

内視鏡治療の割合は、発見胃がんでは 69.7%、食道がんは 78.3%であった。

経過観察

経過観察者は 2,685 名であった。受診数の内訳は、性別では男性が多く女性の 1.4 倍、年齢階級別では 65 歳以上の割合が 68.8%であった。発見胃がんは 37 例（発見率 1.38%、早期がん率 97.30%）、食道がん 2 例、その他の悪性腫瘍は 2 例発見された。内視鏡治療の割合は、経過観察からの発見胃がんでは 94.6%、食道がんは 100.0%であった。

<今後の課題>

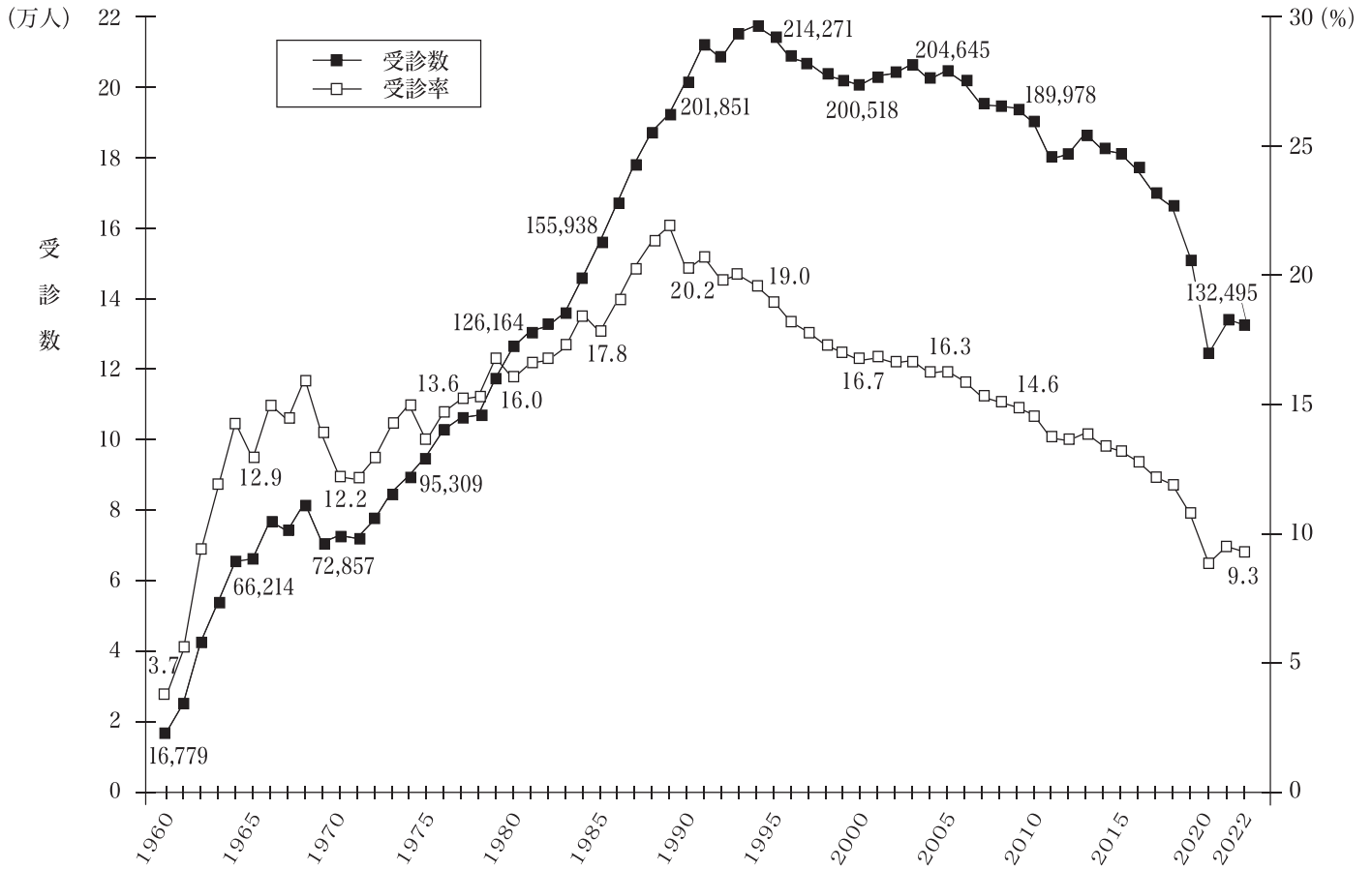
1. がん検診の重要性を広く啓発し、職域検診の受診数拡大と精度管理の充実を図る。
2. 精検受診の未把握ゼロを目指し、実施主体と連携し受診率向上に努める。
3. 対策型胃内視鏡検査の県内拡大を目指す。

（看護師；藤村 千恵子）

表1 胃がん検診胃X線検査(対策型) 発見胃がん数と頻度

| 年 度 | 受 診 数 (A) | 胃 が ん 数 (B) | 発 見 頻 度 B/A(%) | 早期がん数 (C) | 早期がん頻度 C/B(%) |
|-----------|--------------|----------------|-------------------|--------------|------------------|
| 1960～1964 | 203,814 | 407 | 0.20 | 56 | 13.76 |
| 1965～1969 | 370,274 | 663 | 0.18 | 235 | 35.44 |
| 1970 | 72,857 | 95 | 0.13 | 47 | 49.47 |
| 1971 | 72,028 | 118 | 0.16 | 52 | 44.07 |
| 1972 | 77,208 | 144 | 0.19 | 60 | 41.67 |
| 1973 | 85,040 | 139 | 0.16 | 70 | 50.36 |
| 1974 | 89,774 | 221 | 0.25 | 135 | 61.09 |
| 1975 | 95,309 | 194 | 0.20 | 102 | 52.58 |
| 1976 | 102,750 | 208 | 0.20 | 123 | 59.13 |
| 1977 | 106,204 | 196 | 0.18 | 113 | 57.65 |
| 1978 | 106,942 | 210 | 0.20 | 115 | 54.76 |
| 1979 | 117,410 | 208 | 0.18 | 108 | 51.92 |
| 1980 | 126,164 | 204 | 0.16 | 108 | 52.94 |
| 1981 | 130,799 | 217 | 0.17 | 118 | 54.38 |
| 1982 | 132,163 | 260 | 0.20 | 165 | 63.46 |
| 1983 | 136,068 | 251 | 0.18 | 167 | 66.53 |
| 1984 | 145,837 | 281 | 0.19 | 187 | 66.55 |
| 1985 | 155,938 | 327 | 0.21 | 205 | 62.69 |
| 1986 | 166,956 | 345 | 0.21 | 212 | 61.45 |
| 1987 | 178,115 | 310 | 0.17 | 197 | 63.55 |
| 1988 | 187,316 | 308 | 0.16 | 201 | 65.26 |
| 1989 | 192,291 | 354 | 0.18 | 227 | 64.12 |
| 1990 | 201,851 | 338 | 0.17 | 201 | 59.47 |
| 1991 | 212,271 | 327 | 0.15 | 199 | 60.86 |
| 1992 | 208,094 | 363 | 0.17 | 222 | 61.16 |
| 1993 | 215,367 | 379 | 0.18 | 253 | 66.75 |
| 1994 | 217,423 | 374 | 0.17 | 255 | 68.18 |
| 1995 | 214,271 | 348 | 0.16 | 228 | 65.52 |
| 1996 | 208,237 | 358 | 0.17 | 246 | 68.72 |
| 1997 | 206,926 | 337 | 0.16 | 234 | 69.44 |
| 1998 | 203,384 | 376 | 0.18 | 264 | 70.21 |
| 1999 | 202,039 | 352 | 0.17 | 250 | 71.02 |
| 2000 | 200,518 | 347 | 0.17 | 250 | 72.05 |
| 2001 | 203,150 | 378 | 0.19 | 268 | 70.90 |
| 2002 | 203,885 | 357 | 0.18 | 260 | 72.83 |
| 2003 | 206,486 | 412 | 0.20 | 297 | 72.09 |
| 2004 | 202,139 | 421 | 0.21 | 292 | 69.36 |
| 2005 | 204,645 | 414 | 0.20 | 291 | 70.29 |
| 2006 | 201,256 | 397 | 0.20 | 295 | 74.31 |
| 2007 | 194,958 | 423 | 0.22 | 323 | 76.36 |
| 2008 | 194,641 | 415 | 0.21 | 323 | 77.83 |
| 2009 | 194,013 | 416 | 0.21 | 308 | 74.04 |
| 2010 | 189,978 | 405 | 0.21 | 316 | 78.02 |
| 2011 | 179,579 | 370 | 0.21 | 276 | 74.59 |
| 2012 | 180,932 | 347 | 0.19 | 262 | 75.50 |
| 2013 | 186,887 | 351 | 0.19 | 266 | 75.78 |
| 2014 | 182,147 | 327 | 0.18 | 244 | 74.62 |
| 2015 | 181,224 | 338 | 0.19 | 258 | 76.33 |
| 2016 | 176,463 | 275 | 0.16 | 207 | 75.27 |
| 2017 | 169,588 | 324 | 0.19 | 237 | 73.15 |
| 2018 | 166,057 | 298 | 0.18 | 223 | 74.83 |
| 2019 | 150,801 | 255 | 0.17 | 193 | 75.69 |
| 2020 | 124,390 | 197 | 0.16 | 154 | 78.17 |
| 2021 | 133,900 | 247 | 0.18 | 207 | 83.81 |
| 2022 | 132,495 | 261 | 0.20 | 210 | 80.46 |
| 合 計 | 9,301,252 | 17,187 | 0.18 | 11,315 | 65.83 |

図1 受診数と受診率の年次推移



注. 受診率は40歳以上の人口(住民基本台帳)による

表2 胃がん検診胃X線検査(対策型) 年次成績

| 年 度 | 40人 歳 以 上 の 口 | 受 診 数 | 受 診 率 | 精 検 該 当 数 | 精 検 受 診 数 | 精 検 受 診 率 | 精 未 受 診 検 数 | 精 未 把 握 検 数 |
|-----------|------------------------------|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1960～1964 | | 203,814 | | 26,130 | 21,670 | 82.9 | 4,460 | |
| 1965～1969 | | 370,274 | | 66,770 | 56,243 | 84.2 | 10,527 | |
| 1970～1974 | | 396,907 | | 81,429 | 67,352 | 82.7 | 14,077 | |
| 1975～1979 | | 528,615 | | 92,577 | 83,154 | 89.8 | 9,423 | |
| 1980～1984 | | 671,031 | | 83,249 | 78,243 | 94.0 | 5,006 | |
| 1985～1989 | | 880,616 | | 93,297 | 89,960 | 96.4 | 3,337 | |
| 1990 | 1,000,192 | 201,851 | 20.2 | 19,987 | 19,436 | 97.2 | 551 | |
| 1991 | 1,027,278 | 212,271 | 20.7 | 19,955 | 19,342 | 96.9 | 613 | |
| 1992 | 1,051,862 | 208,094 | 19.8 | 19,634 | 19,024 | 96.9 | 610 | |
| 1993 | 1,074,279 | 215,367 | 20.0 | 21,668 | 21,038 | 97.1 | 630 | |
| 1994 | 1,107,071 | 217,423 | 19.6 | 21,688 | 20,777 | 95.8 | 911 | |
| 1995 | 1,126,648 | 214,271 | 19.0 | 20,805 | 20,021 | 96.2 | 784 | |
| 1996 | 1,144,202 | 208,237 | 18.2 | 19,644 | 18,787 | 95.6 | 857 | |
| 1997 | 1,160,510 | 206,926 | 17.8 | 19,784 | 18,936 | 95.7 | 848 | |
| 1998 | 1,176,586 | 203,384 | 17.3 | 19,851 | 19,035 | 95.9 | 816 | |
| 1999 | 1,185,650 | 202,039 | 17.0 | 19,361 | 18,409 | 95.1 | 952 | |
| 2000 | 1,199,522 | 200,518 | 16.7 | 18,852 | 17,893 | 94.9 | 959 | |
| 2001 | 1,212,661 | 203,150 | 16.8 | 18,994 | 18,024 | 94.9 | 970 | |
| 2002 | 1,224,584 | 203,885 | 16.6 | 17,996 | 17,026 | 94.6 | 970 | |
| 2003 | 1,235,746 | 206,486 | 16.7 | 18,163 | 17,189 | 94.6 | 974 | |
| 2004 | 1,247,090 | 202,139 | 16.2 | 18,215 | 17,141 | 94.1 | 1,074 | |
| 2005 | 1,255,939 | 204,645 | 16.3 | 17,416 | 16,495 | 94.7 | 921 | |
| 2006 | 1,263,868 | 201,256 | 15.9 | 16,876 | 16,016 | 94.9 | 860 | |
| 2007 | 1,275,219 | 194,958 | 15.3 | 16,170 | 15,329 | 94.8 | 841 | |
| 2008 | 1,287,222 | 194,641 | 15.1 | 16,011 | 15,079 | 94.2 | 932 | |
| 2009 | 1,298,330 | 194,013 | 14.9 | 15,921 | 14,695 | 92.3 | 1,217 | 9 |
| 2010 | 1,304,937 | 189,978 | 14.6 | 15,251 | 14,150 | 92.8 | 1,080 | 21 |
| 2011 | 1,308,950 | 179,579 | 13.7 | 12,824 | 11,942 | 93.1 | 792 | 90 |
| 2012 | 1,333,620 | 180,932 | 13.6 | 12,088 | 11,312 | 93.6 | 547 | 229 |
| 2013 | 1,343,818 | 186,887 | 13.9 | 11,985 | 11,300 | 94.3 | 602 | 83 |
| 2014 | 1,357,736 | 182,147 | 13.4 | 11,252 | 10,560 | 93.8 | 481 | 211 |
| 2015 | 1,369,990 | 181,224 | 13.2 | 10,365 | 9,680 | 93.4 | 554 | 131 |
| 2016 | 1,382,659 | 176,463 | 12.8 | 10,176 | 9,392 | 92.3 | 563 | 221 |
| 2017 | 1,392,458 | 169,588 | 12.2 | 9,768 | 9,023 | 92.4 | 545 | 200 |
| 2018 | 1,392,375 | 166,057 | 11.9 | 9,358 | 8,627 | 92.2 | 492 | 239 |
| 2019 | 1,392,288 | 150,801 | 10.8 | 7,588 | 6,987 | 92.1 | 407 | 194 |
| 2020 | 1,411,727 | 124,390 | 8.8 | 6,434 | 5,935 | 92.2 | 312 | 187 |
| 2021 | 1,415,294 | 133,900 | 9.5 | 6,696 | 6,149 | 91.8 | 322 | 225 |
| 2022 | 1,417,328 | 132,495 | 9.3 | 6,817 | 6,214 | 91.2 | 329 | 274 |
| 合 計 | | 9,301,252 | | 951,045 | 877,585 | 92.3 | 71,146 | 2,314 |

注1. 1983年度から1988年度までは胃がん以外の悪性腫瘍も含む

2. 40歳以上の人口は1999年度より対がん協会実施市町村分を計上

3. 2009年度より、未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

| 胃 が ん | 胃 腺 腫 | 胃腫 粘 膜 下瘍 | 胃 潰 瘍 | 共 存 潰 瘍 | 十潰 二 指 腸瘍 | 胃 潰 瘍 癒 痕 | 共癒 存 潰 瘍 痕 | 十潰 二瘍 指癒 腸痕 | 胃 ポ リ プ | そ の 他 |
|-------------|-------------|--------------------|-------------|------------------|--------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|------------------|-------------|
| 407 | | | 3,078 | 182 | 3,079 | | | | 466 | 108,341 |
| 663 | 1 | | 3,973 | 328 | 2,397 | 3,864 | | 7,122 | 760 | 131,827 |
| 717 | 13 | 96 | 2,863 | 112 | 737 | 5,737 | | 7,671 | 1,057 | 97,238 |
| 1,016 | 47 | 175 | 3,492 | 42 | 511 | 5,740 | | 6,594 | 1,619 | 49,174 |
| 1,222 | 132 | 269 | 3,352 | 595 | 765 | 7,925 | | 7,762 | 2,285 | 49,238 |
| 1,679 | 322 | 878 | 3,227 | 470 | 770 | 12,761 | | 9,283 | 3,841 | 89,164 |
| 338 | 75 | 370 | 620 | 134 | 116 | 2,851 | 334 | 2,034 | 1,120 | 21,064 |
| 327 | 88 | 398 | 635 | 143 | 167 | 2,699 | 390 | 2,168 | 1,148 | 21,201 |
| 363 | 94 | 403 | 657 | 171 | 178 | 2,663 | 420 | 2,363 | 1,190 | 20,734 |
| 379 | 138 | 622 | 730 | 240 | 200 | 3,267 | 572 | 3,024 | 1,735 | 20,201 |
| 374 | 134 | 752 | 670 | 151 | 212 | 3,385 | 574 | 2,897 | 2,210 | 17,143 |
| 348 | 150 | 887 | 607 | 159 | 165 | 3,391 | 612 | 3,056 | 2,496 | 17,152 |
| 358 | 161 | 885 | 644 | 119 | 164 | 3,586 | 658 | 3,201 | 2,483 | 15,580 |
| 337 | 155 | 1,080 | 670 | 119 | 146 | 3,814 | 706 | 3,195 | 3,247 | 15,796 |
| 376 | 169 | 1,190 | 606 | 128 | 123 | 4,069 | 708 | 3,248 | 3,817 | 15,378 |
| 352 | 185 | 1,283 | 598 | 142 | 117 | 4,039 | 706 | 3,368 | 4,229 | 15,550 |
| 347 | 211 | 1,424 | 642 | 154 | 120 | 4,023 | 738 | 3,374 | 4,760 | 16,209 |
| 378 | 199 | 1,566 | 654 | 149 | 143 | 3,732 | 752 | 3,517 | 5,249 | 18,137 |
| 357 | 229 | 1,547 | 568 | 136 | 124 | 3,850 | 760 | 3,591 | 5,303 | 17,915 |
| 412 | 236 | 1,743 | 595 | 134 | 113 | 3,787 | 744 | 3,489 | 5,698 | 18,017 |
| 421 | 261 | 1,832 | 585 | 118 | 100 | 3,695 | 732 | 3,502 | 5,774 | 18,406 |
| 414 | 221 | 1,821 | 547 | 101 | 101 | 3,957 | 755 | 3,655 | 6,225 | 18,186 |
| 397 | 213 | 1,770 | 512 | 101 | 96 | 4,117 | 825 | 3,640 | 6,405 | 18,657 |
| 423 | 186 | 1,684 | 438 | 102 | 96 | 3,856 | 716 | 3,583 | 6,417 | 17,808 |
| 415 | 185 | 1,536 | 485 | 79 | 89 | 3,793 | 702 | 3,622 | 6,458 | 19,438 |
| 416 | 158 | 1,480 | 494 | 99 | 78 | 3,834 | 640 | 3,452 | 6,461 | 19,727 |
| 405 | 154 | 1,441 | 432 | 71 | 65 | 3,623 | 644 | 3,385 | 6,383 | 18,823 |
| 370 | 128 | 1,336 | 419 | 72 | 64 | 3,459 | 617 | 3,179 | 6,009 | 17,027 |
| 347 | 124 | 1,242 | 324 | 57 | 66 | 3,459 | 590 | 3,147 | 6,025 | 17,539 |
| 351 | 123 | 1,254 | 285 | 61 | 54 | 3,487 | 589 | 3,258 | 6,360 | 32,339 |
| 327 | 107 | 1,170 | 280 | 48 | 40 | 3,283 | 559 | 3,154 | 5,319 | 90,668 |
| 338 | 104 | 1,124 | 230 | 40 | 43 | 3,169 | 499 | 3,147 | 4,332 | 88,942 |
| 275 | 92 | 1,028 | 192 | 21 | 28 | 2,801 | 509 | 3,111 | 3,706 | 87,490 |
| 324 | 85 | 927 | 169 | 21 | 15 | 2,583 | 414 | 3,040 | 3,169 | 82,727 |
| 298 | 69 | 1,012 | 141 | 15 | 45 | 2,460 | 393 | 3,021 | 2,760 | 80,503 |
| 255 | 65 | 839 | 103 | 14 | 21 | 1,993 | 322 | 2,794 | 2,063 | 70,548 |
| 197 | 41 | 758 | 77 | 6 | 13 | 1,814 | 322 | 2,442 | 1,722 | 54,152 |
| 247 | 52 | 909 | 78 | 17 | 16 | 1,952 | 335 | 2,643 | 1,779 | 56,467 |
| 261 | 43 | 954 | 72 | 7 | 11 | 1,997 | 361 | 2,619 | 1,923 | 54,538 |
| 17,231 | 5,150 | 39,685 | 34,744 | 4,858 | 11,388 | 144,515 | 19,198 | 141,351 | 144,003 | 1,639,044 |

表3 胃がん検診胃X線検査(対策型) 性・年齢別総括表(総計)

| 年齢区分 | 性別 | 受診数 | 精検該当数 | 精検受診数 | 精検受診率 | 精未受診検数 | 精未把握検数 | 胃がん | 早期がん | 胃腺腫 | 胃腫粘膜下瘍 |
|-------|----|---------|-------|-------|-------|--------|--------|-----|------|-----|--------|
| ～29 | 男 | 157 | 2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 110 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30～34 | 男 | 609 | 13 | 12 | 92.3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 595 | 9 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35～39 | 男 | 2,350 | 52 | 45 | 86.5 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 女 | 2,612 | 61 | 59 | 96.7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 40～44 | 男 | 3,931 | 104 | 85 | 81.7 | 15 | 4 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | 女 | 5,310 | 109 | 102 | 93.6 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 15 |
| 45～49 | 男 | 4,275 | 157 | 129 | 82.2 | 10 | 18 | 1 | 1 | 0 | 22 |
| | 女 | 6,008 | 130 | 120 | 92.3 | 3 | 7 | 1 | 1 | 0 | 18 |
| 50～54 | 男 | 4,028 | 160 | 130 | 81.3 | 16 | 14 | 1 | 1 | 0 | 9 |
| | 女 | 5,802 | 128 | 118 | 92.2 | 4 | 6 | 1 | 1 | 0 | 26 |
| 55～59 | 男 | 4,373 | 187 | 157 | 84.0 | 13 | 17 | 3 | 1 | 0 | 26 |
| | 女 | 5,969 | 155 | 150 | 96.8 | 1 | 4 | 2 | 2 | 0 | 43 |
| 60～64 | 男 | 5,540 | 342 | 284 | 83.0 | 30 | 28 | 5 | 2 | 2 | 39 |
| | 女 | 7,728 | 252 | 239 | 94.8 | 9 | 4 | 7 | 5 | 0 | 61 |
| 65～69 | 男 | 9,108 | 667 | 583 | 87.4 | 47 | 37 | 25 | 20 | 4 | 54 |
| | 女 | 10,445 | 429 | 405 | 94.4 | 14 | 10 | 11 | 10 | 1 | 81 |
| 70～74 | 男 | 12,488 | 1,042 | 950 | 91.2 | 47 | 45 | 67 | 50 | 13 | 100 |
| | 女 | 12,622 | 632 | 604 | 95.6 | 16 | 12 | 15 | 14 | 2 | 131 |
| 75～79 | 男 | 8,582 | 771 | 711 | 92.2 | 38 | 22 | 57 | 49 | 6 | 71 |
| | 女 | 7,495 | 447 | 435 | 97.3 | 5 | 7 | 13 | 10 | 4 | 96 |
| 80～ | 男 | 7,134 | 654 | 597 | 91.3 | 34 | 23 | 42 | 35 | 9 | 70 |
| | 女 | 5,224 | 313 | 287 | 91.7 | 20 | 6 | 10 | 8 | 2 | 69 |
| 計 | 男 | 62,575 | 4,151 | 3,685 | 88.8 | 253 | 213 | 201 | 159 | 34 | 405 |
| | 女 | 69,920 | 2,666 | 2,529 | 94.9 | 76 | 61 | 60 | 51 | 9 | 549 |
| 合計 | | 132,495 | 6,817 | 6,214 | 91.2 | 329 | 274 | 261 | 210 | 43 | 954 |

注1. 早期がんは胃がんの再掲

2. 2009年度より、未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

※ 当該年度内に胃内視鏡検査で経過観察予定であったが、検査前に胃X線検査を受けてしまった者を計上

2022年度

| 胃潰瘍 | 共存潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 胃潰瘍癒痕 | 共存潰瘍癒痕 | 十二指腸癒痕 | 胃ポリープ | その他 | 異常なし | 経胃受過X線観察した患者に※ |
|-----|------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|----------------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 13 | 143 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 106 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 53 | 548 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 46 | 544 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 30 | 4 | 266 | 2,031 | 2 |
| 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 17 | 252 | 2,325 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 13 | 7 | 58 | 11 | 604 | 3,208 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 19 | 60 | 635 | 4,570 | 0 |
| 1 | 0 | 2 | 20 | 6 | 70 | 16 | 805 | 3,303 | 1 |
| 1 | 1 | 1 | 6 | 1 | 42 | 76 | 893 | 4,957 | 1 |
| 5 | 0 | 0 | 46 | 12 | 101 | 28 | 984 | 2,812 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 12 | 3 | 53 | 84 | 1,149 | 4,463 | 1 |
| 3 | 1 | 1 | 69 | 20 | 152 | 32 | 1,286 | 2,750 | 0 |
| 1 | 1 | 1 | 22 | 6 | 84 | 105 | 1,529 | 4,170 | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 141 | 35 | 166 | 61 | 2,152 | 2,875 | 2 |
| 0 | 0 | 0 | 52 | 7 | 138 | 121 | 2,757 | 4,572 | 0 |
| 9 | 0 | 1 | 250 | 46 | 293 | 94 | 4,466 | 3,782 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 77 | 12 | 234 | 144 | 4,715 | 5,144 | 0 |
| 13 | 0 | 1 | 460 | 83 | 347 | 168 | 7,040 | 4,098 | 6 |
| 5 | 0 | 0 | 119 | 15 | 258 | 231 | 6,824 | 4,994 | 0 |
| 12 | 1 | 0 | 309 | 53 | 210 | 148 | 5,365 | 2,288 | 2 |
| 4 | 1 | 1 | 67 | 6 | 121 | 177 | 4,298 | 2,694 | 1 |
| 6 | 1 | 0 | 258 | 40 | 152 | 192 | 5,030 | 1,277 | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 68 | 8 | 76 | 150 | 3,373 | 1,436 | 0 |
| 53 | 3 | 6 | 1,571 | 303 | 1,587 | 754 | 28,064 | 29,115 | 13 |
| 19 | 4 | 5 | 426 | 58 | 1,032 | 1,169 | 26,474 | 39,975 | 3 |
| 72 | 7 | 11 | 1,997 | 361 | 2,619 | 1,923 | 54,538 | 69,090 | 16 |

表4 胃がん検診胃X線検査(対策型) 性・年齢別総括表(地域)

| 年齢区分 | 性別 | 受診数 | 精検該当数 | 精検受診数 | 精検受診率 | 精未受診検数 | 精未把握検数 | 胃がん | 早期がん | 胃腺腫 | 胃腫粘膜下瘍 |
|-------|----|---------|-------|-------|-------|--------|--------|-----|------|-----|--------|
| ～29 | 男 | 18 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 15 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30～34 | 男 | 242 | 5 | 4 | 80.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 311 | 2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35～39 | 男 | 821 | 25 | 23 | 92.0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 2,026 | 49 | 48 | 98.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 40～44 | 男 | 1,770 | 54 | 45 | 83.3 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 女 | 4,100 | 82 | 76 | 92.7 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 45～49 | 男 | 2,166 | 83 | 68 | 81.9 | 8 | 7 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| | 女 | 4,658 | 99 | 93 | 93.9 | 2 | 4 | 1 | 1 | 0 | 11 |
| 50～54 | 男 | 2,011 | 78 | 70 | 89.7 | 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| | 女 | 4,412 | 88 | 81 | 92.0 | 3 | 4 | 1 | 1 | 0 | 17 |
| 55～59 | 男 | 2,096 | 90 | 75 | 83.3 | 7 | 8 | 1 | 0 | 0 | 13 |
| | 女 | 4,736 | 114 | 109 | 95.6 | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 30 |
| 60～64 | 男 | 3,739 | 229 | 198 | 86.5 | 17 | 14 | 3 | 1 | 2 | 19 |
| | 女 | 6,914 | 226 | 216 | 95.6 | 7 | 3 | 6 | 4 | 0 | 51 |
| 65～69 | 男 | 8,435 | 608 | 536 | 88.2 | 44 | 28 | 24 | 19 | 3 | 49 |
| | 女 | 10,232 | 419 | 396 | 94.5 | 14 | 9 | 11 | 10 | 1 | 77 |
| 70～74 | 男 | 12,314 | 1,015 | 928 | 91.4 | 46 | 41 | 67 | 50 | 13 | 95 |
| | 女 | 12,584 | 631 | 603 | 95.6 | 16 | 12 | 15 | 14 | 2 | 131 |
| 75～79 | 男 | 8,558 | 770 | 710 | 92.2 | 38 | 22 | 57 | 49 | 6 | 71 |
| | 女 | 7,492 | 447 | 435 | 97.3 | 5 | 7 | 13 | 10 | 4 | 96 |
| 80～ | 男 | 7,127 | 653 | 596 | 91.3 | 34 | 23 | 42 | 35 | 9 | 70 |
| | 女 | 5,222 | 313 | 287 | 91.7 | 20 | 6 | 10 | 8 | 2 | 69 |
| 計 | 男 | 49,297 | 3,610 | 3,253 | 90.1 | 209 | 148 | 195 | 155 | 33 | 338 |
| | 女 | 62,702 | 2,470 | 2,346 | 95.0 | 71 | 53 | 58 | 49 | 9 | 502 |
| 合計 | | 111,999 | 6,080 | 5,599 | 92.1 | 280 | 201 | 253 | 204 | 42 | 840 |

注1. 早期がんは胃がんの再掲

2. 2009年度より、未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

※ 当該年度内に胃内視鏡検査で経過観察予定であったが、検査前に胃X線検査を受けてしまった者を計上

2022年度

| 胃潰瘍 | 共存潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 胃潰瘍癒痕 | 共存潰瘍癒痕 | 十二指腸癒痕 | 胃ポリープ | その他 | 異常なし | 経過観察中 | 受診した者※ |
|-----|------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 16 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 14 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 24 | 214 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 25 | 283 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 7 | 2 | 107 | 699 | | 2 |
| 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 14 | 204 | 1,791 | | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 26 | 7 | 285 | 1,432 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 13 | 44 | 512 | 3,511 | | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 13 | 3 | 31 | 8 | 429 | 1,653 | | 1 |
| 1 | 0 | 1 | 6 | 0 | 35 | 56 | 733 | 3,807 | | 1 |
| 4 | 0 | 0 | 21 | 7 | 39 | 16 | 529 | 1,382 | | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 8 | 3 | 36 | 68 | 919 | 3,352 | | 1 |
| 2 | 0 | 0 | 31 | 11 | 65 | 16 | 651 | 1,291 | | 0 |
| 1 | 1 | 1 | 20 | 2 | 67 | 79 | 1,243 | 3,286 | | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 102 | 22 | 102 | 44 | 1,487 | 1,922 | | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 45 | 7 | 120 | 105 | 2,509 | 4,061 | | 0 |
| 8 | 0 | 1 | 229 | 42 | 267 | 92 | 4,164 | 3,484 | | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 74 | 11 | 225 | 143 | 4,628 | 5,037 | | 0 |
| 13 | 0 | 1 | 456 | 82 | 346 | 163 | 6,934 | 4,052 | | 5 |
| 5 | 0 | 0 | 118 | 15 | 258 | 231 | 6,802 | 4,979 | | 0 |
| 12 | 1 | 0 | 309 | 53 | 210 | 148 | 5,346 | 2,283 | | 2 |
| 4 | 1 | 1 | 67 | 6 | 121 | 177 | 4,297 | 2,692 | | 1 |
| 6 | 1 | 0 | 258 | 40 | 152 | 191 | 5,025 | 1,276 | | 0 |
| 5 | 1 | 0 | 68 | 8 | 76 | 150 | 3,372 | 1,435 | | 0 |
| 50 | 2 | 3 | 1,424 | 262 | 1,248 | 687 | 24,983 | 19,704 | | 11 |
| 19 | 3 | 4 | 409 | 52 | 956 | 1,070 | 25,245 | 34,248 | | 3 |
| 69 | 5 | 7 | 1,833 | 314 | 2,204 | 1,757 | 50,228 | 53,952 | | 14 |

表5 胃がん検診胃X線検査(対策型) 性・年齢別総括表(職域)

| 年齢区分 | 性別 | 受診数 | 精検該当数 | 精検受診数 | 精検受診率 | 精未受診検数 | 精未把握検数 | 胃がん | 早期がん | 胃腺腫 | 胃腫粘膜下瘍 |
|-------|----|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-----|------|-----|--------|
| ～29 | 男 | 139 | 2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 95 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30～34 | 男 | 367 | 8 | 8 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 284 | 7 | 7 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35～39 | 男 | 1,529 | 27 | 22 | 81.5 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | 女 | 586 | 12 | 11 | 91.7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40～44 | 男 | 2,161 | 50 | 40 | 80.0 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 女 | 1,210 | 27 | 26 | 96.3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 45～49 | 男 | 2,109 | 74 | 61 | 82.4 | 2 | 11 | 1 | 1 | 0 | 10 |
| | 女 | 1,350 | 31 | 27 | 87.1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 50～54 | 男 | 2,017 | 82 | 60 | 73.2 | 11 | 11 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 女 | 1,390 | 40 | 37 | 92.5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 55～59 | 男 | 2,277 | 97 | 82 | 84.5 | 6 | 9 | 2 | 1 | 0 | 13 |
| | 女 | 1,233 | 41 | 41 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 13 |
| 60～64 | 男 | 1,801 | 113 | 86 | 76.1 | 13 | 14 | 2 | 1 | 0 | 20 |
| | 女 | 814 | 26 | 23 | 88.5 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 10 |
| 65～69 | 男 | 673 | 59 | 47 | 79.7 | 3 | 9 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| | 女 | 213 | 10 | 9 | 90.0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 70～74 | 男 | 174 | 27 | 22 | 81.5 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 女 | 38 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75～79 | 男 | 24 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 3 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80～ | 男 | 7 | 1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 2 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 男 | 13,278 | 541 | 432 | 79.9 | 44 | 65 | 6 | 4 | 1 | 67 |
| | 女 | 7,218 | 196 | 183 | 93.4 | 5 | 8 | 2 | 2 | 0 | 47 |
| 合計 | | 20,496 | 737 | 615 | 83.4 | 49 | 73 | 8 | 6 | 1 | 114 |

注1. 早期がんは胃がんの再掲

2. 2009年度より、未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

※ 当該年度内に経過観察予定であったが、検査前に胃X線検査を受けてしまった者を計上

2022年度

| 胃潰瘍 | 共存潰瘍 | 十二指腸潰瘍 | 胃潰瘍癒痕 | 共存潰瘍癒痕 | 十二指腸癒痕 | 胃ポリープ | その他 | 異常なし | 経胃受過X線観察した患者に※ |
|-----|------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|----------------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 11 | 127 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 92 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 29 | 334 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 21 | 261 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 23 | 2 | 159 | 1,332 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 48 | 534 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 10 | 5 | 32 | 4 | 319 | 1,776 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 16 | 123 | 1,059 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 7 | 3 | 39 | 8 | 376 | 1,650 | 0 |
| 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 7 | 20 | 160 | 1,150 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 25 | 5 | 62 | 12 | 455 | 1,430 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 17 | 16 | 230 | 1,111 | 0 |
| 1 | 1 | 1 | 38 | 9 | 87 | 16 | 635 | 1,459 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 2 | 4 | 17 | 26 | 286 | 884 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 39 | 13 | 64 | 17 | 665 | 953 | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 18 | 16 | 248 | 511 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 21 | 4 | 26 | 2 | 302 | 298 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 9 | 1 | 87 | 107 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 1 | 5 | 106 | 46 | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 22 | 15 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 5 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 3 | 1 | 3 | 147 | 41 | 339 | 67 | 3,081 | 9,411 | 2 |
| 0 | 1 | 1 | 17 | 6 | 76 | 99 | 1,229 | 5,727 | 0 |
| 3 | 2 | 4 | 164 | 47 | 415 | 166 | 4,310 | 15,138 | 2 |

胃がん検診胃X線検査(対策型)の診断精度

(1)性別、地域・職域別検診成績

2022年度

| | 性別 | 集受診 検数 (A) | 精該 当 検数 (B) | 要精 検 率 (B/A) | 精受診 検数 (C) | 精受診 検率 (C/B) | 精未 受診 検 数 (D) | 精未 把握 検 数 (E) | 発胃 がん 見数 (F) | 胃発 がん 率 (F/A) | 陽性 反応 適中 度 (F/B) |
|----|----|------------------|----------------------|-----------------------|------------------|--------------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------------|
| 地域 | 男 | 49,297 | 3,610 | 7.3% | 3,253 | 90.1% | 209 | 148 | 195 | 0.40% | 5.40% |
| | 女 | 62,702 | 2,470 | 3.9% | 2,346 | 95.0% | 71 | 53 | 58 | 0.09% | 2.35% |
| | 計 | 111,999 | 6,080 | 5.4% | 5,599 | 92.1% | 280 | 201 | 253 | 0.23% | 4.16% |
| 職域 | 男 | 13,278 | 541 | 4.1% | 432 | 79.9% | 44 | 65 | 6 | 0.05% | 1.11% |
| | 女 | 7,218 | 196 | 2.7% | 183 | 93.4% | 5 | 8 | 2 | 0.03% | 1.02% |
| | 計 | 20,496 | 737 | 3.6% | 615 | 83.5% | 49 | 73 | 8 | 0.04% | 1.09% |
| 総合 | 男 | 62,575 | 4,151 | 6.6% | 3,685 | 88.8% | 253 | 213 | 201 | 0.32% | 4.84% |
| | 女 | 69,920 | 2,666 | 3.8% | 2,529 | 94.9% | 76 | 61 | 60 | 0.09% | 2.25% |
| | 計 | 132,495 | 6,817 | 5.2% | 6,214 | 91.2% | 329 | 274 | 261 | 0.20% | 3.83% |

(2)受診歴別の胃がん発見率

2022年度

| | 初回受診者 | 非初回受診者 | 計 |
|-----------------------|--------------------|---------------------|----------------------|
| 受診者数(a) (初回/非初回割合) | 21,128 (15.95%) | 111,367 (84.05%) | 132,495 (100.00%) |
| 精検該当数(b) 率(b/a) | 1,581 (7.48%) | 5,236 (4.70%) | 6,817 (5.15%) |
| 発見胃がん数(c) 率(c/a) | 67 (0.32%) | 194 (0.17%) | 261 (0.20%) |

注. 初回受診者とは3年以内の受診歴を有さない者

(3) 受診歴別の胃がん進行度

2022年度

| | 初回受診者 | 非初回受診者 | 計 |
|-------------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 発見胃がん数 (a) | 67 | 194 | 261 |
| 早期がん(b) 率(b/a) | 52 (77.61%) | 158 (81.44%) | 210 (80.46%) |
| 進行がん(c) 率(c/a) | 15 (22.39%) | 36 (18.56%) | 51 (19.54%) |

注1. 初回受診者とは3年以内の受診歴を有さない者

2. 内視鏡的切除術 130 例

(4) 食道がん（壁深達度別） ※食道癌取扱い規約第11版に基づく

2022年度

| | 計 | T1a | T1b | T2以深 | その他 |
|---------|-----------------|----------------|---------------|------|----------------|
| 発見食道がん数 | 37 (100.00%) | 18 (48.65%) | 4 (10.81%) | 0 | 15 (40.54%) |

注1. その他 15 例は、化学療法及び放射線療法 8 例、化学療法 2 例、放射線療法 4 例、無治療 1 例

2. 内視鏡的切除術 14 例

(5) その他の悪性腫瘍 3 例

| | | |
|------|--------|-----|
| (内訳) | 悪性リンパ腫 | 2 例 |
| | 咽頭がん | 1 例 |

追跡調査による発見胃がんの内訳

胃がん検診胃X線検査(対策型)

※胃癌取扱い規約第15版に基づく

(1)性・年齢別

| | | 2022年度 | | | | | | | | | | | |
|----|---|--------------|---------------|--------|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | 計 | ～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～ | |
| 地域 | 男 | 受診数 | 49,297 | 1,081 | 1,770 | 2,166 | 2,011 | 2,096 | 3,739 | 8,435 | 12,314 | 8,558 | 7,127 |
| | | 発見がん | 195 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 24 | 67 | 57 | 42 |
| | | 発見率 | 0.40% | | | | 0.05% | 0.05% | 0.08% | 0.28% | 0.54% | 0.67% | 0.59% |
| | | 早期がん 早期割合 | 155 79.49% | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 0 100.00% | 1 33.33% | 19 79.17% | 50 74.63% | 49 85.96% | 35 83.33% |
| | 女 | 受診数 | 62,702 | 2,352 | 4,100 | 4,658 | 4,412 | 4,736 | 6,914 | 10,232 | 12,584 | 7,492 | 5,222 |
| | | 発見がん | 58 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 6 | 11 | 15 | 13 | 10 |
| | | 発見率 | 0.09% | | | 0.02% | 0.02% | 0.02% | 0.09% | 0.11% | 0.12% | 0.17% | 0.19% |
| | | 早期がん 早期割合 | 49 84.48% | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 100.00% | 4 66.67% | 10 90.91% | 14 93.33% | 10 76.92% | 8 80.00% |
| | 計 | 受診数 | 111,999 | 3,433 | 5,870 | 6,824 | 6,423 | 6,832 | 10,653 | 18,667 | 24,898 | 16,050 | 12,349 |
| | | 発見がん | 253 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 9 | 35 | 82 | 70 | 52 |
| | | 発見率 | 0.23% | | | 0.01% | 0.03% | 0.03% | 0.08% | 0.19% | 0.33% | 0.44% | 0.42% |
| | | 早期がん 早期割合 | 204 80.63% | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 2 100.00% | 1 50.00% | 5 55.56% | 29 82.86% | 64 78.05% | 59 84.29% | 43 82.69% |
| 職域 | 男 | 受診数 | 13,278 | 2,035 | 2,161 | 2,109 | 2,017 | 2,277 | 1,801 | 673 | 174 | 24 | 7 |
| | | 発見がん | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 発見率 | 0.05% | | | 0.05% | | 0.09% | 0.11% | 0.15% | | | |
| | | 早期がん 早期割合 | 4 66.67% | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 0 0 | 1 50.00% | 1 50.00% | 1 100.00% | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 女 | 受診数 | 7,218 | 965 | 1,210 | 1,350 | 1,390 | 1,233 | 814 | 213 | 38 | 3 | 2 |
| | | 発見がん | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 発見率 | 0.03% | | | | | 0.08% | 0.12% | | | | |
| | | 早期がん 早期割合 | 2 100.00% | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 1 100.00% | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| | 計 | 受診数 | 20,496 | 3,000 | 3,371 | 3,459 | 3,407 | 3,510 | 2,615 | 886 | 212 | 27 | 9 |
| | | 発見がん | 8 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | 発見率 | 0.04% | | | 0.03% | | 0.09% | 0.11% | 0.11% | | | |
| | | 早期がん 早期割合 | 6 75.00% | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 0 0 | 2 66.67% | 2 66.67% | 1 100.00% | 0 0 | 0 0 | 0 0 |
| 総合 | 男 | 受診数 | 62,575 | 3,116 | 3,931 | 4,275 | 4,028 | 4,373 | 5,540 | 9,108 | 12,488 | 8,582 | 7,134 |
| | | 発見がん | 201 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 5 | 25 | 67 | 57 | 42 |
| | | 発見率 | 0.32% | | | 0.02% | 0.02% | 0.07% | 0.09% | 0.27% | 0.54% | 0.66% | 0.59% |
| | | 早期がん 早期割合 | 159 79.10% | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 1 100.00% | 1 33.33% | 2 40.00% | 20 80.00% | 50 74.63% | 49 85.96% | 35 83.33% |
| | 女 | 受診数 | 69,920 | 3,317 | 5,310 | 6,008 | 5,802 | 5,969 | 7,728 | 10,445 | 12,622 | 7,495 | 5,224 |
| | | 発見がん | 60 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 7 | 11 | 15 | 13 | 10 |
| | | 発見率 | 0.09% | | | 0.02% | 0.02% | 0.03% | 0.09% | 0.11% | 0.12% | 0.17% | 0.19% |
| | | 早期がん 早期割合 | 51 85.00% | 0 0 | 0 0 | 1 100.00% | 1 100.00% | 2 100.00% | 5 71.43% | 10 90.91% | 14 93.33% | 10 76.92% | 8 80.00% |
| | 計 | 受診数 | 132,495 | 6,433 | 9,241 | 10,283 | 9,830 | 10,342 | 13,268 | 19,553 | 25,110 | 16,077 | 12,358 |
| | | 発見がん | 261 | 0 | 0 | 2 | 2 | 5 | 12 | 36 | 82 | 70 | 52 |
| | | 発見率 | 0.20% | | | 0.02% | 0.02% | 0.05% | 0.09% | 0.18% | 0.33% | 0.44% | 0.42% |
| | | 早期がん 早期割合 | 210 80.46% | 0 0 | 0 0 | 2 100.00% | 2 100.00% | 3 60.00% | 7 58.33% | 30 83.33% | 64 78.05% | 59 84.29% | 43 82.69% |

(2)部位別

| | | 2022年度 | | | | | | |
|-----|----------------|--------------|---------------|--------------|------------|------------|------------|------------|
| | 計 | U | M | L | UM | ML | UML | その他 |
| 地 域 | 253 100.00% | 38 15.02% | 133 52.57% | 74 29.25% | 2 0.79% | 2 0.79% | 1 0.40% | 3 1.18% |
| 職 域 | 8 100.00% | 0 | 6 75.00% | 2 25.00% | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総 合 | 261 100.00% | 38 14.56% | 139 53.26% | 76 29.12% | 2 0.77% | 2 0.77% | 1 0.38% | 3 1.14% |

注1. その他は、残胃癌

(3)肉眼型別

| | | 2022年度 | | | | | | |
|----------------|---------------|-------------|--------------|-------------|---------------|-------------|------------|-----|
| 総 合 | 早期がん | I | II a | II b | II c | II a+II c | II c+III | その他 |
| | 割合 | | | | | II c+II a | III+II c | |
| 261 100.00% | 210 80.46% | 21 8.05% | 49 18.77% | 6 2.30% | 104 39.85% | 26 9.96% | 4 1.53% | 0 |
| | 進行がん | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 早期類似 | |
| | 51 19.54% | 3 1.15% | 12 4.60% | 14 5.36% | 8 3.06% | 9 3.45% | 5 1.92% | |

(4)長径別 (mm)

| | | 2022年度 | | | | | | | | |
|-----|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| | 計 | ～10 | 11～20 | 21～30 | 31～40 | 41～50 | 51～60 | 61～70 | 71～ | その他 |
| 総 合 | 261 100.00% | 47 18.01% | 81 31.03% | 59 22.61% | 35 13.41% | 17 6.51% | 7 2.68% | 5 1.92% | 9 3.45% | 1 0.38% |

注1. その他 1 例は、大きさ記載なしのため不明

(5)深達度別

| | | 2022年度 | | | | | | |
|-----|----------------|---------------|--------------|-------------|-------------|------------|-----|------------|
| | 計 | T1a | T1b | T2 | T3 | T4a | T4b | その他 |
| 総 合 | 261 100.00% | 140 53.64% | 67 25.67% | 16 6.13% | 22 8.43% | 7 2.68% | 0 | 9 3.45% |

注1. T1aのうち治療時病変消失 2 例

注2. その他 9 例は、他がん死亡 1 例、化学療法 3 例、治療拒否 4 例、未治療 1 例

表6 胃がん検診胃X線検査(対策型) 市町村別成績

| 保 健 所 | 市 町 村 | 40人 歳 以 上 の 口 の 数 (A) | 受 診 数 (B) | 受 診 率 (B/A) | 40歳 以 上 の 数 (C) | 40歳 以 上 の 率 (C/A) | 精 密 検 査 | | | | | |
|--------------------|---------------|---|--------------------|----------------------|--------------------------------|----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|
| | | | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 数 | 未 把 握 数 |
| 仙 南 | 白 石 市 | 22,347 | 2,076 | 9.3 | 2,076 | 9.3 | 115 | 5.5 | 103 | 89.6 | 4 | 8 |
| | 蔵 王 町 | 7,945 | 1,063 | 13.4 | 1,033 | 13.0 | 64 | 6.0 | 60 | 93.8 | 3 | 1 |
| | 七ヶ宿 町 | 899 | 241 | 26.8 | 218 | 24.2 | 12 | 5.0 | 10 | 83.3 | 2 | 0 |
| | 角 田 市 | 18,882 | 2,330 | 12.3 | 2,330 | 12.3 | 128 | 5.5 | 124 | 96.9 | 3 | 1 |
| | 丸 森 町 | 8,977 | 1,138 | 12.7 | 1,138 | 12.7 | 55 | 4.8 | 53 | 96.4 | 2 | 0 |
| | 大 河 原 町 | 14,523 | 1,644 | 11.3 | 1,644 | 11.3 | 93 | 5.7 | 85 | 91.4 | 2 | 6 |
| | 柴 田 町 | 23,306 | 2,714 | 11.6 | 2,714 | 11.6 | 152 | 5.6 | 146 | 96.1 | 6 | 0 |
| | 村 田 町 | 7,110 | 733 | 10.3 | 733 | 10.3 | 40 | 5.5 | 40 | 100.0 | 0 | 0 |
| 塩岩 沼 支 釜所 | 川 崎 町 | 5,977 | 787 | 13.2 | 787 | 13.2 | 55 | 7.0 | 52 | 94.5 | 2 | 1 |
| | 名 取 市 | 46,742 | 4,781 | 10.2 | 4,781 | 10.2 | 226 | 4.7 | 212 | 93.8 | 12 | 2 |
| | 岩 沼 市 | 26,505 | 2,732 | 10.3 | 2,732 | 10.3 | 149 | 5.5 | 141 | 94.6 | 7 | 1 |
| 塩 釜 | 亘 理 町 | 21,859 | 2,307 | 10.6 | 2,189 | 10.0 | 126 | 5.5 | 118 | 93.7 | 3 | 5 |
| | 山 元 町 | 8,437 | 1,124 | 13.3 | 1,090 | 12.9 | 73 | 6.5 | 66 | 90.4 | 5 | 2 |
| | 塩 釜 市 | 35,506 | 3,714 | 10.5 | 3,512 | 9.9 | 191 | 5.1 | 169 | 88.5 | 21 | 1 |
| | 多 賀 城 市 | 36,889 | 3,281 | 8.9 | 3,151 | 8.5 | 160 | 4.9 | 137 | 85.6 | 14 | 9 |
| | 松 島 町 | 9,595 | 1,051 | 11.0 | 1,006 | 10.5 | 60 | 5.7 | 53 | 88.3 | 4 | 3 |
| 石 巻 | 七ヶ浜 町 | 12,243 | 1,112 | 9.1 | 1,080 | 8.8 | 57 | 5.1 | 42 | 73.7 | 2 | 13 |
| | 利 府 町 | 21,685 | 2,866 | 13.2 | 2,778 | 12.8 | 167 | 5.8 | 152 | 91.0 | 10 | 5 |
| | 石 巻 市 (石 巻) | 63,516 | 5,996 | 9.4 | 5,708 | 9.0 | 372 | 6.2 | 345 | 92.7 | 2 | 25 |
| | (河 北) | 7,038 | 936 | 13.3 | 893 | 12.7 | 44 | 4.7 | 41 | 93.2 | 2 | 1 |
| | (雄 勝) | 898 | 127 | 14.1 | 124 | 13.8 | 7 | 5.5 | 7 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (河 南) | 12,272 | 1,101 | 9.0 | 1,044 | 8.5 | 49 | 4.5 | 48 | 98.0 | 1 | 0 |
| | (桃 生) | 4,684 | 568 | 12.1 | 550 | 11.7 | 41 | 7.2 | 40 | 97.6 | 1 | 0 |
| | (北 上) | 1,588 | 176 | 11.1 | 172 | 10.8 | 8 | 4.5 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| 大 崎 | (牡 鹿) | 1,703 | 221 | 13.0 | 214 | 12.6 | 15 | 6.8 | 13 | 86.7 | 0 | 2 |
| | 東 松 島 市 | 24,608 | 2,524 | 10.3 | 2,524 | 10.3 | 133 | 5.3 | 128 | 96.2 | 2 | 3 |
| | 女 川 町 | 4,045 | 567 | 14.0 | 567 | 14.0 | 29 | 5.1 | 26 | 89.7 | 2 | 1 |
| | 大 崎 市 (古 川) | 46,037 | 4,289 | 9.3 | 4,276 | 9.3 | 238 | 5.5 | 208 | 87.4 | 10 | 20 |
| | (松 山) | 4,006 | 313 | 7.8 | 312 | 7.8 | 21 | 6.7 | 20 | 95.2 | 0 | 1 |
| | (三 本 木) | 4,963 | 467 | 9.4 | 467 | 9.4 | 27 | 5.8 | 23 | 85.2 | 1 | 3 |
| | (鹿 島 台) | 7,709 | 780 | 10.1 | 777 | 10.1 | 50 | 6.4 | 41 | 82.0 | 6 | 3 |
| | (岩 出 山) | 7,264 | 794 | 10.9 | 794 | 10.9 | 36 | 4.5 | 33 | 91.7 | 1 | 2 |
| | (鳴 子) | 4,172 | 500 | 12.0 | 499 | 12.0 | 34 | 6.8 | 31 | 91.2 | 3 | 0 |
| | (田 尻) | 7,090 | 805 | 11.4 | 803 | 11.3 | 40 | 5.0 | 36 | 90.0 | 0 | 4 |
| | 美 里 町 (小 牛 田) | 12,297 | 1,225 | 10.0 | 1,181 | 9.6 | 68 | 5.6 | 60 | 88.2 | 8 | 0 |
| | (南 郷) | 3,810 | 366 | 9.6 | 363 | 9.5 | 25 | 6.8 | 23 | 92.0 | 1 | 1 |
| 涌 谷 町 | 10,581 | 1,094 | 10.3 | 1,094 | 10.3 | 55 | 5.0 | 51 | 92.7 | 2 | 2 | |
| 加 美 町 | 15,140 | 1,747 | 11.5 | 1,661 | 11.0 | 105 | 6.0 | 98 | 93.3 | 5 | 2 | |
| 色 麻 町 | 4,336 | 469 | 10.8 | 449 | 10.4 | 29 | 6.2 | 28 | 96.6 | 1 | 0 | |

| 胃 が ん | 胃 腺 腫 | 胃腫 粘 膜 下瘍 | 胃 潰 瘍 | 共 存 潰 瘍 | 十 潰 二 指 腸瘍 | 胃 潰 瘍 癒 痕 | 共 癒 存 潰 瘍痕 | 十 潰 二 瘍 指癒 腸痕 | 胃 ポ リ ー プ | そ の 他 | 異 常 な し | 経 胃 受 過 X 診 観 線 し 察 検 た 中 査 者 に を ※ |
|-------------|-------------|--------------------|-------------|------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|
| 7 | 0 | 16 | 1 | 0 | 0 | 33 | 4 | 50 | 28 | 1,033 | 892 | 0 |
| 5 | 0 | 14 | 0 | 0 | 0 | 31 | 7 | 31 | 18 | 494 | 459 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 1 | 6 | 1 | 123 | 100 | 0 |
| 5 | 2 | 20 | 1 | 0 | 0 | 43 | 8 | 48 | 23 | 1,112 | 1,064 | 0 |
| 1 | 1 | 16 | 2 | 1 | 0 | 22 | 7 | 32 | 16 | 568 | 469 | 1 |
| 4 | 0 | 11 | 1 | 0 | 0 | 33 | 3 | 35 | 30 | 726 | 793 | 0 |
| 9 | 3 | 24 | 1 | 0 | 0 | 49 | 13 | 70 | 54 | 1,324 | 1,161 | 0 |
| 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 17 | 8 | 24 | 19 | 335 | 323 | 0 |
| 3 | 3 | 8 | 1 | 0 | 0 | 31 | 2 | 22 | 19 | 386 | 309 | 0 |
| 13 | 4 | 41 | 1 | 0 | 1 | 70 | 18 | 86 | 67 | 2,142 | 2,323 | 1 |
| 7 | 0 | 25 | 3 | 0 | 0 | 40 | 7 | 65 | 40 | 1,179 | 1,358 | 0 |
| 5 | 1 | 17 | 1 | 0 | 0 | 30 | 9 | 51 | 28 | 959 | 1,196 | 2 |
| 2 | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 26 | 7 | 26 | 12 | 513 | 519 | 0 |
| 6 | 2 | 19 | 2 | 0 | 0 | 58 | 8 | 57 | 62 | 1,725 | 1,753 | 0 |
| 11 | 2 | 22 | 1 | 0 | 1 | 52 | 6 | 58 | 42 | 1,456 | 1,607 | 0 |
| 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 10 | 4 | 21 | 14 | 496 | 494 | 0 |
| 1 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0 | 21 | 0 | 7 | 14 | 581 | 468 | 0 |
| 4 | 2 | 20 | 5 | 0 | 0 | 47 | 3 | 58 | 31 | 1,261 | 1,420 | 0 |
| 17 | 0 | 33 | 7 | 1 | 1 | 65 | 3 | 99 | 114 | 2,886 | 2,743 | 0 |
| 3 | 0 | 6 | 0 | 0 | 1 | 24 | 3 | 15 | 13 | 453 | 414 | 1 |
| 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 76 | 45 | 0 |
| 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 21 | 1 | 15 | 20 | 504 | 530 | 0 |
| 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 10 | 1 | 7 | 7 | 279 | 257 | 0 |
| 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 5 | 96 | 64 | 0 |
| 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 | 2 | 4 | 3 | 111 | 87 | 1 |
| 5 | 0 | 27 | 5 | 0 | 0 | 37 | 8 | 36 | 25 | 1,341 | 1,035 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 1 | 5 | 3 | 295 | 240 | 0 |
| 13 | 0 | 30 | 3 | 1 | 0 | 63 | 12 | 88 | 86 | 2,009 | 1,954 | 0 |
| 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 6 | 1 | 8 | 4 | 131 | 158 | 0 |
| 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 12 | 2 | 11 | 4 | 217 | 212 | 0 |
| 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 13 | 5 | 12 | 18 | 390 | 327 | 0 |
| 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 14 | 2 | 13 | 13 | 456 | 287 | 0 |
| 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 12 | 1 | 7 | 9 | 281 | 180 | 0 |
| 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 15 | 5 | 12 | 6 | 396 | 363 | 0 |
| 7 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 11 | 5 | 30 | 14 | 577 | 564 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 8 | 6 | 179 | 162 | 0 |
| 2 | 0 | 7 | 1 | 0 | 0 | 21 | 4 | 24 | 18 | 552 | 460 | 1 |
| 7 | 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | 37 | 5 | 30 | 19 | 863 | 769 | 0 |
| 4 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 12 | 2 | 8 | 12 | 244 | 181 | 0 |

| 保 健 所 | 市 町 村 | 40人 歳 以上 の口 の口 (A) | 受 診 数 (B) | 受 診 率 (B/A) | 40歳 以上 の診 上の数 (C) | 40歳 以上 の診 上の率 (C/A) | 精 密 検 査 | | | | | |
|----------------------------|-------------|-----------------------------------|--------------------|----------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|
| | | | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 数 | 未 把 握 数 |
| 栗 原 | 栗原市(築館) | 8,668 | 1,064 | 12.3 | 1,025 | 11.8 | 68 | 6.4 | 51 | 75.0 | 16 | 1 |
| | (一迫) | 5,004 | 547 | 10.9 | 529 | 10.6 | 29 | 5.3 | 28 | 96.6 | 1 | 0 |
| | (高清水) | 2,421 | 239 | 9.9 | 233 | 9.6 | 12 | 5.0 | 12 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (瀬峰) | 2,892 | 354 | 12.2 | 345 | 11.9 | 21 | 5.9 | 20 | 95.2 | 0 | 1 |
| | (志波姫) | 4,379 | 644 | 14.7 | 625 | 14.3 | 34 | 5.3 | 27 | 79.4 | 6 | 1 |
| | (花山) | 745 | 85 | 11.4 | 85 | 11.4 | 7 | 8.2 | 6 | 85.7 | 0 | 1 |
| | (若柳) | 7,907 | 1,024 | 13.0 | 987 | 12.5 | 65 | 6.3 | 55 | 84.6 | 6 | 4 |
| | (栗駒) | 7,393 | 760 | 10.3 | 745 | 10.1 | 51 | 6.7 | 48 | 94.1 | 2 | 1 |
| | (鶯沢) | 1,594 | 177 | 11.1 | 172 | 10.8 | 11 | 6.2 | 9 | 81.8 | 1 | 1 |
| | (金成) | 4,500 | 559 | 12.4 | 538 | 12.0 | 37 | 6.6 | 33 | 89.2 | 1 | 3 |
| 登 米 | 登米市(登米) | 3,251 | 652 | 20.1 | 636 | 19.6 | 27 | 4.1 | 27 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (一迫) | 12,681 | 2,656 | 20.9 | 2,570 | 20.3 | 142 | 5.3 | 129 | 90.8 | 10 | 3 |
| | (東和) | 4,286 | 862 | 20.1 | 843 | 19.7 | 50 | 5.8 | 49 | 98.0 | 0 | 1 |
| | (中田) | 10,083 | 2,384 | 23.6 | 2,326 | 23.1 | 129 | 5.4 | 119 | 92.2 | 10 | 0 |
| | (豊里) | 4,151 | 727 | 17.5 | 695 | 16.7 | 39 | 5.4 | 35 | 89.7 | 4 | 0 |
| | (米山) | 5,977 | 1,140 | 19.1 | 1,101 | 18.4 | 68 | 6.0 | 66 | 97.1 | 1 | 1 |
| | (南方) | 5,435 | 1,069 | 19.7 | 1,034 | 19.0 | 56 | 5.2 | 49 | 87.5 | 0 | 7 |
| | (石越) | 3,241 | 712 | 22.0 | 695 | 21.4 | 26 | 3.7 | 25 | 96.2 | 1 | 0 |
| 気 仙 沼 | 津山 | 2,240 | 373 | 16.7 | 366 | 16.3 | 22 | 5.9 | 22 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 気仙沼市(気仙沼) | 32,125 | 2,766 | 8.6 | 2,704 | 8.4 | 143 | 5.2 | 138 | 96.5 | 3 | 2 |
| | (唐桑) | 4,333 | 486 | 11.2 | 481 | 11.1 | 23 | 4.7 | 22 | 95.7 | 1 | 0 |
| | (本吉) | 6,618 | 705 | 10.7 | 700 | 10.6 | 35 | 5.0 | 31 | 88.6 | 3 | 1 |
| 塩 黒 川 支 釜 所 | 南三陸町 | 8,608 | 783 | 9.1 | 753 | 8.7 | 66 | 8.4 | 65 | 98.5 | 0 | 1 |
| | 大和町 | 16,202 | 1,497 | 9.2 | 1,408 | 8.7 | 81 | 5.4 | 70 | 86.4 | 8 | 3 |
| | 大郷町 | 5,329 | 623 | 11.7 | 603 | 11.3 | 31 | 5.0 | 30 | 96.8 | 1 | 0 |
| | 富谷市 | 30,908 | 3,631 | 11.7 | 3,397 | 11.0 | 199 | 5.5 | 180 | 90.5 | 13 | 6 |
| 小 計 | 大衡村 | 3,458 | 182 | 5.3 | 165 | 4.8 | 10 | 5.5 | 8 | 80.0 | 1 | 1 |
| 小計 | | 781,613 | 87,460 | 11.2 | 85,225 | 10.9 | 4,831 | 5.5 | 4,425 | 91.6 | 239 | 167 |
| 仙 台 市 | 青葉区 | 129,068 | 4,268 | 3.3 | 3,991 | 3.1 | 189 | 4.4 | 185 | 97.9 | 2 | 2 |
| | 青葉区宮城総合支所 | 45,284 | 2,141 | 4.7 | 2,047 | 4.5 | 107 | 5.0 | 96 | 89.7 | 9 | 2 |
| | 宮城野区 | 108,475 | 3,869 | 3.6 | 3,655 | 3.4 | 210 | 5.4 | 193 | 91.9 | 10 | 7 |
| | 若林区 | 79,668 | 2,867 | 3.6 | 2,712 | 3.4 | 133 | 4.6 | 124 | 93.2 | 2 | 7 |
| | 太白区 | 137,487 | 5,511 | 4.0 | 5,274 | 3.8 | 309 | 5.6 | 291 | 94.2 | 9 | 9 |
| | 太白区秋保総合支所 | 2,652 | 146 | 5.5 | 140 | 5.3 | 8 | 5.5 | 7 | 87.5 | 1 | 0 |
| | 泉区 | 133,081 | 5,737 | 4.3 | 5,522 | 4.1 | 293 | 5.1 | 278 | 94.9 | 8 | 7 |
| 仙台市計 | | 635,715 | 24,539 | 3.9 | 23,341 | 3.7 | 1,249 | 5.1 | 1,174 | 94.0 | 41 | 34 |
| 地域総計 | | 1,417,328 | 111,999 | 7.9 | 108,566 | 7.7 | 6,080 | 5.4 | 5,599 | 92.1 | 280 | 201 |

注1. 40歳以上の人口は住民基本台帳人口(2023年)による

2. 2009年度より、未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

※ 当該年度内に胃内視鏡検査で経過観察予定であったが、検査前に胃X線検査を受けてしまった者を計上

2022年度

| 胃 が ん | 胃 腺 腫 | 胃腫 粘 膜 下瘍 | 胃 潰 瘍 | 共 存 潰 瘍 | 十 潰 二 指 腸瘍 | 胃 潰 瘍 癒 痕 | 共 癒 存 潰 瘍痕 | 十 潰 二 指 腸瘍 | 胃 ポ リ ー プ | そ の 他 | 異 常 な し | 経 胃 受 過 X 診 観 線 し 察 検 た 中 查 者 に を ※ |
|-------------|-------------|--------------------|-------------|------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-------------|------------------|--|
| 2 | 0 | 6 | 3 | 0 | 0 | 21 | 5 | 33 | 14 | 500 | 463 | 0 |
| 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 11 | 1 | 12 | 7 | 297 | 214 | 0 |
| 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 4 | 4 | 132 | 91 | 1 |
| 1 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 9 | 3 | 9 | 3 | 184 | 139 | 0 |
| 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 16 | 1 | 10 | 10 | 335 | 262 | 0 |
| 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 41 | 38 | 0 |
| 3 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 14 | 6 | 26 | 12 | 514 | 430 | 1 |
| 6 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 17 | 1 | 11 | 10 | 447 | 262 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 109 | 61 | 0 |
| 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 16 | 7 | 282 | 233 | 1 |
| 1 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 19 | 3 | 17 | 12 | 274 | 319 | 0 |
| 3 | 3 | 18 | 2 | 0 | 0 | 55 | 11 | 68 | 38 | 1,214 | 1,231 | 0 |
| 3 | 0 | 5 | 1 | 0 | 1 | 19 | 5 | 20 | 11 | 397 | 399 | 0 |
| 4 | 2 | 25 | 1 | 0 | 0 | 40 | 4 | 58 | 44 | 1,078 | 1,118 | 0 |
| 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 20 | 2 | 12 | 6 | 316 | 363 | 0 |
| 1 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 30 | 1 | 23 | 20 | 549 | 508 | 0 |
| 3 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 19 | 2 | 24 | 18 | 537 | 453 | 0 |
| 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 13 | 2 | 21 | 15 | 350 | 305 | 0 |
| 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 7 | 2 | 11 | 4 | 159 | 185 | 0 |
| 9 | 0 | 13 | 1 | 0 | 0 | 27 | 0 | 40 | 63 | 1,439 | 1,169 | 0 |
| 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 7 | 7 | 248 | 215 | 0 |
| 3 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 11 | 0 | 9 | 13 | 373 | 288 | 0 |
| 1 | 0 | 10 | 1 | 0 | 0 | 19 | 1 | 21 | 21 | 382 | 326 | 0 |
| 2 | 0 | 6 | 1 | 0 | 0 | 19 | 1 | 28 | 24 | 673 | 732 | 0 |
| 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 9 | 1 | 13 | 10 | 326 | 257 | 0 |
| 8 | 1 | 32 | 2 | 0 | 0 | 58 | 8 | 78 | 49 | 1,478 | 1,897 | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 83 | 93 | 0 |
| 217 | 37 | 622 | 56 | 4 | 5 | 1,506 | 239 | 1,759 | 1,341 | 41,466 | 39,791 | 11 |
| 3 | 1 | 36 | 3 | 0 | 1 | 56 | 12 | 64 | 57 | 1,372 | 2,658 | 1 |
| 2 | 1 | 23 | 3 | 0 | 0 | 27 | 8 | 33 | 30 | 777 | 1,226 | 0 |
| 12 | 0 | 30 | 2 | 0 | 0 | 44 | 15 | 65 | 74 | 1,362 | 2,248 | 0 |
| 5 | 1 | 22 | 2 | 0 | 1 | 47 | 9 | 47 | 52 | 1,079 | 1,592 | 1 |
| 7 | 2 | 49 | 0 | 0 | 0 | 83 | 21 | 107 | 111 | 2,065 | 3,048 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 2 | 5 | 64 | 70 | 0 |
| 7 | 0 | 58 | 3 | 1 | 0 | 67 | 9 | 127 | 87 | 2,043 | 3,319 | 1 |
| 36 | 5 | 218 | 13 | 1 | 2 | 327 | 75 | 445 | 416 | 8,762 | 14,161 | 3 |
| 253 | 42 | 840 | 69 | 5 | 7 | 1,833 | 314 | 2,204 | 1,757 | 50,228 | 53,952 | 14 |

表7 胃がん検診胃内視鏡検査(対策型) 性・年齢別総括表

| 年齢区分 | 性別 | 50歳以上の人口 (A) | 申込者数 (B) | 受診者数 (C) | 50歳以上の受診率 (C/A) | 申込者の受診率 (C/B) | 要精密検査者数 | 要精密検査者 | | |
|-------|----|-----------------|-------------|-------------|--------------------|------------------|---------|-------------------|--|---------------------------------------|
| | | | | | | | | 検診時 生検 受診者数 | (再掲) 検診時 生検受診 のうち 要再検査 者数 | 検診時 生検 未受診 のうち 要再検査 者数 |
| 50～54 | 男 | 41,399 | 591 | 207 | 0.5 | 35.0 | 9 | 9 | 0 | 0 |
| | 女 | 40,694 | 1,662 | 671 | 1.6 | 40.4 | 22 | 19 | 1 | 3 |
| | 計 | 82,093 | 2,253 | 878 | 1.1 | 39.0 | 31 | 28 | 1 | 3 |
| 55～59 | 男 | 33,722 | 538 | 225 | 0.7 | 41.8 | 6 | 6 | 0 | 0 |
| | 女 | 34,230 | 1,452 | 674 | 2.0 | 46.4 | 18 | 18 | 0 | 0 |
| | 計 | 67,952 | 1,990 | 899 | 1.3 | 45.2 | 24 | 24 | 0 | 0 |
| 60～64 | 男 | 29,936 | 704 | 343 | 1.1 | 48.7 | 19 | 19 | 1 | 0 |
| | 女 | 31,591 | 1,741 | 921 | 2.9 | 52.9 | 37 | 34 | 1 | 3 |
| | 計 | 61,527 | 2,445 | 1,264 | 2.1 | 51.7 | 56 | 53 | 2 | 3 |
| 65～69 | 男 | 28,644 | 1,509 | 921 | 3.2 | 61.0 | 50 | 46 | 0 | 4 |
| | 女 | 31,586 | 2,566 | 1,426 | 4.5 | 55.6 | 55 | 52 | 1 | 3 |
| | 計 | 60,230 | 4,075 | 2,347 | 3.9 | 57.6 | 105 | 98 | 1 | 7 |
| 70～74 | 男 | 32,451 | 2,617 | 1,722 | 5.3 | 65.8 | 123 | 115 | 5 | 8 |
| | 女 | 37,797 | 3,692 | 2,205 | 5.8 | 59.7 | 99 | 93 | 2 | 6 |
| | 計 | 70,248 | 6,309 | 3,927 | 5.6 | 62.2 | 222 | 208 | 7 | 14 |
| 75～79 | 男 | 22,904 | 2,406 | 1,495 | 6.5 | 62.1 | 115 | 104 | 12 | 11 |
| | 女 | 28,223 | 2,877 | 1,539 | 5.5 | 53.5 | 74 | 70 | 3 | 4 |
| | 計 | 51,127 | 5,283 | 3,034 | 5.9 | 57.4 | 189 | 174 | 15 | 15 |
| 80～ | 男 | 30,868 | 2,339 | 1,312 | 4.3 | 56.1 | 102 | 93 | 4 | 9 |
| | 女 | 53,778 | 2,530 | 1,169 | 2.2 | 46.2 | 66 | 64 | 3 | 2 |
| | 計 | 84,646 | 4,869 | 2,481 | 2.9 | 51.0 | 168 | 157 | 7 | 11 |
| 計 | 男 | 219,924 | 10,704 | 6,225 | 2.8 | 58.2 | 424 | 392 | 22 | 32 |
| | 女 | 257,899 | 16,520 | 8,605 | 3.3 | 52.1 | 371 | 350 | 11 | 21 |
| | 計 | 477,823 | 27,224 | 14,830 | 3.1 | 54.5 | 795 | 742 | 33 | 53 |

注1. 早期がんは胃がんの再掲

2. 粘膜内がんは早期がんの再掲

3. 申込者の対象年齢は50歳以上

4. 未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

5. 検診時、生検未受診者のうち要再検査となった者で、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

6. 検診時、生検受診者のうち要再検査となった者で、未受診・未把握の場合は未確定に計上

| 精密検査 受診者数 | 要精密検査受診の有無別人数 | | | | | | | | | |
|--------------|-------------------|--------------------------------|----------------------------|----|------------------------------|---|----------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| | 精密検査（生検または再検査）受診者 | | | | | | | 検診時 生検 未受診 のうち 再検査 未受診 | 検診時 生検 未受診 のうち 再検査 未把握 | |
| | 異常 認めず | 異常を認める | | | | | 胃がんの 疑いの ある者 または 未確定 | | | 胃がん以外 の疾患で あった者 （転移性 の胃がん を含む） |
| | | 胃がんで あった者 （転移性を 含まない） | （再掲） 胃がん のうち 早期がん | | （再掲） 早期がん のうち 粘膜内がん | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 9 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | |
| 21 | 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 13 | 1 | 0 | |
| 30 | 9 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 20 | 1 | 0 | |
| 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | |
| 18 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | |
| 24 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | |
| 19 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 17 | 0 | 0 | |
| 37 | 7 | 5 | 4 | 3 | 0 | 0 | 25 | 0 | 0 | |
| 56 | 7 | 7 | 6 | 4 | 0 | 0 | 42 | 0 | 0 | |
| 50 | 4 | 8 | 7 | 6 | 0 | 0 | 38 | 0 | 0 | |
| 54 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 48 | 1 | 0 | |
| 104 | 8 | 10 | 9 | 7 | 0 | 0 | 86 | 1 | 0 | |
| 123 | 7 | 19 | 18 | 14 | 0 | 0 | 97 | 0 | 0 | |
| 99 | 6 | 5 | 5 | 2 | 0 | 0 | 88 | 0 | 0 | |
| 222 | 13 | 24 | 23 | 16 | 0 | 0 | 185 | 0 | 0 | |
| 115 | 4 | 19 | 17 | 16 | 0 | 0 | 92 | 0 | 0 | |
| 73 | 5 | 6 | 6 | 4 | 0 | 0 | 62 | 1 | 0 | |
| 188 | 9 | 25 | 23 | 20 | 0 | 0 | 154 | 1 | 0 | |
| 102 | 2 | 25 | 24 | 17 | 0 | 0 | 75 | 0 | 0 | |
| 65 | 2 | 7 | 7 | 6 | 0 | 0 | 56 | 1 | 0 | |
| 167 | 4 | 32 | 31 | 23 | 0 | 0 | 131 | 1 | 0 | |
| 424 | 19 | 73 | 68 | 54 | 0 | 0 | 332 | 0 | 0 | |
| 367 | 36 | 26 | 25 | 17 | 0 | 0 | 305 | 4 | 0 | |
| 791 | 55 | 99 | 93 | 71 | 0 | 0 | 637 | 4 | 0 | |

胃がん検診胃内視鏡検査(対策型)の診断精度

(1)検診成績

2022年度

| 性別 | 集受診 検数 (A) | 精該 当 検数 (B) | 要 精 検 率 (B/A) | 精受診 検数 (C) | 精受診 検率 (C/B) | 未 受 診 数 再 検 査 (D) | 未 把 握 数 再 検 査 (E) | 発 胃 が ん 見 数 (F) | 胃 が ん 見 率 (F/A) | 陽 性 反 応 適 中 度 度 (F/B) |
|----|------------------|----------------------|---------------------------|------------------|--------------------|--|--|-----------------------------------|--------------------------------|---|
| 男 | 6,225 | 424 | 6.81% | 424 | 100.00% | 0 | 0 | 73 | 1.17% | 17.22% |
| 女 | 8,605 | 371 | 4.31% | 367 | 98.92% | 4 | 0 | 26 | 0.30% | 7.01% |
| 計 | 14,830 | 795 | 5.36% | 791 | 99.50% | 4 | 0 | 99 | 0.67% | 12.45% |

注1. 精検該当数は検診時に生検を実施した者または生検未実施のうち要再検査となった者を計上

2. 再検査未受診数は検診時生検未受診で要再検査のうち未受診となった者を計上

3. 再検査未把握数は検診時生検未受診で要再検査のうち未把握となった者を計上

(2)受診歴別の胃がん発見率

2022年度

| | 初回受診者 | 非初回受診者 | 計 |
|-----------------------|-------------------|--------------------|---------------------|
| 受診者数(a) (初回/非初回割合) | 4,636 (31.26%) | 10,194 (68.74%) | 14,830 (100.00%) |
| 精検該当数(b) 率(b/a) | 288 (6.21%) | 507 (4.97%) | 795 (5.36%) |
| 発見胃がん数(c) 率(c/a) | 30 (0.65%) | 69 (0.68%) | 99 (0.67%) |

注. 初回受診者とは3年以内の受診歴を有さない者

(3)受診歴別の胃がん進行度

2022年度

| | 初回受診者 | 非初回受診者 | 計 |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 発見胃がん数 (a) | 30 | 69 | 99 |
| 早期がん(b) 率(b/a) | 27 (90.00%) | 66 (95.65%) | 93 (93.94%) |
| 進行がん(c) 率(c/a) | 3 (10.00%) | 3 (4.35%) | 6 (6.06%) |

注1. 初回受診者とは3年以内の受診歴を有さない者

2. 内視鏡的切除術 69 例

(4)食道がん(壁深達度別) ※食道癌取扱い規約第11版に基づく

2022年度

| | 計 | T1a | T1b | T2以深 | その他 |
|---------|-----------------|----------------|-----|------|--------------|
| 発見食道がん数 | 23 (100.00%) | 22 (96.00%) | 0 | 0 | 1 (4.00%) |

注1. その他1例は、APC焼灼術のため深達度不明

2. 内視鏡的切除術18例

(5)その他の悪性腫瘍 6 例

| | |
|-------------|-----|
| (内訳) 十二指腸がん | 2 例 |
| 十二指腸ろ胞性リンパ腫 | 1 例 |
| 十二指腸カルチノイド | 1 例 |
| 膵臓がん | 1 例 |
| 咽頭がん | 1 例 |

追跡調査による発見胃がんの内訳

胃がん検診胃内視鏡検査(対策型)

※胃癌取扱い規約第15版に基づく

(1)性・年齢別

2022年度

| | | 計 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～ |
|---|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 男 | 受診数 | 6,225 | 207 | 225 | 343 | 921 | 1,722 | 1,495 | 1,312 |
| | 発見がん | 73 | 0 | 0 | 2 | 8 | 19 | 19 | 25 |
| | 発見率 | 1.17% | | | 0.58% | 0.87% | 1.10% | 1.27% | 1.91% |
| | 早期がん 早期割合 | 68 93.15% | 0 100.00% | 0 100.00% | 2 100.00% | 7 87.50% | 18 94.74% | 17 89.47% | 24 96.00% |
| 女 | 受診数 | 8,605 | 671 | 674 | 921 | 1,426 | 2,205 | 1,539 | 1,169 |
| | 発見がん | 26 | 1 | 0 | 5 | 2 | 5 | 6 | 7 |
| | 発見率 | 0.30% | 0.15% | | 0.54% | 0.14% | 0.23% | 0.39% | 0.60% |
| | 早期がん 早期割合 | 25 96.15% | 1 100.00% | 0 100.00% | 4 80.00% | 2 100.00% | 5 100.00% | 6 100.00% | 7 100.00% |
| 計 | 受診数 | 14,830 | 878 | 899 | 1,264 | 2,347 | 3,927 | 3,034 | 2,481 |
| | 発見がん | 99 | 1 | 0 | 7 | 10 | 24 | 25 | 32 |
| | 発見率 | 0.67% | 0.11% | | 0.55% | 0.43% | 0.61% | 0.82% | 1.29% |
| | 早期がん 早期割合 | 93 93.94% | 1 100.00% | 0 100.00% | 6 85.71% | 9 90.00% | 23 95.83% | 23 92.00% | 31 96.88% |

(2)部位別

2022年度

| 計 | U | M | L | UM | ML | UML | その他 |
|---------|--------|--------|--------|-------|----|-----|-----|
| 99 | 23 | 40 | 34 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 100.00% | 23.23% | 40.40% | 34.35% | 2.02% | | | |

(3)肉眼型別

2022年度

| 計 | 早期がん 割合 | I | Ⅱ a | Ⅱ b | Ⅱ c | Ⅱ a+Ⅱ c Ⅱ c+Ⅱ a | Ⅱ c+Ⅲ Ⅲ+Ⅱ c | その他 |
|---------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------|----------------|-----|
| | 93 93.94% | 7 7.07% | 27 27.27% | 2 2.02% | 48 48.49% | 9 9.09% | 0 | 0 |
| 100.00% | 進行がん | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 早期類似 | |
| | 6 6.06% | 0 | 3 3.03% | 1 1.01% | 1 1.01% | 0 | 1 1.01% | |

(4)長径別 (mm)

2022年度

| 計 | ～10 | 11～20 | 21～30 | 31～40 | 41～50 | 51～60 | 61～70 | 71～ | その他 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 99 | 37 | 33 | 14 | 8 | 4 | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 100.00% | 37.37% | 33.34% | 14.14% | 8.08% | 4.04% | 2.02% | | | 1.01% |

注1. その他1例は、生検にて消失のため大きさ不明

(5)深達度別

2022年度

| 計 | T1a | T1b | T2 | T3 | T4a | T4b | その他 |
|---------|--------|--------|-------|-------|-----|-----|-------|
| 99 | 78 | 15 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 100.00% | 78.79% | 15.15% | 3.03% | 1.01% | | | 2.02% |

注1. T1aのうち治療時病変消失6例、焼灼術1例

注2. その他2例は、化学療法のため深達度不明

表8 胃がん検診胃内視鏡検査(対策型) 市町村別成績

| 市町村 | 性別 | 50歳以上の人口 (A) | 申込者数 (B) | 受診者数 (C) | 50歳以上の受診率 (C/A) | 申込者の受診率 (C/B) | 要精密検査者数 | 要精密検査者 | | |
|------------------|----|-----------------|-------------|-------------|--------------------|------------------|---------|-----------|----------------------|-------------------|
| | | | | | | | | 検診時生検受診者数 | (再掲)検診時生検受診のうち要再検査者数 | 検診時生検未受診のうち要再検査者数 |
| | | | | | | | | | | |
| 仙 台 市 区 青 葉 区 | 男 | 43,130 | 2,112 | 1,188 | 2.8 | 56.3 | 69 | 62 | 2 | 7 |
| | 女 | 53,441 | 3,444 | 1,805 | 3.4 | 52.4 | 66 | 63 | 3 | 3 |
| | 計 | 96,571 | 5,556 | 2,993 | 3.1 | 53.9 | 135 | 125 | 5 | 10 |
| 仙台市青葉区 宮城総合支所 | 男 | 15,764 | 767 | 452 | 2.9 | 58.9 | 24 | 22 | 2 | 2 |
| | 女 | 17,984 | 1,144 | 620 | 3.4 | 54.2 | 30 | 29 | 1 | 1 |
| | 計 | 33,748 | 1,911 | 1,072 | 3.2 | 56.1 | 54 | 51 | 3 | 3 |
| 仙 台 市 宮 城 野 区 | 男 | 36,751 | 1,461 | 835 | 2.3 | 57.2 | 57 | 53 | 5 | 4 |
| | 女 | 42,180 | 2,340 | 1,263 | 3.0 | 54.0 | 45 | 43 | 2 | 2 |
| | 計 | 78,931 | 3,801 | 2,098 | 2.7 | 55.2 | 102 | 96 | 7 | 6 |
| 仙 台 市 区 若 林 区 | 男 | 27,084 | 1,239 | 775 | 2.9 | 62.6 | 54 | 48 | 1 | 6 |
| | 女 | 31,113 | 1,968 | 1,147 | 3.7 | 58.3 | 47 | 43 | 1 | 4 |
| | 計 | 58,197 | 3,207 | 1,922 | 3.3 | 59.9 | 101 | 91 | 2 | 10 |
| 仙 台 市 区 太 白 区 | 男 | 47,512 | 2,347 | 1,366 | 2.9 | 58.2 | 81 | 76 | 6 | 5 |
| | 女 | 55,598 | 3,638 | 1,922 | 3.5 | 52.8 | 91 | 84 | 4 | 7 |
| | 計 | 103,110 | 5,985 | 3,288 | 3.2 | 54.9 | 172 | 160 | 10 | 12 |
| 仙台市太白区 秋保総合支所 | 男 | 1,018 | 44 | 24 | 2.4 | 54.5 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| | 女 | 1,134 | 57 | 30 | 2.6 | 52.6 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | 計 | 2,152 | 101 | 54 | 2.5 | 53.5 | 4 | 3 | 0 | 1 |
| 仙 台 市 区 泉 区 | 男 | 47,406 | 2,671 | 1,551 | 3.3 | 58.1 | 133 | 126 | 5 | 7 |
| | 女 | 55,039 | 3,873 | 1,795 | 3.3 | 46.3 | 90 | 86 | 0 | 4 |
| | 計 | 102,445 | 6,544 | 3,346 | 3.3 | 51.1 | 223 | 212 | 5 | 11 |
| 仙 台 市 計 | 男 | 218,665 | 10,641 | 6,191 | 2.8 | 58.2 | 420 | 388 | 21 | 32 |
| | 女 | 256,489 | 16,464 | 8,582 | 3.3 | 52.1 | 371 | 350 | 11 | 21 |
| | 計 | 475,154 | 27,105 | 14,773 | 3.1 | 54.5 | 791 | 738 | 32 | 53 |
| 大 衡 村 | 男 | 1,259 | 63 | 34 | 2.7 | 54.0 | 4 | 4 | 1 | 0 |
| | 女 | 1,410 | 56 | 23 | 1.6 | 41.1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 2,669 | 119 | 57 | 2.1 | 47.9 | 4 | 4 | 1 | 0 |
| 総 計 | 男 | 219,924 | 10,704 | 6,225 | 2.8 | 58.2 | 424 | 392 | 22 | 32 |
| | 女 | 257,899 | 16,520 | 8,605 | 3.3 | 52.1 | 371 | 350 | 11 | 21 |
| | 計 | 477,823 | 27,224 | 14,830 | 3.1 | 54.5 | 795 | 742 | 33 | 53 |

注1. 早期がんは胃がんの再掲

2. 粘膜内がんは早期がんの再掲

3. 申込者の対象年齢は50歳以上

4. 未検者数を未受診(未受診であることがはっきりしている)・未把握(結果が把握できない)に分けて計上

5. 検診時、生検未受診者のうち要再検査となった者で、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

6. 検診時、生検受診者のうち要再検査となった者で、未受診・未把握の場合は未確定に計上

| 精密検査 受診者数 | 要精密検査受診の有無別人数 | | | | | | | 検診時 生検 未受診 のうち 再検査 未受診 | 検診時 生検 未受診 のうち 再検査 未把握 |
|------------------------------|-------------------|--------------------------------|----------------------------|----|----------------------------------|---|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | 精密検査（生検または再検査）受診者 | | | | | | | | |
| | 異常 認めず | 異常を認める | | | | | | | |
| | | 胃がんで あった者 (転移性を 含まない) | (再掲) 胃がん のうち 早期がん | | 胃がんの 疑いの ある者 または 未確定 | 胃がん以外 の疾患で あった者 (転移性 の胃がん を含む) | | | |
| (再掲) 早期がん のうち 粘膜内がん | | | | | | | | | |
| 69 | 1 | 15 | 15 | 13 | 0 | 53 | 0 | 0 | |
| 66 | 4 | 7 | 6 | 5 | 0 | 55 | 0 | 0 | |
| 135 | 5 | 22 | 21 | 18 | 0 | 108 | 0 | 0 | |
| 24 | 1 | 5 | 3 | 1 | 0 | 18 | 0 | 0 | |
| 30 | 4 | 2 | 2 | 1 | 0 | 24 | 0 | 0 | |
| 54 | 5 | 7 | 5 | 2 | 0 | 42 | 0 | 0 | |
| 57 | 3 | 11 | 10 | 8 | 0 | 43 | 0 | 0 | |
| 44 | 5 | 3 | 3 | 3 | 0 | 36 | 1 | 0 | |
| 101 | 8 | 14 | 13 | 11 | 0 | 79 | 1 | 0 | |
| 54 | 1 | 8 | 8 | 6 | 0 | 45 | 0 | 0 | |
| 46 | 1 | 3 | 3 | 1 | 0 | 42 | 1 | 0 | |
| 100 | 2 | 11 | 11 | 7 | 0 | 87 | 1 | 0 | |
| 81 | 0 | 13 | 13 | 12 | 0 | 68 | 0 | 0 | |
| 90 | 10 | 5 | 5 | 4 | 0 | 75 | 1 | 0 | |
| 171 | 10 | 18 | 18 | 16 | 0 | 143 | 1 | 0 | |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | |
| 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | |
| 133 | 13 | 20 | 18 | 13 | 0 | 100 | 0 | 0 | |
| 90 | 12 | 6 | 6 | 3 | 1 | 71 | 1 | 0 | |
| 223 | 25 | 26 | 24 | 16 | 1 | 171 | 1 | 0 | |
| 420 | 19 | 72 | 67 | 53 | 0 | 329 | 0 | 0 | |
| 368 | 36 | 26 | 25 | 17 | 1 | 305 | 4 | 0 | |
| 788 | 55 | 98 | 92 | 70 | 1 | 634 | 4 | 0 | |
| 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | |
| 424 | 19 | 73 | 68 | 54 | 0 | 332 | 0 | 0 | |
| 368 | 36 | 26 | 25 | 17 | 1 | 305 | 4 | 0 | |
| 792 | 55 | 99 | 93 | 71 | 1 | 637 | 4 | 0 | |

追跡調査による発見胃がんの内訳(経過観察者)

※胃癌取扱い規約第15版に基づく

(1)年齢別

2022年度

| | | 計 | ～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～ |
|---|-------|---------|-----|-------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 男 | 受診数 | 1,579 | 41 | 53 | 48 | 76 | 77 | 140 | 275 | 400 | 282 | 187 |
| | 発見がん | 32 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 12 | 8 | 6 |
| | 発見率 | 2.03% | | | 2.08% | 1.32% | | 0.71% | 1.09% | 3.00% | 2.84% | 3.21% |
| | 早期がん数 | 31 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 | 11 | 8 | 6 |
| | 早期割合 | 96.88% | | | 100.00% | 100.00% | | 100.00% | 100.00% | 91.67% | 100.00% | 100.00% |
| 女 | 受診数 | 1,106 | 35 | 60 | 58 | 66 | 71 | 114 | 214 | 262 | 149 | 77 |
| | 発見がん | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| | 発見率 | 0.45% | | | | | | | 0.47% | 0.38% | 0.67% | 2.60% |
| | 早期がん数 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| | 早期割合 | 100.00% | | | | | | | 100.00% | 100.00% | 100.00% | 100.00% |
| 計 | 受診数 | 2,685 | 76 | 113 | 106 | 142 | 148 | 254 | 489 | 662 | 431 | 264 |
| | 発見がん | 37 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 | 13 | 9 | 8 |
| | 発見率 | 1.38% | | | 0.94% | 0.70% | | 0.39% | 0.82% | 1.96% | 2.09% | 3.03% |
| | 早期がん数 | 36 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 | 12 | 9 | 8 |
| | 早期割合 | 97.30% | | | 100.00% | 100.00% | | 100.00% | 100.00% | 92.31% | 100.00% | 100.00% |

注1. 内視鏡的切除術 35 例

(2)部位別

2022年度

| 計 | U | M | L | UM | ML | UML | その他 |
|---------|--------|--------|--------|----|----|-----|-----|
| 37 | 6 | 16 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100.00% | 16.22% | 43.24% | 40.54% | | | | |

(3)肉眼型別

2022年度

| 計 | 早期がん | I | II a | II b | II c | II a+II c | II c+III | その他 |
|--------|---------|--------|------|--------|-------|-----------|----------|-----|
| | 率 (%) | | | | | II c+II a | III+II c | |
| 36 | 0 | 10 | 0 | 25 | 1 | 0 | 0 | |
| 97.30% | | 27.03% | | 67.57% | 2.70% | | | |
| 37 | 100.00% | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 早期類似 | |
| 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| 2.70% | | | | | 2.70% | | | |

(4)長径別 (mm)

2022年度

| 計 | ～10 | 11～20 | 21～30 | 31～40 | 41～50 | 51～60 | 61～70 | 71～ | その他 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
| 37 | 11 | 18 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100.00% | 29.73% | 48.65% | 18.92% | 2.70% | | | | | |

(5)深達度別

2022年度

| 計 | T1a | T1b | T2 | T3 | T4a | T4b | その他 |
|---------|--------|-------|-------|----|-----|-----|-----|
| 37 | 34 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100.00% | 91.89% | 5.41% | 2.70% | | | | |

注1. T1aのうち焼灼術 1例

(6)食道がん(壁深達度別)

2022年度

| 計 | T1a | T1b | T2以深 | その他 |
|---------|---------|-----|------|-----|
| 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 100.00% | 100.00% | | | |

注1. 内視鏡的切除術 2例

(7)その他の悪性腫瘍 2例

(内訳) 十二指腸カルチノイド 1例
咽頭がん 1例

追跡調査による発見胃がんの内訳(任意型検診)

※胃癌取扱い規約第15版に基づく

(1)年齢別

2022年度

| | | 計 | ～39 | 40～44 | 45～49 | 50～54 | 55～59 | 60～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～ |
|----------------------|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| がん・胃X線検査 生活習慣病健診 | 受診数 | 2,271 | 238 | 314 | 350 | 311 | 264 | 279 | 281 | 195 | 23 | 16 |
| | 精検該当数 | 156 | 5 | 12 | 21 | 15 | 23 | 21 | 27 | 26 | 2 | 4 |
| | 精検受診数 | 148 | 5 | 12 | 21 | 14 | 18 | 20 | 27 | 25 | 2 | 4 |
| | 発見がん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 発見がん割合(%) | | | | | | | | | | | |
| | 早期がん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 早期がん割合(%) | | | | | | | | | | | |
| がん・胃内視鏡検査 生活習慣病健診 | 受診数 | 1,642 | 80 | 137 | 202 | 211 | 183 | 222 | 281 | 221 | 76 | 29 |
| | 発見がん | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| | 発見がん割合(%) | 0.37 | | | | | 0.55 | 0.45 | 0.71 | 0.45 | 1.32 | |
| | 早期がん | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| | 早期がん割合(%) | 83.33 | | | | | 100.00 | | 100.00 | 100.00 | 100.00 | |
| その他の胃内視鏡検査 施設検査 | 受診数 | 204 | 3 | 31 | 33 | 44 | 47 | 30 | 9 | 6 | 1 | 0 |
| | 発見がん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 発見がん割合(%) | | | | | | | | | | | |
| | 早期がん | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 早期がん割合(%) | | | | | | | | | | | |
| 個人精検・胃内視鏡検査 医師紹介 | 受診数 | 567 | 19 | 24 | 40 | 32 | 36 | 48 | 108 | 132 | 78 | 50 |
| | 発見がん | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 発見がん割合(%) | 0.35 | | | | | | 2.08 | | | | 2.00 |
| | 早期がん | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 早期がん割合(%) | 100.00 | | | | | | 100.00 | | | | 100.00 |

注1. 任意型検診発見がん 8例中 内視鏡的切除術 5例

(2)食道がん(壁深達度別)

2022年度

| | 計 | T1a | T1b | T2以深 | その他 |
|---------|-------------|-----|-----|------|-----|
| 発見食道がん数 | 0 (0.00) | 0 | 0 | 0 | 0 |

(3)その他の悪性腫瘍 1例

悪性リンパ腫 1例

子宮がん検診

2022年度の子宮がん検診は、34の地域対策と258職域対策で実施した。主な検診方式は検診車方式、日母方式市民検診、両者の併用方式の3通りである。検診車方式においては、平成26年度から液状化検体細胞診（LBC）を開始し不適正標本の減少を達成した。

平成16年3月、厚生労働省から子宮頸がん検診の対象年齢を30歳以上から20歳以上に引き下げ、受診間隔を2年に1度とする指針が出された。平成18年度から全地域で20歳以上に引き下げて検診を実施しているが、2022年度隔年検診を実施したのは1市1町であった。

平成21年度、厚生労働省は市町村が実施するがん検診において、がんの早期発見と受診率向上を目的としたがん検診推進事業を認可した。がん検診の無料クーポン券を配布し、検診を受診するために必要な費用を市町村と国が補助する事業であるが、クーポン事業の規模は年々縮小の一途を辿っており、2022年度の利用者は546名と前年度より122名の受診数減少となった。減少傾向ではあるが、無料クーポン券の利用者の約70%が初回受診者であり、初回受診者掘り起しには有効な手段である。受診率向上のためにもクーポン利用を促進する努力が必要と思われる。

<子宮頸がん検診>

◎一次検診

集検（地域・職域）の受診総数は104,877名で、内訳は検診車方式検診29,985名、日母方式市民検診74,892名であった。前年度と比較して、方式別では検診車方式検診で401名減少、日母方式市民検診で392名減少、全体で793名減少となった。年齢階級別では、20歳代～40歳代全般また60歳代～70歳代前半にわたる広い年代で受診数が減少した（表3）。また、初回受診は10,345名で前年度と比較して、487名減少した（表6）。新型コロナウイルスの影響で受診控えをしていた方が徐々に戻ってはきているが、感染拡大前の受診数には届いておらず低迷が続いている。HPVオプション検査は8対策で実施されたが353名の受診があり、前年度よりも33名の受診数減少であった。HPV検査受診数が減少したことは若年層の受診数の減少が影響しているように思われる。

◎二次検診

集検の精検該当数（率）は990名（0.9%）であった。精検受診数（率）は940名（94.9%）であった。検診方式別の内訳は、表2に示すとおりである。

◎発見がん

集検から発見された子宮頸がん数（率）は31例（0.03%）で、うち上皮内がんは16例で、早期がん比率は51.6%であった（表5）。初回受診者から発見された子宮頸がん数（率）は11例（0.11%）で、子宮頸がん発見数の35.5%を占めていた。年齢階級別に見ると、上皮内がんは30歳代・40歳代で多く、浸潤がんは30歳代から70歳代まで広い年代に分布しており、特に50歳代で多く発見された（表6）。

＜子宮体がん検診＞

子宮頸がん検診は子宮体がんの啓発と早期発見を兼ねている。宮城県では平成元年度から、子宮頸がん検診受診者に対し問診の結果、最近6ヶ月以内に、1) 不正性器出血（一過性の少量出血、閉経後の出血等） 2) 月経の異常（過多月経、不規則月経等） 3) 褐色帯下を認めた場合のいずれかに該当し、医師が必要と認めた場合に子宮体部細胞診を実施している。検診車方式では平成15年度から内診の代用として導入した経膈超音波検査で内膜肥厚が認められた場合には医療機関での精査を勧めている。

◎一次検診

子宮頸がん検診受診者に対する子宮体がん検診受診者数（率）は1,830名（1.7%）であった。方式別の内訳は検診車方式検診8名、日母方式市民検診1,822名であった（表4）。検診車方式では精査可能な医療機関での検診を優先しているため、減少している。

◎二次検診

集検の精検該当数（率）は48名（2.6%）で、精検受診数（率）は48名（100.0%）であった。検診方式別の内訳は、表4に示すとおりである。

◎発見がん

集検からの発見された子宮体がん数（率）は13例（0.71%）であった（表5）。

＜患者管理＞

子宮頸がん検診および子宮体がん検診で、経過観察になった386名について宮城県対がん協会細胞診センター子宮がんクリニックで追跡観察を行った結果、発見されたがんは上皮内がん、浸潤がんともに0例であった（表7）。

表にはしていないが、検診車方式検診における経膈超音波検査（内診の代用）の結果、要精査として医療機関に紹介した591名から子宮体がん7例、卵巣がん8例が発見されている。子宮体がん7例では車検診時に体部細胞診は実施されていなかった。

＜今後の課題＞

2022年度より今まで差し控えられてきたHPVワクチンの積極的勧奨が本格的に再開された。同時にワクチン停止世代へのキャッチアップ接種も行われている。しかし、接種率は十分に回復していない状況である。長きにわたり接種勧奨を控えてきた日本のワクチン接種率は諸外国とは10年以上ものタイムラグがあり、また子宮頸がんの罹患率、死亡率も先進国で最も高い。子宮がんの正しい知識の普及啓発、ワクチン対策、効率の良い受診勧奨による受診率向上は急務である。

近年、子宮頸がん検診へのHPV検査導入が検討され様々な議論が行われている。今後示される、指針や方針を鑑みながら動向を注視して対応していきたい。

（細胞検査士；大場 朋子）

表1 検診年次成績(宮城日母登録を除く)

| 年 度 | 対 象 人 口 | 受 診 数 | 受 診 率 | 精 検 該 当 数 | 精 検 該 当 率 | 精 検 受 診 数 | 精 検 受 診 率 | 精 未 受 診 検 数 | 精 未 把 握 検 数 | 浸 潤 が ん | 上 皮 内 が ん | 異 形 成 |
|-----------|------------------|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|-----------------------|-------------|
| 1961～1964 | | 19,312 | | 2,102 | 10.9 | 2,102 | 100.0 | 0 | | 23 | 27 | 66 |
| 1965～1969 | | 122,174 | | 5,524 | 4.5 | 5,478 | 99.2 | 46 | | 150 | 222 | 461 |
| 1970～1974 | | 210,510 | | 5,402 | 2.6 | 5,322 | 98.5 | 80 | | 124 | 174 | 892 |
| 1975～1979 | | 396,197 | | 6,478 | 1.9 | 6,446 | 94.8 | 32 | | 104 | 110 | 670 |
| 1980～1984 | | 563,473 | | 7,247 | 1.3 | 7,229 | 99.8 | 18 | | 114 | 118 | 1,270 |
| 1985～1989 | | 767,378 | | 11,014 | 1.4 | 10,956 | 99.5 | 58 | | 149 | 163 | 1,995 |
| 1990～1994 | 3,566,187 | 905,978 | 25.4 | 10,862 | 1.2 | 10,713 | 98.6 | 149 | | 153 | 224 | 1,950 |
| 1995 | 742,476 | 181,369 | 24.4 | 2,980 | 1.6 | 2,935 | 98.5 | 45 | | 37 | 75 | 396 |
| 1996 | 460,607 | 114,904 | 24.9 | 1,800 | 1.6 | 1,766 | 98.1 | 34 | | 14 | 51 | 215 |
| 1997 | 464,219 | 113,501 | 24.4 | 1,606 | 1.4 | 1,567 | 97.6 | 39 | | 19 | 33 | 226 |
| 1998 | 467,259 | 108,031 | 23.1 | 1,322 | 1.2 | 1,293 | 97.8 | 29 | | 15 | 28 | 165 |
| 1999 | 469,914 | 106,227 | 22.6 | 1,051 | 1.0 | 1,020 | 97.1 | 31 | | 7 | 21 | 135 |
| 2000 | 472,694 | 104,718 | 22.2 | 889 | 0.8 | 869 | 97.8 | 20 | | 12 | 31 | 124 |
| 2001 | 475,288 | 108,289 | 22.8 | 907 | 0.8 | 872 | 96.1 | 35 | | 10 | 29 | 146 |
| 2002 | 478,278 | 106,558 | 22.3 | 918 | 0.9 | 890 | 96.9 | 28 | | 12 | 25 | 169 |
| 2003 | 481,396 | 106,738 | 22.2 | 888 | 0.8 | 864 | 97.3 | 24 | | 11 | 20 | 192 |
| 2004 | 483,772 | 105,834 | 21.9 | 869 | 0.8 | 843 | 97.0 | 26 | | 10 | 26 | 181 |
| 2005 | 561,573 | 104,520 | 18.6 | 710 | 0.7 | 681 | 95.9 | 29 | | 13 | 31 | 164 |
| 2006 | 561,803 | 104,986 | 18.7 | 835 | 0.8 | 810 | 97.0 | 25 | | 16 | 24 | 215 |
| 2007 | 560,661 | 107,328 | 19.1 | 729 | 0.7 | 703 | 96.4 | 26 | | 7 | 26 | 216 |
| 2008 | 560,592 | 105,340 | 18.8 | 710 | 0.7 | 684 | 96.3 | 26 | | 9 | 28 | 208 |
| 2009 | 559,288 | 113,156 | 20.2 | 922 | 0.8 | 904 | 98.0 | 11 | 7 | 18 | 36 | 289 |
| 2010 | 554,855 | 115,207 | 20.8 | 1,051 | 0.9 | 1,006 | 95.7 | 38 | 7 | 12 | 50 | 295 |
| 2011 | 544,314 | 106,467 | 19.6 | 989 | 0.9 | 962 | 97.3 | 23 | 4 | 23 | 36 | 254 |
| 2012 | 544,821 | 109,069 | 20.0 | 1,178 | 1.1 | 1,128 | 95.8 | 50 | 0 | 14 | 71 | 278 |
| 2013 | 543,286 | 110,180 | 20.3 | 1,069 | 1.0 | 1,022 | 95.6 | 37 | 10 | 15 | 47 | 250 |
| 2014 | 543,224 | 111,492 | 20.5 | 1,228 | 1.1 | 1,179 | 96.0 | 37 | 12 | 18 | 51 | 750 |
| 2015 | 540,820 | 111,839 | 20.7 | 1,176 | 1.1 | 1,142 | 97.1 | 16 | 18 | 17 | 40 | 677 |
| 2016 | 537,612 | 112,138 | 20.9 | 1,147 | 1.0 | 1,119 | 97.6 | 17 | 11 | 13 | 54 | 657 |
| 2017 | 534,717 | 110,729 | 20.7 | 954 | 0.9 | 925 | 97.0 | 10 | 19 | 12 | 44 | 502 |
| 2018 | 530,601 | 110,007 | 20.7 | 1,013 | 0.9 | 959 | 94.7 | 34 | 20 | 17 | 33 | 570 |
| 2019 | 526,559 | 109,608 | 20.8 | 962 | 0.9 | 939 | 97.6 | 22 | 1 | 14 | 27 | 584 |
| 2020 | 522,202 | 101,857 | 19.5 | 1,137 | 1.1 | 1,105 | 97.2 | 31 | 1 | 13 | 24 | 708 |
| 2021 | 517,594 | 105,670 | 20.4 | 1,131 | 1.1 | 1,097 | 97.0 | 34 | 0 | 16 | 36 | 611 |
| 2022 | 513,285 | 104,877 | 20.4 | 990 | 0.9 | 940 | 94.9 | 43 | 7 | 15 | 16 | 289 |
| 合 計 | | 6,095,661 | | 79,790 | 1.3 | 78,470 | 98.3 | 1,203 | 117 | 1,226 | 2,051 | 16,770 |

注1. 1996年度より、仙台市を除く

2. 2004年度以前は、30歳以上を対象人口に計上

3. 2005年度以降は、20歳以上を対象人口に計上

4. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診(未受診であることがはっきりしている) 未把握(結果が把握できない)

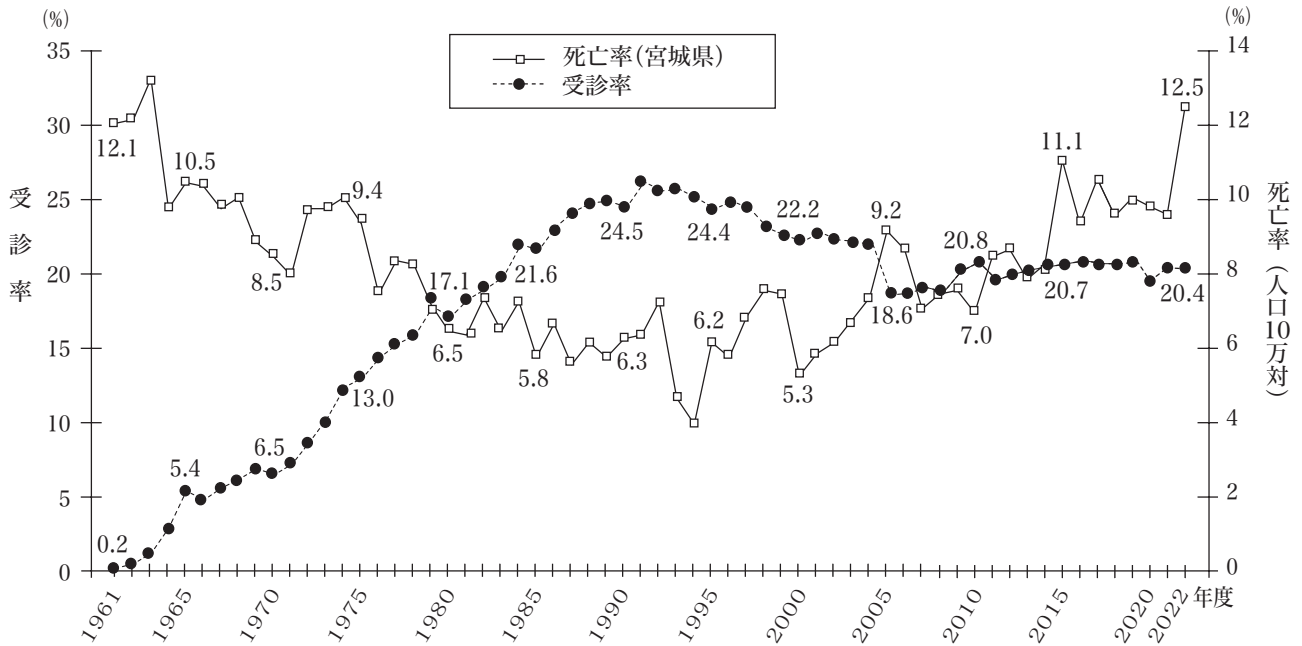
5. 2013年度以前は、異形成には中等度以上、腺異形成の合計を計上

6. 2014年度以降は、浸潤がんには子宮頸がん検診からの発見体がんを計上

7. 2014年度以降は、異形成にはCIN1、CIN2、CIN3 (高度異形成)、腺異形成の合計を計上

8. 2018年度以降は、異形成にはCIN1、CIN2、CIN3 (高度異形成)の合計を計上

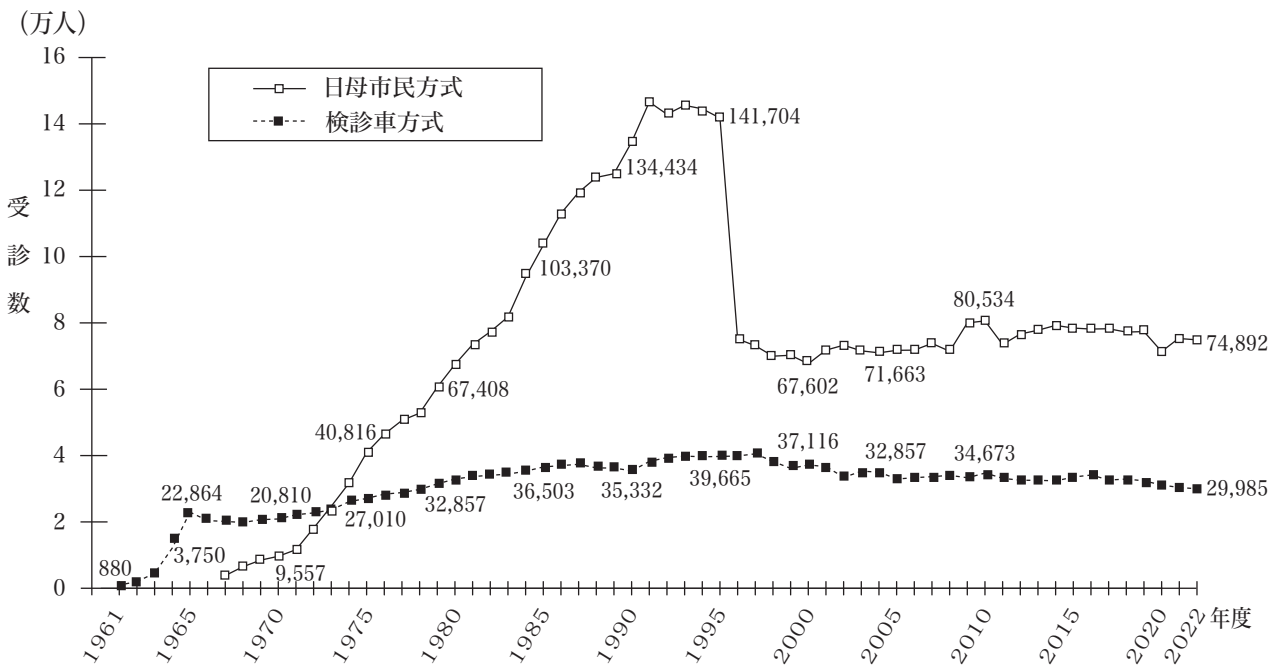
図1 受診率と死亡率の年次推移



(資料) 人口動態統計確定数, 住民基本台帳人口要覧

- 注1. 1996年度より仙台市を除く
- 注2. 2004年度以前は, 30歳以上の人口を計上
- 注3. 2005年度以降は, 20歳以上の人口を計上
- 注4. 宮城日母登録検診を除く

図2 方式別検診数の年次推移



- 注1. 日母市民方式は, 1996年度より仙台市を除く
- 注2. 宮城日母登録検診を除く

表2 総合 子宮頸がん検診成績

| 年齢区分 | 頸部細胞診（ベセスダシステム分類） | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|------------|--------|-------|--------|-------|----------------------------------|-------------------|-----------|----------|--------------|-----------------|--------------|----------------|-------------------|-------------|---|
| | 受診数 | NILM 陰性 | 不適正 | 精検該当数 | ASC-US | ASC-H | LSIL （軽度異形成推定） （軽度扁平上皮内病変） | HSIL 高度扁平上皮内病変 | | | SCC 扁平上皮癌 | AGC 腺異型・腺癌疑い | AIS 上皮内腺癌 | Adeno ca 腺癌 | Other その他の悪性腫瘍 | その他 判定不能 | |
| | | | | | | | | （中等度異形成推定） | （高度異形成推定） | （上皮内癌推定） | | | | | | | |
| ～ 19 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 20～24 | 1,774 | 1,721 | 0 | 53 | 30 | 2 | 20 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 25～29 | 2,861 | 2,783 | 2 | 76 | 40 | 6 | 23 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 30～34 | 4,682 | 4,593 | 0 | 89 | 42 | 7 | 21 | 10 | 4 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 35～39 | 7,511 | 7,383 | 0 | 128 | 65 | 21 | 19 | 9 | 7 | 3 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 40～44 | 9,617 | 9,470 | 2 | 145 | 69 | 23 | 29 | 11 | 4 | 1 | 0 | 6 | 0 | 2 | 0 | 0 | |
| 45～49 | 10,775 | 10,649 | 0 | 126 | 65 | 16 | 22 | 11 | 6 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 50～54 | 10,086 | 9,984 | 1 | 101 | 53 | 13 | 25 | 2 | 1 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 55～59 | 9,710 | 9,649 | 4 | 57 | 29 | 16 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 60～64 | 10,875 | 10,824 | 1 | 50 | 26 | 9 | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 65～69 | 12,510 | 12,461 | 0 | 49 | 28 | 9 | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 70～74 | 13,534 | 13,484 | 0 | 50 | 25 | 11 | 9 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 75～79 | 7,210 | 7,165 | 0 | 45 | 21 | 14 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 80～ | 3,729 | 3,707 | 1 | 21 | 9 | 6 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 104,877 | 103,876 | 11 | 990 | 502 | 153 | 194 | 59 | 28 | 6 | 1 | 41 | 0 | 6 | 0 | 0 | |
| 方式別内訳 | 車検診 | 29,985 | 29,728 | 0 | 257 | 145 | 36 | 48 | 11 | 6 | 0 | 0 | 8 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 日母市民検診 | 74,892 | 74,148 | 11 | 733 | 357 | 117 | 146 | 48 | 22 | 6 | 1 | 33 | 0 | 3 | 0 | 0 |

注1. 浸潤癌には、子宮頸がん検診からの発見体がんを5名を含む
 なお、内1名は体部細胞診にて体がんを発見

| 2022年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--|---|--|---------------------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 頸 | | | | 部 | | | 組 | | | 織 | | | 診 | |
| 精 検 該 当 数 | 精 検 該 当 率 | 精 検 受 診 数 | 精 検 受 診 率 | 浸 潤 癌 | 浸 潤 癌 (I A 期) | が ん 疑 い ・ 未 確 定 | C I N 1 軽 度 異 形 成 | C I N 2 中 等 度 異 形 成 | C I N 3 高 度 異 形 成 | C I N 3 ・ A I S 上 皮 内 癌 | が ん 以 外 の 疾 患 | そ の 他 | 精 検 未 受 診 | 精 検 未 把 握 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 53 | 3.0 | 53 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 2 | 0 | 0 | 34 | 0 | 0 | 0 |
| 76 | 2.7 | 71 | 93.4 | 0 | 0 | 0 | 25 | 2 | 1 | 0 | 43 | 0 | 5 | 0 |
| 89 | 1.9 | 83 | 93.3 | 0 | 0 | 0 | 23 | 14 | 1 | 2 | 43 | 0 | 5 | 1 |
| 128 | 1.7 | 120 | 93.8 | 1 | 0 | 0 | 34 | 8 | 7 | 5 | 65 | 0 | 8 | 0 |
| 145 | 1.5 | 136 | 93.8 | 1 | 0 | 0 | 33 | 14 | 6 | 2 | 80 | 0 | 8 | 1 |
| 126 | 1.2 | 121 | 96.0 | 1 | 0 | 0 | 24 | 10 | 1 | 3 | 82 | 0 | 4 | 1 |
| 101 | 1.0 | 96 | 95.0 | 3 | 0 | 0 | 15 | 6 | 2 | 1 | 69 | 0 | 3 | 2 |
| 57 | 0.6 | 53 | 93.0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 1 | 3 | 1 | 42 | 0 | 3 | 1 |
| 50 | 0.5 | 48 | 96.0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 40 | 0 | 2 | 0 |
| 49 | 0.4 | 48 | 98.0 | 1 | 0 | 0 | 9 | 2 | 0 | 0 | 36 | 0 | 1 | 0 |
| 50 | 0.4 | 49 | 98.0 | 2 | 0 | 0 | 10 | 1 | 1 | 0 | 35 | 0 | 0 | 1 |
| 45 | 0.6 | 44 | 97.8 | 1 | 0 | 0 | 4 | 2 | 2 | 0 | 35 | 0 | 1 | 0 |
| 21 | 0.6 | 18 | 85.7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 16 | 0 | 3 | 0 |
| 990 | 0.9 | 940 | 94.9 | 15 | 0 | 0 | 201 | 64 | 24 | 16 | 620 | 0 | 43 | 7 |
| 257 | 0.9 | 239 | 93.0 | 1 | 0 | 0 | 47 | 15 | 7 | 1 | 168 | 0 | 17 | 1 |
| 733 | 1.0 | 701 | 95.6 | 14 | 0 | 0 | 154 | 49 | 17 | 15 | 452 | 0 | 26 | 6 |

表3 方式別・年齢別受診数

2022年度

| 方式 年齢区分 | | 類 部 細 胞 診 | | |
|------------|-------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| | | 検診車 | 日母市民 | 集 検 計 |
| ～ 19 | 対象数 受診数 (率) | 2 | 1 | 3 |
| 20 ～ 24 | 対象数 受診数 (率) | 5,425 220 (4.1) | 19,302 1,554 (8.1) | 24,727 1,774 (7.2) |
| 25 ～ 29 | 対象数 受診数 (率) | 4,515 373 (8.3) | 17,788 2,488 (14.0) | 22,303 2,861 (12.8) |
| 30 ～ 34 | 対象数 受診数 (率) | 5,527 860 (15.6) | 19,906 3,822 (19.2) | 25,433 4,682 (18.4) |
| 35 ～ 39 | 対象数 受診数 (率) | 7,570 1,685 (22.3) | 24,446 5,826 (23.8) | 32,016 7,511 (23.5) |
| 40 ～ 44 | 対象数 受診数 (率) | 8,890 1,985 (22.3) | 27,854 7,632 (27.4) | 36,744 9,617 (26.2) |
| 45 ～ 49 | 対象数 受診数 (率) | 9,477 2,057 (21.7) | 30,985 8,718 (28.1) | 40,462 10,775 (26.6) |
| 50 ～ 54 | 対象数 受診数 (率) | 8,986 2,046 (22.8) | 29,326 8,040 (27.4) | 38,312 10,086 (26.3) |
| 55 ～ 59 | 対象数 受診数 (率) | 9,475 2,399 (25.3) | 26,720 7,311 (27.4) | 36,195 9,710 (26.8) |
| 60 ～ 64 | 対象数 受診数 (率) | 12,220 3,435 (28.1) | 28,190 7,440 (26.4) | 40,410 10,875 (26.9) |
| 65 ～ 69 | 対象数 受診数 (率) | 14,762 4,855 (32.9) | 30,433 7,655 (25.2) | 45,195 12,510 (27.7) |
| 70 ～ 74 | 対象数 受診数 (率) | 16,831 5,726 (34.0) | 35,379 7,808 (22.1) | 52,210 13,534 (25.9) |
| 75 ～ 79 | 対象数 受診数 (率) | 10,606 2,872 (27.1) | 25,394 4,338 (17.1) | 36,000 7,210 (20.0) |
| 80 ～ | 対象数 受診数 (率) | 30,278 1,470 (4.9) | 53,000 2,259 (4.3) | 83,278 3,729 (4.5) |
| 合 計 | 対象数 受診数 (率) | 144,562 29,985 (20.7) | 368,723 74,892 (20.3) | 513,285 104,877 (20.4) |

注1. 「がん検診推進事業」を含み計上

注2. 20歳以上を対象人口に計上

表4 総合 子宮頸がん検診 — 体部細胞診実施成績

2022年度

| 年齢区分 | 頸部細胞診受診数 | 体部細胞診 | | | | | | | | 体部組織診 | | | | | | | |
|---------|----------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|----|-------|-------|-------|---------|-------|-----|-------|-------|
| | | 体部細胞診受診数 | 体部細胞診受診率 | 陰性 | 再検 | 精検該当数 | 精検該当率 | 疑陽性 | 陽性 | 精検受診数 | 精検受診率 | 体がん | 異型内膜増殖症 | 内膜増殖症 | その他 | 精検未受診 | 精検未把握 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～ 19 | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 ～ 24 | 1,774 | 3 | 0.2 | 2 | 0 | 1 | 33.3 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 25 ～ 29 | 2,861 | 7 | 0.2 | 7 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 ～ 34 | 4,682 | 41 | 0.9 | 41 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35 ～ 39 | 7,511 | 73 | 1.0 | 72 | 0 | 1 | 1.4 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 40 ～ 44 | 9,617 | 183 | 1.9 | 179 | 1 | 3 | 1.6 | 3 | 0 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 45 ～ 49 | 10,775 | 371 | 3.4 | 357 | 5 | 9 | 2.4 | 9 | 0 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 10,086 | 425 | 4.2 | 412 | 3 | 10 | 2.4 | 10 | 0 | 10 | 100.0 | 5 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 9,710 | 228 | 2.3 | 216 | 6 | 6 | 2.6 | 5 | 1 | 6 | 100.0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 10,875 | 127 | 1.2 | 125 | 0 | 2 | 1.6 | 1 | 1 | 2 | 100.0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65 ～ 69 | 12,510 | 128 | 1.0 | 123 | 1 | 4 | 3.1 | 3 | 1 | 4 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 70 ～ 74 | 13,534 | 149 | 1.1 | 142 | 1 | 6 | 4.0 | 5 | 1 | 6 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 7,210 | 66 | 0.9 | 65 | 0 | 1 | 1.5 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80 ～ | 3,729 | 29 | 0.8 | 23 | 1 | 5 | 17.2 | 5 | 0 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 合計 | 104,877 | 1,830 | 1.7 | 1,764 | 18 | 48 | 2.6 | 44 | 4 | 48 | 100.0 | 13 | 1 | 1 | 33 | 0 | 0 |
| 方式別内訳 | 車検診 | 29,985 | 8 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日母市民検診 | 74,892 | 1,822 | 2.4 | 1,756 | 18 | 48 | 2.6 | 44 | 4 | 48 | 100.0 | 13 | 1 | 1 | 33 | 0 |

表5 方式別検診成績

(頸部細胞診)

2022年度

| 方式 | | 受診数 | 精検 該当数 | 精検 受診数 | 浸潤癌(発見率) | | | 上皮内癌(発見率) | | 異形成(発見率) | | | |
|------|-------------|---------|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|----------------|---------------|---------------|----------------|
| | | | | | 扁平上皮 がん | 腺がん | 体がん | 扁平上皮 がん | 腺がん | CIN1 (軽度) | CIN2 (中等度) | CIN3 (高度) | その他 |
| 検診車 | 受診数 | 29,985 | 257 (0.86) | 239 (93.00) | 1 (0.003) | 0 | 0 | 0 | 1 (0.003) | 47 (0.157) | 15 (0.050) | 7 (0.023) | 168 (0.560) |
| | 初回者 (再掲) | 2,466 | 64 (2.60) | 55 (85.94) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 (0.365) | 7 (0.284) | 2 (0.081) | 37 (1.500) |
| 市民検診 | 受診数 | 74,892 | 733 (0.98) | 701 (95.63) | 5 (0.007) | 4 (0.005) | 5 (0.007) | 12 (0.016) | 3 (0.004) | 154 (0.206) | 49 (0.065) | 17 (0.023) | 452 (0.604) |
| | 初回者 (再掲) | 7,882 | 168 (2.13) | 156 (92.86) | 2 (0.025) | 3 (0.038) | 0 | 4 (0.051) | 2 (0.025) | 43 (0.546) | 17 (0.216) | 7 (0.089) | 78 (0.990) |
| 合計 | 受診数 | 104,877 | 990 (0.94) | 940 (94.95) | 6 (0.006) | 4 (0.004) | 5 (0.005) | 12 (0.011) | 4 (0.004) | 201 (0.192) | 64 (0.061) | 24 (0.023) | 620 (0.591) |
| | 初回者 (再掲) | 10,348 | 232 (2.24) | 211 (90.95) | 2 (0.019) | 3 (0.029) | 0 | 4 (0.039) | 2 (0.019) | 52 (0.503) | 24 (0.232) | 9 (0.087) | 115 (1.111) |

注 1. 浸潤がんには子宮頸がん検診からの発見体がんを計上

(体部細胞診)

2022年度

| 方式 | | 受診数 | 精検 該当数 | 精検 受診数 | 体がん | 異型 増殖症 | 内膜 増殖症 |
|------|-------------|-------|--------------|----------------|---------------|--------------|--------------|
| 検診車 | 受診数 | 8 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 | 0 | 0 |
| | 初回者 (再掲) | 0 | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 | 0 | 0 |
| 市民検診 | 受診数 | 1,822 | 48 (2.63) | 48 (100.00) | 13 (0.714) | 1 (0.055) | 1 (0.055) |
| | 初回者 (再掲) | 212 | 9 (4.25) | 9 (100.00) | 2 (0.943) | 0 | 0 |
| 合計 | 受診数 | 1,830 | 48 (2.62) | 48 (100.00) | 13 (0.710) | 1 (0.055) | 1 (0.055) |
| | 初回者 (再掲) | 212 | 9 (4.25) | 9 (100.00) | 2 (0.943) | 0 | 0 |

表6 年齢別受診数と発見がん

(イ)集検

2022年度

| 年齢区分 | 対象人口 | 受診数 (受診率) | 集検からの発見数 | | | | 初回 受診数 (受診率) | 初回受診者からの発見数 | | | |
|-------|---------|--------------------|----------|------|-----|-------|--------------------|-------------|------|-----|-------|
| | | | 頸部細胞診 | | | 体部細胞診 | | 頸部細胞診 | | | 体部細胞診 |
| | | | 浸潤癌 | 上皮内癌 | 体がん | 体がん | | 浸潤癌 | 上皮内癌 | 体がん | 体がん |
| 20～29 | 47,030 | 4,635 (9.86) | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,133 (46.02) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30～39 | 57,449 | 12,193 (21.22) | 1 | 7 | 0 | 0 | 2,440 (20.01) | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 40～49 | 77,206 | 20,392 (26.41) | 2 | 5 | 0 | 0 | 1,874 (9.19) | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 50～59 | 74,507 | 19,796 (26.57) | 6 | 2 | 3 | 8 | 1,562 (7.89) | 1 | 1 | 0 | 1 |
| 60～69 | 85,605 | 23,385 (27.32) | 3 | 1 | 1 | 3 | 1,423 (6.09) | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 70～79 | 88,210 | 20,744 (23.52) | 3 | 0 | 1 | 2 | 748 (3.61) | 2 | 0 | 0 | 1 |
| 80～ | 83,278 | 3,729 (4.48) | 0 | 1 | 0 | 0 | 165 (4.42) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 513,285 | 104,874 (20.43) | 15 | 16 | 5 | 13 | 10,345 (9.86) | 5 | 6 | 0 | 2 |

- 注1. 30歳以上の対象人口(仙台市を除く)は466,255人、受診数は100,239人で受診率は21.50%
 2. 初回受診数は受診数の再掲
 3. 体部細胞診：体がん1名は頸部細胞診での体がんにも計上
 4. 19歳以下の受診3名は含まず

(ロ)経過観察

2022年度

| 年齢区分 | センタークリニック 実数 | 経観者からの発見数 | | |
|-------|-----------------|-----------|------|-----|
| | | 浸潤癌 | 上皮内癌 | 体がん |
| 20～29 | 34 | 0 | 0 | 0 |
| 30～39 | 69 | 0 | 0 | 0 |
| 40～49 | 118 | 0 | 0 | 0 |
| 50～59 | 65 | 0 | 0 | 0 |
| 60～69 | 55 | 0 | 0 | 0 |
| 70～79 | 36 | 0 | 0 | 0 |
| 80～ | 9 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 386 | 0 | 0 | 0 |

表7 検診センタークリニックに於ける追跡観察状況

2022年度

| セ延 ンター ークリ ニック 総 数 | セ実 ンター ークリ ニック 数 | 手 術 総 数 | 手 術 例 | | | | 異 形 成 消 失 | 異 形 成 持 続 | そ の 他 除 外 | 未 検 |
|-----------------------------------|------------------------------|------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------|
| | | | 浸 潤 癌 | 上 皮 内 癌 | 異 形 成 | そ の 他 | | | | |
| 763 | 386 | 5 (1.30) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 0 (0.00) | 5 (1.30) | 129 (33.42) | 208 (53.89) | 43 (11.14) | 0 |
| | | | 0 (0.00) | | | | | | | |

表8 市町村別子宮頸がん検診成績

| 保 健 所 | 市 町 村 | 検 診 方 式 | 20人 歳 以 上 の 口 の 数 (A) | 受 診 数 (B) | 受 診 率 (B/A) | 20受 歳 以 上 の 数 (C) | 20受 歳 以 上 の 率 (C/A) | 頸 がん 検 診 | | | | | |
|--------------|---------------|------------------|---|--------------------|----------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | | | | 組 織 診 | | | | | |
| | | | | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 | 未 把 握 |
| 仙 南 | 白 石 市 | 市民 | 14,140 | 2,868 | 20.3 | 2,868 | 20.3 | 26 | 0.9 | 23 | 88.5 | 1 | 2 |
| | 蔵 王 町 | 車 | 4,949 | 958 | 19.4 | 958 | 19.4 | 5 | 0.5 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 七ヶ宿 町 | 車 | 540 | 153 | 28.3 | 153 | 28.3 | 1 | 0.7 | 1 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 角 田 市 | 市民 | 11,778 | 2,079 | 17.7 | 2,079 | 17.7 | 18 | 0.9 | 17 | 94.4 | 1 | 0 |
| | 丸 森 町 | 車 | 5,360 | 949 | 17.7 | 949 | 17.7 | 6 | 0.6 | 4 | 66.7 | 2 | 0 |
| | 大 河 原 町 | 市民 | 10,003 | 1,620 | 16.2 | 1,620 | 16.2 | 8 | 0.5 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 柴 田 町 | 市民 | 15,666 | 2,898 | 18.5 | 2,898 | 18.5 | 23 | 0.8 | 22 | 95.7 | 0 | 1 |
| | 村 田 町 | 車 | 4,427 | 801 | 18.1 | 801 | 18.1 | 5 | 0.6 | 4 | 80.0 | 1 | 0 |
| 川 崎 町 | 車 | 3,698 | 811 | 21.9 | 811 | 21.9 | 3 | 0.4 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | |
| 塩岩 沼 支 | 名 取 市 | 市民 | 32,727 | 5,540 | 16.9 | 5,540 | 16.9 | 73 | 1.3 | 70 | 95.9 | 3 | 0 |
| | 岩 沼 市 | 市民 | 18,307 | 3,994 | 21.8 | 3,994 | 21.8 | 45 | 1.1 | 43 | 95.6 | 1 | 1 |
| | 亘 理 町 | 市民 | 14,312 | 2,245 | 15.7 | 2,245 | 15.7 | 6 | 0.3 | 6 | 100.0 | 0 | 0 |
| 釜所 | 山 元 町 | 車 | 5,188 | 878 | 16.9 | 878 | 16.9 | 8 | 0.9 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| 塩 釜 | 塩 釜 市 | 市民 | 23,660 | 2,744 | 11.6 | 2,744 | 11.6 | 35 | 1.3 | 32 | 91.4 | 3 | 0 |
| | 多 賀 城 市 | 市民 | 25,984 | 3,794 | 14.6 | 3,794 | 14.6 | 37 | 1.0 | 35 | 94.6 | 2 | 0 |
| | 松 島 町 | 市民 | 6,074 | 1,092 | 18.0 | 1,092 | 18.0 | 10 | 0.9 | 9 | 90.0 | 1 | 0 |
| | 七ヶ浜 町 | 市民 | 7,728 | 1,640 | 21.2 | 1,640 | 21.2 | 20 | 1.2 | 19 | 95.0 | 1 | 0 |
| | 利 府 町 | 市民 | 14,836 | 2,561 | 17.3 | 2,561 | 17.3 | 15 | 0.6 | 15 | 100.0 | 0 | 0 |
| 石 巻 | 石 巻 市 (石 巻) | 市民 | 42,733 | 8,278 | 19.4 | 8,278 | 19.4 | 76 | 0.9 | 74 | 97.4 | 2 | 0 |
| | (河 北) | 車 | 4,371 | 908 | 20.8 | 908 | 20.8 | 8 | 0.9 | 7 | 87.5 | 1 | 0 |
| | (雄 勝) | 車 | 543 | 130 | 23.9 | 130 | 23.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |
| | (河 南) | 市民 | 8,010 | 1,656 | 20.7 | 1,656 | 20.7 | 11 | 0.7 | 11 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (桃 生) | 車 | 2,850 | 698 | 24.5 | 698 | 24.5 | 6 | 0.9 | 6 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (北 上) | 車 | 978 | 217 | 22.2 | 217 | 22.2 | 2 | 0.9 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (牡 鹿) | 車 | 915 | 192 | 21.0 | 192 | 21.0 | 2 | 1.0 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 東 松 島 市 | 市民 | 16,689 | 2,798 | 16.8 | 2,798 | 16.8 | 23 | 0.8 | 22 | 95.7 | 0 | 1 |
| 女 川 町 | 車 | 2,660 | 590 | 22.2 | 590 | 22.2 | 9 | 1.5 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | |
| 大 崎 | 大 崎 市 (古 川) | 市民 | 31,996 | 5,546 | 17.3 | 5,546 | 17.3 | 67 | 1.2 | 67 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (松 山) | 市民 | 2,468 | 308 | 12.5 | 308 | 12.5 | 2 | 0.6 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (三 本 木) | 車 | 3,118 | 667 | 21.4 | 667 | 21.4 | 5 | 0.7 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (鹿 島 台) | 車 | 4,976 | 745 | 15.0 | 745 | 15.0 | 3 | 0.4 | 3 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (岩 出 山) | 車 | 4,294 | 753 | 17.5 | 753 | 17.5 | 6 | 0.8 | 6 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (鳴 子) | 車 | 2,438 | 435 | 17.8 | 435 | 17.8 | 1 | 0.2 | 1 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (田 尻) | 車 | 4,327 | 803 | 18.6 | 803 | 18.6 | 7 | 0.9 | 7 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 美 里 町 (小 牛 田) | 車 | 7,979 | 1,429 | 17.9 | 1,429 | 17.9 | 6 | 0.4 | 6 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (南 郷) | 車 | 2,361 | 382 | 16.2 | 382 | 16.2 | 4 | 1.0 | 4 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 涌 谷 町 | 車 | 6,629 | 1,020 | 15.4 | 1,020 | 15.4 | 9 | 0.9 | 8 | 88.9 | 1 | 0 |
| | 加 美 町 | 車 | 9,534 | 1,197 | 12.6 | 1,197 | 12.6 | 25 | 2.1 | 23 | 92.0 | 2 | 0 |
| | 色 麻 町 | 車 | 2,796 | 617 | 22.1 | 617 | 22.1 | 5 | 0.8 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |

| 頸がん検診 | | | | 体部細胞診 | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-----|--------|----------|-----|------|-----|-------|-----|-----|------------|-----------|-----|
| 浸潤がん | 上皮内がん | 異形成 | その他 | 受診数(E) | 受診率(E/B) | 組織診 | | | | 未把握 | 体がん | 異増殖内 膜症 | 内増殖 膜症 | その他 |
| | | | | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | | | | | |
| 0 | 2 | 5 | 16 | 43 | 1.5 | 2 | 4.7 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 0 | 0 | 2 | 3 | 5 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 3 | 13 | 6 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 6 | 14 | 0.9 | 1 | 7.1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 9 | 12 | 24 | 0.8 | 1 | 4.2 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 1 | 3 | 11 | 1.4 | 1 | 9.1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 19 | 51 | 79 | 1.4 | 3 | 3.8 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 0 | 1 | 12 | 30 | 38 | 1.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 2 | 3 | 31 | 1.4 | 1 | 3.2 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 4 | 4 | 3 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 10 | 21 | 63 | 2.3 | 2 | 3.2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 2 | 0 | 13 | 20 | 93 | 2.5 | 2 | 2.2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 0 | 0 | 5 | 4 | 5 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 3 | 16 | 50 | 3.0 | 1 | 2.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 14 | 22 | 0.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 2 | 25 | 46 | 371 | 4.5 | 10 | 2.7 | 10 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 9 |
| 1 | 0 | 3 | 3 | 18 | 2.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 1 | 9 | 32 | 1.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 5 | 3 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 4 | 18 | 30 | 1.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 7 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 4 | 17 | 43 | 152 | 2.7 | 5 | 3.3 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | 2.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 3 | 2 | 15 | 2.2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 2 | 14 | 1.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 5 | 1 | 14 | 1.9 | 1 | 7.1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 1 | 10 | 2.3 | 1 | 10.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 5 | 16 | 2.0 | 1 | 6.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 3 | 3 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 6 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 4 | 18 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 保 健 所 | 市 町 村 | 検 診 方 式 | 20人 歳 以 上 の 口 の 数 (A) | 受 診 数 (B) | 受 診 率 (B/A) | 20歳 以 上 の 数 (C) | 20歳 以 上 の 率 (C/A) | 頸 がん 検 診 | | | | | |
|----------------------------|-------------|------------------|---|--------------------|----------------------|--------------------------------|----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | | | | 組 織 診 | | | | | |
| | | | | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 | 未 把 握 |
| 栗 原 | 栗原市(築館) | 市民 | 5,587 | 939 | 16.8 | 939 | 16.8 | 4 | 0.4 | 3 | 75.0 | 1 | 0 |
| | (一迫) | 車 | 3,010 | 561 | 18.6 | 561 | 18.6 | 10 | 1.8 | 9 | 90.0 | 1 | 0 |
| | (高清水) | 車 | 1,579 | 252 | 16.0 | 252 | 16.0 | 1 | 0.4 | 1 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (瀬峰) | 車 | 1,805 | 354 | 19.6 | 354 | 19.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |
| | (志波姫) | 車 | 2,857 | 530 | 18.6 | 530 | 18.6 | 6 | 1.1 | 6 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (花山) | 車 | 435 | 69 | 15.9 | 69 | 15.9 | 2 | 2.9 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (若柳) | 市民 | 5,097 | 954 | 18.7 | 954 | 18.7 | 12 | 1.3 | 12 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (栗駒) | 車 | 4,473 | 823 | 18.4 | 823 | 18.4 | 8 | 1.0 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (鶯沢) | 車 | 983 | 202 | 20.5 | 202 | 20.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |
| 登 米 | (金成) | 車 | 2,693 | 438 | 16.3 | 438 | 16.3 | 1 | 0.2 | 1 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 登米市(登米) | 車 | 2,017 | 574 | 28.5 | 574 | 28.5 | 5 | 0.9 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (一迫) | 市民 | 8,490 | 2,312 | 27.2 | 2,312 | 27.2 | 18 | 0.8 | 18 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (東和) | 車 | 2,532 | 682 | 26.9 | 682 | 26.9 | 8 | 1.2 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (中田) | 車 | 6,547 | 2,152 | 32.9 | 2,152 | 32.9 | 15 | 0.7 | 15 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (豊里) | 車 | 2,648 | 783 | 29.6 | 783 | 29.6 | 5 | 0.6 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (米山) | 車 | 3,665 | 1,073 | 29.3 | 1,073 | 29.3 | 10 | 0.9 | 8 | 80.0 | 2 | 0 |
| | (南方) | 車 | 3,508 | 1,199 | 34.2 | 1,199 | 34.2 | 10 | 0.8 | 10 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (石越) | 車 | 1,955 | 656 | 33.6 | 656 | 33.6 | 9 | 1.4 | 8 | 88.9 | 0 | 1 |
| 気 仙 沼 | (津山) | 車 | 1,368 | 409 | 29.9 | 409 | 29.9 | 5 | 1.2 | 3 | 60.0 | 2 | 0 |
| | 気仙沼市(気仙沼) | 市民 | 20,316 | 3,061 | 15.1 | 3,061 | 15.1 | 33 | 1.1 | 32 | 97.0 | 1 | 0 |
| | (唐桑) | 車 | 2,600 | 430 | 16.5 | 430 | 16.5 | 3 | 0.7 | 3 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (本吉) | 車 | 4,009 | 786 | 19.6 | 786 | 19.6 | 3 | 0.4 | 3 | 100.0 | 0 | 0 |
| 塩 黒 川 支 釜 所 | 南三陸町 | 車 | 5,318 | 1,105 | 20.8 | 1,105 | 20.8 | 20 | 1.8 | 16 | 80.0 | 4 | 0 |
| | 大和町 | 市民 | 11,101 | 1,998 | 18.0 | 1,998 | 18.0 | 19 | 1.0 | 19 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 大郷町 | 車 | 3,352 | 672 | 20.0 | 672 | 20.0 | 8 | 1.2 | 6 | 75.0 | 1 | 1 |
| | 富谷市 | 市民 | 21,021 | 4,680 | 22.3 | 4,680 | 22.3 | 56 | 1.2 | 51 | 91.1 | 5 | 0 |
| 合 計 | 大衡村 | 車 | 2,277 | 500 | 22.0 | 500 | 22.0 | 2 | 0.4 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | | | 513,285 | 95,188 | 18.5 | 95,188 | 18.5 | 894 | 0.9 | 848 | 94.9 | 39 | 7 |
| 方 式 別 内 訳 | 車検診 | | 144,562 | 28,973 | 20.0 | 28,973 | 20.0 | 284 | 1.0 | 270 | 95.1 | 14 | 0 |
| | 日母市民検診 | | 368,723 | 66,215 | 18.0 | 66,215 | 18.0 | 610 | 0.9 | 578 | 94.8 | 25 | 7 |

注1. 市町村別の検診方式は主な方式を計上

2. 「がん検診推進事業」を含み計上

3. 塩釜市は60歳以上隔年検診(奇数年齢)

4. 加美町は隔年検診 ただし、40歳以下は逐年検診

5. がん・生活習慣病健診は含まず

6. 「浸潤がん」には、子宮頸がん検診からの発見体がんを含む (石巻市(石巻)1名、多賀城市1名、大崎市(古川地域)1名)

7. 子宮頸がん検診「その他」には、子宮以外の悪性腫瘍(卵管癌)を含む (登米市(迫町)1名)

| 頸がん検診 | | | | 体部細胞診 | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-----|----------|------------|-----|------|-----|-------|-----|-----|--------|-------|-----|
| 浸潤がん | 上皮内がん | 異形成 | その他 | 体受診部数(E) | 体受診部率(E/B) | 組織診 | | | | 未把握 | 体がん | 異増型内膜症 | 内増殖膜症 | その他 |
| | | | | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | | | | | |
| 0 | 0 | 0 | 3 | 13 | 1.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 8 | 5 | 0.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 1.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1.1 | 1 | 25.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 2 | 4 | 5 | 0.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 7 | 5 | 20 | 2.1 | 2 | 10.0 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 8 | 5 | 0.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 10 | 8 | 12 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 7 | 4 | 0.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 6 | 9 | 11 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 4 | 4 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 3 | 5 | 3 | 0.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 4 | 6 | 9 | 0.8 | 1 | 11.1 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 3 | 5 | 3 | 0.5 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0.5 | 1 | 50.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 2 | 1 | 9 | 20 | 167 | 5.5 | 3 | 1.8 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 0 | 0 | 1 | 2 | 16 | 3.7 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 3 | 29 | 3.7 | 1 | 3.4 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 14 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 11 | 8 | 20 | 1.0 | 1 | 5.0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 1 | 0 | 0 | 5 | 4 | 0.6 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 15 | 35 | 106 | 2.3 | 2 | 1.9 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 0 | 0 | 0 | 2 | 7 | 1.4 | 1 | 14.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 12 | 15 | 259 | 562 | 1,640 | 1.7 | 45 | 2.7 | 45 | 100.0 | 0 | 0 | 11 | 1 | 32 |
| 4 | 3 | 128 | 135 | 8 | 0.0 | 1 | 12.5 | 1 | 0.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 8 | 12 | 131 | 427 | 1,632 | 2.5 | 44 | 2.7 | 44 | 100.0 | 0 | 0 | 10 | 1 | 32 |

表9 子宮頸がん検診成績(地域合計)

| 年 齢 区 分 | 頸 部 細 胞 診 (ベ セ ス ダ シ ス テ ム 分 類) | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------------------|----------------------------|-------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|--|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|---|---------------------------------|---|
| | 受 診 数 | N I L M 陰 性 | 不 適 正 | 精 検 該 当 数 | A S C U S | A S C H | L S I L (軽 度 異 形 成 推 定) 軽 度 扁 平 上 皮 内 病 変 | H S I L 高度扁平上皮内病変 | | | S C C 扁 平 上 皮 癌 | A G C 腺 異 型 ・ 腺 癌 疑 い | A I S 上 皮 内 腺 癌 | A d e n o c a 腺 癌 | O t h e r そ の 他 の 悪 性 腫 瘍 | そ の 他 判 定 不 能 | |
| | | | | | | | | (中 等 度 異 形 成 推 定) | (高 度 異 形 成 推 定) | (上 皮 内 癌 推 定) | | | | | | | |
| ～ 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 20 ～ 24 | 1,438 | 1,393 | 0 | 45 | 26 | 2 | 16 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 25 ～ 29 | 1,970 | 1,910 | 1 | 59 | 29 | 4 | 19 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 30 ～ 34 | 3,641 | 3,568 | 0 | 73 | 35 | 4 | 18 | 9 | 3 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 35 ～ 39 | 6,548 | 6,434 | 0 | 114 | 58 | 18 | 17 | 7 | 7 | 3 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 40 ～ 44 | 8,249 | 8,107 | 2 | 140 | 68 | 20 | 29 | 11 | 4 | 1 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 | 0 | |
| 45 ～ 49 | 9,259 | 9,146 | 0 | 113 | 57 | 13 | 20 | 11 | 6 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 50 ～ 54 | 8,590 | 8,500 | 1 | 89 | 43 | 13 | 24 | 2 | 1 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 55 ～ 59 | 8,656 | 8,602 | 4 | 50 | 26 | 15 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 60 ～ 64 | 10,153 | 10,105 | 1 | 47 | 25 | 8 | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 65 ～ 69 | 12,314 | 12,266 | 0 | 48 | 27 | 9 | 6 | 1 | 1 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 70 ～ 74 | 13,452 | 13,402 | 0 | 50 | 25 | 11 | 9 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | |
| 75 ～ 79 | 7,194 | 7,149 | 0 | 45 | 21 | 14 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 80 ～ | 3,724 | 3,702 | 1 | 21 | 9 | 6 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 95,188 | 94,284 | 10 | 894 | 449 | 137 | 178 | 55 | 27 | 6 | 1 | 35 | 0 | 6 | 0 | 0 | |
| 方 式 別 内 訳 | 車 検 診 | 28,631 | 28,393 | 0 | 238 | 134 | 32 | 46 | 10 | 5 | 0 | 0 | 8 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 日 母 市 民 検 診 | 66,557 | 65,891 | 10 | 656 | 315 | 105 | 132 | 45 | 22 | 6 | 1 | 27 | 0 | 3 | 0 | 0 |

注1. 地域のがん・生活習慣病健診の数は含まず

| 2022年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--|---|--|---------------------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|--|
| 頸 | | | | 部 | | | 組 | | | 織 | | | | 診 | |
| 精 検 該 当 数 | 精 検 該 当 率 | 精 検 受 診 数 | 精 検 受 診 率 | 浸 潤 癌 | 浸 潤 癌 (I A 期) | が ん 疑 い ・ 未 確 定 | C I N 1 軽 度 異 形 成 | C I N 2 中 等 度 異 形 成 | C I N 3 高 度 異 形 成 | C I N 3 ・ A I S 上 皮 内 癌 | が ん 以 外 の 疾 患 | そ の 他 | 精 検 未 受 診 | 精 検 未 把 握 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 45 | 3.1 | 45 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 2 | 0 | 0 | 28 | 0 | 0 | 0 | |
| 59 | 3.0 | 55 | 93.2 | 0 | 0 | 0 | 20 | 2 | 1 | 0 | 32 | 0 | 4 | 0 | |
| 73 | 2.0 | 69 | 94.5 | 0 | 0 | 0 | 17 | 13 | 1 | 2 | 36 | 0 | 3 | 1 | |
| 114 | 1.7 | 106 | 93.0 | 1 | 0 | 0 | 31 | 8 | 6 | 5 | 55 | 0 | 8 | 0 | |
| 140 | 1.7 | 131 | 93.6 | 1 | 0 | 0 | 32 | 13 | 5 | 2 | 78 | 0 | 8 | 1 | |
| 113 | 1.2 | 109 | 96.5 | 1 | 0 | 0 | 21 | 9 | 1 | 2 | 75 | 0 | 3 | 1 | |
| 89 | 1.0 | 84 | 94.4 | 2 | 0 | 0 | 14 | 5 | 2 | 1 | 60 | 0 | 3 | 2 | |
| 50 | 0.6 | 46 | 92.0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 39 | 0 | 3 | 1 | |
| 47 | 0.5 | 45 | 95.7 | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 38 | 0 | 2 | 0 | |
| 48 | 0.4 | 47 | 97.9 | 1 | 0 | 0 | 9 | 2 | 0 | 0 | 35 | 0 | 1 | 0 | |
| 50 | 0.4 | 49 | 98.0 | 2 | 0 | 0 | 10 | 1 | 1 | 0 | 35 | 0 | 0 | 1 | |
| 45 | 0.6 | 44 | 97.8 | 1 | 0 | 0 | 4 | 2 | 2 | 0 | 35 | 0 | 1 | 0 | |
| 21 | 0.6 | 18 | 85.7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 16 | 0 | 3 | 0 | |
| 894 | 0.9 | 848 | 94.9 | 12 | 0 | 0 | 179 | 59 | 21 | 15 | 562 | 0 | 39 | 7 | |
| 238 | 0.8 | 221 | 92.9 | 1 | 0 | 0 | 42 | 15 | 5 | 1 | 157 | 0 | 16 | 1 | |
| 656 | 1.0 | 627 | 95.6 | 11 | 0 | 0 | 137 | 44 | 16 | 14 | 405 | 0 | 23 | 6 | |

表10 子宮頸がん検診成績(職域合計)

| 年 齢 区 分 | 頸 部 細 胞 診 (ベ セ ス タ シ シ ス テ ム 分 類) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------------------------------------|----------------------------|-------------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|--|--|-----------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|---|---|-------------------------------------|
| | 受 診 数 | N I L M 陰 性 | 不 適 正 | 精 検 該 当 数 | A S C U S | A S C H | L S I L (軽度異 形成推定) 軽度扁平 上皮内病変 | H S I L 高度扁平上皮内病変 | | | S C C 扁平 上皮癌 | A G C 腺異 型・腺 癌疑い | A I S 上皮 内腺癌 | A d e n o c a 腺癌 | O t h e r その 他の 悪性 腫瘍 | そ の 他 判 定 不 能 |
| | | | | | | | | (中 等 度 異 形 成 推 定) | (高 度 異 形 成 推 定) | (上 皮 内 癌 推 定) | | | | | | |
| ～ 19 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 ～ 24 | 336 | 328 | 0 | 8 | 4 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 25 ～ 29 | 891 | 873 | 1 | 17 | 11 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 ～ 34 | 1,041 | 1,025 | 0 | 16 | 7 | 3 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35 ～ 39 | 963 | 949 | 0 | 14 | 7 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40 ～ 44 | 1,368 | 1,363 | 0 | 5 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 45 ～ 49 | 1,516 | 1,503 | 0 | 13 | 8 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 1,496 | 1,484 | 0 | 12 | 10 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 1,054 | 1,047 | 0 | 7 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 722 | 719 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65 ～ 69 | 196 | 195 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70 ～ 74 | 82 | 82 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 16 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80 ～ | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 9,689 | 9,592 | 1 | 96 | 53 | 16 | 16 | 4 | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 方 式 別 内 訳 | 車検診 | 1,354 | 1,335 | 0 | 19 | 11 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日母市民 検診 | 8,335 | 8,257 | 1 | 77 | 42 | 12 | 14 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |

注1. 地域のがん・生活習慣病健診の数を含む

| 2022年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--|---|--|---------------------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 頸 | | | | 部 | | | | | | | | | 診 | |
| 精 検 該 当 数 | 精 検 該 当 率 | 精 検 受 診 数 | 精 検 受 診 率 | 浸 潤 癌 | 浸 潤 癌 (I A 期) | が ん 疑 い ・ 未 確 定 | C I N 1 軽 度 異 形 成 | C I N 2 中 等 度 異 形 成 | C I N 3 高 度 異 形 成 | C I N 3 ・ A I S 上 皮 内 癌 | が ん 以 外 の 疾 患 | そ の 他 | 精 検 未 受 診 | 精 検 未 把 握 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 2.4 | 8 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 17 | 1.9 | 16 | 94.1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 1 | 0 |
| 16 | 1.5 | 14 | 87.5 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | 2 | 0 |
| 14 | 1.5 | 14 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0.4 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | 0.9 | 12 | 92.3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 7 | 0 | 1 | 0 |
| 12 | 0.8 | 12 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | 0.7 | 7 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0.4 | 3 | 100.0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0.5 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 96 | 1.0 | 92 | 95.8 | 3 | 0 | 0 | 22 | 5 | 3 | 1 | 58 | 0 | 4 | 0 |
| 19 | 1.4 | 18 | 94.7 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 2 | 0 | 11 | 0 | 1 | 0 |
| 77 | 0.9 | 74 | 96.1 | 3 | 0 | 0 | 17 | 5 | 1 | 1 | 47 | 0 | 3 | 0 |

表11 子宮頸がん検診体部細胞診成績(地域合計)

2022年度

| 年齢区分 | 頸部細胞診受診数 | 体 部 細 胞 診 | | | | | | | | 体 部 組 織 診 | | | | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|-------|-------|-------|-------|-----|----|-----------|-------|-------|---------|-------|-----|-------|-------|
| | | 体部細胞診受診数 | 体部細胞診受診率 | 陰性 | 再検 | 精検該当数 | 精検該当率 | 疑陽性 | 陽性 | 精検受診数 | 精検受診率 | 体がん | 異型内膜増殖症 | 内膜増殖症 | その他 | 精検未受診 | 精検未把握 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～ 19 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 ～ 24 | 1,438 | 2 | 0.1 | 1 | 0 | 1 | 50.0 | 1 | 0 | 1 | 50.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 25 ～ 29 | 1,970 | 5 | 0.3 | 5 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 ～ 34 | 3,641 | 28 | 0.8 | 28 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35 ～ 39 | 6,548 | 49 | 0.7 | 48 | 0 | 1 | 2.0 | 1 | 0 | 1 | 2.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 40 ～ 44 | 8,249 | 144 | 1.7 | 140 | 1 | 3 | 2.1 | 3 | 0 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 45 ～ 49 | 9,259 | 330 | 3.6 | 317 | 5 | 8 | 2.4 | 8 | 0 | 8 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 8,590 | 377 | 4.4 | 366 | 2 | 9 | 2.4 | 9 | 0 | 9 | 100.0 | 4 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 8,656 | 214 | 2.5 | 203 | 6 | 5 | 2.3 | 5 | 0 | 5 | 100.0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 10,153 | 121 | 1.2 | 119 | 0 | 2 | 1.7 | 1 | 1 | 2 | 100.0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65 ～ 69 | 12,314 | 126 | 1.0 | 121 | 1 | 4 | 3.2 | 3 | 1 | 4 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 70 ～ 74 | 13,452 | 149 | 1.1 | 142 | 1 | 6 | 4.0 | 5 | 1 | 6 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 7,194 | 66 | 0.9 | 65 | 0 | 1 | 1.5 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80 ～ | 3,724 | 29 | 0.8 | 23 | 1 | 5 | 17.2 | 5 | 0 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 合 計 | 95,188 | 1,640 | 1.7 | 1,578 | 17 | 45 | 2.7 | 42 | 3 | 45 | 100.0 | 11 | 1 | 1 | 32 | 0 | 0 |
| 方式別内訳 | 車検診 | 28,631 | 8 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日母市民検診 | 66,557 | 1,632 | 2.5 | 1,570 | 17 | 45 | 2.8 | 42 | 3 | 45 | 100.0 | 11 | 1 | 1 | 32 | 0 |

注1. 地域のがん・生活習慣病健診の数は含まず

表12 子宮頸がん検診体部細胞診成績(職域合計)

2022年度

| 年齢区分 | 頸部細胞診受診数 | 体 部 細 胞 診 | | | | | | | | 体 部 組 織 診 | | | | | | | |
|---------|----------|-----------|----------|-----|-----|-------|-------|-----|----|-----------|-------|-------|---------|-------|-----|-------|-------|
| | | 体部細胞診受診数 | 体部細胞診受診率 | 陰性 | 再検 | 精検該当数 | 精検該当率 | 疑陽性 | 陽性 | 精検受診数 | 精検受診率 | 体がん | 異型内膜増殖症 | 内膜増殖症 | その他 | 精検未受診 | 精検未把握 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ～ 19 | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 ～ 24 | 336 | 1 | 0.3 | 1 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 25 ～ 29 | 891 | 2 | 0.2 | 2 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 ～ 34 | 1,041 | 13 | 1.2 | 13 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35 ～ 39 | 963 | 24 | 2.5 | 24 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40 ～ 44 | 1,368 | 39 | 2.9 | 39 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 45 ～ 49 | 1,516 | 41 | 2.7 | 40 | 0 | 1 | 2.4 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 1,496 | 48 | 3.2 | 46 | 1 | 1 | 2.1 | 1 | 0 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 1,054 | 14 | 1.3 | 13 | 0 | 1 | 7.1 | 0 | 1 | 1 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 722 | 6 | 0.8 | 6 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65 ～ 69 | 196 | 2 | 1.0 | 2 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70 ～ 74 | 82 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 16 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80 ～ | 5 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 9,689 | 190 | 2.0 | 186 | 1 | 3 | 1.6 | 2 | 1 | 3 | 100.0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 方式別内訳 | 車検診 | 1,354 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日母市民検診 | 8,335 | 190 | 2.3 | 186 | 1 | 3 | 1.6 | 2 | 1 | 3 | 100.0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 |

注1. 地域の生活習慣病健診の数を含む

乳 がん 検 診

乳がん検診は2008年3月31日付け厚生労働省健康局「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」により、40歳から2年に1回、問診とマンモグラフィ検査を推奨している。

当協会では検診対象年齢を35歳以上と設定しているが、40歳未満の方のマンモグラフィ検診にはエビデンスがないため、試行的に超音波検診を実施している。

現在の検診内容は、①35～39歳（実施主体の要望により30～39歳）：超音波検診、②40～64歳：マンモグラフィ2方向撮影、③65歳以上：マンモグラフィ1方向撮影である。検診の受診間隔は、40歳以上のマンモグラフィ検診対象者は隔年検診、40歳未満の超音波検診対象者については逐年検診としている。

撮影された画像は、後日複数の読影認定医師により読影診断が行われ、結果を通知している。また、要精密検査該当者には、専門医療機関の受診を勧奨している。

検診成績の頁には、参考資料として地域検診の「がん検診事業の評価に関する委員会報告」による受診率の推計方法に基づいて算出した資料も掲載している。

2007年度から2011年度まで実施した厚生労働省科学研究費補助金事業「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験（J-START）」については、引き続き追跡調査を実施している。

2021年10月1日付け厚生労働省健康局「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正によりブレスト・アウェアネスが推奨された。あらゆる機会を捉えブレスト・アウェアネスについて普及啓発を行っている。

<集団検診>

1. 一次検診

受診総数は、54,304名で前年より1,863名の増加だった。増加の理由として、地域検診において、マンモグラフィ検診対象者を隔年検診から前年度未受診者を対象とした実施主体が2市3町増えたことがあげられる（表1）。その内訳は地域検診46,807名、職域検診6,297名、がん・生活習慣病健診775名、個人検診425名であった（表6）。40歳以上のマンモグラフィ検診対象者は隔年検診が基本のため、2020年度の受診数で比較するとコロナ禍においても4,769名増加していた。

検診種目別の内訳は、マンモグラフィ検診44,399名（81.8%）、超音波検診9,905名（18.2%）であった（表6）。地域検診における初回受診数は7,831名（16.7%）であった（図1）。

今年度の無料クーポン券は「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の該当年齢の方に配布され、利用数は1,695名で、そのうち初回受診数は526名（31.0%）であった。

2. 二次検診

受診総数54,304名に対する精検該当数は、1,573名で該当率は2.9%であった。

検診種目別の精検該当率は、マンモグラフィ2方向撮影3.7%、マンモグラフィ1方向撮影2.3%、超音波検診2.1%であった（表9）。

精検受診数は1,525名、精検受診率は96.9%と高率であった(表9)。なお、未把握数は45件(2.9%)で昨年度より19件増加した。

<センタークリニック>

センタークリニックは、医師紹介14名、経過観察者は延べ345名が受診した(表6)。経過観察は、主に地域および職域検診等の結果で経過観察が必要と判断された方に対して行われている。

<発見がん>

一次検診からの発見がんは149名152例(発見率0.27%)であった。そのうち早期がんは、118名(早期がん比率79.19%)であった(表6)。

地域検診46,807名からの発見がんは142名145例(発見率0.30%)であった。検診種目別ではマンモグラフィ検診39,664名から137名140例(発見率0.35%)、超音波検診7,143名から5名5例(発見率0.07%)の発見であった。早期がんは142名中112名(早期がん比率78.87%)であった(表6)。

職域検診6,297名からの発見がんは7名7例(発見率0.11%)の発見であった。検診種目別ではマンモグラフィ検診3,626名から5名5例(発見率0.14%)、超音波検診2,671名から2名2例(発見率0.07%)であった。早期がんは7名中6名(早期がん比率85.71%)であった(表6)。

年齢階級別(地域・職域)の発見率は、70歳以上で0.46%と最も高く、次に60~64歳で0.38%であった(表10-1・2)。

がん・生活習慣病健診775名からの発見がんはなかった(表6)。

地域・職域検診、がん・生活習慣病健診からの発見がんを受診歴別に見ると、初回受診者からの発見率は0.31%、前回受診が3~4年前の方からの発見率は0.37%、隔年受診の方からの発見率は0.32%、継続受診の方からの発見率は0.09%であった(図2)。

医師紹介14名からの発見がんは1名(発見率7.14%)であった(表6)。

経過観察者345名からの発見がんは5名(発見率1.45%)であった(表6)。

<今後の課題>

1. 「ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)」の普及啓発に努める。
2. マンモグラフィ検診対象者を前年度未受診者対象にしている実施主体が増えてきている。多くの住民に検診の機会を設け、継続して受診できるよう今後も検診体制を整えていく。
3. 実施主体や医療機関と連携しながら定期的に精密検査の結果を把握し、未把握数の減少に努める。

(看護師;小野 千恵美)

表1 検診年次成績

| 年度 | 30歳以上人口 *1 | 受診数 *2 | マンモ受診数 *3 | 会場精査 *7 | | 施設紹介 *7 | | 精密検査 | | 内分泌スミア採取数 *6 | 主な発見疾患 | | | |
|-----------|-------------------|-----------|-----------|--------------|----------------|-------------|--------------|---------------|----------------|---------------|--------|--------|---------|---------|
| | | | | 該当数 (率) | 受診数 (率) | 該当数 (率) | 受診数 (率) | 該当数 (率) *4 | 受診数 (率) *5 | | 乳がん | 乳頭腫 *8 | 線維腺腫 *8 | その他 *8 |
| 1977～1981 | | 58,894 | 1,242 | 3,265 (5.5) | 3,265 (100.0) | | | 3,265 (5.5) | 3,265 (100.0) | 9,980 (16.9) | 138 | 66 | 344 | 7,444 |
| 1982～1986 | | 122,994 | 3,063 | 8,434 (6.9) | 8,434 (100.0) | | | 8,434 (6.9) | 8,434 (100.0) | 14,517 (11.8) | 343 | 48 | 613 | 14,534 |
| 1987～1991 | | 220,423 | 14,555 | 14,533 (6.6) | 14,533 (100.0) | | | 14,533 (6.6) | 14,533 (100.0) | 21,622 (9.8) | 366 | 63 | 864 | 20,925 |
| 1992～1996 | | 279,018 | 36,911 | 16,319 (5.8) | 16,319 (100.0) | | | 16,807 (6.0) | 16,707 (99.4) | 19,840 (7.1) | 354 | 103 | 1,179 | 20,977 |
| 1997～2001 | | 284,413 | 74,554 | 17,345 (6.1) | 17,345 (100.0) | 5,508 (1.9) | 5,373 (97.5) | 18,936 (6.7) | 18,806 (99.3) | 6,584 (2.3) | 373 | 67 | 1,241 | 17,790 |
| 2002～2006 | | 249,672 | 149,881 | 20,476 (8.2) | 20,476 (100.0) | 8,972 (3.6) | 8,815 (98.3) | 23,097 (9.3) | 22,940 (99.3) | 804 (0.3) | 531 | 37 | 2,014 | 18,303 |
| 2007～2011 | | 246,563 | 197,208 | 13,776 (5.6) | 13,776 (100.0) | 7,994 (3.2) | 7,728 (96.7) | 18,750 (7.6) | 18,458 (98.4) | 0 (0.0) | 583 | 51 | 3,173 | 14,385 |
| 2012 | 863,866 (344,746) | 51,643 | 41,800 | | | | | 1,492 (2.9) | 1,459 (97.8) | | 112 | 17 | 638 | 1,629 |
| 2013 | 868,265 (344,672) | 51,596 | 41,469 | | | | | 1,627 (3.2) | 1,578 (97.0) | | 126 | 25 | 763 | 1,672 |
| 2014 | 871,811 (347,320) | 53,697 | 43,779 | | | | | 1,686 (3.1) | 1,645 (97.6) | | 137 | 20 | 847 | 1,659 |
| 2015 | 875,281 (347,224) | 53,271 | 42,803 | | | | | 1,683 (3.2) | 1,647 (97.9) | | 130 | 20 | 925 | 1,653 |
| 2016 | 875,783 (344,913) | 54,612 | 43,125 | | | | | 1,568 (2.9) | 1,537 (98.0) | | 153 | 13 | 981 | 1,527 |
| 2017 | 876,954 (343,347) | 54,696 | 43,290 | | | | | 1,716 (3.1) | 1,695 (98.8) | | 152 | 15 | 1,066 | 1,594 |
| 2018 | 874,040 (340,829) | 54,890 | 42,968 | | | | | 1,580 (2.9) | 1,557 (98.5) | | 154 | 16 | 1,156 | 1,812 |
| 2019 | 870,788 (337,846) | 54,310 | 43,508 | | | | | 1,605 (3.0) | 1,573 (98.0) | | 154 | 25 | 1,162 | 1,762 |
| 2020 | 875,117 (335,517) | 49,873 | 39,599 | | | | | 1,420 (2.8) | 1,388 (97.7) | | 138 | 16 | 1,201 | 1,654 |
| 2021 | 873,369 (332,421) | 52,441 | 42,606 | | | | | 1,684 (3.2) | 1,657 (98.4) | | 163 | 29 | 1,038 | 1,711 |
| 2022 | 870,800 (332,421) | 54,304 | 44,399 | | | | | 1,573 (2.9) | 1,525 (96.9) | | 149 | 23 | 1,053 | 1,717 |
| 合計 | | 2,047,310 | 946,760 | 94,148 | 94,148 | 22,474 | 21,916 | 121,456 (5.9) | 120,404 (99.1) | 73,347 | 4,256 | 654 | 20,258 | 132,748 |

- *1. 上段：宮城県の30歳以上の人口（1977年度～1988年度は35歳以上）
下段：（ ）内は検診実施市町村の30歳以上の人口（1977年度～1988年度は35歳以上）
- *2. 1977年度～1994年度は地域（対がん協会実施市町村のみ）、職域、個人、医師紹介を含む。1995年度より医師紹介を除外
- *3. マンモ＝マンモグラフィ併用検診受診数
1980～1988年度 ・乳がんのハイリスク要因を有する受診者を対象として実施したマンモグラフィ併用検診（Hマンモ）
1989～1998年度 ・Hマンモに加え、対象地区、年齢を設定し実施したマンモグラフィ併用検診（Sマンモ）
1999年度～ ・Hマンモに加え、50～69歳の受診者を対象として実施したマンモグラフィ併用検診（Sマンモ）
2002年度～ ・マンモグラフィ併用検診の対象に40～49歳を追加
2005年度～ ・マンモグラフィ併用検診の対象に70歳以上を追加
- *4. 1994年度まで検診会場で実施された精検該当数のみを計上。1998年度まで内分泌スミア採取数を精検としてカウントせず
- *5. 1995年度からの精検受診数（率）は検診会場および専門医療施設において確定診断が得られた数を計上
- *6. 1999年度より乳頭分泌は、悪性を否定できないもののみ採取
2007年度より内分泌スミア採取を未実施
- *7. 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし
- *8. 2019年度より乳癌取扱い規約の改定（第18版）に伴い、乳頭腫には上皮性腫瘍（良性腫瘍）を計上
線維腺腫には結合織性・上皮性混合腫瘍を計上、その他には非上皮性腫瘍およびその他を計上
それに伴い2018年度以前の乳腺症はその他に合算し計上

表2 対策別検診成績

| 対 象 | 受 診 数 | 精検該当数 (率) | 分 泌 ス メ ア 採 取 数 | 1977年度～2022年度 主 な 発 見 疾 患 | | | |
|---------------------|----------------------|-------------------|--------------------|------------------------------|-----|--------|---------|
| | | | | 乳がん(率) | 乳頭腫 | 線維腺腫 | その他 |
| 地 域 | 1,808,403 | 101,768 (5.63) | 62,340 (3.45) | 3,382 (0.19) | 507 | 15,650 | 111,258 |
| 職 域 | 209,029 | 18,167 (8.69) | 8,759 (4.19) | 318 (0.15) | 88 | 3,648 | 16,848 |
| 合 計 | 2,017,432 | 119,935 (5.94) | 71,099 (3.52) | 3,700 (0.18) | 595 | 19,298 | 128,106 |
| 個人検診 | 13,555 | 3,216 (23.73) | 1,667 (12.30) | 257 (1.90) | 41 | 407 | 2,911 |
| 医師紹介 | 2,265 | 2,042 (90.15) | 311 (13.73) | 198 (8.74) | 18 | 330 | 1,162 |
| 合 計 | 15,820 | 5,258 (33.24) | 1,978 (12.50) | 455 (2.88) | 59 | 737 | 4,073 |
| 経過観察者からの が ん 発 見 | 26,702 [延べ30,142] | | | 190 (0.71) | | | |

注1. 2007年度より分泌スメア採取を未実施

注2. 2019年度より乳癌取扱い規約の改定（第18版）に伴い、乳頭腫には上皮性腫瘍（良性腫瘍）を計上
線維腺腫には結合織性・上皮性混合腫瘍を計上、その他には非上皮性腫瘍およびその他を計上

表3 試験切除による組織診年次成績（集検例のみ）

| 年 度 | 試験切除数 | 乳 が ん | 乳 頭 腫 | 線 維 腺 腫 | そ の 他 |
|-----------|-------|----------------|-------|---------|-------|
| 1977～1981 | 234 | 47 (20.10) | 10 | 76 | 101 |
| 1982～1986 | 726 | 68 (9.40) | 47 | 240 | 371 |
| 1987～1991 | 740 | 42 (5.70) | 90 | 225 | 383 |
| 1992～1996 | 762 | 153 (20.10) | 63 | 200 | 346 |
| 1997～2001 | 428 | 127 (29.70) | 19 | 100 | 178 |
| 2002～2006 | 407 | 128 (31.40) | 19 | 104 | 148 |
| 2007～2011 | 115 | 37 (32.20) | 12 | 21 | 41 |
| 2012 | 11 | 2 (18.20) | 2 | 1 | 6 |
| 2013 | 14 | 3 (21.40) | 1 | 4 | 6 |
| 2014 | 9 | 1 (11.10) | 1 | 1 | 6 |
| 2015 | 3 | 2 (66.70) | 0 | 0 | 1 |
| 2016 | 6 | 4 (66.70) | 1 | 0 | 1 |
| 2017 | 5 | 2 (40.00) | 0 | 1 | 2 |
| 2018 | 2 | 0 (0.00) | 1 | 0 | 1 |
| 2019 | 5 | 3 (60.00) | 0 | 2 | 0 |
| 2020 | 3 | 1 (33.30) | 0 | 2 | 0 |
| 2021 | 6 | 2 (33.30) | 3 | 1 | 0 |
| 2022 | 8 | 1 (12.50) | 3 | 2 | 2 |
| 合 計 | 3,484 | 620 (17.80) | 272 | 980 | 1,593 |

注1. ()は切除数に占める割合

注2. 2019年度より乳癌取扱い規約の改定（第18版）に伴い、乳頭腫には上皮性腫瘍（良性腫瘍）を計上
線維腺腫には結合織性・上皮性混合腫瘍を計上、その他には非上皮性腫瘍およびその他を計上

図1 地域検診における受診歴別受診割合の推移

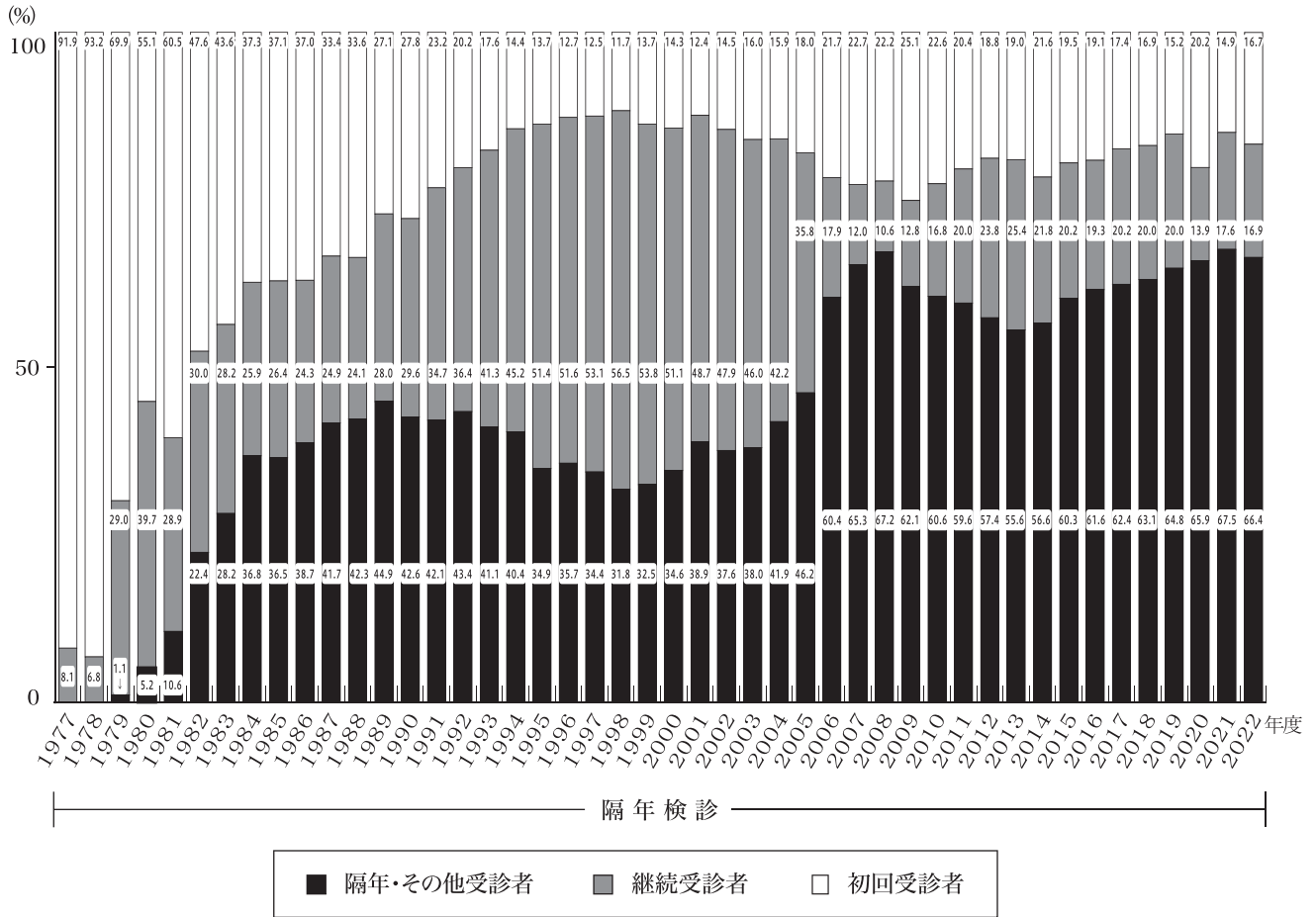


図2 受診歴別乳がん発見頻度の年次推移
(地域・職域・がん生活習慣病)

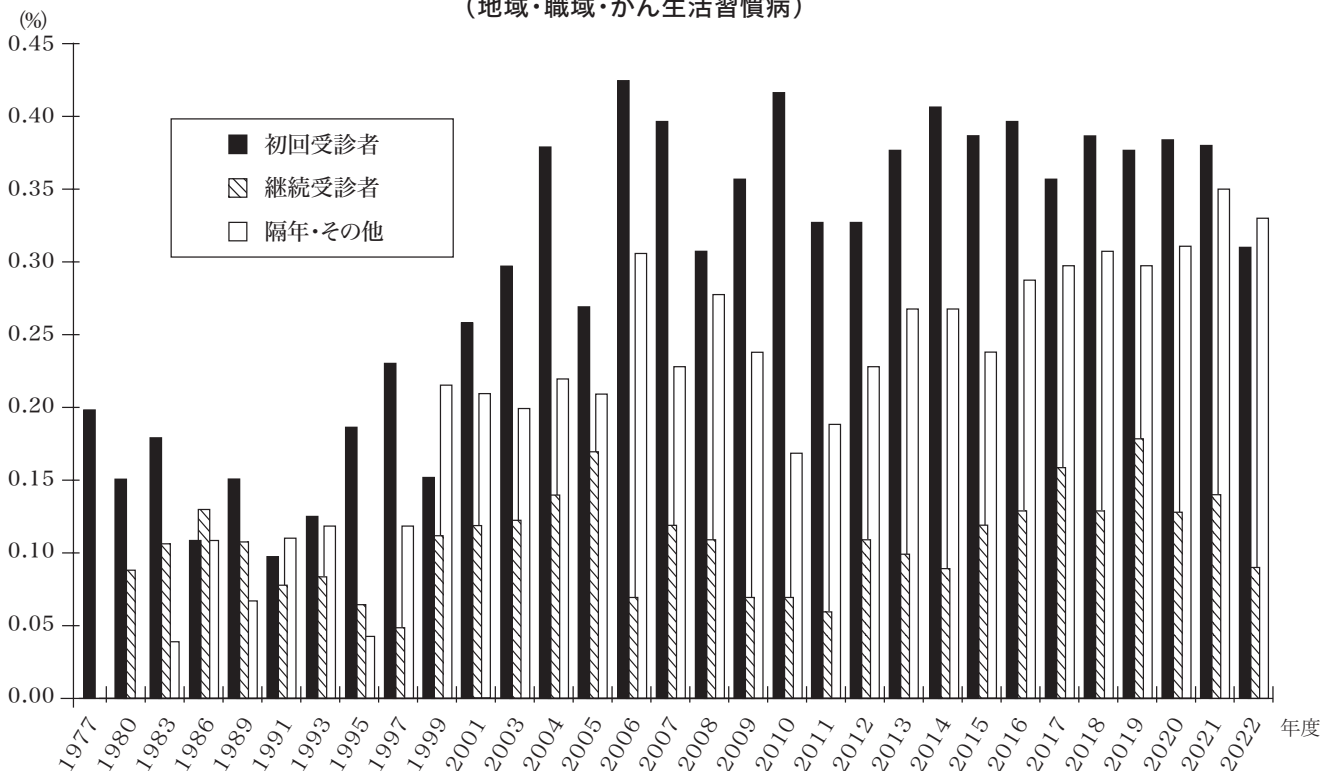


表4 発見乳がんのリンパ節転移程度の種類

2022年度

| | n0 pN0 | n1 | | n2 pN2 | n3 pN3 | 不明 | 合計 |
|---------------|-------------------|--------------|------------|------------|------------|--------------|----------------|
| | | pN1 | pN1mi | | | | |
| 地域・職域・がん生活習慣病 | 113 (74.3) | 13 (8.6) | 5 (3.3) | 2 (1.3) | 2 (1.3) | 17 (11.2) | 152 (100.0) |
| 個人・医師紹介 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経観 過察 | 地域・職域 ・がん生活習慣病 | 3 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 (100.0) |
| | 個人・ 医師紹介 | 2 (66.7) | 0 | 0 | 0 | 1 (33.3) | 3 (100.0) |
| 合計 | 118 (74.7) | 13 (8.2) | 5 (3.2) | 2 (1.3) | 2 (1.3) | 18 (11.4) | 158 (100.0) |

注. 地域・職域・がん生活習慣病からの発見乳がん数は、149名中3名が両側のがんのため152例を登録
乳がん取扱い規約 2008年9月 第16版 により分類を併記

表5 発見乳がんの臨床病期(TNM)

2022年度

| | 0期 | I期 | II期 | III期 | IV期 | 不明 | 合計 |
|---------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|----------------|
| 地域・職域・がん生活習慣病 | 37 (24.3) | 84 (55.3) | 27 (17.8) | 2 (1.3) | 2 (1.3) | 0 | 152 (100.0) |
| 個人・医師紹介 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経観 過察 | 地域・職域 ・がん生活習慣病 | 1 (33.3) | 2 (66.7) | 0 | 0 | 0 | 3 (100.0) |
| | 個人・ 医師紹介 | 0 | 0 | 2 (66.7) | 0 | 0 | 3 (100.0) |
| 合計 | 38 (24.1) | 86 (54.4) | 29 (18.4) | 2 (1.3) | 2 (1.3) | 1 (0.6) | 158 (100.0) |

注. 地域・職域・がん生活習慣病からの発見乳がん数は、149名中3名が両側のがんのため152例を登録

1977年度～2001年度

| | Tis | 0期 | I期 | II期 | III期 | IV期 | 不明 | 合計 |
|---------------|-------------------|--------------|---------------|---------------|--------------|-------------|-------------|------------------|
| 地域・職域・がん生活習慣病 | 102 (9.4) | 32 (3.0) | 464 (42.9) | 404 (37.3) | 52 (4.8) | 15 (1.4) | 13 (1.2) | 1,082 (100.0) |
| 個人・医師紹介 | 28 (6.6) | 5 (1.2) | 146 (34.3) | 191 (44.8) | 40 (9.4) | 8 (1.9) | 8 (1.9) | 426 (100.0) |
| 経観 過察 | 地域・職域 ・がん生活習慣病 | 13 (21.7) | 3 (5.0) | 21 (35.0) | 22 (36.7) | 0 | 0 | 60 (100.0) |
| | 個人・ 医師紹介 | 4 (8.9) | 4 (8.9) | 21 (46.7) | 12 (26.7) | 3 (6.7) | 0 | 45 (100.0) |
| 合計 | 147 (9.1) | 44 (2.7) | 652 (40.4) | 629 (39.0) | 95 (5.9) | 23 (1.4) | 23 (1.4) | 1,613 (100.0) |

2002年度～2022年度

| | 0期 | I期 | II期 | III期 | IV期 | 不明 | 合計 |
|---------------|-------------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|-------------|------------------|
| 地域・職域・がん生活習慣病 | 525 (20.2) | 1,517 (58.5) | 445 (17.2) | 45 (1.7) | 22 (0.8) | 40 (1.5) | 2,594 (100.0) |
| 個人・医師紹介 | 2 (8.0) | 16 (64.0) | 5 (20.0) | 2 (8.0) | 0 | 0 | 25 (100.0) |
| 経観 過察 | 地域・職域 ・がん生活習慣病 | 17 (26.2) | 42 (64.6) | 6 (9.2) | 0 | 0 | 65 (100.0) |
| | 個人・ 医師紹介 | 2 (11.8) | 9 (52.9) | 5 (29.4) | 0 | 0 | 17 (100.0) |
| 合計 | 546 (20.2) | 1,584 (58.6) | 461 (17.1) | 47 (1.7) | 22 (0.8) | 41 (1.5) | 2,701 (100.0) |

注1. 1982年度、1983年度に境界領域1名ずつあり表には含まず

2. 乳癌取扱い規約改訂に伴い、2002年度より臨床病期のTisが除外された為、年次成績は1977年度～2001年度
までと2002年度～2022年度までを別表で掲載

表6 対策別検診成績

2022年度

| 対 象 | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | 乳がん (率) | 早期がん (率) |
|-----------------|--------|----------------|-----------------|-------------|-------------|---------------|----------------|
| | | 該当数 (率) | 受診数 (率) | 未受診数 (率) | 未把握数 (率) | | |
| 地 域 | 46,807 | 1,355 (2.9) | 1,319 (97.3) | 2 (0.1) | 34 (2.5) | 142 (0.30) | 112 (78.87) |
| マンモグラフィ | 39,664 | 1,202 (3.0) | 1,174 (97.7) | 2 (0.2) | 26 (2.2) | 137 (0.35) | 108 (78.83) |
| 超音波 | 7,143 | 153 (2.1) | 145 (94.8) | 0 | 8 (5.2) | 5 (0.07) | 4 (80.00) |
| 職 域 | 6,297 | 179 (2.8) | 171 (95.5) | 0 | 8 (4.5) | 7 (0.11) | 6 (85.71) |
| マンモグラフィ | 3,626 | 126 (3.5) | 121 (96.0) | 0 | 5 (4.0) | 5 (0.14) | 5 (100.00) |
| 超音波 | 2,671 | 53 (2.0) | 50 (94.3) | 0 | 3 (5.7) | 2 (0.07) | 1 (50.00) |
| 小計(地域、職域) | 53,104 | 1,534 (2.9) | 1,490 (97.1) | 2 (0.1) | 42 (2.7) | 149 (0.28) | 118 (79.19) |
| マンモグラフィ | 43,290 | 1,328 (3.1) | 1,295 (97.5) | 2 (0.2) | 31 (2.3) | 142 (0.33) | 113 (79.58) |
| 超音波 | 9,814 | 206 (2.1) | 195 (94.7) | 0 | 11 (5.3) | 7 (0.07) | 5 (71.43) |
| がん・生活習慣病 | 775 | 21 (2.7) | 19 (90.5) | 0 | 2 (9.5) | 0 | 0 |
| マンモグラフィ | 690 | 19 (2.8) | 17 (89.5) | 0 | 2 (10.5) | 0 | 0 |
| 超音波 | 85 | 2 (2.4) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 個 人 | 425 | 18 (4.2) | 16 (88.9) | 1 (5.6) | 1 (5.6) | 0 | 0 |
| マンモグラフィ | 419 | 18 (4.3) | 16 (88.9) | 1 (5.6) | 1 (5.6) | 0 | 0 |
| 超音波 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計(がん・生活習慣病、個人) | 1,200 | 39 (3.3) | 35 (89.7) | 1 (2.6) | 3 (7.7) | 0 | 0 |
| マンモグラフィ | 1,109 | 37 (3.3) | 33 (89.2) | 1 (2.7) | 3 (8.1) | 0 | 0 |
| 超音波 | 91 | 2 (2.2) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 54,304 | 1,573 (2.9) | 1,525 (96.9) | 3 (0.2) | 45 (2.9) | 149 (0.27) | 118 (79.19) |
| マンモグラフィ | 44,399 | 1,365 (3.1) | 1,328 (97.3) | 3 (0.2) | 34 (2.5) | 142 (0.32) | 113 (79.58) |
| 超音波 | 9,905 | 208 (2.1) | 197 (94.7) | 0 | 11 (5.3) | 7 (0.07) | 5 (71.43) |

(センタークリニック)

| | | | | | | | |
|---------|-----|---|---|---|---|-------------|--------------|
| 医 師 紹 介 | 14 | - | - | - | - | 1 (7.14) | 0 |
| 経 過 観 察 | 345 | - | - | - | - | 5 (1.45) | 3 (60.00) |

注1. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている) 未把握 (結果が把握できない)

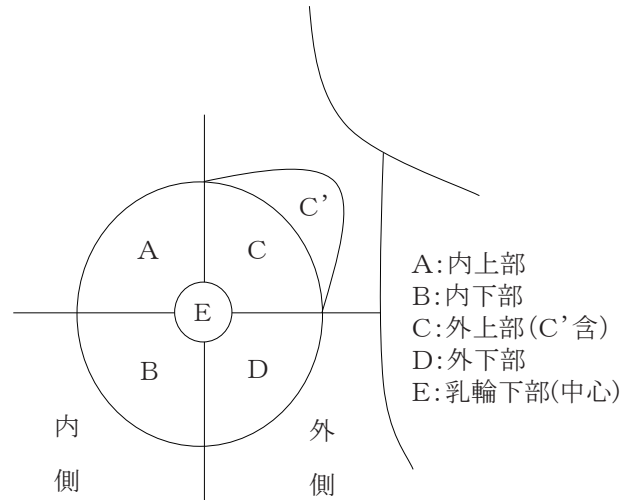
2. 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし

3. 早期がんは乳がんの再掲

表7 発見乳がんの部位別内訳

2022年度

| | 右 | | 左 | | 両側計 |
|--------|----|----|----|----|----------------|
| | | 不明 | | 不明 | |
| A | 20 | | 29 | | 49 (31.0) |
| B | 5 | | 9 | | 14 (8.9) |
| C(+C') | 31 | | 38 | | 69 (43.7) |
| D | 12 | | 8 | | 20 (12.7) |
| E | 5 | | 1 | | 6 (3.8) |
| その他 | | 0 | | 0 | 0 |
| 合計 | 73 | | 85 | | 158 (100.0) |



注. 重複例は個別に計上

表8 経過観察者の成績

2022年度

| 経過観察者数 | 施設紹介 | | 経観継続 | 経観除外 |
|--------|------|-----|------|------|
| | 乳がん | その他 | | |
| 345 | 5 | 1 | 325 | 14 |

表9 検診種目別成績

2022年度

| 検診種目 | 受診数 | 精密検査 | | | | 乳がん(率) | 早期がん(率) |
|------------|--------|----------------|-----------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数(率) | 未把握数(率) | | |
| マンモグラフィ2方向 | 24,795 | 922 (3.7) | 893 (96.9) | 2 (0.2) | 27 (2.9) | 63 (0.25) | 50 (79.37) |
| | | 443 (2.3) | 435 (98.2) | 1 (0.2) | 7 (1.6) | 79 (0.40) | 63 (79.75) |
| | | 208 (2.1) | 197 (94.7) | 0 | 11 (5.3) | 7 (0.07) | 5 (71.43) |
| 合計 | 54,304 | 1,573 (2.9) | 1,525 (96.9) | 3 (0.2) | 45 (2.9) | 149 (0.27) | 118 (79.19) |

注1. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている) 未把握 (結果が把握できない)

- 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし
- 早期がんは乳がんの再掲

表10-1 年齢別成績[地域・職域のマンモグラフィ検診]

2022年度

| 年齢区分 | 受診数 | 精密検査 | | | | 乳がん(率) | 早期がん(率) |
|-------|--------|----------------|-----------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数(率) | 未把握数(率) | | |
| ～29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30～34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 35～39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40～44 | 5,328 | 248 (4.7) | 240 (96.8) | 0 | 8 (3.2) | 9 (0.17) | 7 (77.78) |
| 45～49 | 4,832 | 211 (4.4) | 208 (98.6) | 0 | 2 (0.9) | 14 (0.29) | 11 (78.57) |
| 50～54 | 4,475 | 175 (3.9) | 170 (97.1) | 0 | 5 (2.9) | 14 (0.31) | 13 (92.86) |
| 55～59 | 4,135 | 111 (2.7) | 104 (93.7) | 1 (0.9) | 6 (5.4) | 6 (0.15) | 5 (83.33) |
| 60～64 | 5,276 | 144 (2.7) | 141 (97.9) | 0 | 3 (2.1) | 20 (0.38) | 14 (70.00) |
| 65～69 | 6,125 | 132 (2.2) | 128 (97.0) | 1 (0.8) | 3 (2.3) | 19 (0.31) | 16 (84.21) |
| 70～ | 13,119 | 307 (2.3) | 303 (98.7) | 0 | 4 (1.3) | 60 (0.46) | 47 (78.33) |
| 合計 | 43,290 | 1,328 (3.1) | 1,294 (97.4) | 2 (0.2) | 31 (2.3) | 142 (0.33) | 113 (79.58) |

表10-2 年齢別成績[地域・職域の超音波検診]

2022年度

| 年齢区分 | 受診数 | 精密検査 | | | | 乳がん(率) | 早期がん(率) |
|-------|-------|--------------|---------------|---------|-------------|-------------|--------------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数(率) | 未把握数(率) | | |
| ～29 | 207 | 2 (1.0) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30～34 | 3,286 | 74 (2.3) | 73 (98.6) | 0 | 1 (1.4) | 0 | 0 |
| 35～39 | 5,835 | 114 (2.0) | 104 (91.2) | 0 | 10 (8.8) | 6 (0.10) | 5 (83.33) |
| 40～44 | 78 | 2 (2.6) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 1 (1.28) | 0 |
| 45～49 | 86 | 5 (5.8) | 5 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50～54 | 81 | 3 (3.7) | 3 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55～59 | 131 | 6 (4.6) | 6 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 60～64 | 103 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 65～69 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 70～ | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 9,814 | 206 (2.1) | 195 (94.7) | 0 | 11 (5.3) | 7 (0.07) | 5 (71.43) |

注1. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診（未受診であることがはっきりしている） 未把握（結果が把握できない）

2. 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし

3. 早期がんは乳がんの再掲

表10-3 年齢別成績[がん・生活習慣病健診のマンモグラフィ検診]

2022年度

| 年齢区分 | 受診数 | 精密検査 | | | | 乳がん(率) | 早期がん(率) |
|-------|-----|-------------|--------------|---------|-------------|--------|---------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数(率) | 未把握数(率) | | |
| ～29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 30～34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 35～39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 40～44 | 98 | 3 (3.1) | 3 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |
| 45～49 | 121 | 5 (4.1) | 4 (80.0) | 0 | 1 (20.0) | 0 | |
| 50～54 | 118 | 3 (2.5) | 2 (66.7) | 0 | 1 (33.3) | 0 | |
| 55～59 | 93 | 4 (4.3) | 4 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |
| 60～64 | 89 | 2 (2.2) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |
| 65～69 | 88 | 1 (1.1) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |
| 70～ | 83 | 1 (1.2) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 690 | 19 (2.8) | 17 (89.5) | 0 | 2 (10.5) | 0 | |

表10-4 年齢別成績[がん・生活習慣病健診の超音波検診]

2022年度

| 年齢区分 | 受診数 | 精密検査 | | | | 乳がん(率) | 早期がん(率) |
|-------|-----|------------|--------------|---------|---------|--------|---------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数(率) | 未把握数(率) | | |
| ～29 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 30～34 | 37 | 2 (5.4) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |
| 35～39 | 38 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 40～44 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 45～49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 50～54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 55～59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 60～64 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 65～69 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 70～ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 85 | 2 (2.4) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | |

表11 市町村別乳がん検診成績

| 保健所 | 市町村 | 30歳以上の口 (A) | 受診数 | 30歳以上 の数の (B) | 30歳以上 の率 (B/A) | 精 密 検 査 | | | | | |
|---------|----------|----------------|-------|---------------------|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|
| | | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 数 | 未 把 握 数 |
| 仙南 | 白石市 | 13,033 | 1,790 | 1,790 | 13.7 | 67 | 3.7 | 66 | 98.5 | 0 | 1 |
| | 蔵王町 | 4,558 | 638 | 638 | 14.0 | 13 | 2.0 | 13 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 七ヶ宿町 | 510 | 187 | 175 | 34.3 | 5 | 2.7 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 角田市 | 10,879 | 1,562 | 1,562 | 14.4 | 42 | 2.7 | 39 | 92.9 | 1 | 2 |
| | 丸森町 | 5,058 | 737 | 737 | 14.6 | 17 | 2.3 | 17 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 大河原町 | 8,905 | 1,311 | 1,311 | 14.7 | 43 | 3.3 | 42 | 97.7 | 0 | 1 |
| | 柴田町 | 14,052 | 1,762 | 1,762 | 12.5 | 47 | 2.7 | 45 | 95.7 | 1 | 1 |
| | 村田町 | 4,095 | 490 | 490 | 12.0 | 14 | 2.9 | 14 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 川崎町 | 3,387 | 514 | 514 | 15.2 | 22 | 4.3 | 21 | 95.5 | 0 | 1 |
| 塩釜・岩沼支所 | 名取市 | 29,116 | 3,367 | 3,367 | 11.6 | 97 | 2.9 | 95 | 97.9 | 0 | 2 |
| | 岩沼市 | 16,239 | 2,278 | 2,278 | 14.0 | 51 | 2.2 | 49 | 96.1 | 0 | 2 |
| | 亘理町 | 12,959 | 1,533 | 1,533 | 11.8 | 37 | 2.4 | 34 | 91.9 | 0 | 3 |
| | 山元町 | 4,823 | 544 | 544 | 11.3 | 14 | 2.6 | 13 | 92.9 | 0 | 1 |
| 石巻 | 石巻市(河北) | 4,087 | 337 | 337 | 8.2 | 8 | 2.4 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (雄勝) | 513 | 58 | 58 | 11.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |
| | (河南) | 7,372 | 447 | 447 | 6.1 | 13 | 2.9 | 12 | 92.3 | 0 | 1 |
| | (桃生) | 2,663 | 311 | 311 | 11.7 | 6 | 1.9 | 6 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (北上) | 905 | 86 | 86 | 9.5 | 2 | 2.3 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (牡鹿) | 873 | 95 | 95 | 10.9 | 4 | 4.2 | 4 | 100.0 | 0 | 0 |
| | * (石巻) | - | 4 | 4 | - | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 |
| | 東松島市 | 14,930 | 2,319 | 2,319 | 15.5 | 66 | 2.8 | 64 | 97.0 | 0 | 2 |
| 女川町 | 2,383 | 371 | 371 | 15.6 | 14 | 3.8 | 13 | 92.9 | 0 | 1 | |
| 大崎 | 大崎市(松山) | 2,276 | 194 | 194 | 8.5 | 7 | 3.6 | 7 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (三本木) | 2,877 | 254 | 254 | 8.8 | 7 | 2.8 | 7 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (鹿島台) | 4,617 | 448 | 448 | 9.7 | 10 | 2.2 | 10 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (田尻) | 4,050 | 388 | 388 | 9.6 | 10 | 2.6 | 10 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (岩出山) | 4,072 | 298 | 298 | 7.3 | 15 | 5.0 | 15 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (鳴子) | 2,348 | 245 | 245 | 10.4 | 4 | 1.6 | 4 | 100.0 | 0 | 0 |
| | * (古川) | - | 832 | 832 | - | 25 | 3.0 | 24 | 96.0 | 0 | 1 |
| | 美里町(小牛田) | 7,364 | 1,095 | 1,095 | 14.9 | 22 | 2.0 | 22 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (南郷) | 2,222 | 254 | 254 | 11.4 | 7 | 2.8 | 7 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 涌谷町 | 6,182 | 1,024 | 1,024 | 16.6 | 28 | 2.7 | 28 | 100.0 | 0 | 0 |
| 色麻 | 加美町 | 8,816 | 1,256 | 1,256 | 14.2 | 38 | 3.0 | 38 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 色麻町 | 2,576 | 426 | 426 | 16.5 | 8 | 1.9 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |

*石巻市(石巻)、大崎市(古川)は本対策を実施していないが、他地域での受診分を計上

| 乳 が ん | 乳 頭 腫 | 線 維 腺 腫 | そ の 他 | 異 常 な し | マンモグラフィ | | | | 超音波 | | | |
|-------------|-------------|------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 |
| 5 | 2 | 30 | 62 | 1,690 | 1,478 | 82.6 | 1,478 | 100.0 | 312 | 17.4 | 312 | 100.0 |
| 2 | 0 | 10 | 13 | 613 | 547 | 85.7 | 547 | 100.0 | 91 | 14.3 | 91 | 100.0 |
| 0 | 0 | 2 | 6 | 179 | 160 | 85.6 | 160 | 100.0 | 27 | 14.4 | 27 | 100.0 |
| 1 | 1 | 28 | 53 | 1,476 | 1,342 | 85.9 | 1,342 | 100.0 | 220 | 14.1 | 220 | 100.0 |
| 2 | 1 | 6 | 17 | 711 | 626 | 84.9 | 626 | 100.0 | 111 | 15.1 | 111 | 100.0 |
| 4 | 0 | 33 | 44 | 1,229 | 1,017 | 77.6 | 1,017 | 100.0 | 294 | 22.4 | 294 | 100.0 |
| 10 | 1 | 39 | 46 | 1,664 | 1,428 | 81.0 | 1,428 | 100.0 | 334 | 19.0 | 334 | 100.0 |
| 1 | 0 | 15 | 11 | 463 | 389 | 79.4 | 389 | 100.0 | 101 | 20.6 | 101 | 100.0 |
| 1 | 0 | 10 | 19 | 483 | 444 | 86.4 | 444 | 100.0 | 70 | 13.6 | 70 | 100.0 |
| 8 | 4 | 79 | 118 | 3,156 | 2,596 | 77.1 | 2,596 | 100.0 | 771 | 22.9 | 771 | 100.0 |
| 9 | 0 | 22 | 53 | 2,192 | 2,044 | 89.7 | 2,044 | 100.0 | 234 | 10.3 | 234 | 100.0 |
| 9 | 0 | 17 | 28 | 1,476 | 1,332 | 86.9 | 1,332 | 100.0 | 201 | 13.1 | 201 | 100.0 |
| 0 | 0 | 2 | 18 | 523 | 457 | 84.0 | 457 | 100.0 | 87 | 16.0 | 87 | 100.0 |
| 2 | 0 | 3 | 6 | 326 | 302 | 89.6 | 302 | 100.0 | 35 | 10.4 | 35 | 100.0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 58 | 57 | 98.3 | 57 | 100.0 | 1 | 1.7 | 1 | 100.0 |
| 2 | 2 | 10 | 8 | 424 | 378 | 84.6 | 378 | 100.0 | 69 | 15.4 | 69 | 100.0 |
| 2 | 0 | 3 | 3 | 303 | 278 | 89.4 | 278 | 100.0 | 33 | 10.6 | 33 | 100.0 |
| 0 | 0 | 2 | 3 | 81 | 73 | 84.9 | 73 | 100.0 | 13 | 15.1 | 13 | 100.0 |
| 0 | 0 | 1 | 3 | 91 | 89 | 93.7 | 89 | 100.0 | 6 | 6.3 | 6 | 100.0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 75.0 | 3 | 100.0 | 1 | 25.0 | 1 | 100.0 |
| 7 | 1 | 48 | 78 | 2,183 | 1,964 | 84.7 | 1,964 | 100.0 | 355 | 15.3 | 355 | 100.0 |
| 2 | 0 | 5 | 14 | 349 | 308 | 83.0 | 308 | 100.0 | 63 | 17.0 | 63 | 100.0 |
| 1 | 0 | 0 | 2 | 191 | 187 | 96.4 | 187 | 100.0 | 7 | 3.6 | 7 | 100.0 |
| 0 | 0 | 6 | 4 | 244 | 222 | 87.4 | 222 | 100.0 | 32 | 12.6 | 32 | 100.0 |
| 1 | 2 | 9 | 5 | 431 | 410 | 91.5 | 410 | 100.0 | 38 | 8.5 | 38 | 100.0 |
| 2 | 0 | 5 | 6 | 375 | 360 | 92.8 | 360 | 100.0 | 28 | 7.2 | 28 | 100.0 |
| 3 | 0 | 1 | 6 | 288 | 280 | 94.0 | 280 | 100.0 | 18 | 6.0 | 18 | 100.0 |
| 0 | 0 | 1 | 4 | 240 | 230 | 93.9 | 230 | 100.0 | 15 | 6.1 | 15 | 100.0 |
| 2 | 0 | 43 | 69 | 717 | 416 | 50.0 | 416 | 100.0 | 416 | 50.0 | 416 | 100.0 |
| 3 | 0 | 14 | 25 | 1,053 | 916 | 83.7 | 916 | 100.0 | 179 | 16.3 | 179 | 100.0 |
| 0 | 0 | 4 | 5 | 245 | 221 | 87.0 | 221 | 100.0 | 33 | 13.0 | 33 | 100.0 |
| 2 | 0 | 11 | 34 | 977 | 868 | 84.8 | 868 | 100.0 | 156 | 15.2 | 156 | 100.0 |
| 3 | 0 | 21 | 30 | 1,202 | 1,045 | 83.2 | 1,045 | 100.0 | 211 | 16.8 | 211 | 100.0 |
| 2 | 0 | 13 | 14 | 397 | 343 | 80.5 | 343 | 100.0 | 83 | 19.5 | 83 | 100.0 |

| 保健所 | 市 町 村 | 30人 歳 以上 の口 の口 (A) | 受 診 数 | 30歳 以上 の診 上の数 (B) | 30歳 以上 の診 上の率 (B/A) | 精 密 検 査 | | | | | |
|---------|-------------|-----------------------------------|-------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|
| | | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 数 | 未 把 握 数 |
| 栗原 | 栗原市(築館) | 5,139 | 595 | 595 | 11.6 | 11 | 1.8 | 11 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (一迫) | 2,853 | 374 | 374 | 13.1 | 8 | 2.1 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (高清水) | 1,378 | 161 | 161 | 11.7 | 2 | 1.2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (瀬峰) | 1,660 | 214 | 214 | 12.9 | 8 | 3.7 | 8 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (志波姫) | 2,648 | 348 | 348 | 13.1 | 14 | 4.0 | 14 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (花山) | 412 | 43 | 43 | 10.4 | 1 | 2.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (若柳) | 4,757 | 572 | 572 | 12.0 | 16 | 2.8 | 15 | 93.8 | 0 | 1 |
| | (栗駒) | 4,234 | 556 | 556 | 13.1 | 20 | 3.6 | 19 | 95.0 | 0 | 1 |
| | (鶯沢) | 928 | 110 | 110 | 11.9 | 1 | 0.9 | 1 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (金成) | 2,562 | 296 | 296 | 11.6 | 4 | 1.4 | 4 | 100.0 | 0 | 0 |
| 登米 | 登米市(登米) | 1,910 | 342 | 342 | 17.9 | 8 | 2.3 | 7 | 87.5 | 0 | 1 |
| | (一迫) | 7,701 | 1,578 | 1,578 | 20.5 | 52 | 3.3 | 52 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (東和) | 2,403 | 462 | 462 | 19.2 | 19 | 4.1 | 19 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (中田) | 6,004 | 1,171 | 1,171 | 19.5 | 28 | 2.4 | 28 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (豊里) | 2,457 | 518 | 518 | 21.1 | 19 | 3.7 | 19 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (米山) | 3,434 | 650 | 650 | 18.9 | 13 | 2.0 | 13 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (南方) | 3,229 | 744 | 744 | 23.0 | 38 | 5.1 | 38 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (石越) | 1,833 | 377 | 377 | 20.6 | 13 | 3.4 | 13 | 100.0 | 0 | 0 |
| 気仙沼 | 津山 | 1,306 | 247 | 247 | 18.9 | 4 | 1.6 | 4 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 気仙沼市(気仙沼) | 18,738 | 2,442 | 2,442 | 13.0 | 88 | 3.6 | 81 | 92.0 | 0 | 7 |
| | (唐桑) | 2,463 | 308 | 308 | 12.5 | 5 | 1.6 | 5 | 100.0 | 0 | 0 |
| | (本吉) | 3,787 | 518 | 518 | 13.7 | 30 | 5.8 | 26 | 86.7 | 0 | 3 |
| 塩釜・黒川支所 | 南三陸町 | 4,918 | 765 | 765 | 15.6 | 16 | 2.1 | 16 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 大和町 | 9,726 | 1,213 | 1,213 | 12.5 | 44 | 3.6 | 43 | 97.7 | 0 | 1 |
| | 大郷町 | 3,125 | 368 | 368 | 11.8 | 11 | 3.0 | 11 | 100.0 | 0 | 0 |
| | 富谷市 | 18,653 | 4,267 | 4,267 | 22.9 | 117 | 2.7 | 116 | 99.1 | 0 | 1 |
| 大衡村 | 2,099 | 113 | 113 | 5.4 | 2 | 1.8 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | |
| 地域計 | | 329,097 | 46,807 | 46,795 | 14.2 | 1,355 | 2.9 | 1,318 | 97.3 | 2 | 34 |

注1. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診(未受診であることがはっきりしている) 未把握(結果が把握できない)

2. 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし

3. 2019年度より乳癌取扱い規約の改定(第18版)に伴い、乳頭腫には上皮性腫瘍(良性腫瘍)を計上
線維腺腫には結合織性・上皮性混合腫瘍を計上、その他には非上皮性腫瘍およびそれを計上

| 乳 が ん | 乳 頭 腫 | 線 維 腺 腫 | そ の 他 | 異 常 な し | マンモグラフィ | | | | 超音波 | | | |
|-------------|-------------|------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 |
| 0 | 0 | 11 | 15 | 569 | 513 | 86.2 | 513 | 100.0 | 82 | 13.8 | 82 | 100.0 |
| 1 | 0 | 4 | 8 | 361 | 339 | 90.6 | 339 | 100.0 | 35 | 9.4 | 35 | 100.0 |
| 2 | 0 | 4 | 2 | 153 | 142 | 88.2 | 142 | 100.0 | 19 | 11.8 | 19 | 100.0 |
| 1 | 0 | 7 | 4 | 202 | 188 | 87.9 | 188 | 100.0 | 26 | 12.1 | 26 | 100.0 |
| 0 | 0 | 3 | 11 | 334 | 304 | 87.4 | 304 | 100.0 | 44 | 12.6 | 44 | 100.0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 43 | 41 | 95.3 | 41 | 100.0 | 2 | 4.7 | 2 | 100.0 |
| 2 | 0 | 8 | 13 | 548 | 493 | 86.2 | 493 | 100.0 | 79 | 13.8 | 79 | 100.0 |
| 2 | 0 | 5 | 10 | 538 | 501 | 90.1 | 501 | 100.0 | 55 | 9.9 | 55 | 100.0 |
| 1 | 0 | 0 | 2 | 107 | 100 | 90.9 | 100 | 100.0 | 10 | 9.1 | 10 | 100.0 |
| 0 | 0 | 5 | 7 | 284 | 264 | 89.2 | 264 | 100.0 | 32 | 10.8 | 32 | 100.0 |
| 2 | 0 | 3 | 9 | 327 | 296 | 86.5 | 296 | 100.0 | 46 | 13.5 | 46 | 100.0 |
| 2 | 0 | 30 | 57 | 1,489 | 1,339 | 84.9 | 1,339 | 100.0 | 239 | 15.1 | 239 | 100.0 |
| 2 | 0 | 5 | 14 | 441 | 395 | 85.5 | 395 | 100.0 | 67 | 14.5 | 67 | 100.0 |
| 3 | 0 | 18 | 27 | 1,123 | 1,007 | 86.0 | 1,007 | 100.0 | 164 | 14.0 | 164 | 100.0 |
| 3 | 1 | 7 | 12 | 495 | 432 | 83.4 | 432 | 100.0 | 86 | 16.6 | 86 | 100.0 |
| 3 | 0 | 10 | 15 | 622 | 553 | 85.1 | 553 | 100.0 | 97 | 14.9 | 97 | 100.0 |
| 7 | 0 | 16 | 27 | 694 | 606 | 81.5 | 606 | 100.0 | 138 | 18.5 | 138 | 100.0 |
| 0 | 0 | 4 | 15 | 358 | 333 | 88.3 | 333 | 100.0 | 44 | 11.7 | 44 | 100.0 |
| 0 | 0 | 4 | 5 | 238 | 221 | 89.5 | 221 | 100.0 | 26 | 10.5 | 26 | 100.0 |
| 6 | 0 | 45 | 44 | 2,340 | 2,232 | 91.4 | 2,232 | 100.0 | 210 | 8.6 | 210 | 100.0 |
| 2 | 0 | 2 | 2 | 302 | 284 | 92.2 | 284 | 100.0 | 24 | 7.8 | 24 | 100.0 |
| 2 | 0 | 6 | 9 | 497 | 480 | 92.7 | 480 | 100.0 | 38 | 7.3 | 38 | 100.0 |
| 4 | 0 | 12 | 23 | 726 | 672 | 87.8 | 672 | 100.0 | 93 | 12.2 | 93 | 100.0 |
| 3 | 3 | 27 | 61 | 1,118 | 939 | 77.4 | 939 | 100.0 | 274 | 22.6 | 274 | 100.0 |
| 3 | 1 | 7 | 12 | 345 | 292 | 79.3 | 292 | 100.0 | 76 | 20.7 | 76 | 100.0 |
| 5 | 1 | 61 | 106 | 4,093 | 3,810 | 89.3 | 3,810 | 100.0 | 457 | 10.7 | 457 | 100.0 |
| 0 | 0 | 5 | 6 | 102 | 78 | 69.0 | 78 | 100.0 | 35 | 31.0 | 35 | 100.0 |
| 142 | 20 | 803 | 1,323 | 44,482 | 39,664 | 84.7 | 39,664 | 100.0 | 7,143 | 15.3 | 7,143 | 100.0 |

参考資料

がん検診事業の評価に関する委員会「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の報告による受診率の推計方法に基づき算出

2022年度

| 保健所 | 市町村 | 40歳から74歳までの人口 | 今年受診度数*1 | 受診率*2 | 精密検査 | | | | | | 乳がん | 乳頭腫 | 線維腺腫 | その他 | 異常なし |
|---------|----------|---------------|----------|-------|------|-----|-------|-------|------|------|-----|-----|------|-----|-------|
| | | | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | 未受診数 | 未把握数 | | | | | |
| 仙南 | 白石市 | 8,048 | 1,187 | 29.5 | 50 | 2.8 | 49 | 98.0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 3 | 24 | 1,153 |
| | 蔵王町 | 2,778 | 464 | 35.1 | 12 | 1.9 | 12 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 5 | 454 |
| | 七ヶ宿町 | 254 | 120 | 56.3 | 3 | 1.6 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 117 |
| | 角田市 | 6,771 | 1,144 | 36.3 | 35 | 2.2 | 34 | 97.1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 18 | 1,120 |
| | 丸森町 | 2,921 | 532 | 33.5 | 13 | 1.8 | 13 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 525 |
| | 大河原町 | 5,603 | 825 | 29.8 | 32 | 2.4 | 32 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 10 | 810 |
| | 柴田町 | 8,955 | 1,161 | 25.5 | 34 | 1.9 | 32 | 94.1 | 1 | 1 | 7 | 1 | 5 | 13 | 1,133 |
| | 村田町 | 2,497 | 312 | 26.8 | 12 | 2.4 | 12 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 5 | 302 |
| 川崎町 | 2,119 | 380 | 37.5 | 17 | 3.3 | 16 | 94.1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | 10 | 365 | |
| 塩釜・岩沼支所 | 名取市 | 18,714 | 2,243 | 23.0 | 68 | 2.0 | 66 | 97.1 | 0 | 2 | 3 | 3 | 14 | 20 | 2,201 |
| | 岩沼市 | 10,341 | 1,705 | 31.5 | 40 | 1.8 | 38 | 95.0 | 0 | 2 | 6 | 0 | 7 | 20 | 1,670 |
| | 亘理町 | 8,260 | 1,135 | 26.7 | 29 | 1.9 | 27 | 93.1 | 0 | 2 | 8 | 0 | 3 | 10 | 1,112 |
| | 山元町 | 2,865 | 357 | 25.8 | 11 | 2.0 | 11 | 100.0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 7 | 350 |
| 石巻 | 石巻市(河北) | 2,413 | 259 | 22.5 | 7 | 2.1 | 7 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 254 |
| | (雄勝) | 250 | 40 | 32.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 |
| | (河南) | 4,433 | 332 | 16.9 | 9 | 2.0 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 324 |
| | (桃生) | 1,627 | 241 | 29.7 | 5 | 1.6 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 237 |
| | (北上) | 513 | 62 | 26.9 | 2 | 2.3 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 62 |
| | (牡鹿) | 452 | 75 | 32.3 | 3 | 3.2 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 73 |
| | * (石巻) | - | 3 | - | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 東松島市 | 9,451 | 1,696 | 32.3 | 53 | 2.3 | 51 | 96.2 | 0 | 2 | 6 | 1 | 4 | 22 | 1,661 |
| 女川町 | 1,286 | 218 | 34.4 | 12 | 3.2 | 11 | 91.7 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 6 | 210 | |
| 大崎 | 大崎市(松山) | 1,454 | 148 | 20.3 | 6 | 3.1 | 6 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 146 |
| | (三本木) | 1,800 | 194 | 22.9 | 5 | 2.0 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 190 |
| | (鹿島台) | 2,804 | 332 | 24.6 | 8 | 1.8 | 8 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 329 |
| | (田尻) | 2,444 | 302 | 25.1 | 5 | 1.3 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 1 | 297 |
| | (岩出山) | 2,399 | 207 | 19.4 | 7 | 2.3 | 7 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 203 |
| | (鳴子) | 1,300 | 166 | 27.5 | 4 | 1.6 | 4 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 162 |
| | * (古川) | - | 403 | - | 13 | 1.6 | 13 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 7 | 391 |
| | 美里町(小牛田) | 4,514 | 718 | 29.7 | 17 | 1.6 | 17 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 | 10 | 701 |
| | (南郷) | 1,340 | 181 | 28.7 | 5 | 2.0 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 180 |
| | 涌谷町 | 3,802 | 752 | 35.1 | 25 | 2.4 | 25 | 100.0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 13 | 736 |
| 加美町 | 5,286 | 884 | 35.0 | 31 | 2.5 | 31 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 5 | 6 | 871 | |
| 色麻町 | 1,566 | 291 | 37.8 | 6 | 1.4 | 5 | 83.3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 285 | |

*石巻市(石巻)、大崎市(古川)は本対策を実施していないが、他地域での受診分を計上

| 保 健 所 | 市 町 村 | 40 74 歳 歳 か の ら 人 口 | 今受 年診 度数 *1 | 受 診 率 *2 | 精 密 検 査 | | | | | | 乳 が ん | 乳 頭 腫 | 線 維 腺 腫 | そ の 他 | 異 常 な し |
|---------------------------------|-------------|---------------------------------|----------------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|-------------|-------------|------------------|-------------|------------------|
| | | | | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 数 | 未 把 握 数 | | | | | |
| 栗 原 | 栗原市(築館) | 3,069 | 454 | 27.8 | 9 | 1.5 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 447 |
| | (一迫) | 1,633 | 283 | 31.7 | 7 | 1.9 | 7 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 277 |
| | (高清水) | 830 | 121 | 30.2 | 2 | 1.2 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 119 |
| | (瀬峰) | 1,020 | 163 | 31.3 | 7 | 3.3 | 7 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 3 | 156 |
| | (志波姫) | 1,572 | 268 | 30.7 | 12 | 3.4 | 12 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 263 |
| | (花山) | 229 | 36 | 27.5 | 1 | 2.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 |
| | (若柳) | 2,746 | 431 | 30.1 | 14 | 2.4 | 13 | 92.9 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 6 | 420 |
| | (栗駒) | 2,439 | 422 | 32.0 | 17 | 3.1 | 16 | 94.1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 4 | 413 |
| | (鶯沢) | 516 | 87 | 31.8 | 1 | 0.9 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 86 |
| | (金成) | 1,526 | 226 | 26.9 | 3 | 1.0 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 224 |
| 登 米 | 登米市(登米) | 1,063 | 262 | 48.5 | 4 | 1.2 | 3 | 75.0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 258 |
| | (一迫) | 4,774 | 1,170 | 46.0 | 37 | 2.3 | 37 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 20 | 1,146 |
| | (東和) | 1,431 | 352 | 44.0 | 16 | 3.5 | 16 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 10 | 340 |
| | (中田) | 3,744 | 884 | 45.7 | 22 | 1.9 | 22 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 10 | 870 |
| | (豊里) | 1,530 | 397 | 48.8 | 16 | 3.1 | 16 | 100.0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 6 | 387 |
| | (米山) | 2,114 | 506 | 47.9 | 9 | 1.4 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 4 | 500 |
| | (南方) | 2,008 | 542 | 49.2 | 32 | 4.3 | 32 | 100.0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 2 | 12 | 522 |
| | (石越) | 1,124 | 297 | 48.2 | 11 | 2.9 | 11 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 290 |
| | (津山) | 766 | 200 | 47.1 | 4 | 1.6 | 4 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 196 |
| 気 仙 沼 | 気仙沼市(気仙沼) | 11,273 | 1,793 | 32.8 | 71 | 2.9 | 66 | 93.0 | 0 | 5 | 3 | 0 | 12 | 21 | 1,752 |
| | (唐桑) | 1,430 | 246 | 36.9 | 5 | 1.6 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 243 |
| | (本吉) | 2,286 | 400 | 37.8 | 26 | 5.0 | 23 | 88.5 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 5 | 388 |
| | 南三陸町 | 2,993 | 591 | 37.4 | 13 | 1.7 | 13 | 100.0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 4 | 579 |
| 塩 釜 ・ 黒 川 支 所 | 大和町 | 6,147 | 860 | 26.2 | 34 | 2.8 | 33 | 97.1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 23 | 831 |
| | 大郷町 | 1,874 | 252 | 29.6 | 7 | 1.9 | 7 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 248 |
| | 富谷市 | 13,052 | 3,276 | 33.0 | 88 | 2.1 | 88 | 100.0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 11 | 44 | 3,218 |
| | 大衡村 | 1,283 | 68 | 12.6 | 2 | 1.8 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 67 |
| 地域計 | | 203,732 | 33,656 | 31.2 | 1,049 | 2.2 | 1,022 | 97.4 | 2 | 26 | 104 | 13 | 131 | 439 | 32,943 |

*1. 受診数はマンモグラフィを受診した、40～74歳までを掲載

*2. 受診率は以下のとおり算出(前年度受診数及び2年連続受診数は表示せず)

$$\text{受診率} = \frac{(\text{前年度受診数}) + (\text{今年度受診数}) - (\text{前年度及び今年度における2年連続受診数})}{\text{今年度の対象者数(40歳から74歳の人口)}} \times 100$$

注1. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている) 未把握 (結果が把握できない)

2. 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし

3. 2019年度より乳癌取扱い規約の改定(第18版)に伴い、乳頭腫には上皮性腫瘍(良性腫瘍)を計上
線維腺腫には結合織性・上皮性混合腫瘍を計上、その他には非上皮性腫瘍およびその他を計上

表12 職域乳がん検診成績

| | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | | | 乳がん | 乳頭腫 | 線維腺腫 | その他 | 異常なし |
|---------|-------|---------|-----|-----|-------|------|------|-----|-----|------|-----|-------|
| | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | 未受診数 | 未把握数 | | | | | |
| ～ 29 | 195 | 2 | 1.0 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 23 | 154 |
| 30 ～ 34 | 1,012 | 20 | 2.0 | 19 | 95.0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 89 | 106 | 816 |
| 35 ～ 39 | 978 | 15 | 1.5 | 13 | 86.7 | 0 | 2 | 1 | 0 | 77 | 102 | 796 |
| 40 ～ 44 | 982 | 40 | 4.1 | 38 | 95.0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 13 | 35 | 930 |
| 45 ～ 49 | 975 | 42 | 4.3 | 42 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 16 | 39 | 918 |
| 50 ～ 54 | 913 | 31 | 3.4 | 29 | 93.5 | 0 | 2 | 1 | 1 | 12 | 28 | 870 |
| 55 ～ 59 | 675 | 18 | 2.7 | 17 | 94.4 | 0 | 1 | 1 | 0 | 8 | 18 | 646 |
| 60 ～ 64 | 472 | 9 | 1.9 | 9 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 | 7 | 458 |
| 65 ～ 69 | 79 | 1 | 1.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 78 |
| 70 ～ | 16 | 1 | 6.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 15 |
| 合 計 | 6,297 | 179 | 2.8 | 171 | 95.5 | 0 | 8 | 7 | 2 | 239 | 360 | 5,681 |

表13 総 計

| | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | | | 乳がん | 乳頭腫 | 線維腺腫 | その他 | 異常なし |
|----------|--------|---------|-----|-------|------|------|------|-----|-----|-------|-------|--------|
| | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | 未受診数 | 未把握数 | | | | | |
| 地 域 検 診 | 46,807 | 1,355 | 2.9 | 1,318 | 97.3 | 2 | 34 | 142 | 20 | 803 | 1,323 | 44,482 |
| 職 域 検 診 | 6,297 | 179 | 2.8 | 171 | 95.5 | 0 | 8 | 7 | 2 | 239 | 360 | 5,681 |
| がん・生活習慣病 | 775 | 21 | 2.7 | 19 | 90.5 | 0 | 2 | 0 | 1 | 9 | 23 | 740 |
| 個 人 検 診 | 425 | 18 | 4.2 | 16 | 88.9 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 11 | 410 |
| 合 計 | 54,304 | 1,573 | 2.9 | 1,524 | 96.9 | 3 | 45 | 149 | 23 | 1,053 | 1,717 | 51,313 |

(センタークリニック)

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|-----|----|
| 医 師 紹 介 | 14 | - | - | - | - | - | - | 1 | 0 | 4 | 6 | 3 |
| 経 過 観 察 | 345 | - | - | - | - | - | - | 2 | 0 | 119 | 129 | 95 |

注1. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診（未受診であることがはっきりしている） 未把握（結果が把握できない）

2. 2011年度より視触診廃止に伴い会場精査、施設紹介は計上なし

3. 2019年度より乳癌取扱い規約の改定（第18版）に伴い、乳頭腫には上皮性腫瘍（良性腫瘍）を計上
線維腺腫には結合織性・上皮性混合腫瘍を計上、その他には非上皮性腫瘍およびその他を計上

2022年度

| マ　ン　モ　グ　ラ　フ　イ | | | | 超　音　波 | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 195 | 100.0 | 195 | 100.0 |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1,012 | 100.0 | 1,012 | 100.0 |
| 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 978 | 100.0 | 978 | 100.0 |
| 904 | 92.1 | 904 | 100.0 | 78 | 7.9 | 78 | 100.0 |
| 889 | 91.2 | 889 | 100.0 | 86 | 8.8 | 86 | 100.0 |
| 832 | 91.1 | 832 | 100.0 | 81 | 8.9 | 81 | 100.0 |
| 544 | 80.6 | 544 | 100.0 | 131 | 19.4 | 131 | 100.0 |
| 369 | 78.2 | 369 | 100.0 | 103 | 21.8 | 103 | 100.0 |
| 73 | 92.4 | 73 | 100.0 | 6 | 7.6 | 6 | 100.0 |
| 15 | 93.8 | 15 | 100.0 | 1 | 6.3 | 1 | 100.0 |
| 3,626 | 57.6 | 3,626 | 100.0 | 2,671 | 42.4 | 2,671 | 100.0 |

2022年度

| マ　ン　モ　グ　ラ　フ　イ | | | | 超　音　波 | | | |
|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 |
| 39,664 | 84.7 | 39,664 | 100.0 | 7,143 | 15.3 | 7,143 | 100.0 |
| 3,626 | 57.6 | 3,626 | 100.0 | 2,671 | 42.4 | 2,671 | 100.0 |
| 690 | 89.0 | 690 | 100.0 | 85 | 11.0 | 85 | 100.0 |
| 419 | 98.6 | 419 | 100.0 | 6 | 1.4 | 6 | 100.0 |
| 44,399 | 81.8 | 44,399 | 100.0 | 9,905 | 18.2 | 9,905 | 100.0 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - |

肺 が ん 検 診

〈住民検診〉

宮城県肺がん対策協議会の「肺がん検診体系」に基づく住民検診は、公益財団法人宮城県結核予防会、石巻市医師会および公益財団法人宮城県対がん協会の共同事業として実施している。

◎検診体系

検診は胸部間接X線写真撮影と喀痰細胞診を併用した方法で、住民検診（胸部間接X線写真撮影）受診者に問診を行い、年齢50歳以上で喫煙指数（1日喫煙本数×喫煙年数）600以上の重喫煙者を肺門部肺癌の高危険群として喀痰細胞診を実施した。なお、喀痰細胞診は当協会が担当した。

診断は肺がん専門の医師が結核検診のX線写真を二重読影し、さらに有所見者には過去2年間のX線写真との比較読影を行なった。喀痰細胞診については細胞検査士が一次判定を行い、細胞診専門医4名が最終診断をした。

◎検診成績

2022年度は30市町村において217,526名が住民検診を受診し、そのうち40歳以上は217,234名であった。喀痰細胞診は10,676名に判定がなされた。40歳以上のX線写真撮影者数に対する割合は4.91%であった（表1）。

前年度に比べ、X線写真撮影（年齢40歳以上）は1,043名（0.48%）の増、喀痰細胞診は26名（0.24%）の減であった。

喀痰細胞診の成績は表2・4・5のとおりである。

◎発見がん

喀痰細胞診による精密検査該当者は23名で、2024年1月5日現在、肺がん10例が発見されている。

〈施設検診〉

当協会が実施している施設検診については、胸部直接X線写真撮影（正面、側面の二方向）またはヘリカルCTと喀痰細胞診を併用した方法で、がん・生活習慣病健診、職域および個人の希望者を対象とし5,390名実施した。前年比は56名（1.03%）の減であった。

◎発見がん

精密検査該当者は51名で肺がんは3例発見されている（表3・6）。

〈今後の課題〉

1. 喀痰細胞診が胸部X線や胸部CTのみでは発見困難な肺門部扁平上皮癌の早期発見に有効なことを周知し、高危険群（過去における喫煙者も含む重喫煙者）の受診率向上を目指す。
2. 早期がんの発見のため精度維持に努める。
3. 禁煙教育、受動喫煙防止など一次予防にも力を入れる。

（細胞検査士；羽場 詩穂美）

住民検診

表1 喀痰細胞診

| 年 度 | 実 施 市町村 | 間 接 X 線 検 診 | | 喀 痰 容 器 配 布 回 収 状 況 | | | 細 胞 診 判 定 数 (D) | |
|-----------|------------|-------------|-------------------|---------------------|----------------|--------------|-----------------------|----------------|
| | | 受 診 数 | 老人保健法 40歳以上(A) | 配 布 数 (B) | 配 布 率 (B/A) | 回 収 数 (C) | | 回 収 率 (C/B) |
| 1982～1986 | | 829,079 | | 59,369 | | 47,046 | 79.2 | 45,865 |
| 1987～1991 | | 1,823,373 | 1,452,439 | 84,961 | 6.4 | 74,792 | 88.0 | 73,375 |
| 1992～1996 | | 1,875,632 | 1,590,852 | 108,248 | 6.8 | 96,956 | 89.6 | 95,940 |
| 1997～2001 | | 1,803,956 | 1,568,578 | 100,086 | 6.4 | 91,435 | 91.4 | 90,811 |
| 2002 | 63 | 369,943 | 324,497 | 22,033 | 6.8 | 20,200 | 91.7 | 20,099 |
| 2003 | 61 | 374,138 | 328,667 | 21,736 | 6.6 | 20,076 | 92.4 | 19,777 |
| 2004 | 61 | 369,359 | 326,216 | 21,153 | 6.5 | 19,555 | 92.4 | 19,435 |
| 2005 | 38 | 310,607 | 307,769 | 20,839 | 6.8 | 19,215 | 92.2 | 19,134 |
| 2006 | 31 | 303,182 | 301,782 | 21,149 | 7.0 | 19,559 | 92.5 | 19,467 |
| 2007 | 31 | 302,655 | 301,418 | 21,204 | 7.0 | 19,695 | 92.9 | 19,612 |
| 2008 | 31 | 276,556 | 275,256 | 19,595 | 7.1 | 18,219 | 93.0 | 18,146 |
| 2009 | 30 | 273,060 | 271,732 | 18,661 | 6.9 | 17,528 | 93.9 | 17,430 |
| 2010 | 30 | 269,423 | 268,175 | 17,912 | 6.7 | 16,785 | 93.7 | 16,728 |
| 2011 | 30 | 255,844 | 254,759 | 16,566 | 6.5 | 15,348 | 92.6 | 15,315 |
| 2012 | 30 | 252,685 | 251,416 | 17,035 | 6.8 | 15,920 | 93.5 | 15,877 |
| 2013 | 30 | 253,534 | 252,435 | 16,570 | 6.6 | 15,555 | 93.9 | 15,510 |
| 2014 | 30 | 253,814 | 252,858 | 15,826 | 6.3 | 14,896 | 94.1 | 14,864 |
| 2015 | 30 | 251,785 | 250,855 | 16,678 | 6.6 | 15,663 | 93.9 | 15,626 |
| 2016 | 30 | 249,611 | 248,750 | 15,432 | 6.2 | 14,520 | 94.1 | 14,481 |
| 2017 | 30 | 242,706 | 242,046 | 14,556 | 6.0 | 13,721 | 94.3 | 13,703 |
| 2018 | 30 | 239,676 | 239,124 | 14,046 | 5.9 | 13,288 | 94.6 | 13,248 |
| 2019 | 30 | 231,918 | 231,466 | 13,059 | 5.6 | 12,295 | 94.1 | 12,262 |
| 2020 | 30 | 201,191 | 200,953 | 11,068 | 5.5 | 10,639 | 96.1 | 10,606 |
| 2021 | 30 | 216,486 | 216,191 | 11,220 | 5.2 | 10,735 | 95.7 | 10,702 |
| 2022 | 30 | 217,526 | 217,234 | 11,168 | 5.1 | 10,698 | 95.8 | 10,676 |
| 合計 | | 12,047,739 | 10,175,468 | 710,170 | 7.0 | 644,339 | 90.7 | 638,689 |

表2 喀痰細胞診成績

| 年 度 | 細 胞 診 判 定 数 | I | II | III | IV | V |
|-----------|----------------|--------------|-----------------|------------|------------|------------|
| 1982～1986 | 45,865 | 848 (1.85) | 44,732 (97.53) | 156 (0.34) | 52 (0.11) | 77 (0.17) |
| 1987～1991 | 73,375 | 1,128 (1.54) | 71,948 (98.06) | 144 (0.20) | 107 (0.15) | 48 (0.07) |
| 1992～1996 | 95,940 | 844 (0.88) | 94,749 (98.76) | 190 (0.20) | 108 (0.11) | 49 (0.05) |
| 1997～2001 | 90,811 | 1,303 (1.43) | 89,247 (98.28) | 102 (0.11) | 80 (0.09) | 79 (0.05) |
| 2002 | 20,099 | 284 (1.41) | 19,778 (98.40) | 19 (0.09) | 10 (0.05) | 8 (0.04) |
| 2003 | 19,777 | 312 (1.58) | 19,431 (98.25) | 16 (0.08) | 6 (0.03) | 12 (0.06) |
| 2004 | 19,435 | 335 (1.72) | 19,050 (98.02) | 22 (0.11) | 14 (0.07) | 14 (0.07) |
| 2005 | 19,134 | 311 (1.63) | 18,775 (98.12) | 27 (0.14) | 12 (0.06) | 9 (0.05) |
| 2006 | 19,467 | 246 (1.26) | 19,181 (98.53) | 20 (0.10) | 9 (0.05) | 11 (0.06) |
| 2007 | 19,612 | 215 (1.10) | 19,341 (98.62) | 27 (0.14) | 11 (0.06) | 18 (0.09) |
| 2008 | 18,146 | 146 (0.80) | 17,943 (98.88) | 28 (0.15) | 14 (0.08) | 15 (0.08) |
| 2009 | 17,430 | 188 (1.08) | 17,210 (98.74) | 12 (0.07) | 13 (0.07) | 7 (0.04) |
| 2010 | 16,728 | 201 (1.20) | 16,488 (98.57) | 23 (0.14) | 8 (0.05) | 8 (0.05) |
| 2011 | 15,315 | 153 (1.00) | 15,143 (98.88) | 7 (0.05) | 9 (0.06) | 3 (0.02) |
| 2012 | 15,877 | 126 (0.79) | 15,732 (99.09) | 4 (0.03) | 6 (0.04) | 9 (0.06) |
| 2013 | 15,510 | 149 (0.96) | 15,340 (98.90) | 9 (0.06) | 8 (0.05) | 4 (0.03) |
| 2014 | 14,864 | 120 (0.81) | 14,720 (99.03) | 7 (0.05) | 6 (0.04) | 11 (0.07) |
| 2015 | 15,626 | 102 (0.65) | 15,492 (99.14) | 15 (0.10) | 9 (0.06) | 8 (0.05) |
| 2016 | 14,481 | 109 (0.75) | 14,340 (99.03) | 9 (0.06) | 14 (0.10) | 9 (0.06) |
| 2017 | 13,703 | 128 (0.93) | 13,546 (98.85) | 9 (0.07) | 14 (0.10) | 6 (0.04) |
| 2018 | 13,248 | 161 (1.22) | 13,073 (98.68) | 6 (0.05) | 6 (0.05) | 2 (0.02) |
| 2019 | 12,262 | 151 (1.23) | 12,087 (98.57) | 6 (0.05) | 9 (0.07) | 9 (0.07) |
| 2020 | 10,606 | 133 (1.25) | 10,458 (98.60) | 3 (0.03) | 6 (0.06) | 6 (0.06) |
| 2021 | 10,702 | 131 (1.22) | 10,563 (98.70) | 1 (0.01) | 4 (0.04) | 3 (0.03) |
| 2022 | 10,676 | 139 (1.30) | 10,514 (98.48) | 7 (0.07) | 9 (0.08) | 7 (0.07) |
| 合計 | 638,689 | 7,963 (1.25) | 628,881 (98.46) | 869 (0.14) | 544 (0.09) | 432 (0.07) |

施設検診

表3 肺がん検診

| 年 度 | 受 診 数 | 精 密 検 査 | | | | 肺 が ん | 肺 結 核 | そ の 他 |
|-----------|---------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | | 該 当 数 | 該 当 率 | 受 診 数 | 受 診 率 | | | |
| 1976～1981 | 6,537 | 438 | 6.7 | 358 | 81.7 | 3 | 309 | 210 |
| 1982～1986 | 21,256 | 422 | 2.0 | 397 | 94.1 | 10 | 476 | 391 |
| 1987 | 6,488 | 82 | 1.3 | 78 | 95.1 | 0 | 80 | 54 |
| 1988 | 6,321 | 81 | 1.3 | 80 | 98.8 | 3 | 54 | 35 |
| 1989 | 5,122 | 44 | 0.9 | 43 | 97.7 | 1 | 47 | 21 |
| 1990 | 4,952 | 35 | 0.7 | 35 | 100.0 | (1) 0 | 32 | 31 |
| 1991 | 5,102 | 33 | 0.6 | 32 | 97.0 | 1 | 51 | 31 |
| 1992 | 5,442 | 39 | 0.7 | 39 | 100.0 | 1 | 58 | 50 |
| 1993 | 6,093 | 40 | 0.7 | 37 | 92.5 | 1 | 44 | 60 |
| 1994 | 6,326 | 41 | 0.6 | 41 | 100.0 | 1 | 47 | 57 |
| 1995 | 6,622 | 46 | 0.7 | 41 | 89.1 | 2 | 41 | 30 |
| 1996 | 6,864 | 43 | 0.6 | 41 | 95.3 | 2 | 25 | 52 |
| 1997 | 7,101 | 30 | 0.4 | 29 | 96.7 | 1 | 83 | 70 |
| 1998 | 6,978 | 26 | 0.4 | 25 | 96.2 | 2 | 57 | 53 |
| 1999 | 7,099 | 38 | 0.5 | 36 | 94.7 | 0 | 60 | 54 |
| 2000 | 7,051 | 33 | 0.5 | 31 | 93.9 | 2 | 61 | 58 |
| 2001 | 6,991 | 25 | 0.4 | 22 | 88.0 | 2 | 44 | 43 |
| 2002 | 6,903 | 35 | 0.5 | 31 | 88.6 | 1 | 43 | 86 |
| 2003 | 6,691 | 24 | 0.4 | 23 | 95.8 | 5 | 59 | 65 |
| 2004 | 6,731 | 30 | 0.4 | 28 | 93.3 | 1 | 41 | 88 |
| 2005 | 6,662 | 28 | 0.4 | 24 | 85.7 | 1 | 28 | 86 |
| 2006 | 6,714 | 35 | 0.5 | 33 | 94.3 | 1 | 28 | 97 |
| 2007 | 5,573 | 23 | 0.4 | 21 | 91.3 | 0 | 22 | 94 |
| 2008 | 5,597 | 21 | 0.4 | 20 | 95.2 | 0 | 14 | 89 |
| 2009 | 5,659 | 26 | 0.5 | 25 | 96.2 | 1 | 0 | 16 |
| 2010 | 5,668 | 24 | 0.4 | 20 | 83.3 | 2 | 1 | 32 |
| 2011 | 5,351 | 15 | 0.3 | 15 | 100.0 | 1 | 0 | 19 |
| 2012 | 5,224 | 11 | 0.2 | 11 | 100.0 | 2 | 2 | 11 |
| 2013 | 5,262 | 20 | 0.4 | 20 | 100.0 | 4 | 2 | 21 |
| 2014 | 5,389 | 31 | 0.6 | 27 | 87.1 | 2 | 2 | 201 |
| 2015 | 5,417 | 26 | 0.5 | 26 | 100.0 | (1) 1 | 2 | 198 |
| 2016 | 5,616 | 44 | 0.8 | 43 | 97.7 | 4 | 1 | 168 |
| 2017 | 5,582 | 53 | 0.9 | 46 | 86.8 | 1 | 0 | 48 |
| 2018 | 5,539 | 76 | 1.4 | 75 | 98.7 | 6 | 0 | 246 |
| 2019 | 5,316 | 64 | 1.2 | 57 | 89.1 | 5 | 1 | 203 |
| 2020 | 5,145 | 69 | 1.3 | 68 | 98.6 | 3 | 0 | 105 |
| 2021 | 5,446 | 58 | 1.1 | 56 | 96.6 | 3 | 0 | 116 |
| 2022 | 5,390 | 51 | 0.9 | 48 | 94.1 | 3 | 0 | 105 |
| 合計 | 243,220 | 2,260 | 0.9 | 2,082 | 92.1 | (2) 79 | 1,815 | 3,394 |

注1. その他には、胸膜炎、気管支炎、気管支拡張症、珪肺症、自然気胸、肺のう胞症、肺化膿症、肺炎、横隔膜弛緩症、良性肺腫瘍、肋骨骨腫、気腫性肺膿胞症、傍気管リンパ節腫大、肺気腫等を掲げた

2. ()は、肺がんの疑い

3. 肺結核には陳旧性を含む

表4 性・年齢別細胞診成績(住民検診)〈宮城県肺がん対策協議会実施分〉

2022年度

| クラス 年齢 | 性別 | 総数 | I | II | | III | IV | V |
|-----------|----|--------|-----|--------|---|-----|----|---|
| | | | | a | b | | | |
| ～ 39 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40 ～ 44 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 45 ～ 49 | 男 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 男 | 199 | 2 | 197 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 34 | 0 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 233 | 2 | 231 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 男 | 323 | 5 | 316 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | 女 | 53 | 2 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 376 | 7 | 367 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 男 | 657 | 7 | 649 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 女 | 100 | 2 | 98 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 757 | 9 | 747 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 65 ～ 69 | 男 | 1,754 | 26 | 1,723 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| | 女 | 138 | 1 | 136 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 計 | 1,892 | 27 | 1,859 | 1 | 2 | 3 | 0 |
| 70 ～ 74 | 男 | 3,097 | 38 | 3,055 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | 女 | 169 | 3 | 166 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 3,266 | 41 | 3,221 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 男 | 2,338 | 31 | 2,298 | 4 | 1 | 1 | 3 |
| | 女 | 100 | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 2,438 | 31 | 2,398 | 4 | 1 | 1 | 3 |
| 80 ～ | 男 | 1,662 | 22 | 1,632 | 0 | 0 | 4 | 4 |
| | 女 | 51 | 0 | 50 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 1,713 | 22 | 1,682 | 1 | 0 | 4 | 4 |
| 合 計 | 男 | 10,031 | 131 | 9,871 | 7 | 7 | 8 | 7 |
| | 女 | 645 | 8 | 635 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | 計 | 10,676 | 139 | 10,506 | 8 | 7 | 9 | 7 |

表5 市町村別結核肺がん検診成績(住民検診)

2022年度

| 保健所 | 市町村 | 検診機関 | 40歳以上 接以撮上影 の数(A) | 喀痰容器配布回収状況 | | | | 細判 胞定 診数 | 細胞診クラス判定 | | | | | |
|--------|----------|---------|-------------------------|--------------------|----------------------|--------------------|----------------------|----------------|----------|-----|----|-----|----|---|
| | | | | 配 布 数 (B) | 配 布 率 (B/A) | 回 収 数 (C) | 回 収 率 (C/B) | | I | II | | III | IV | V |
| | | | | | | | | | | a | b | | | |
| 仙南 | 白石市 | K | 4,298 | 182 | 4.2 | 173 | 95.1 | 173 | 5 | 168 | | | | |
| | 蔵王町 | K | 1,856 | 118 | 6.4 | 108 | 91.5 | 108 | 3 | 103 | | | 2 | |
| | 七ヶ宿町 | K | 401 | 31 | 7.7 | 27 | 87.1 | 27 | | 27 | | | | |
| | 角田市 | K | 4,046 | 253 | 6.3 | 247 | 97.6 | 247 | 1 | 246 | | | | |
| | 丸森町 | K | 909 | 33 | 3.6 | 32 | 97.0 | 32 | 1 | 31 | | | | |
| | 大河原町 | K | 2,990 | 121 | 4.0 | 117 | 96.7 | 117 | 5 | 112 | | | | |
| | 柴田町 | K | 4,857 | 126 | 2.6 | 122 | 96.8 | 122 | 1 | 121 | | | | |
| | 村田町 | K | 1,902 | 38 | 2.0 | 38 | 100.0 | 38 | | 38 | | | | |
| 塩岩沼支釜所 | 川崎町 | K | 1,679 | 62 | 3.7 | 58 | 93.5 | 58 | | 57 | 1 | | | |
| | 名取市 | K | 8,018 | 413 | 5.2 | 400 | 96.9 | 400 | 6 | 392 | 1 | | 1 | |
| | 岩沼市 | K | 3,586 | 236 | 6.6 | 229 | 97.0 | 229 | 6 | 223 | | | | |
| | 亘理町 | K | 4,000 | 141 | 3.5 | 138 | 97.9 | 138 | 1 | 136 | 1 | | | |
| 塩釜 | 山元町 | K | 1,713 | 55 | 3.2 | 50 | 90.9 | 50 | 1 | 49 | | | | |
| | 利府町 | K | 4,511 | 239 | 5.3 | 230 | 96.2 | 230 | | 230 | | | | |
| 石巻 | 石巻市(石巻) | I | 13,528 | 829 | 6.1 | 808 | 97.5 | 806 | 6 | 796 | 2 | 1 | 1 | |
| | (河北) | K | 1,683 | 92 | 5.5 | 87 | 94.6 | 87 | | 86 | 1 | | | |
| | (雄勝) | K | 273 | 7 | 2.6 | 7 | 100.0 | 7 | | 7 | | | | |
| | (河南) | K | 2,011 | 99 | 4.9 | 93 | 93.9 | 93 | 1 | 92 | | | | |
| | (桃生) | K | 1,054 | 48 | 4.6 | 44 | 91.7 | 44 | 1 | 43 | | | | |
| | (北上) | K | 474 | 22 | 4.6 | 22 | 100.0 | 21 | | 21 | | | | |
| | (牡鹿) | K | 420 | 28 | 6.7 | 24 | 85.7 | 24 | 1 | 23 | | | | |
| | (荻浜) | K | 132 | 5 | 3.8 | 4 | 80.0 | 4 | | 4 | | | | |
| | 東松島市 | K | 4,544 | 265 | 5.8 | 250 | 94.3 | 250 | 3 | 246 | | 1 | | |
| 大崎 | 女川町 | I | 1,379 | 42 | 3.0 | 40 | 95.2 | 40 | 1 | 39 | | | | |
| | 大崎市(古川) | K | 9,031 | 331 | 3.7 | 315 | 95.2 | 314 | 1 | 311 | | 1 | 1 | |
| | (松山) | K | 1,019 | 42 | 4.1 | 38 | 90.5 | 38 | | 38 | | | | |
| | (三本木) | K | 1,124 | 40 | 3.6 | 40 | 100.0 | 40 | | 40 | | | | |
| | (鹿島台) | K | 1,943 | 88 | 4.5 | 79 | 89.8 | 79 | 1 | 78 | | | | |
| | (田尻) | K | 1,726 | 93 | 5.4 | 86 | 92.5 | 86 | | 86 | | | | |
| | (岩出山) | K | 1,690 | 109 | 6.4 | 104 | 95.4 | 102 | | 101 | | | 1 | |
| | (鳴子) | K | 1,250 | 72 | 5.8 | 70 | 97.2 | 70 | 1 | 69 | | | | |
| | 美里町(小牛田) | K | 3,236 | 76 | 2.3 | 74 | 97.4 | 74 | | 74 | | | | |
| | (南郷) | K | 865 | 22 | 2.5 | 21 | 95.5 | 21 | 1 | 20 | | | | |
| | 加美町 | K | 3,094 | 184 | 5.9 | 172 | 93.5 | 172 | 2 | 170 | | | | |
| | 色麻町 | K | 1,241 | 64 | 5.2 | 57 | 89.1 | 57 | | 57 | | | | |
| | 栗原 | 栗原市(築館) | K | 1,996 | 74 | 3.7 | 72 | 97.3 | 71 | 1 | 69 | | 1 | |
| (一迫) | | K | 1,358 | 76 | 5.6 | 76 | 100.0 | 74 | | 74 | | | | |
| (高清水) | | K | 748 | 31 | 4.1 | 30 | 96.8 | 30 | | 30 | | | | |
| (瀬峰) | | K | 552 | 28 | 5.1 | 28 | 100.0 | 28 | 1 | 27 | | | | |
| (志波姫) | | K | 1,207 | 52 | 4.3 | 49 | 94.2 | 48 | | 48 | | | | |
| (花山) | | K | 249 | 7 | 2.8 | 7 | 100.0 | 7 | 1 | 6 | | | | |
| (若柳) | | K | 2,135 | 97 | 4.5 | 95 | 97.9 | 92 | 2 | 90 | | | | |
| (栗駒) | | K | 2,151 | 82 | 3.8 | 81 | 98.8 | 80 | | 79 | | | 1 | |
| (鶯沢) | | K | 494 | 16 | 3.2 | 16 | 100.0 | 16 | | 16 | | | | |
| (金成) | K | 1,204 | 57 | 4.7 | 56 | 98.2 | 55 | 1 | 54 | | | | | |

| 保健所 | 市町村 | 検診機関 | 40歳以上撮上影の数(A) | 喀痰容器配布回収状況 | | | | 細判 胞定 診数 | 細胞診クラス判定 | | | | | |
|--------|-----------|------|---------------|------------|----------|--------|----------|----------------|----------|--------|---|-----|----|---|
| | | | | 配布数(B) | 配布率(B/A) | 回収数(C) | 回収率(C/B) | | I | II | | III | IV | V |
| | | | | | | | | | | a | b | | | |
| 登米 | 登米市(登米) | K | 1,310 | 62 | 4.7 | 60 | 96.8 | 60 | | 60 | | | | |
| | (迫) | K | 4,320 | 164 | 3.8 | 153 | 93.3 | 150 | 1 | 149 | | | | |
| | (東和) | K | 1,583 | 52 | 3.3 | 48 | 92.3 | 48 | 2 | 46 | | | | |
| | (中田) | K | 4,013 | 189 | 4.7 | 170 | 89.9 | 170 | 6 | 164 | | | | |
| | (豊里) | K | 1,476 | 56 | 3.8 | 53 | 94.6 | 53 | 2 | 51 | | | | |
| | (米山) | K | 2,494 | 90 | 3.6 | 86 | 95.6 | 86 | 1 | 85 | | | | |
| | (南方) | K | 2,121 | 79 | 3.7 | 72 | 91.1 | 71 | 2 | 69 | | | | |
| | (石越) | K | 1,392 | 39 | 2.8 | 34 | 87.2 | 34 | | 34 | | | | |
| (津山) | K | 827 | 44 | 5.3 | 41 | 93.2 | 40 | | 40 | | | | | |
| 気仙沼 | 気仙沼市(気仙沼) | K | 5,335 | 226 | 4.2 | 213 | 94.2 | 213 | 2 | 211 | | | | |
| | (唐桑) | K | 524 | 27 | 5.2 | 24 | 88.9 | 24 | 1 | 23 | | | | |
| | (本吉) | K | 1,242 | 53 | 4.3 | 51 | 96.2 | 51 | 3 | 47 | | 1 | | |
| | 南三陸町 | K | 823 | 31 | 3.8 | 30 | 96.8 | 30 | 1 | 29 | | | | |
| | 本吉町 | K | | | 7.3 | | 96.7 | | | | | | | |
| 塩黒川支釜所 | 大和町 | K | 3,329 | 243 | 7.3 | 235 | 96.7 | 233 | 1 | 229 | | 2 | 1 | |
| | 大郷町 | K | 1,301 | 65 | 5.0 | 61 | 93.8 | 61 | 2 | 59 | | | | |
| | 富谷市 | K | 6,798 | 400 | 5.9 | 384 | 96.0 | 384 | 3 | 381 | | | | |
| | 大衡村 | K | 742 | 22 | 3.0 | 22 | 100.0 | 22 | 1 | 21 | | | | |
| 仙台台 | 青葉保健所 | K | 12,744 | 779 | 6.1 | 751 | 96.4 | 751 | 14 | 735 | 1 | | | 1 |
| | 宮城支所 | K | 5,053 | 311 | 6.2 | 299 | 96.1 | 299 | 3 | 296 | | | | |
| | 宮城野保健所 | K | 10,113 | 618 | 6.1 | 593 | 96.0 | 593 | 9 | 582 | 1 | | | 1 |
| | 若林保健所 | K | 7,944 | 467 | 5.9 | 454 | 97.2 | 454 | 10 | 443 | | | | 1 |
| | 太白保健所 | K | 15,474 | 930 | 6.0 | 904 | 97.2 | 904 | 8 | 893 | | | | 3 |
| | 秋保支所 | K | 300 | 23 | 7.7 | 21 | 91.3 | 21 | | 20 | | | | 1 |
| | 泉保健所 | K | 17,399 | 1,072 | 6.2 | 1,025 | 95.6 | 1,025 | 12 | 1,012 | | | | 1 |
| K 群 計 | | | 202,327 | 10,297 | 5.1 | 9,850 | 95.7 | 9,830 | 132 | 9,671 | 6 | 6 | 8 | 7 |
| I 群 計 | | | 14,907 | 871 | 5.8 | 848 | 97.4 | 846 | 7 | 835 | 2 | 1 | 1 | |
| 合 計 | | | 217,234 | 11,168 | 5.1 | 10,698 | 95.8 | 10,676 | 139 | 10,506 | 8 | 7 | 9 | 7 |

注. 検診機関 K群:結核予防会 I群:石巻市医師会

表6 対策別検診成績

| | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | | 肺がん | 肺結核 | 胸膜炎 | その他 |
|----------|-------|---------|-----|------|------|-------|-------|-----|-----|-----|
| | | 該当数 | 受診数 | 未受診数 | 未把握数 | 受診率 | | | | |
| がん・生活習慣病 | 5,353 | 50 | 47 | 3 | 0 | 94.0 | 2 | 0 | 1 | 103 |
| 職 域 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 個 人 | 19 | 1 | 1 | 0 | 0 | 100.0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合 計 | 5,390 | 51 | 48 | 3 | 0 | 94.1 | (0) 3 | 0 | 1 | 104 |

注1. 胸膜炎には陳旧性を含む

2. 肺がんには転移性も含む

3. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている)

未把握 (結果が把握できない)

4. ()は、肺がんの疑い

大腸がん検診

大腸がんは、男女共にわが国のがん罹患数・死亡数の上位に位置しており、検診及び精検の受診率向上をより推進する必要がある。

2022年度の大腸がん検診は、18の地域検診と29の職域検診、がん・生活習慣病健診、個人申込みに対して実施した。

一次検診は、免疫学的便潜血検査スティック法（2日法）で実施した。二次検診は、全大腸内視鏡検査、及び必要に応じて注腸X線検査や大腸CT検査を追加している。

<一次検診>

2022年度の一次検診は、総受診数は76,358名で前年度より822名増加した（表7）。

受診数の内訳は、地域66,663名、職域5,223名、がん・生活習慣病4,460名、個人12名であった。前年度と比較すると、地域検診836名増加、職域28名増加、がん・生活習慣病29名減少、個人13名減少であった。性別では、男性35,003名、女性41,355名で女性の方が多かった。

地域（石巻市石巻地域を除く）では、40歳以上の受診数（率）は66,063名（18.7%）で受診率は前年度よりも0.3%増加した（表1）。年齢階級別に見ると、40～59歳の働く世代の受診率が他の年齢層より低かった。性別では、女性の受診数が多く男性の1.4倍であった（表4）。

職域では、40～59歳の受診数が全体の80.2%を占めていた。性別では、男性の受診数が女性の3.4倍であった（表5）。

がん・生活習慣病では、69歳以下の受診数が全体の84.8%を占め、男性の受診数が多かった（表9）。

<二次検診>

精密検査該当数（率）は3,901名（5.1%）であった。内訳は、地域3,468名（5.2%）、職域206名（3.9%）、がん・生活習慣病226名（5.1%）、個人1名（8.3%）であった。

精密検査受診数（率）は3,451名（88.5%）で、内訳は地域3,061名（88.3%）、職域196名（95.1%）、がん・生活習慣病193名（85.4%）、個人1名（100.0%）であった（表7）。

地域では、精検受診率が前年度（89.9%）より1.6%低下している。精検未把握者が精検該当者の2.2%であり、前年度（2.3%）と著変はないが、精検未検者が精検該当者の9.5%であり、前年度（7.8%）から1.7%増加している（表1）。年代別では、54歳以下の精検受診率は低い傾向にあった。特に40～44歳女性は74.6%と低かった（表4）。

がん・生活習慣病の精検受診率は、60歳以上が高く59歳以下は低い傾向にあった（表9）。

精密検査の受診先は、当センター1,076名（地域22.5%、職域75.4%、ドック62.4%）、地元医療機関2,375名だった。

当協会でのCFPの実施数は83名であった。

<発見がん>

一次検診からの発見がん（率）は230名（0.30%）、そのうち早期がん（率）は162名（70.4%）であった。地域からの発見がんは219名（0.33%）、うち早期がんは154名（70.3%）であった。地域以外からの発見がんは11名（0.11%）、うち早期がんは8名（72.7%）であった。また、二次検診から受診した個人・医師紹介は6名、経過観察者は3名がんが発見され、発見がんの総数は239名であった（表2・7・8）。

地域では、性別で見ると男性の発見率が0.47%、女性が0.23%と男性の発見率が高かった。年齢階級別では、40～44歳0.11%、60～64歳0.30%、80歳以上は0.47%と発見率は加齢に伴い高くなった（表4）。部位別では、S状結腸が最も多く（83件、35.9%）、上行結腸（53件、22.9%）、直腸（52件、22.5%）の順であった。S状結腸と直腸で全体の半数以上を占めていた（135名58.4%）（図1、表3）。

発見がん239名を進行度別に分けると、早期がん171名（71.5%）、進行がん66名（27.6%）、不明2名（0.8%）であった。治療法は内視鏡治療150名（62.8%）、外科手術87名（36.4%）、その他2名（化学療法、未治療）であった。

<今後の課題>

1. 実施主体と連携し、受診率向上に向け大腸がん検診の普及・啓発に力を入れる。
2. 実施主体及び医療機関と連携し、精検未受診者・未把握者への受診勧奨を行い、正確な結果把握に努める。
3. 精密検査が安全に行われるよう感染対策に留意する。

（看護師；佐々木 かおり）

表1 検診年次成績(地域検診)

| 年 度 | 40歳以上の人口 | 受診数 (率) | 便潜血 反応検査 陽性数 | ハイリスク 該当数 | 精密検査 | | 精 検 受診数 | 精 検 受診率 | 精 検 未受診 数 | 精 検 未把握 数 | 発 見 疾 患 | | | |
|-----------|----------|------------------|--------------------|--------------|--------|------|------------|------------|-----------------|-----------------|---------|-------|--------|--------|
| | | | | | 該当数 | 該当率 | | | | | 大腸がん | 早期がん | 大腸腺腫 | そ の 他 |
| 1981～1985 | | 15,144 | 1,276 | 336 | 1,612 | 10.6 | 1,424 | 88.3 | 188 | | 31 | 13 | 178 | 1,215 |
| 1986～1990 | | 66,452 | 3,644 | 1,443 | 5,087 | 7.7 | 4,442 | 87.3 | 645 | | 147 | 96 | 834 | 2,922 |
| 1991～1995 | | 205,484 | 7,410 | 0 | 7,410 | 3.6 | 7,126 | 96.2 | 284 | | 555 | 368 | 1,579 | 1,398 |
| 1996～2000 | | 307,630 | 11,040 | 0 | 11,040 | 3.6 | 10,460 | 94.7 | 580 | | 785 | 535 | 2,826 | 1,529 |
| 2001 | 329,121 | 67,872 (20.6) | 2,133 | 0 | 2,133 | 3.1 | 2,001 | 93.8 | 132 | | 131 | 72 | 519 | 342 |
| 2002 | 322,739 | 65,950 (20.4) | 1,632 | 0 | 1,632 | 2.5 | 1,545 | 94.7 | 87 | | 140 | 86 | 433 | 299 |
| 2003 | 317,009 | 65,129 (20.5) | 1,730 | 0 | 1,730 | 2.7 | 1,622 | 93.8 | 108 | | 156 | 89 | 463 | 332 |
| 2004 | 289,567 | 57,686 (19.9) | 2,541 | 0 | 2,541 | 4.4 | 2,344 | 92.2 | 197 | | 179 | 118 | 635 | 514 |
| 2005 | 289,072 | 57,634 (19.9) | 2,228 | 0 | 2,228 | 3.9 | 2,031 | 91.2 | 197 | | 124 | 79 | 587 | 420 |
| 2006 | 276,530 | 55,894 (20.2) | 2,563 | 0 | 2,563 | 4.6 | 2,353 | 91.8 | 210 | | 167 | 107 | 659 | 532 |
| 2007 | 272,979 | 55,856 (20.5) | 2,454 | 0 | 2,454 | 4.4 | 2,261 | 92.1 | 193 | | 136 | 84 | 610 | 577 |
| 2008 | 352,628 | 69,336 (19.7) | 3,084 | 0 | 3,084 | 4.4 | 2,856 | 92.6 | 228 | | 178 | 107 | 723 | 764 |
| 2009 | 341,401 | 69,166 (20.3) | 3,829 | 0 | 3,829 | 5.5 | 3,531 | 92.2 | 235 | 63 | 216 | 144 | 855 | 1,005 |
| 2010 | 305,691 | 54,147 (17.7) | 2,984 | 0 | 2,984 | 5.5 | 2,759 | 92.5 | 186 | 39 | 177 | 117 | 748 | 842 |
| 2011 | 300,141 | 52,060 (17.3) | 2,874 | 0 | 2,874 | 5.5 | 2,628 | 91.4 | 188 | 58 | 191 | 143 | 758 | 840 |
| 2012 | 301,605 | 54,231 (18.0) | 2,906 | 0 | 2,906 | 5.4 | 2,664 | 91.7 | 212 | 30 | 165 | 112 | 742 | 901 |
| 2013 | 291,984 | 54,274 (18.6) | 2,716 | 0 | 2,716 | 5.0 | 2,485 | 91.5 | 187 | 44 | 166 | 121 | 685 | 828 |
| 2014 | 293,028 | 57,178 (19.5) | 3,124 | 0 | 3,124 | 5.5 | 2,853 | 91.3 | 190 | 81 | 200 | 152 | 775 | 1,018 |
| 2015 | 294,631 | 59,698 (20.3) | 3,310 | 0 | 3,310 | 5.5 | 3,000 | 90.6 | 249 | 61 | 178 | 121 | 873 | 1,087 |
| 2016 | 294,582 | 57,939 (19.7) | 3,147 | 0 | 3,147 | 5.4 | 2,862 | 90.9 | 205 | 80 | 226 | 153 | 802 | 1,034 |
| 2017 | 318,206 | 60,637 (19.1) | 3,338 | 0 | 3,338 | 5.5 | 3,037 | 91.0 | 234 | 67 | 173 | 121 | 791 | 1,204 |
| 2018 | 317,797 | 59,852 (18.8) | 3,096 | 0 | 3,096 | 5.2 | 2,814 | 90.9 | 193 | 89 | 159 | 102 | 748 | 1,202 |
| 2019 | 330,080 | 61,250 (18.6) | 3,115 | 0 | 3,115 | 5.1 | 2,801 | 89.9 | 241 | 73 | 182 | 123 | 793 | 1,109 |
| 2020 | 349,348 | 60,642 (17.4) | 3,099 | 0 | 3,099 | 5.1 | 2,790 | 90.0 | 268 | 41 | 193 | 144 | 716 | 1,149 |
| 2021 | 354,694 | 65,174 (18.4) | 3,397 | 0 | 3,397 | 5.2 | 3,055 | 89.9 | 264 | 78 | 205 | 135 | 745 | 1,274 |
| 2022 | 353,292 | 66,063 (18.7) | 3,451 | 0 | 3,451 | 5.2 | 3,046 | 88.3 | 329 | 76 | 219 | 154 | 767 | 1,336 |
| 合計 | | 1,922,378 | 86,121 | 1,779 | 87,900 | 4.6 | 80,790 | 91.9 | 6,230 | 880 | 5,379 | 3,596 | 20,844 | 25,673 |

*石巻市(石巻)はモデルケースとして一部の地域を対象に実施したため含まず(表6参照)

注1. 早期がんは大腸がんの再掲

2. 発見疾患のその他に、1989年度以前は、異常なしを含む

3. 受診数は40歳以上のみを掲載

4. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている) 未把握 (結果が把握できない)

表2 大腸がん・大腸腺腫発見数と頻度(地域検診)

| 年度 | 受診数 (A) | 大腸がん数 (B) | 発見頻度 (B/A) | 早期がん数 (C) | 早期がん頻度 (C/B) | 大腸腺腫数 (D) | 発見頻度 (D/A) |
|-----------|------------|--------------|---------------|--------------|-----------------|--------------|---------------|
| 1981～1985 | 15,144 | 31 | 0.20 | 13 | 41.9 | | 1.18 |
| 1986～1990 | 66,452 | 147 | 0.22 | 96 | 65.3 | 834 | 1.26 |
| 1991～1995 | 205,484 | 555 | 0.27 | 368 | 66.3 | 1,579 | 0.77 |
| 1996～2000 | 307,630 | 785 | 0.26 | 535 | 68.2 | 2,826 | 0.92 |
| 2001 | 67,872 | 131 | 0.19 | 72 | 55.0 | 519 | 0.76 |
| 2002 | 65,950 | 140 | 0.21 | 86 | 61.4 | 433 | 0.66 |
| 2003 | 65,129 | 156 | 0.24 | 89 | 57.1 | 463 | 0.71 |
| 2004 | 57,686 | 179 | 0.31 | 118 | 65.9 | 635 | 1.10 |
| 2005 | 57,634 | 124 | 0.22 | 79 | 63.7 | 587 | 1.02 |
| 2006 | 55,894 | 167 | 0.30 | 107 | 64.1 | 659 | 1.18 |
| 2007 | 55,856 | 136 | 0.24 | 84 | 61.8 | 610 | 1.09 |
| 2008 | 69,567 | 178 | 0.26 | 107 | 60.1 | 723 | 1.04 |
| 2009 | 69,991 | 217 | 0.31 | 145 | 66.8 | 856 | 1.22 |
| 2010 | 54,950 | 178 | 0.32 | 118 | 66.3 | 753 | 1.37 |
| 2011 | 52,699 | 191 | 0.36 | 143 | 74.9 | 761 | 1.44 |
| 2012 | 54,833 | 166 | 0.30 | 113 | 68.1 | 747 | 1.36 |
| 2013 | 54,905 | 166 | 0.30 | 121 | 72.9 | 691 | 1.26 |
| 2014 | 57,827 | 200 | 0.35 | 152 | 76.0 | 779 | 1.35 |
| 2015 | 60,357 | 181 | 0.30 | 124 | 68.5 | 873 | 1.45 |
| 2016 | 58,601 | 226 | 0.39 | 153 | 67.7 | 807 | 1.38 |
| 2017 | 61,253 | 173 | 0.28 | 121 | 69.9 | 797 | 1.30 |
| 2018 | 60,470 | 159 | 0.26 | 102 | 64.2 | 752 | 1.24 |
| 2019 | 61,819 | 183 | 0.30 | 124 | 67.8 | 796 | 1.29 |
| 2020 | 61,267 | 193 | 0.32 | 144 | 74.6 | 723 | 1.18 |
| 2021 | 65,827 | 206 | 0.31 | 136 | 66.0 | 748 | 1.14 |
| 2022 | 66,663 | 219 | 0.33 | 154 | 70.3 | 770 | 1.16 |
| 合計 | 1,931,760 | 5,387 | 0.28 | 3,604 | 66.9 | 20,721 | 1.07 |

図1 部位別に見た大腸がん・大腸腺腫の発見数

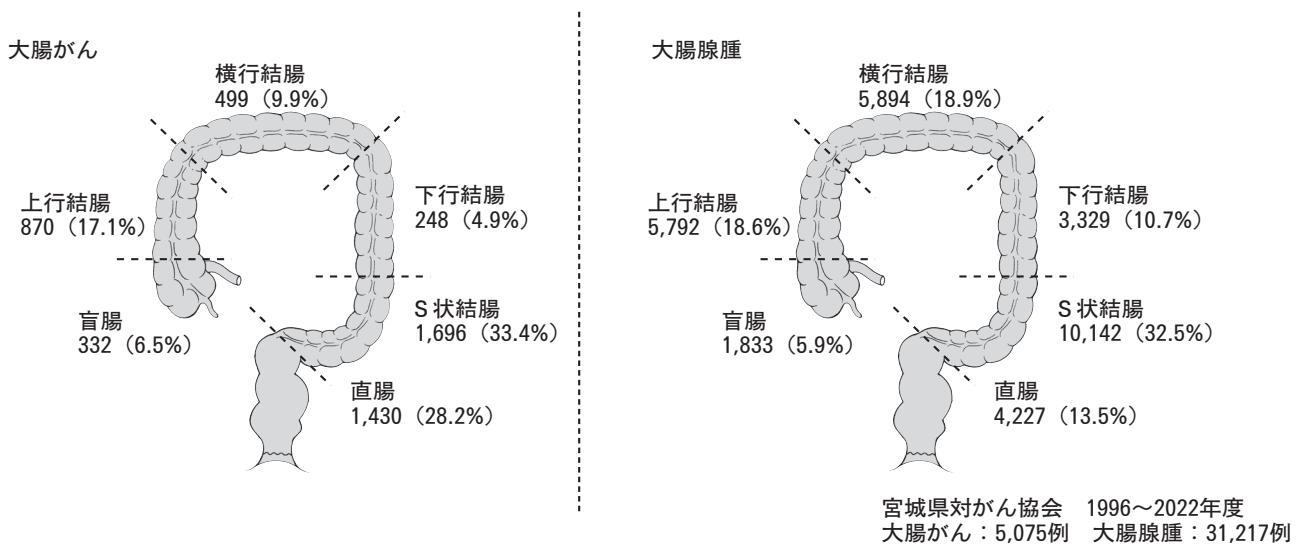


表3 部位別にみた大腸がん・大腸腺腫の発見数(地域検診)

(イ) 大腸がん

| 年度 | 直腸 | S状 | 下行 | 横行 | 上行 | 盲腸 | 合計 |
|-----------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 1983～1987 | 33 | 43 | 5 | 7 | 14 | 0 | 102 |
| 1988～1992 | 110 | 176 | 19 | 20 | 36 | 5 | 366 |
| 1993～1997 | 234 | 342 | 32 | 58 | 103 | 29 | 798 |
| 1998 | 41 | 54 | 9 | 12 | 21 | 12 | 149 |
| 1999 | 46 | 49 | 5 | 18 | 27 | 6 | 151 |
| 2000 | 55 | 55 | 5 | 13 | 26 | 6 | 160 |
| 2001 | 54 | 42 | 10 | 13 | 21 | 10 | 150 |
| 2002 | 36 | 51 | 7 | 14 | 27 | 11 | 146 |
| 2003 | 55 | 57 | 6 | 13 | 19 | 10 | 160 |
| 2004 | 69 | 73 | 7 | 15 | 31 | 9 | 204 |
| 2005 | 51 | 50 | 8 | 10 | 16 | 8 | 143 |
| 2006 | 53 | 69 | 13 | 23 | 27 | 12 | 197 |
| 2007 | 39 | 55 | 6 | 14 | 31 | 11 | 156 |
| 2008 | 64 | 72 | 8 | 21 | 31 | 6 | 202 |
| 2009 | 69 | 72 | 12 | 25 | 44 | 17 | 239 |
| 2010 | 54 | 63 | 13 | 26 | 39 | 10 | 205 |
| 2011 | 59 | 51 | 10 | 27 | 42 | 21 | 210 |
| 2012 | 45 | 49 | 13 | 22 | 34 | 15 | 178 |
| 2013 | 56 | 56 | 11 | 15 | 35 | 12 | 185 |
| 2014 | 69 | 72 | 11 | 18 | 38 | 17 | 225 |
| 2015 | 59 | 56 | 13 | 17 | 44 | 12 | 201 |
| 2016 | 54 | 91 | 8 | 20 | 42 | 21 | 236 |
| 2017 | 52 | 47 | 11 | 19 | 36 | 10 | 175 |
| 2018 | 43 | 49 | 10 | 17 | 36 | 9 | 164 |
| 2019 | 62 | 59 | 11 | 22 | 31 | 16 | 201 |
| 2020 | 42 | 68 | 7 | 32 | 36 | 15 | 200 |
| 2021 | 53 | 76 | 10 | 27 | 31 | 22 | 219 |
| 2022 | 52 | 83 | 7 | 17 | 53 | 19 | 231 |
| 合計 | 1,709 | 2,080 | 287 | 555 | 971 | 351 | 5,953 |

注. 重複例は個別に計上

(口) 大腸腺腫

| 年度 | 直腸 | S状 | 下行 | 横行 | 上行 | 盲腸 | 合計 |
|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1983～1987 | 213 | 562 | 82 | 90 | 97 | 15 | 1,059 |
| 1988～1992 | 437 | 1,335 | 217 | 231 | 282 | 59 | 2,561 |
| 1993～1997 | 489 | 1,333 | 315 | 543 | 536 | 158 | 3,374 |
| 1998 | 83 | 235 | 70 | 154 | 137 | 30 | 709 |
| 1999 | 120 | 285 | 95 | 162 | 158 | 55 | 875 |
| 2000 | 114 | 251 | 109 | 164 | 177 | 38 | 853 |
| 2001 | 130 | 252 | 97 | 158 | 137 | 48 | 822 |
| 2002 | 93 | 200 | 56 | 132 | 105 | 38 | 624 |
| 2003 | 103 | 216 | 75 | 127 | 110 | 50 | 681 |
| 2004 | 172 | 356 | 140 | 202 | 205 | 68 | 1,143 |
| 2005 | 173 | 333 | 115 | 197 | 187 | 43 | 1,048 |
| 2006 | 183 | 397 | 142 | 238 | 216 | 69 | 1,245 |
| 2007 | 154 | 349 | 108 | 201 | 183 | 74 | 1,069 |
| 2008 | 194 | 418 | 139 | 236 | 233 | 68 | 1,288 |
| 2009 | 200 | 501 | 164 | 288 | 264 | 75 | 1,492 |
| 2010 | 189 | 468 | 149 | 257 | 275 | 76 | 1,414 |
| 2011 | 174 | 442 | 131 | 262 | 289 | 98 | 1,396 |
| 2012 | 198 | 454 | 151 | 230 | 273 | 87 | 1,393 |
| 2013 | 202 | 420 | 134 | 253 | 247 | 83 | 1,339 |
| 2014 | 200 | 454 | 162 | 309 | 270 | 88 | 1,483 |
| 2015 | 208 | 547 | 164 | 295 | 304 | 101 | 1,619 |
| 2016 | 162 | 419 | 128 | 254 | 256 | 76 | 1,295 |
| 2017 | 176 | 408 | 136 | 225 | 234 | 79 | 1,258 |
| 2018 | 138 | 422 | 140 | 253 | 239 | 69 | 1,261 |
| 2019 | 168 | 466 | 157 | 237 | 243 | 75 | 1,346 |
| 2020 | 164 | 367 | 112 | 225 | 203 | 82 | 1,153 |
| 2021 | 134 | 414 | 129 | 250 | 264 | 75 | 1,266 |
| 2022 | 165 | 415 | 135 | 252 | 258 | 90 | 1,315 |
| 合計 | 5,136 | 12,719 | 3,752 | 6,425 | 6,382 | 1,967 | 36,381 |

注1. 大腸がんととの共存の腺腫は含まない

2. 1992年度より地域検診のみ集計

3. 重複例は個別に計上

表4 性・年齢別成績[地域検診]

2022年度

| 年齢区分 | 性別 | 40歳以上の人口 | 受診数 | 受診率 | 精密検査 | | | | | | | | |
|----------|----|----------|--------|------|-------|-----|-------|------|------|------|-----|-------|------|
| | | | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | 大腸がん | 早期がん | 大腸腫 | その他 | 異常なし |
| ～39 | 男 | — | 167 | — | 4 | 2.4 | 3 | 75.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | 女 | — | 309 | — | 11 | 3.6 | 10 | 90.9 | 0 | 0 | 1 | 2 | 7 |
| | 計 | — | 476 | — | 15 | 3.2 | 13 | 86.7 | 0 | 0 | 2 | 2 | 9 |
| 40～44 | 男 | 18,255 | 871 | 4.8 | 25 | 2.9 | 23 | 92.0 | 2 | 2 | 5 | 6 | 10 |
| | 女 | 16,700 | 1,827 | 10.9 | 59 | 3.2 | 44 | 74.6 | 1 | 1 | 3 | 13 | 27 |
| | 計 | 34,955 | 2,698 | 7.7 | 84 | 3.1 | 67 | 79.8 | 3 | 3 | 8 | 19 | 37 |
| 45～49 | 男 | 19,643 | 1,132 | 5.8 | 39 | 3.4 | 31 | 79.5 | 0 | 0 | 9 | 9 | 13 |
| | 女 | 17,962 | 2,034 | 11.3 | 70 | 3.4 | 53 | 75.7 | 0 | 0 | 6 | 8 | 39 |
| | 計 | 37,605 | 3,166 | 8.4 | 109 | 3.4 | 84 | 77.1 | 0 | 0 | 15 | 17 | 52 |
| 50～54 | 男 | 17,941 | 1,146 | 6.4 | 45 | 3.9 | 36 | 80.0 | 1 | 0 | 8 | 17 | 10 |
| | 女 | 16,728 | 2,141 | 12.8 | 55 | 2.6 | 47 | 85.5 | 2 | 2 | 6 | 16 | 23 |
| | 計 | 34,669 | 3,287 | 9.5 | 100 | 3.0 | 83 | 83.0 | 3 | 2 | 14 | 33 | 33 |
| 55～59 | 男 | 16,391 | 1,181 | 7.2 | 61 | 5.2 | 56 | 91.8 | 3 | 3 | 21 | 17 | 15 |
| | 女 | 16,055 | 2,530 | 15.8 | 69 | 2.7 | 59 | 85.5 | 0 | 0 | 11 | 20 | 28 |
| | 計 | 32,446 | 3,711 | 11.4 | 130 | 3.5 | 115 | 88.5 | 3 | 3 | 32 | 37 | 43 |
| 60～64 | 男 | 18,327 | 2,067 | 11.3 | 106 | 5.1 | 91 | 85.8 | 10 | 9 | 31 | 37 | 13 |
| | 女 | 18,170 | 4,016 | 22.1 | 114 | 2.8 | 105 | 92.1 | 8 | 3 | 19 | 44 | 34 |
| | 計 | 36,497 | 6,083 | 16.7 | 220 | 3.6 | 196 | 89.1 | 18 | 12 | 50 | 81 | 47 |
| 65～69 | 男 | 20,476 | 4,682 | 22.9 | 281 | 6.0 | 253 | 90.0 | 26 | 20 | 96 | 97 | 34 |
| | 女 | 20,311 | 6,431 | 31.7 | 223 | 3.5 | 209 | 93.7 | 17 | 12 | 50 | 83 | 59 |
| | 計 | 40,787 | 11,113 | 27.2 | 504 | 4.5 | 462 | 91.7 | 43 | 32 | 146 | 180 | 93 |
| 70～74 | 男 | 22,732 | 6,889 | 30.3 | 482 | 7.0 | 432 | 89.6 | 41 | 33 | 138 | 181 | 72 |
| | 女 | 23,658 | 8,408 | 35.5 | 345 | 4.1 | 317 | 91.9 | 22 | 14 | 76 | 134 | 85 |
| | 計 | 46,390 | 15,297 | 33.0 | 827 | 5.4 | 749 | 90.6 | 63 | 47 | 214 | 315 | 157 |
| 75～79 | 男 | 14,135 | 4,903 | 34.7 | 371 | 7.6 | 331 | 89.2 | 27 | 18 | 90 | 158 | 56 |
| | 女 | 16,048 | 5,455 | 34.0 | 253 | 4.6 | 238 | 94.1 | 10 | 6 | 56 | 108 | 64 |
| | 計 | 30,183 | 10,358 | 34.3 | 624 | 6.0 | 569 | 91.2 | 37 | 24 | 146 | 266 | 120 |
| 80～ | 男 | 21,287 | 5,030 | 23.6 | 491 | 9.8 | 417 | 84.9 | 21 | 15 | 86 | 248 | 62 |
| | 女 | 38,473 | 5,320 | 13.8 | 362 | 6.8 | 304 | 84.0 | 28 | 16 | 56 | 140 | 80 |
| | 計 | 59,760 | 10,350 | 17.3 | 853 | 8.2 | 721 | 84.5 | 49 | 31 | 142 | 388 | 142 |
| 40歳以上の小計 | 男 | 169,187 | 27,901 | 16.5 | 1,901 | 6.8 | 1,670 | 87.8 | 131 | 100 | 484 | 770 | 285 |
| | 女 | 184,105 | 38,162 | 20.7 | 1,550 | 4.1 | 1,376 | 88.8 | 88 | 54 | 283 | 566 | 439 |
| | 計 | 353,292 | 66,063 | 18.7 | 3,451 | 5.2 | 3,046 | 88.3 | 219 | 154 | 767 | 1,336 | 724 |
| 合計 | 男 | — | 28,068 | — | 1,905 | 6.8 | 1,673 | 87.8 | 131 | 100 | 485 | 770 | 287 |
| | 女 | — | 38,471 | — | 1,561 | 4.1 | 1,386 | 88.8 | 88 | 54 | 284 | 568 | 446 |
| | 計 | — | 66,539 | — | 3,466 | 5.2 | 3,059 | 88.3 | 219 | 154 | 769 | 1,338 | 733 |

*石巻市(石巻)はモデルケースとして一部の地域を対象に実施したため含まず(表6参照)

注. 早期がんは大腸がんの再掲

表5 性・年齢別成績[職域検診]

2022年度

| 年齢区分 | 性別 | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | | | | | |
|-------|----|-------|---------|------|-----|-------|------|------|-----|-----|------|
| | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | 大腸がん | 早期がん | 大腸腫 | その他 | 異常なし |
| ～39 | 男 | 68 | 2 | 2.9 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 女 | 53 | 1 | 1.9 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 計 | 121 | 3 | 2.5 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 40～44 | 男 | 1,017 | 33 | 3.2 | 32 | 97.0 | 0 | 0 | 6 | 12 | 14 |
| | 女 | 216 | 7 | 3.2 | 5 | 71.4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 |
| | 計 | 1,233 | 40 | 3.2 | 37 | 92.5 | 0 | 0 | 8 | 13 | 16 |
| 45～49 | 男 | 781 | 30 | 3.8 | 29 | 96.7 | 0 | 0 | 6 | 11 | 12 |
| | 女 | 227 | 6 | 2.6 | 5 | 83.3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| | 計 | 1,008 | 36 | 3.6 | 34 | 94.4 | 1 | 1 | 6 | 12 | 15 |
| 50～54 | 男 | 634 | 28 | 4.4 | 27 | 96.4 | 1 | 1 | 8 | 12 | 6 |
| | 女 | 210 | 3 | 1.4 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| | 計 | 844 | 31 | 3.7 | 30 | 96.8 | 1 | 1 | 11 | 12 | 6 |
| 55～59 | 男 | 841 | 33 | 3.9 | 29 | 87.9 | 0 | 0 | 11 | 11 | 7 |
| | 女 | 264 | 17 | 6.4 | 17 | 100.0 | 3 | 1 | 2 | 6 | 6 |
| | 計 | 1,105 | 50 | 4.5 | 46 | 92.0 | 3 | 1 | 13 | 17 | 13 |
| 60～64 | 男 | 603 | 28 | 4.6 | 28 | 100.0 | 0 | 0 | 11 | 10 | 7 |
| | 女 | 195 | 9 | 4.6 | 9 | 100.0 | 1 | 0 | 1 | 4 | 3 |
| | 計 | 798 | 37 | 4.6 | 37 | 100.0 | 1 | 0 | 12 | 14 | 10 |
| 65～69 | 男 | 74 | 6 | 8.1 | 6 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 |
| | 女 | 19 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 93 | 6 | 6.5 | 6 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 |
| 70～74 | 男 | 8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 7 | 2 | 28.6 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 計 | 15 | 2 | 13.3 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 75～79 | 男 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 3 | 1 | 33.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 計 | 3 | 1 | 33.3 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 80～ | 男 | 1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 2 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 男 | 4,027 | 160 | 4.0 | 153 | 95.6 | 1 | 1 | 43 | 60 | 49 |
| | 女 | 1,196 | 46 | 3.8 | 43 | 93.5 | 5 | 2 | 11 | 12 | 15 |
| | 計 | 5,223 | 206 | 3.9 | 196 | 95.1 | 6 | 3 | 54 | 72 | 64 |

注. 早期がんは大腸がんの再掲

表6 市町村別大腸がん検診成績

| 保 健 所 | 市 町 村 | 40人 歳 以 上 の 口 数 (A) | 受 診 数 | 40歳 以 上 の 数 (B) | 40歳 以 上 の 率 (B/A) | 便 潜 | 血 反 | 応 検 | 査 経 |
|----------------|-------------|--|-------------|--------------------------------|----------------------------------|--------|--------|------------------|--------|
| | | | | | | 陰 性 | 陽 性 | 検 体 不 良 | 観 中 |
| 仙 南 | 白 石 市 | 22,347 | 3,891 | 3,891 | 17.4 | 3,684 | 207 | 0 | 0 |
| | 角 田 市 | 18,882 | 4,500 | 4,500 | 23.8 | 4,243 | 257 | 0 | 0 |
| | 蔵 王 町 | 7,945 | 1,675 | 1,642 | 20.7 | 1,591 | 84 | 0 | 0 |
| | 七ヶ宿 町 | 899 | 355 | 330 | 36.7 | 334 | 21 | 0 | 0 |
| | 丸 森 町 | 8,977 | 1,975 | 1,975 | 22.0 | 1,871 | 104 | 0 | 0 |
| 塩岩 沼支 釜所 | 名 取 市 | 46,742 | 9,351 | 9,351 | 20.0 | 8,882 | 468 | 0 | 1 |
| | 岩 沼 市 | 26,505 | 4,696 | 4,460 | 16.8 | 4,444 | 252 | 0 | 0 |
| | 山 元 町 | 8,437 | 1,797 | 1,797 | 21.3 | 1,699 | 98 | 0 | 0 |
| 石 巻 | 石 巻 市 (河 北) | 7,038 | 1,523 | 1,523 | 21.6 | 1,451 | 72 | 0 | 0 |
| | (雄 勝) | 898 | 223 | 223 | 24.8 | 210 | 13 | 0 | 0 |
| | (河 南) | 12,272 | 1,623 | 1,623 | 13.2 | 1,527 | 96 | 0 | 0 |
| | (桃 生) | 4,684 | 863 | 863 | 18.4 | 823 | 40 | 0 | 0 |
| | (北 上) | 1,588 | 297 | 297 | 18.7 | 280 | 17 | 0 | 0 |
| | (牡 鹿) | 1,703 | 384 | 384 | 22.5 | 359 | 25 | 0 | 0 |
| | 女 川 町 | 4,045 | 982 | 982 | 24.3 | 926 | 56 | 0 | 0 |
| 大 崎 | 大 崎 市 (古 川) | 46,037 | 8,090 | 8,061 | 17.5 | 7,698 | 392 | 0 | 0 |
| | (松 山) | 4,006 | 823 | 819 | 20.4 | 782 | 41 | 0 | 0 |
| | (三本木) | 4,963 | 887 | 886 | 17.9 | 848 | 39 | 0 | 0 |
| | (鹿島台) | 7,709 | 1,503 | 1,493 | 19.4 | 1,408 | 95 | 0 | 0 |
| | (岩出山) | 7,264 | 1,407 | 1,407 | 19.4 | 1,330 | 77 | 0 | 0 |
| | (鳴 子) | 4,172 | 982 | 981 | 23.5 | 937 | 45 | 0 | 0 |
| | (田 尻) | 7,090 | 1,361 | 1,357 | 19.1 | 1,301 | 60 | 0 | 0 |
| | 美 里 町 (小牛田) | 12,297 | 2,413 | 2,413 | 19.6 | 2,269 | 144 | 0 | 0 |
| | (南 郷) | 3,810 | 652 | 652 | 17.1 | 626 | 26 | 0 | 0 |
| | 色 麻 町 | 4,336 | 999 | 999 | 23.0 | 958 | 41 | 0 | 0 |
| 気 仙 沼 | 気仙沼市 (気仙沼) | 32,125 | 6,106 | 5,989 | 18.6 | 5,765 | 341 | 0 | 0 |
| | (唐 桑) | 4,333 | 806 | 801 | 18.5 | 771 | 35 | 0 | 0 |
| | (本 吉) | 6,618 | 1,271 | 1,260 | 19.0 | 1,209 | 62 | 0 | 0 |
| 塩黒 川支 釜所 | 大 和 町 | 16,202 | 2,850 | 2,850 | 17.6 | 2,714 | 136 | 0 | 0 |
| | 大 郷 町 | 5,329 | 1,037 | 1,037 | 19.5 | 971 | 66 | 0 | 0 |
| | 大 衡 村 | 3,458 | 656 | 656 | 19.0 | 627 | 29 | 0 | 0 |
| 合 計 | | 353,292 | 66,539 | 66,063 | 18.7 | 63,072 | 3,466 | 0 | 1 |

* 石巻市(石巻)はモデルケースとして一部の地域を対象に実施したため含まず別計上

| | | | | | | | | |
|-------------|--------|-----|-----|---|-----|---|---|---|
| 石 巻 市 (石 巻) | 63,516 | 124 | 124 | - | 122 | 2 | 0 | 0 |
|-------------|--------|-----|-----|---|-----|---|---|---|

注1. 早期がんは大腸がんの再掲

2. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている) 未把握 (結果が把握できない)

| 該 当 数 | 該 当 率 | 精 | | 密 | | 検 | | 査 | | | 異 常 な し |
|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------|-----|------------------|
| | | 受 診 数 | 受 診 率 | 未 受 診 数 | 未 把 握 数 | 大 腸 が ん | 早 期 が ん | 大 腸 腺 腫 | そ の 他 | | |
| 207 | 5.3 | 186 | 89.9 | 15 | 6 | 9 | 8 | 42 | 85 | 50 | |
| 257 | 5.7 | 217 | 84.4 | 37 | 3 | 16 | 9 | 65 | 88 | 48 | |
| 84 | 5.0 | 74 | 88.1 | 7 | 3 | 3 | 2 | 18 | 33 | 20 | |
| 21 | 5.9 | 20 | 95.2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 13 | 3 | |
| 104 | 5.3 | 91 | 87.5 | 13 | 0 | 6 | 5 | 19 | 45 | 21 | |
| 468 | 5.0 | 421 | 90.0 | 33 | 14 | 33 | 22 | 104 | 194 | 90 | |
| 252 | 5.4 | 225 | 89.3 | 25 | 2 | 11 | 8 | 64 | 100 | 50 | |
| 98 | 5.5 | 92 | 93.9 | 4 | 2 | 8 | 6 | 20 | 52 | 12 | |
| 72 | 4.7 | 68 | 94.4 | 4 | 0 | 7 | 6 | 14 | 24 | 23 | |
| 13 | 5.8 | 11 | 84.6 | 2 | 0 | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 | |
| 96 | 5.9 | 86 | 89.6 | 10 | 0 | 5 | 4 | 28 | 28 | 25 | |
| 40 | 4.6 | 37 | 92.5 | 3 | 0 | 4 | 3 | 10 | 12 | 11 | |
| 17 | 5.7 | 17 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 5 | 6 | 4 | |
| 25 | 6.5 | 23 | 92.0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 9 | 9 | |
| 56 | 5.7 | 50 | 89.3 | 6 | 0 | 3 | 2 | 13 | 22 | 12 | |
| 392 | 4.8 | 336 | 85.7 | 53 | 3 | 27 | 19 | 90 | 130 | 89 | |
| 41 | 5.0 | 36 | 87.8 | 5 | 0 | 3 | 2 | 8 | 18 | 7 | |
| 39 | 4.4 | 31 | 79.5 | 5 | 3 | 1 | 0 | 5 | 16 | 9 | |
| 95 | 6.3 | 75 | 78.9 | 15 | 5 | 5 | 2 | 18 | 34 | 18 | |
| 77 | 5.5 | 65 | 84.4 | 11 | 1 | 6 | 5 | 17 | 29 | 13 | |
| 45 | 4.6 | 44 | 97.8 | 1 | 0 | 6 | 5 | 17 | 18 | 3 | |
| 60 | 4.4 | 52 | 86.7 | 4 | 4 | 3 | 1 | 12 | 23 | 14 | |
| 144 | 6.0 | 131 | 91.0 | 3 | 10 | 12 | 11 | 24 | 69 | 26 | |
| 26 | 4.0 | 24 | 92.3 | 0 | 2 | 2 | 2 | 9 | 10 | 3 | |
| 41 | 4.1 | 38 | 92.7 | 2 | 1 | 4 | 3 | 10 | 16 | 8 | |
| 27 | 4.8 | 27 | 100.0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 10 | 10 | 3 | |
| 341 | 5.6 | 301 | 88.3 | 28 | 12 | 19 | 8 | 73 | 129 | 80 | |
| 35 | 4.3 | 32 | 91.4 | 2 | 1 | 3 | 2 | 2 | 14 | 13 | |
| 62 | 4.9 | 52 | 83.9 | 9 | 1 | 1 | 1 | 17 | 20 | 14 | |
| 136 | 4.8 | 114 | 83.8 | 20 | 2 | 8 | 7 | 24 | 47 | 35 | |
| 66 | 6.4 | 58 | 87.9 | 8 | 0 | 5 | 3 | 15 | 28 | 10 | |
| 29 | 4.4 | 25 | 86.2 | 3 | 1 | 2 | 1 | 4 | 12 | 7 | |
| 3,466 | 5.2 | 3,059 | 88.3 | 330 | 77 | 219 | 154 | 769 | 1,338 | 733 | |
| 2 | 1.6 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | |

表7 対策別大腸がん検診成績

2022年度

| | 一次検診 受診数 | 精 密 検 査 | | | | | | |
|----------|-------------|----------------|-----------------|------|------|------|-------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 大腸がん | 早期がん | 大腸腺腫 | その他 | 異常なし |
| 地域検診 | 66,663 | 3,468 (5.2) | 3,061 (88.3) | 219 | 154 | 770 | 1,339 | 733 |
| 職域検診 | 5,223 | 206 (3.9) | 196 (95.1) | 6 | 3 | 54 | 72 | 64 |
| 個人 | 12 | 1 (8.3) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| がん・生活習慣病 | 4,460 | 226 (5.1) | 193 (85.4) | 5 | 5 | 57 | 80 | 51 |
| 合計 | 76,358 | 3,901 (5.1) | 3,451 (88.5) | 230 | 162 | 881 | 1,491 | 849 |
| 個人・医師紹介 | — | — | 133 | 6 | 6 | 40 | 61 | 26 |

注1. 早期がんは大腸がんの再掲
2. 地域検診は石巻市(石巻)含む

表8 経過観察者からの発見疾患

2022年度

| | 受診数 | 大腸がん (発見率) | 早期がん (発見率) | 大腸腺腫 (発見率) | その他 | 異常なし |
|------|-----|---------------|---------------|---------------|-----|------|
| 地域検診 | 132 | 2 (1.52) | 2 (1.52) | 30 (22.73) | 89 | 11 |
| 職域検診 | 28 | 0 | 0 | 10 (35.71) | 14 | 4 |
| その他 | 45 | 1 (2.22) | 1 (2.22) | 19 (42.22) | 22 | 3 |
| 合計 | 205 | 3 (1.46) | 3 (1.46) | 59 (28.78) | 125 | 18 |

注1. 早期がんは大腸がんの再掲
2. その他は個人、がん・生活習慣病、医師紹介

表9 性・年齢別成績[がん・生活習慣病健診]

2022年度

| 年齢区分 | 性別 | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | | | | | |
|-------|----|-------|---------|------|-----|-------|------|------|-----|-----|------|
| | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | 大腸がん | 早期がん | 大腸腫 | その他 | 異常なし |
| ～39 | 男 | 208 | 8 | 3.8 | 7 | 87.5 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3 |
| | 女 | 140 | 6 | 4.3 | 5 | 83.3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 計 | 348 | 14 | 4.0 | 12 | 85.7 | 0 | 0 | 2 | 2 | 8 |
| 40～44 | 男 | 321 | 20 | 6.2 | 14 | 70.0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 6 |
| | 女 | 182 | 6 | 3.3 | 6 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| | 計 | 503 | 26 | 5.2 | 20 | 76.9 | 0 | 0 | 3 | 6 | 11 |
| 45～49 | 男 | 388 | 17 | 4.4 | 15 | 88.2 | 0 | 0 | 2 | 7 | 6 |
| | 女 | 210 | 5 | 2.4 | 4 | 80.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 計 | 598 | 22 | 3.7 | 19 | 86.4 | 0 | 0 | 3 | 8 | 8 |
| 50～54 | 男 | 348 | 14 | 4.0 | 11 | 78.6 | 0 | 0 | 3 | 5 | 3 |
| | 女 | 220 | 9 | 4.1 | 7 | 77.8 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 |
| | 計 | 568 | 23 | 4.0 | 18 | 78.3 | 0 | 0 | 4 | 7 | 7 |
| 55～59 | 男 | 325 | 16 | 4.9 | 11 | 68.8 | 0 | 0 | 5 | 5 | 1 |
| | 女 | 200 | 11 | 5.5 | 9 | 81.8 | 2 | 2 | 2 | 1 | 4 |
| | 計 | 525 | 27 | 5.1 | 20 | 74.1 | 2 | 2 | 7 | 6 | 5 |
| 60～64 | 男 | 367 | 21 | 5.7 | 21 | 100.0 | 3 | 3 | 9 | 7 | 2 |
| | 女 | 211 | 5 | 2.4 | 5 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 |
| | 計 | 578 | 26 | 4.5 | 26 | 100.0 | 3 | 3 | 11 | 9 | 3 |
| 65～69 | 男 | 427 | 31 | 7.3 | 30 | 96.8 | 0 | 0 | 12 | 14 | 4 |
| | 女 | 237 | 7 | 3.0 | 5 | 71.4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 |
| | 計 | 664 | 38 | 5.7 | 35 | 92.1 | 0 | 0 | 14 | 16 | 5 |
| 70～74 | 男 | 325 | 31 | 9.5 | 27 | 87.1 | 0 | 0 | 6 | 19 | 2 |
| | 女 | 167 | 9 | 5.4 | 8 | 88.9 | 0 | 0 | 5 | 3 | 0 |
| | 計 | 492 | 40 | 8.1 | 35 | 87.5 | 0 | 0 | 11 | 22 | 2 |
| 75～79 | 男 | 83 | 2 | 2.4 | 2 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | 女 | 46 | 1 | 2.2 | 1 | 100.0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 計 | 129 | 3 | 2.3 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 80～ | 男 | 36 | 4 | 11.1 | 2 | 50.0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | 女 | 19 | 3 | 15.8 | 3 | 100.0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 計 | 55 | 7 | 12.7 | 5 | 71.4 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| 合 計 | 男 | 2,828 | 164 | 5.8 | 140 | 85.4 | 3 | 3 | 43 | 67 | 27 |
| | 女 | 1,632 | 62 | 3.8 | 53 | 85.5 | 2 | 2 | 14 | 13 | 24 |
| | 計 | 4,460 | 226 | 5.1 | 193 | 85.4 | 5 | 5 | 57 | 80 | 51 |

注. 早期がんは大腸がんの再掲

肝・胆・膵疾患検診

1981年度より1994年度まで、合計11町でモデル検診として地域集団検診を実施したが、「死亡率減少効果が十分に認められない」との結論が得られたため、現在は地域を対象とした対策型検診は行っていない。

1995年度から、がん・生活習慣病健診（半日ドック健診）において超音波検査士による腹部超音波検査を採用した。また1999年度からは、事業所のニーズに応じて胃集検と併用しての腹部超音波検査（職域検診）を行っている。

二次超音波検査（二次検診）は、がん・生活習慣病健診や胃集検などで外圧排や石灰化などがあり、超音波専門医による再検査が必要と認められた受診者や、前年度までに超音波検査を受診して経過観察が必要と判定された受診者について実施している。

二次検診の結果でMRI、CT、EUS等の検査や治療が必要なため病院紹介となる受診者については、必要性を理解した上で受診できるよう、医師からの説明および保健師による事後指導を行っている。また、精検未受診者への受診勧奨や治療後の追跡調査を行い精度管理の向上に努めている。

<一次検診>

一次検診数は、職域検診は1,960名、がん・生活習慣病健診は3,174名で合計5,134名であった（表1）。前年と比較すると、職域検診では58名増加、がん・生活習慣病健診で44名増加、全体としては102名増加した。がん・生活習慣病健診の初回受診者数と初回受診者の割合（率）は、709名（13.8%）と前年より13名の減少だった。

<二次検診>

二次検診の該当数（率）は、職域検診で99名（5.1%）、がん・生活習慣病健診では177名（5.6%）、合計276名（5.4%）であった。二次検診の受診率は、職域検診で99.0%、がん・生活習慣病健診では93.8%といずれも高率であった（表1）。

<その他・経過観察>

その他（49名）の内訳は、有症状者・医師紹介・胃がん検診等からの二次検診となっている。経過観察者は284名であった（表1）。

<発見がん>

がん・生活習慣病健診受診者（3,174名）から肝臓がん2名・胆のうがん1名・腎臓がん1名が発見された。職域検診受診者（1,960名）からの発見がんはなかった。経過観察受診者（284名）から腎臓がん1名、その他の二次検診受診者（49名）から虫垂粘液腺がん1名が発見された。一次検診からの発見率は0.08%であった（表1・2）。

（保健師；高橋 尚美）

表1 検診成績

2022年度

| | 一次検診数 | 初回受診数 | 初回受診者の割合 | 二次検診 *1 | | | | | 発見がん | 一次検診からの発見率 |
|----------|-------|-------|----------|---------|-----|------|------|------|------|------------|
| | | | | 該当数 | 受診数 | 受診率 | 未受診数 | 未把握数 | | |
| 職 域 | 1,960 | 168 | 8.6 | 99 | 98 | 99.0 | 1 | 0 | 0 | 0.00 |
| がん・生活習慣病 | 3,174 | 541 | 17.0 | 177 | 166 | 93.8 | 5 | 6 | 4 | 0.13 |
| 合 計 | 5,134 | 709 | 13.8 | 276 | 264 | 95.7 | 6 | 6 | 4 | 0.08 |
| そ の 他 | — | — | — | — | 49 | — | — | — | 1 | — |
| 経 過 観 察 | — | — | — | — | 284 | — | — | — | 1 | — |

*1. 他施設紹介含

表2 二次検診で見つかった主な発見疾患

その1

| | 二次検診 受診数 | 肝 臓 | | | | | 臓 | | | |
|----------|-------------|------|----------|-------|-----|------|-------|--------|-----------|--------|
| | | 肝臓がん | 肝腫瘍・肝血管腫 | 慢性肝疾患 | 脂肪肝 | 肝のう胞 | 肝機能障害 | HBs抗原性 | HCV抗体陽性*2 | その他肝疾患 |
| 職 域 | 98 | 0 | 31 | 0 | 41 | 24 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| がん・生活習慣病 | 166 | 2 | 55 | 0 | 52 | 51 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 合 計 | 264 | 2 | 86 | 0 | 93 | 75 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| そ の 他 | 49 | 0 | 8 | 0 | 9 | 11 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 経 過 観 察 | 284 | 0 | 109 | 0 | 108 | 71 | 0 | 35 | 0 | 5 |

*2. 医師の指示にて必要と認められた人のみ実施

その2

| | 胆 道 | | | | | 膵 臓 | | 腎 臓 | | そ の 他 | | 異 常 な し |
|----------|----------|---------|-----|---------|---------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|
| | 胆のう・胆管がん | 胆のうポリープ | 胆 石 | 胆のう腺筋腫症 | その他胆道疾患 | 膵 臓 が ん | その他膵疾患 | 腎 臓 が ん | その他腎疾患 | その他のがん | その他の疾患 | |
| 職 域 | 0 | 24 | 4 | 7 | 4 | 0 | 4 | 0 | 26 | 0 | 12 | 4 |
| がん・生活習慣病 | 1 | 34 | 15 | 13 | 9 | 0 | 20 | 1 | 69 | 0 | 24 | 6 |
| 合 計 | 1 | 58 | 19 | 20 | 13 | 0 | 24 | 1 | 95 | 0 | 36 | 10 |
| そ の 他 | 0 | 10 | 2 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0 | 20 | 1 | 4 | 9 |
| 経 過 観 察 | 0 | 74 | 26 | 33 | 19 | 0 | 36 | 1 | 90 | 0 | 28 | 3 |

注1. がん・生活習慣病：がん・生活習慣病健診の超音波検査実施分

その他：個人希望、医師紹介、胃がん検診や他検診・健診等からの二次検査

2. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診（未受診であることがはっきりしている） 未把握（結果が把握できない）

前立腺がん検診

1981年度より「泌尿器科がん検診」として、個人申し込みや医師紹介を中心に二次精密検査から行ってきたが、2001年度より「前立腺がん検診」と名称を改め、地域自治体の協力を頂き、集団検診を開始した。

2021年度から地域検診における当センター精検時の送迎を廃止した。当センターでの精検は引き続き実施しているが、コロナ禍の行動制限が受診行動に影響しているのか、地元医療機関を希望される方が多く、各医療機関のご協力を頂き精検該当者を紹介している。

<一次検診>

50歳以上を対象とし、P S A（前立腺特異抗原）単独の検査を実施した。2022年度の総受診者数は5,385名で、前年度と比べ121名増加した（表1）。内訳は、地域4市町村3,216名（237名増）、職域・個人1,354名（59名減）、がん・生活習慣病健診815名（57名減）であった（表1・2・4-1・4-2・4-3）。地域の検診対象人口（16,480名）に対する受診率は19.5%で前年度より1.5%増えた。

<二次検診>

二次検診は当センターにおいては、P S A再検、直腸診、経直腸超音波検査を実施した。精検該当数（率）は308名（5.7%）であり、精検受診数（率）は256名（83.1%）であった。内訳は、地域検診から212名（6.6%）該当し176名（83.0%）が受診、職域・個人から50名（3.7%）該当し37名（74.0%）が受診、がん・生活習慣病健診から46名（5.6%）該当し43名（93.5%）が受診した（表1・2）。昨年度に比べ地域検診では1.1%、職域・個人では16.0%、がん・生活習慣病5.3%と受診率はいずれも増加した。

二次検診未受診（52名）の中には、他施設でP S A再検査のみ受けた方や、前立腺疾患のために医療機関で受診中の方も含まれているが、前年度より6名減少した。地域検診では70～74歳が14名、職域・個人は50～54歳の間が6名と最も多かった（表4-1・4-2）。

二次検診受診者で「過去3回以上三次検診での前立腺生検を施行し、悪性所見を認められなかったケース」については、本人の希望により三次検診の有無を選択する方式をとっている。この三次検診（精検）除外基準は、2009年度から実施している。

<三次検診>

三次検診は医療機関において経直腸超音波ガイド下前立腺多ヵ所（12ヵ所）生検を実施した。精検該当数（率）は72名（1.3%）であり、内訳は、地域検診から46名（1.4%）職域・個人から11名（0.8%）がん・生活習慣病健診から15名（1.8%）該当し、精検受診数（率）は70名（97.2%）であった（表1・2）。

三次検診未受診2名は、紹介医療機関の判断（前立腺疾患で経過観察中等）で生検を見合わせたケースであった。

<発見がん>

発見がん（率）は41名（0.76%）で、前立腺に限局し転移を有さない早期がん（率）は、36名（87.8%）であった。

地域検診からの発見がんは32名（1.00%）、職域・個人3名（0.22%）、がん・生活習慣病健診からは6名（0.74%）であった（表1・2・3）。

地域検診の年齢階級別の発見率は75～79歳が1.93%と最も高く、次に80歳以上で1.59%、65～69歳で1.42%であった（表4-1）。

<今後の課題>

1. 前立腺がんの罹患数は近年増加傾向にあり、簡便に受けられる一次検診（PSA検査）について機会を捉え啓発活動を行う。
2. 精密検査（二次検診）の未受診及び未把握ゼロを目指し、実施主体との連携を密にして早期に受診勧奨を行うとともに、医療機関実施分の結果把握に努める。
3. 確実に精密検査（三次検診）に誘導できるよう医療機関との連携を密にし、結果把握に努める。

（看護師；池田 由香）

表1 検診年次成績

| 年 度 | 一次検診 受診数 | 二次精密検査 | | | | 三次精密検査 | | | |
|-------------|-------------|----------------|-----------------|------|------|----------------|-----------------|------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 |
| 2001 ~ 2010 | 34,392 | 1,907 (5.5) | 1,803 (94.5) | 104 | 0 | 1,141 (3.3) | 1,082 (94.8) | 57 | 2 |
| 2011 | 4,785 | 234 (4.9) | 220 (94.0) | 14 | 0 | 93 (1.9) | 88 (94.6) | 5 | 0 |
| 2012 | 5,025 | 275 (5.5) | 246 (89.5) | 29 | 0 | 131 (2.6) | 121 (92.4) | 10 | 0 |
| 2013 | 5,141 | 242 (4.7) | 220 (90.9) | 22 | 0 | 126 (2.5) | 118 (93.7) | 8 | 0 |
| 2014 | 5,181 | 324 (6.3) | 295 (91.0) | 29 | 0 | 158 (3.0) | 146 (92.4) | 12 | 0 |
| 2015 | 5,356 | 322 (6.0) | 300 (93.2) | 22 | 0 | 137 (2.6) | 131 (95.6) | 6 | 0 |
| 2016 | 5,331 | 291 (5.5) | 265 (91.1) | 24 | 2 | 140 (2.6) | 139 (99.3) | 1 | 0 |
| 2017 | 5,353 | 332 (6.2) | 304 (91.6) | 28 | 0 | 175 (3.3) | 175 (100.0) | 0 | 0 |
| 2018 | 5,219 | 273 (5.2) | 248 (90.8) | 25 | 0 | 126 (2.4) | 121 (96.0) | 5 | 0 |
| 2019 | 5,171 | 241 (4.7) | 204 (84.6) | 37 | 0 | 100 (1.9) | 95 (95.0) | 5 | 0 |
| 2020 | 4,878 | 217 (4.4) | 198 (91.2) | 19 | 0 | 102 (2.1) | 99 (97.1) | 3 | 0 |
| 2021 | 5,264 | 272 (5.2) | 214 (78.7) | 58 | 0 | 89 (1.7) | 88 (98.9) | 1 | 0 |
| 2022 | 5,385 | 308 (5.7) | 256 (83.1) | 52 | 0 | 72 (1.3) | 70 (97.2) | 2 | 0 |
| 合 計 | 96,481 | 5,238 (5.4) | 4,773 (91.1) | 463 | 2 | 2,590 (2.7) | 2,473 (95.5) | 115 | 2 |

注. 地域、職域・個人、がん・生活習慣病を含む

表2 対策別前立腺がん検診成績

| | 一次検診 受診数 | 二次精密検査 | | | | 三次精密検査 | | | |
|----------|-------------|--------------|---------------|------|------|-------------|---------------|------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 |
| 地 域 | 3,216 | 212 (6.6) | 176 (83.0) | 36 | 0 | 46 (1.4) | 45 (97.8) | 1 | 0 |
| 職 域・個 人 | 1,354 | 50 (3.7) | 37 (74.0) | 13 | 0 | 11 (0.8) | 11 (100.0) | 0 | 0 |
| がん・生活習慣病 | 815 | 46 (5.6) | 43 (93.5) | 3 | 0 | 15 (1.8) | 14 (93.3) | 1 | 0 |
| 合 計 | 5,385 | 308 (5.7) | 256 (83.1) | 52 | 0 | 72 (1.3) | 70 (97.2) | 2 | 0 |
| 個 人 | — | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 経 過 観 察 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

表3 市町村別前立腺がん検診成績

| | 一次検診 受診数 | 二次精密検査 | | | | 三次精密検査 | | | |
|------------|-------------|--------------|---------------|------|------|-------------|---------------|------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 |
| 亘 理 町 | 1,379 | 93 (6.7) | 78 (83.9) | 15 | 0 | 20 (1.5) | 19 (95.0) | 1 | 0 |
| 山 元 町 | 651 | 46 (7.1) | 40 (87.0) | 6 | 0 | 13 (2.0) | 13 (100.0) | 0 | 0 |
| 色 麻 町 | 197 | 9 (4.6) | 9 (100.0) | 0 | 0 | 2 (1.0) | 2 (100.0) | 0 | 0 |
| 美 里 町(小牛田) | 772 | 52 (6.7) | 42 (80.8) | 10 | 0 | 11 (1.4) | 11 (100.0) | 0 | 0 |
| 美 里 町(南 郷) | 217 | 12 (5.5) | 7 (58.3) | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 3,216 | 212 (6.6) | 176 (83.0) | 36 | 0 | 46 (1.4) | 45 (97.8) | 1 | 0 |

注1. 二次精密検査はP S A再検、直腸診、経直腸的超音波検査を実施

2. 三次精密検査は医療機関による針生検等を実施

3. 前立腺がん(率)は、一次検診数に対する割合

4. 早期がんは前立腺がんの再掲

5. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診 (未受診であることがはっきりしている) 未把握 (結果が把握できない)

2022年度

| 前立腺がん (率) | 早期がん (率) | PSA高値 | 直腸診異常 | 超音波異常 | 前立腺肥大 | 前立腺炎 | 前立腺結石 | その他 | 異常なし |
|---------------|---------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|--------|
| 444 (1.29) | 392 (88.3) | 240 | 18 | 15 | 774 | 14 | 70 | 5 | 32,649 |
| 33 (0.69) | 33 (100.0) | 21 | 0 | 0 | 129 | 3 | 7 | 0 | 4,573 |
| 42 (0.8) | 41 (97.6) | 8 | 0 | 1 | 155 | 1 | 6 | 0 | 4,773 |
| 36 (0.70) | 36 (100.0) | 17 | 0 | 1 | 137 | 0 | 6 | 0 | 4,914 |
| 52 (1.00) | 52 (100.0) | 27 | 0 | 0 | 157 | 2 | 11 | 0 | 4,891 |
| 51 (0.95) | 51 (100.0) | 33 | 1 | 0 | 172 | 1 | 14 | 0 | 5,056 |
| 57 (1.07) | 54 (94.7) | 32 | 0 | 1 | 134 | 2 | 14 | 0 | 5,064 |
| 56 (1.05) | 56 (100.0) | 27 | 0 | 0 | 189 | 3 | 5 | 0 | 5,045 |
| 38 (0.73) | 38 (100.0) | 21 | 0 | 1 | 155 | 2 | 7 | 0 | 4,965 |
| 37 (0.72) | 36 (97.3) | 21 | 0 | 0 | 126 | 0 | 5 | 0 | 4,940 |
| 40 (0.82) | 35 (87.5) | 26 | 0 | 1 | 114 | 2 | 0 | 0 | 4,673 |
| 32 (0.61) | 30 (93.8) | 34 | 0 | 0 | 111 | 1 | 2 | 0 | 5,025 |
| 41 (0.76) | 36 (87.8) | 15 | 0 | 0 | 161 | 5 | 1 | 0 | 5,108 |
| 959 (0.99) | 890 (92.8) | 522 | 19 | 20 | 2,514 | 36 | 148 | 5 | 91,676 |

2022年度

| 前立腺がん (率) | 早期がん (率) | PSA高値 | 直腸診異常 | 超音波異常 | 前立腺肥大 | 前立腺炎 | 前立腺結石 | その他 | 異常なし |
|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|-------|
| 32 (1.00) | 27 (84.4) | 10 | 0 | 0 | 112 | 2 | 0 | 0 | 3,023 |
| 3 (0.22) | 3 (100.0) | 2 | 0 | 0 | 23 | 2 | 0 | 0 | 1,311 |
| 6 (0.74) | 6 (100.0) | 3 | 0 | 0 | 26 | 1 | 1 | 0 | 774 |
| 41 (0.76) | 36 (87.8) | 15 | 0 | 0 | 161 | 5 | 1 | 0 | 5,108 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2022年度

| 前立腺がん (率) | 早期がん (率) | PSA高値 | 直腸診異常 | 超音波異常 | 前立腺肥大 | 前立腺炎 | 前立腺結石 | その他 | 異常なし |
|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|-------|
| 13 (0.94) | 12 (92.3) | 4 | 0 | 0 | 52 | 0 | 0 | 0 | 1,294 |
| 10 (1.54) | 8 (80.0) | 0 | 0 | 0 | 25 | 1 | 0 | 0 | 609 |
| 2 (1.02) | 2 (100.0) | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 188 |
| 7 (0.91) | 5 (71.4) | 4 | 0 | 0 | 24 | 0 | 0 | 0 | 727 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 1 | 0 | 0 | 205 |
| 32 (1.00) | 27 (84.4) | 10 | 0 | 0 | 112 | 2 | 0 | 0 | 3,023 |

表4-1 年齢別成績[地域検診]

| | 一次検診 受診数 | 二次精密検査 | | | | 三次精密検査 | | | |
|---------------|-------------|--------------|---------------|------|------|-------------|---------------|------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 |
| ～ 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 130 | 1 (0.8) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 189 | 9 (4.8) | 9 (100.0) | 0 | 0 | 3 (1.6) | 3 (100.0) | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 348 | 17 (4.9) | 16 (94.1) | 1 | 0 | 6 (1.7) | 6 (100.0) | 0 | 0 |
| 65 ～ 69 | 775 | 53 (6.8) | 47 (88.7) | 6 | 0 | 15 (1.9) | 14 (93.3) | 1 | 0 |
| 70 ～ 74 | 975 | 68 (7.0) | 54 (79.4) | 14 | 0 | 6 (0.6) | 6 (100.0) | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 673 | 46 (6.8) | 38 (82.6) | 8 | 0 | 14 (2.1) | 14 (100.0) | 0 | 0 |
| 80 ～ | 126 | 18 (14.3) | 11 (61.1) | 7 | 0 | 2 (1.6) | 2 (100.0) | 0 | 0 |
| 50歳以上の の小計 | 3,216 | 212 (6.6) | 176 (83.0) | 36 | 0 | 46 (1.4) | 45 (97.8) | 1 | 0 |
| 合計 | 3,216 | 212 (6.6) | 176 (83.0) | 36 | 0 | 46 (1.4) | 45 (97.8) | 1 | 0 |

表4-2 年齢別成績[職域・個人]

| | 一次検診 受診数 | 二次精密検査 | | | | 三次精密検査 | | | |
|---------------|-------------|-------------|--------------|------|------|-------------|---------------|------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 |
| ～ 49 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 336 | 11 (3.3) | 5 (45.5) | 6 | 0 | 2 (0.6) | 2 (100.0) | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 555 | 11 (2.0) | 9 (81.8) | 2 | 0 | 2 (0.4) | 2 (100.0) | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 399 | 21 (5.3) | 17 (81.0) | 4 | 0 | 5 (1.3) | 5 (100.0) | 0 | 0 |
| 65 ～ 69 | 35 | 6 (17.1) | 5 (83.3) | 1 | 0 | 2 (5.7) | 2 (100.0) | 0 | 0 |
| 70 ～ 74 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 11 | 1 (9.1) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80 ～ | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50歳以上の の小計 | 1,352 | 50 (3.7) | 37 (74.0) | 13 | 0 | 11 (0.8) | 11 (100.0) | 0 | 0 |
| 合計 | 1,354 | 50 (3.7) | 37 (74.0) | 13 | 0 | 11 (0.8) | 11 (100.0) | 0 | 0 |

表4-3 年齢別成績[がん・生活習慣病]

| | 一次検診 受診数 | 二次精密検査 | | | | 三次精密検査 | | | |
|---------------|-------------|-------------|---------------|------|------|-------------|--------------|------|------|
| | | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 | 該当数(率) | 受診数(率) | 未受診数 | 未把握数 |
| ～ 49 | 88 | 1 (1.1) | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 ～ 54 | 89 | 1 (1.1) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 55 ～ 59 | 84 | 2 (2.4) | 1 (50.0) | 1 | 0 | 1 (1.2) | 1 (100.0) | 0 | 0 |
| 60 ～ 64 | 145 | 14 (9.7) | 14 (100.0) | 0 | 0 | 8 (5.5) | 7 (87.5) | 1 | 0 |
| 65 ～ 69 | 201 | 8 (4.0) | 8 (100.0) | 0 | 0 | 3 (1.5) | 3 (100.0) | 0 | 0 |
| 70 ～ 74 | 152 | 13 (8.6) | 12 (92.3) | 1 | 0 | 3 (2.0) | 3 (100.0) | 0 | 0 |
| 75 ～ 79 | 43 | 6 (14.0) | 6 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 80 ～ | 13 | 1 (7.7) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50歳以上の の小計 | 727 | 45 (6.2) | 43 (95.6) | 2 | 0 | 15 (2.1) | 14 (93.3) | 1 | 0 |
| 合計 | 815 | 46 (5.6) | 43 (93.5) | 3 | 0 | 15 (1.8) | 14 (93.3) | 1 | 0 |

注. 2009年度より、未検者数を未受診・未把握に分けて計上

* 未受診（未受診であることがはっきりしている） 未把握（結果が把握できない）

2022年度

| 前立腺がん (率) | 早期がん (率) | PSA高値 | 直腸診異常 | 超音波異常 | 前立腺肥大 | 前立腺炎 | 前立腺結石 | その他 | 異常なし |
|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|-------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 129 |
| 1 (0.53) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 182 |
| 3 (0.86) | 2 (66.7) | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 336 |
| 11 (1.42) | 10 (90.9) | 3 | 0 | 0 | 26 | 0 | 0 | 0 | 728 |
| 2 (0.21) | 1 (50.0) | 1 | 0 | 0 | 45 | 1 | 0 | 0 | 912 |
| 13 (1.93) | 12 (92.3) | 1 | 0 | 0 | 22 | 1 | 0 | 0 | 628 |
| 2 (1.59) | 1 (50.0) | 4 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 108 |
| 32 (1.00) | 27 (84.4) | 10 | 0 | 0 | 112 | 2 | 0 | 0 | 3,023 |
| 32 (1.00) | 27 (84.4) | 10 | 0 | 0 | 112 | 2 | 0 | 0 | 3,023 |

2022年度

| 前立腺がん (率) | 早期がん (率) | PSA高値 | 直腸診異常 | 超音波異常 | 前立腺肥大 | 前立腺炎 | 前立腺結石 | その他 | 異常なし |
|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|-------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 326 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 1 | 0 | 0 | 545 |
| 1 (0.25) | 1 (100.0) | 1 | 0 | 0 | 11 | 1 | 0 | 0 | 381 |
| 2 (5.71) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 31 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 3 (0.22) | 3 (100.0) | 2 | 0 | 0 | 23 | 2 | 0 | 0 | 1,309 |
| 3 (0.22) | 3 (100.0) | 2 | 0 | 0 | 23 | 2 | 0 | 0 | 1,311 |

2022年度

| 前立腺がん (率) | 早期がん (率) | PSA高値 | 直腸診異常 | 超音波異常 | 前立腺肥大 | 前立腺炎 | 前立腺結石 | その他 | 異常なし |
|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|------|
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 87 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 88 |
| 1 (1.19) | 1 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 82 |
| 2 (1.38) | 2 (100.0) | 0 | 0 | 0 | 10 | 1 | 0 | 0 | 131 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 196 |
| 3 (1.97) | 3 (100.0) | 1 | 0 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 140 |
| 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 38 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 6 (0.83) | 6 (100.0) | 3 | 0 | 0 | 26 | 1 | 1 | 0 | 687 |
| 6 (0.74) | 6 (100.0) | 3 | 0 | 0 | 26 | 1 | 1 | 0 | 774 |

が ん ・ 生 活 習 慣 病 健 診

当協会では、1977年度より「がん・成人病健診」の名称で、がん検診を中心に総合的な検査項目を設け健診を実施してきた。1999年度からは「がん・生活習慣病健診」と名称を改めた。

2020年度からより受診者のニーズに対応するために、上部消化管検査として胃X線検査と胃内視鏡検査の選択制を導入した。

2008年度から高齢者の医療の確保に関する法律により、特定健診・特定保健指導が義務付けられ、受診者全員にメタボリックシンドローム判定を実施している。依頼のあった企業の特定保健指導の対象者に対しては、研修を終えた保健師12名が指導に当たる体制となっている。

<受診動向>

2022年度も前年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら実施した。稼働日数は194日で昨年度より1日間減少、総受診数は5,597名（定期健康診断727名、特定健診単独116名含む）で前年度より79名減少した。性別では男性3,440（61.5%）で前年度より25名の減少、女性2,157名（38.5%）で54名減少した（表1～3）。特に39歳以下の受診者が851名で昨年より86名減少、65歳以上の受診者では1,530名で昨年度より34名増加した。

特定保健指導は個別契約で3健康保険組合と1市町村（美里町）を実施した。該当者は32名で昨年度より2名増加した。そのうち指導終了数は7名となり前年より1名減少した。途中終了者は2名であった。指導を拒否した者は12名であった。その理由はいずれも自己管理の申し出をされていた。また、特定保健指導に該当していたが、高血圧、脂質異常症、糖尿病等で治療を開始された等の理由から対象から除外となった者は11名であった。

<判定結果>

当協会では健診の区分を「1.異常なし」「2.わずかな異常」「3.日常生活注意」「4.要経過観察」「5.要治療」「6.受診中」「7.要精密検査」の7段階としている（表1～3）。

ただし全国健康保険協会管掌健康保険（以下、協会けんぽという）生活習慣病予防健診については、協会けんぽで定められた指導区分に沿って判定している。当協会の区分の「3.日常生活注意」と「4.要経過観察」をあわせて「3.要経過観察」としているため6段階となっている。協会けんぽの受診者は総受診者の44.5%（受診数2,489名、前年度より105名減少）を占めている。

当協会の判定区分で見ると、総合判定で全項目が「1.異常なし」は男性31名（0.9%）、女性41名（1.9%）であった。全て異常なしは年齢と共に減少し39歳以下が50.0%を占めていた。「2.わずかな異常」は男性101名（2.9%）、女性127名（5.9%）、「3.日常生活注意」は男性390名（11.3%）、女性327（15.2%）、「4.要経過観察」は男性515名（15.0%）、女性422名（19.6%）であった。「5.要治療」は男性277名（8.1%）、女性162名（7.5%）、「6.受診中」は男性618名（18.0%）、女性366名（17.0%）、「7.要精密検査」は男性1,508名（43.8%）、女性712名（33.0%）で判定1～4は女性の割合が高く、判定5及び7は男性の割合が高かった。男女共に「5.要治療」より「6.受診中」の割合が高かった。

＜主な発見疾患について＞

性・年齢別発見疾患（指導区分 3～7）を表 4 に示す。多く見られる所見の順に 1 位 脂質検査異常 3,822 名（68.3%）、2 位 高血圧・正常高値血圧 2,609 名（46.6%）、3 位 耐糖能異常 2,562 名（45.8%）で、昨年度と比べて高血圧・正常高値血圧と耐糖能異常の順位が入れ替わった。

男性では脂質検査異常 2,436（70.8%）、次に高血圧・正常高値血圧 1,914 名（55.6%）、耐糖能異常 1,661 名（48.3%）、女性では脂質検査異常 1,386 名（64.3%）、耐糖能異常 901 名（41.8%）、高血圧・正常高値血圧 695 名（32.2%）で、男女ともに前年と同様の順位であった。

はじめにがん以外の 8 項目について述べる。

○高血圧・正常高値血圧

男性 1,914 名（55.6%）、女性 695 名（32.2%）で、男性の有所見率が高率であった。年齢と共に有所見率の上昇を認め、男性では 50 歳以上、女性では 65 歳以上で 50%以上が該当していた。

○心電図異常

男性 683 名（19.9%）、女性 251 名（11.6%）と男性に多かった。年齢と共に有所見率の上昇が認められ、昨年同様に 70 歳以上の有所見率が高く男性 32.7%、女性 21.5%であった。

○貧血

男性 174 名（5.1%）、女性 286 名（13.3%）で、女性の有所見率が高率であった。昨年と同様に男性では 70 歳以上の高齢者に多く、女性では 40 歳代の有所見率が高かった。

○肝機能異常

男性 1,370（39.8%）、女性 279 名（12.9%）で、昨年同様男性の有所見率が高かった。男性では他の年齢層に比べ 40～64 歳の各年齢層が 40%以上と高率であった。女性では 60～69 歳の各年齢層で 18.0%以上であった。

○脂質検査異常

男女共に主な発見疾患の中で 20 年以上前から一番高い有所見率となっている。男性は 2,436（70.8%）で 40 歳以上の各年齢層で 70%以上が該当していた。女性は 1,386 名（64.3%）で年齢と共に有所見率が上昇し、55 歳以上の各年齢層で 70%以上が該当していた。

○耐糖能異常（糖尿病とその境界型）

男性 1,661 名（48.3%）、女性 901 名（41.8%）と男性に多かった。加齢に伴って有所見率は上昇しており、男性では 55 歳以上、女性では 60 歳以上で 50%以上が該当していた。

○高尿酸血症

男性 606 名（17.6%）、女性 35 名（1.6%）と例年同様に圧倒的に男性に多かった。年齢による変動はあまり認めなかった。

○肥満

BMI（25以上）でみると男性1,401（40.7%）、女性533名（24.7%）が肥満と判定された。男性は各年齢層すべて30%以上で、女性は70歳以上で30%以上であった。体脂肪率（基準値：男性25%以上、女性30%以上）では男性1,385名（40.3%）、女性1,265名（58.6%）が肥満と判定された。メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）判定では、該当が男性872名（25.4%）、女性141名（6.5%）、予備群は男性661名（19.2%）、女性113名（5.2%）であった。メタボリックシンドロームの該当率は男性では55歳～59歳で30%以上となり70歳以上で36.5%と最も高くなった。女性では65歳～69歳で10%以上となり70歳以上で16.4%と最も高くなった。

<がん検診と精密検査実施状況及び発見がん>

2020年度から上部消化管検査として胃X線検査と胃内視鏡検査の選択制を導入したので表1～3および表5にその内訳を示した。

胃がん検診の受診者数は3,913名（がん・生活習慣病健診受診者のうち69.9%）であった。そのうち胃X線検査2,271名（40.6%）で前年より270名減少、胃内視鏡検査1,642名（29.3%）で前年より325名増加した。便潜血検査による大腸がん検診は4,460名（79.7%）、肺CT・喀痰を含む肺がん検診は5,446名（97.3%）、腹部超音波検査は3,174名（56.7%）であった。乳がん検診は775名（女性受診者のうち35.9%）、子宮がん検診は735名（女性受診者のうち34.1%）、前立腺がん検診は815名（男性受診者のうち23.7%）であった。

精密検査受診率は、表5に示すように各がん検診ともに85～100%と高率であった。当協会のドック健診では、対策型検診と同様に検査日程の設定、あるいは医療機関受診に繋げるための受診予約の支援など積極的に働きかけている。また未検者に対しては電話や文書による受診勧奨に努め、長年80%以上の精密検査受診率を維持している。

発見がんの総数は24名で男性は15名、女性は9名であった。発見がんの内訳を表6に示した。上部消化管検査での発見がんは、胃がん6名とその他のがんとして悪性リンパ腫1名を合わせて7名で発見がん率は0.18%（早期がん率は71.4%）であった。検査別の発見がん率は胃X線検査での発見がんはなく、7名全例胃内視鏡検査での発見がんであり、発見がん率は0.43%であった。大腸がんは5名で発見がん率0.11%（早期がん率100.0%）、肺がんは2名で発見がん率0.04%（早期がん率不明）、乳がんと子宮がんの発見がんはなかった。腹部超音波検査では4名（肝臓がん2名、胆のうがん1名、腎臓がん1名）で発見がん率は0.13%（早期がん率不明）、前立腺がんは6名で発見がん率0.74%（早期がん率100.0%）であった。発見がん24例中11例は早期がんであり、大腸と前立腺での早期発見率は100.0%、胃内視鏡検査での早期発見がん率は71.4%と高率であった。

<オプション検査>

骨粗鬆症検診は男性67名（1.9%）、女性423名（19.6%）が受診し、圧倒的に女性の受診率が高かった。ピロリ菌・ペプシノゲン検査の受診数は男性91名（2.6%）、女性54名（2.5%）、合計145名（2.6%）で昨年度より14名減少した。また2014年度より判定区分にA2群（血液上はA群だが画像診断で萎縮性胃炎があると診断されたもの）とE群（除菌治療が成功したもの）を追加し、より詳細に胃がんのリスクを評価できるようになっている（表7）。

CT検査では、2014年度導入した低線量肺CT検査の受診数は333名（5.9%）、内臓脂肪CT検査の受診数は222名（4.0%）であった。

アルコール体質検査の受診数は11名（0.2%）で、昨年度より受診数は7名減少した。

<今後の課題>

2008年度より特定健診・特定保健指導が実施され、メタボリックシンドロームについて幅広く周知されているが依然として脂質検査異常・耐糖能異常・高血圧・正常高値血圧の有所見率は高くなっている。それに伴う疾病リスクを減少させるため事後指導や特定保健指導に取り組み、2019年度から美里町の初回面接分割実施なども取り入れた。引き続き生活習慣の見直しや改善に繋がる保健指導に力を入れていきたい。

受診者の高齢化は年々進んでおり、2人に1人はがんに罹患する時代になり、定期的な健診受診は早期発見に役立ち、その後の治療・予後や生活に大きく影響する。また年々、胃内視鏡検査の需要は高まっており、対応に努めている状況である。

2019年1月から始まった新型コロナウイルス感染拡大が影響し健診受診数は減少し、精密検査該当の場合も感染リスクを理由に未受診あるいは受診の時期の遅らせているという声も聞かれるので、精密検査該当者にはタイムリーに受診勧奨を行う必要がある。また、若い頃からのがん・生活習慣病健診の定期受診の必要性を啓発していくことも重要である。今後も職員は日々の研鑽を積むとともに、精度の高いがん検診を活かしたがん・生活習慣病健診を提供できるよう努めていきたい。

（保健師；大友 美智子）

表1 性・年齢・項目別 判定状況(男性)

| 年齢 区分 | 判定 区分 | 総合 判定 | 一 般 健 康 診 査 | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----------|-------|-------------|-------|-------|-------|--|
| | | | 聴打診 | 聴力 | 循環器* | 血压 | 心電図 | 眼底 | 肺機能 | 血液 一般 | 肝機能 | HBs抗原 陽性 | 腎尿路* | 腎 | 尿 | |
| ～39 | 1 | 16 | 504 | 431 | 220 | 390 | 278 | 136 | 0 | 307 | 257 | 100 | 286 | 202 | 328 | |
| | 2 | 65 | 0 | 0 | 141 | 10 | 165 | 0 | 0 | 160 | 45 | 0 | 105 | 2 | 120 | |
| | 3 | 152 | 0 | 0 | 76 | 86 | 0 | 0 | 0 | 8 | 110 | 0 | 49 | 55 | 0 | |
| | 4 | 124 | 0 | 10 | 33 | 0 | 37 | 0 | 0 | 23 | 43 | 0 | 53 | 5 | 51 | |
| | 5 | 37 | 0 | 0 | 5 | 8 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | 6 | 0 | |
| | 6 | 16 | 0 | 0 | 10 | 10 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| | 7 | 94 | 0 | 8 | 19 | 0 | 7 | 12 | 0 | 2 | 47 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| 40～44 | 1 | 2 | 353 | 304 | 138 | 231 | 234 | 195 | 0 | 238 | 138 | 166 | 168 | 248 | 222 | |
| | 2 | 19 | 0 | 0 | 59 | 10 | 82 | 2 | 0 | 94 | 37 | 0 | 65 | 2 | 86 | |
| | 3 | 57 | 0 | 0 | 57 | 75 | 0 | 0 | 0 | 6 | 119 | 0 | 67 | 77 | 1 | |
| | 4 | 91 | 0 | 19 | 26 | 0 | 30 | 1 | 0 | 14 | 34 | 0 | 35 | 9 | 28 | |
| | 5 | 45 | 0 | 0 | 15 | 17 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | |
| | 6 | 30 | 0 | 0 | 18 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | |
| | 7 | 109 | 0 | 9 | 40 | 0 | 6 | 34 | 0 | 0 | 23 | 0 | 14 | 0 | 14 | |
| 45～49 | 1 | 3 | 435 | 358 | 138 | 231 | 269 | 206 | 0 | 292 | 164 | 188 | 205 | 296 | 277 | |
| | 2 | 9 | 0 | 0 | 50 | 6 | 96 | 2 | 0 | 122 | 63 | 0 | 75 | 0 | 111 | |
| | 3 | 81 | 0 | 0 | 85 | 118 | 2 | 0 | 0 | 7 | 157 | 0 | 84 | 92 | 0 | |
| | 4 | 88 | 0 | 23 | 40 | 0 | 59 | 4 | 0 | 9 | 24 | 1 | 44 | 18 | 29 | |
| | 5 | 63 | 0 | 0 | 15 | 16 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 9 | 7 | 2 | |
| | 6 | 48 | 0 | 0 | 48 | 64 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 10 | 0 | 11 | |
| | 7 | 143 | 0 | 26 | 59 | 0 | 7 | 53 | 0 | 2 | 24 | 0 | 8 | 3 | 5 | |
| 50～54 | 1 | 5 | 385 | 299 | 112 | 176 | 249 | 207 | 0 | 261 | 177 | 174 | 176 | 264 | 246 | |
| | 2 | 4 | 0 | 0 | 32 | 7 | 61 | 5 | 0 | 100 | 37 | 0 | 60 | 3 | 85 | |
| | 3 | 34 | 0 | 0 | 59 | 91 | 5 | 0 | 0 | 6 | 119 | 0 | 58 | 64 | 0 | |
| | 4 | 66 | 0 | 41 | 31 | 0 | 63 | 5 | 0 | 16 | 25 | 1 | 59 | 38 | 25 | |
| | 5 | 51 | 0 | 0 | 11 | 16 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | |
| | 6 | 87 | 0 | 0 | 80 | 95 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 17 | 0 | 18 | |
| | 7 | 138 | 0 | 25 | 60 | 0 | 7 | 55 | 0 | 1 | 24 | 0 | 13 | 2 | 11 | |
| 55～59 | 1 | 2 | 365 | 257 | 58 | 126 | 216 | 169 | 0 | 239 | 157 | 147 | 166 | 245 | 232 | |
| | 2 | 2 | 0 | 0 | 34 | 8 | 77 | 9 | 0 | 93 | 32 | 0 | 45 | 4 | 59 | |
| | 3 | 26 | 0 | 1 | 45 | 79 | 0 | 0 | 0 | 17 | 131 | 0 | 49 | 59 | 0 | |
| | 4 | 47 | 0 | 43 | 29 | 0 | 62 | 11 | 0 | 9 | 24 | 1 | 64 | 38 | 36 | |
| | 5 | 34 | 0 | 0 | 21 | 22 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| | 6 | 94 | 0 | 0 | 110 | 130 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 22 | 0 | 24 | |
| | 7 | 160 | 0 | 46 | 68 | 0 | 9 | 59 | 0 | 2 | 17 | 0 | 17 | 7 | 12 | |
| 60～64 | 1 | 1 | 407 | 226 | 47 | 118 | 214 | 159 | 0 | 266 | 186 | 191 | 190 | 273 | 259 | |
| | 2 | 2 | 0 | 0 | 26 | 3 | 109 | 9 | 0 | 106 | 43 | 0 | 51 | 9 | 67 | |
| | 3 | 13 | 1 | 1 | 48 | 83 | 4 | 0 | 0 | 21 | 141 | 0 | 38 | 50 | 0 | |
| | 4 | 34 | 0 | 59 | 25 | 0 | 66 | 21 | 0 | 11 | 25 | 1 | 78 | 49 | 43 | |
| | 5 | 24 | 0 | 0 | 12 | 13 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | |
| | 6 | 115 | 1 | 0 | 146 | 192 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 25 | 0 | 26 | |
| | 7 | 220 | 0 | 81 | 105 | 0 | 13 | 94 | 0 | 4 | 10 | 1 | 26 | 14 | 14 | |
| 65～69 | 1 | 1 | 479 | 165 | 43 | 101 | 235 | 215 | 0 | 331 | 249 | 273 | 202 | 315 | 286 | |
| | 2 | 0 | 1 | 0 | 22 | 2 | 110 | 20 | 0 | 107 | 54 | 0 | 75 | 16 | 102 | |
| | 3 | 17 | 1 | 1 | 52 | 92 | 10 | 0 | 0 | 26 | 134 | 0 | 27 | 33 | 0 | |
| | 4 | 36 | 0 | 74 | 34 | 0 | 111 | 25 | 0 | 8 | 30 | 3 | 102 | 84 | 37 | |
| | 5 | 14 | 0 | 0 | 12 | 14 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 122 | 0 | 0 | 217 | 273 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 41 | 2 | 44 | |
| | 7 | 294 | 3 | 148 | 104 | 2 | 14 | 94 | 0 | 5 | 15 | 0 | 37 | 23 | 15 | |
| 70～ | 1 | 1 | 497 | 82 | 30 | 94 | 212 | 193 | 0 | 351 | 258 | 359 | 203 | 292 | 308 | |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 25 | 2 | 127 | 32 | 0 | 85 | 86 | 0 | 67 | 18 | 99 | |
| | 3 | 10 | 1 | 3 | 65 | 113 | 27 | 0 | 0 | 44 | 103 | 0 | 31 | 32 | 2 | |
| | 4 | 29 | 1 | 59 | 40 | 0 | 112 | 53 | 0 | 8 | 44 | 2 | 111 | 106 | 37 | |
| | 5 | 9 | 0 | 0 | 17 | 19 | 5 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | |
| | 6 | 106 | 1 | 0 | 204 | 277 | 2 | 0 | 0 | 0 | 5 | 4 | 36 | 1 | 38 | |
| | 7 | 350 | 5 | 163 | 124 | 0 | 19 | 108 | 0 | 3 | 9 | 0 | 55 | 38 | 21 | |
| 計 | 1 | 31 | 3,425 | 2,122 | 786 | 1,467 | 1,907 | 1,480 | 0 | 2,285 | 1,586 | 1,598 | 1,596 | 2,135 | 2,158 | |
| | 2 | 101 | 1 | 0 | 389 | 48 | 827 | 79 | 0 | 867 | 397 | 0 | 543 | 54 | 729 | |
| | 3 | 390 | 3 | 6 | 487 | 737 | 48 | 0 | 0 | 135 | 1,014 | 0 | 403 | 462 | 3 | |
| | 4 | 515 | 1 | 328 | 258 | 0 | 540 | 120 | 0 | 98 | 249 | 9 | 546 | 347 | 286 | |
| | 5 | 277 | 0 | 0 | 108 | 125 | 10 | 0 | 0 | 25 | 0 | 0 | 24 | 21 | 4 | |
| | 6 | 618 | 2 | 0 | 833 | 1,061 | 3 | 0 | 0 | 2 | 22 | 9 | 155 | 3 | 165 | |
| | 7 | 1,508 | 8 | 506 | 579 | 2 | 82 | 509 | 0 | 19 | 169 | 1 | 172 | 87 | 94 | |
| 合 計 | | 3,440 | 3,440 | 2,962 | 3,440 | 3,440 | 3,417 | 2,188 | 0 | 3,431 | 3,437 | 1,617 | 3,439 | 3,109 | 3,439 | |

* 循環器・腎尿路には各検査の最も重い判定を計上

注. 新型コロナウイルス感染症対策のため、肺機能検査を中止

| 一 般 健 康 診 査 | | | | | | が ん 検 査 | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-----|------|---------|-----|-------|-------|-------|----|-----|
| 膝機能 | 脂質 | 糖尿病 | 血清 | 眼圧 | 骨粗鬆症 | 胃 | | 超音波 | 便潜血 | 胸部 | 喀痰 | 前立腺 |
| | | | | | | X線 | 内視鏡 | | | | | |
| 130 | 211 | 435 | 66 | 21 | 4 | 128 | 26 | 31 | 200 | 497 | 5 | 12 |
| 9 | 14 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 1 | 24 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 0 | 220 | 56 | 1 | 0 | 0 | 13 | 8 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 20 | 0 | 0 | 1 | 5 | 43 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 47 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 10 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 4 | 3 | 6 | 8 | 1 | 0 | 0 |
| 204 | 81 | 235 | 121 | 37 | 8 | 169 | 42 | 42 | 301 | 339 | 7 | 29 |
| 11 | 19 | 0 | 31 | 0 | 0 | 0 | 1 | 35 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 0 | 161 | 99 | 1 | 0 | 1 | 32 | 25 | 50 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 2 | 16 | 84 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 62 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 28 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 2 | 4 | 0 | 1 | 0 | 8 | 4 | 3 | 20 | 4 | 0 | 0 |
| 217 | 85 | 278 | 149 | 37 | 7 | 187 | 43 | 31 | 371 | 413 | 8 | 46 |
| 12 | 20 | 0 | 26 | 0 | 0 | 2 | 0 | 67 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| 0 | 220 | 134 | 0 | 0 | 0 | 24 | 53 | 59 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 0 | 0 | 22 | 0 | 0 | 4 | 19 | 83 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 68 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 38 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 15 | 5 | 5 | 17 | 1 | 0 | 1 |
| 203 | 77 | 193 | 129 | 33 | 4 | 136 | 36 | 29 | 334 | 378 | 5 | 88 |
| 11 | 26 | 0 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 75 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 0 | 146 | 152 | 0 | 0 | 0 | 43 | 51 | 33 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 2 | 29 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 70 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 64 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 2 | 6 | 0 | 0 | 0 | 12 | 5 | 8 | 14 | 1 | 0 | 1 |
| 169 | 72 | 173 | 100 | 30 | 6 | 107 | 34 | 24 | 309 | 353 | 7 | 82 |
| 19 | 19 | 0 | 30 | 0 | 0 | 0 | 1 | 54 | 0 | 4 | 0 | 0 |
| 0 | 150 | 133 | 0 | 0 | 0 | 45 | 40 | 41 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 2 | 34 | 80 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 52 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 71 | 43 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 8 | 1 | 1 | 0 | 15 | 7 | 9 | 16 | 3 | 0 | 2 |
| 220 | 81 | 169 | 137 | 32 | 7 | 99 | 23 | 21 | 345 | 385 | 9 | 131 |
| 13 | 21 | 0 | 19 | 0 | 0 | 1 | 0 | 67 | 0 | 12 | 0 | 0 |
| 0 | 154 | 182 | 1 | 0 | 1 | 58 | 61 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 4 | 44 | 88 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 37 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 116 | 42 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 13 | 0 | 1 | 0 | 13 | 8 | 17 | 21 | 3 | 0 | 14 |
| 282 | 95 | 166 | 194 | 53 | 9 | 93 | 24 | 23 | 397 | 450 | 18 | 193 |
| 13 | 20 | 0 | 49 | 0 | 0 | 1 | 0 | 111 | 0 | 16 | 0 | 0 |
| 0 | 186 | 202 | 0 | 0 | 2 | 88 | 79 | 58 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 0 | 0 | 30 | 0 | 0 | 2 | 45 | 98 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 39 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 144 | 88 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 15 | 2 | 1 | 1 | 19 | 10 | 29 | 31 | 8 | 0 | 8 |
| 357 | 118 | 127 | 292 | 62 | 15 | 55 | 16 | 23 | 407 | 451 | 25 | 188 |
| 23 | 25 | 0 | 58 | 0 | 0 | 0 | 2 | 138 | 0 | 14 | 0 | 0 |
| 0 | 185 | 268 | 1 | 0 | 1 | 80 | 95 | 47 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 13 | 0 | 0 | 21 | 0 | 0 | 8 | 54 | 130 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 19 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 156 | 87 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 2 | 12 | 2 | 1 | 1 | 23 | 16 | 27 | 37 | 14 | 0 | 20 |
| 1,782 | 820 | 1,776 | 1,188 | 305 | 60 | 974 | 244 | 224 | 2,664 | 3,266 | 84 | 769 |
| 111 | 164 | 0 | 250 | 0 | 0 | 4 | 5 | 571 | 0 | 63 | 0 | 0 |
| 0 | 1,422 | 1,226 | 4 | 0 | 5 | 383 | 412 | 364 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 39 | 0 | 0 | 150 | 0 | 0 | 25 | 246 | 706 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 394 | 53 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 627 | 318 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 69 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 7 | 10 | 64 | 7 | 5 | 2 | 109 | 58 | 104 | 164 | 35 | 0 | 46 |
| 1,939 | 3,437 | 3,437 | 1,600 | 310 | 67 | 1,495 | 989 | 2,038 | 2,828 | 3,364 | 84 | 815 |

判定区分

1.異常なし 2.わずかな異常 3.日常生活注意 4.要経過観察 5.要治療 6.受診中 7.要精密検査

表2 性・年齢・項目別 判定状況(女性)

| 年齢 区分 | 判定 区分 | 総合 判定 | 一 般 健 康 診 査 | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----------|-------|-------------|-------|-------|-------|--|
| | | | 聴打診 | 聴力 | 循環器* | 血压 | 心電図 | 眼底 | 肺機能 | 血液 一般 | 肝機能 | HBs抗原 陽性 | 腎尿路* | 腎 | 尿 | |
| ～39 | 1 | 20 | 343 | 290 | 187 | 275 | 194 | 69 | 0 | 212 | 284 | 87 | 154 | 169 | 160 | |
| | 2 | 58 | 0 | 0 | 102 | 31 | 99 | 0 | 0 | 72 | 35 | 0 | 79 | 0 | 80 | |
| | 3 | 83 | 0 | 0 | 33 | 36 | 0 | 0 | 0 | 50 | 15 | 0 | 6 | 1 | 5 | |
| | 4 | 97 | 0 | 2 | 11 | 0 | 11 | 0 | 0 | 5 | 9 | 0 | 72 | 7 | 66 | |
| | 5 | 20 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 7 | 1 | 0 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 7 | 62 | 3 | 4 | 10 | 0 | 2 | 8 | 0 | 0 | 4 | 0 | 35 | 0 | 35 | |
| 40～44 | 1 | 8 | 223 | 199 | 106 | 165 | 138 | 90 | 0 | 122 | 174 | 86 | 100 | 187 | 102 | |
| | 2 | 22 | 0 | 0 | 65 | 30 | 54 | 1 | 0 | 43 | 24 | 0 | 48 | 1 | 50 | |
| | 3 | 50 | 0 | 0 | 17 | 19 | 1 | 0 | 0 | 31 | 13 | 0 | 3 | 0 | 3 | |
| | 4 | 58 | 0 | 4 | 13 | 0 | 16 | 0 | 0 | 5 | 11 | 0 | 47 | 6 | 45 | |
| | 5 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 11 | 0 | 0 | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 7 | 59 | 1 | 1 | 13 | 0 | 4 | 9 | 0 | 0 | 2 | 0 | 26 | 2 | 24 | |
| 45～49 | 1 | 5 | 267 | 236 | 128 | 191 | 171 | 100 | 0 | 138 | 203 | 106 | 109 | 224 | 113 | |
| | 2 | 19 | 0 | 0 | 60 | 17 | 65 | 3 | 0 | 47 | 34 | 0 | 55 | 0 | 65 | |
| | 3 | 53 | 0 | 0 | 30 | 36 | 0 | 0 | 0 | 43 | 18 | 0 | 10 | 2 | 8 | |
| | 4 | 67 | 0 | 2 | 11 | 0 | 14 | 1 | 0 | 3 | 8 | 0 | 67 | 15 | 56 | |
| | 5 | 36 | 0 | 0 | 6 | 8 | 0 | 0 | 0 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 21 | 0 | 0 | 13 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 7 | 66 | 0 | 5 | 19 | 0 | 2 | 17 | 0 | 1 | 4 | 0 | 25 | 0 | 24 | |
| 50～54 | 1 | 5 | 285 | 234 | 130 | 180 | 178 | 145 | 0 | 145 | 212 | 127 | 123 | 232 | 133 | |
| | 2 | 18 | 0 | 0 | 40 | 19 | 51 | 1 | 0 | 75 | 29 | 0 | 67 | 2 | 73 | |
| | 3 | 48 | 1 | 0 | 33 | 45 | 0 | 0 | 0 | 25 | 25 | 0 | 8 | 3 | 6 | |
| | 4 | 62 | 1 | 4 | 24 | 0 | 32 | 1 | 0 | 8 | 15 | 1 | 63 | 17 | 51 | |
| | 5 | 29 | 0 | 0 | 4 | 6 | 0 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| | 6 | 47 | 0 | 0 | 35 | 39 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| | 7 | 80 | 2 | 10 | 23 | 0 | 3 | 20 | 0 | 1 | 7 | 0 | 26 | 2 | 24 | |
| 55～59 | 1 | 2 | 245 | 190 | 95 | 150 | 146 | 101 | 0 | 137 | 174 | 80 | 117 | 175 | 140 | |
| | 2 | 4 | 0 | 0 | 38 | 6 | 52 | 2 | 0 | 76 | 28 | 0 | 40 | 3 | 49 | |
| | 3 | 41 | 0 | 0 | 36 | 43 | 1 | 0 | 0 | 7 | 24 | 0 | 6 | 3 | 3 | |
| | 4 | 50 | 0 | 11 | 15 | 0 | 21 | 0 | 0 | 4 | 15 | 0 | 63 | 33 | 37 | |
| | 5 | 23 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 53 | 0 | 0 | 38 | 43 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 2 | 6 | |
| | 7 | 72 | 0 | 11 | 21 | 0 | 4 | 19 | 0 | 0 | 4 | 0 | 13 | 3 | 10 | |
| 60～64 | 1 | 1 | 242 | 158 | 72 | 125 | 139 | 107 | 0 | 143 | 146 | 137 | 123 | 173 | 149 | |
| | 2 | 2 | 0 | 0 | 39 | 8 | 58 | 5 | 0 | 62 | 50 | 0 | 35 | 4 | 36 | |
| | 3 | 26 | 1 | 0 | 38 | 49 | 0 | 0 | 0 | 17 | 20 | 0 | 2 | 3 | 1 | |
| | 4 | 35 | 0 | 19 | 18 | 0 | 28 | 4 | 0 | 4 | 19 | 1 | 59 | 37 | 37 | |
| | 5 | 17 | 0 | 0 | 3 | 4 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 61 | 0 | 0 | 44 | 58 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | 2 | 6 | |
| | 7 | 102 | 1 | 8 | 30 | 0 | 4 | 27 | 0 | 2 | 8 | 0 | 18 | 4 | 14 | |
| 65～69 | 1 | 0 | 269 | 126 | 51 | 113 | 149 | 132 | 0 | 164 | 170 | 191 | 126 | 192 | 156 | |
| | 2 | 4 | 1 | 0 | 24 | 2 | 60 | 11 | 0 | 70 | 43 | 0 | 32 | 5 | 43 | |
| | 3 | 14 | 0 | 0 | 42 | 56 | 1 | 0 | 0 | 15 | 25 | 0 | 5 | 2 | 4 | |
| | 4 | 31 | 0 | 37 | 21 | 0 | 41 | 17 | 0 | 7 | 23 | 3 | 74 | 47 | 42 | |
| | 5 | 16 | 0 | 0 | 5 | 6 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 75 | 0 | 0 | 77 | 94 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 6 | 0 | 7 | |
| | 7 | 131 | 1 | 23 | 51 | 0 | 8 | 44 | 0 | 0 | 8 | 0 | 28 | 11 | 19 | |
| 70～ | 1 | 0 | 267 | 66 | 34 | 84 | 141 | 111 | 0 | 169 | 162 | 225 | 108 | 171 | 147 | |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 25 | 0 | 63 | 19 | 0 | 63 | 64 | 0 | 42 | 7 | 59 | |
| | 3 | 12 | 1 | 0 | 28 | 50 | 4 | 0 | 0 | 22 | 15 | 0 | 7 | 1 | 8 | |
| | 4 | 22 | 0 | 31 | 23 | 0 | 49 | 19 | 0 | 4 | 22 | 0 | 86 | 66 | 40 | |
| | 5 | 5 | 0 | 0 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 6 | 91 | 0 | 0 | 95 | 131 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 4 | 3 | 0 | 4 | |
| | 7 | 140 | 2 | 24 | 62 | 0 | 5 | 57 | 0 | 0 | 3 | 0 | 24 | 16 | 11 | |
| 計 | 1 | 41 | 2,141 | 1,499 | 803 | 1,283 | 1,256 | 855 | 0 | 1,230 | 1,525 | 1,039 | 960 | 1,523 | 1,100 | |
| | 2 | 127 | 1 | 0 | 393 | 113 | 502 | 42 | 0 | 508 | 307 | 0 | 398 | 22 | 455 | |
| | 3 | 327 | 3 | 0 | 257 | 334 | 7 | 0 | 0 | 210 | 155 | 0 | 47 | 15 | 38 | |
| | 4 | 422 | 1 | 110 | 136 | 0 | 212 | 42 | 0 | 40 | 122 | 5 | 531 | 228 | 374 | |
| | 5 | 162 | 0 | 0 | 24 | 34 | 0 | 0 | 0 | 63 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | |
| | 6 | 366 | 1 | 0 | 315 | 393 | 0 | 0 | 0 | 3 | 8 | 4 | 26 | 4 | 27 | |
| | 7 | 712 | 10 | 86 | 229 | 0 | 32 | 201 | 0 | 4 | 40 | 0 | 195 | 38 | 161 | |
| 合 計 | | 2,157 | 2,157 | 1,695 | 2,157 | 2,157 | 2,009 | 1,140 | 0 | 2,058 | 2,157 | 1,048 | 2,157 | 1,831 | 2,155 | |

* 循環器・腎尿路には各検査の最も重い判定を計上

注. 新型コロナウイルス感染症対策のため、肺機能検査を中止

| 一般健康診査 | | | | | | がん検診 | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-----|------|------|-----|-------|-------|-------|----|-----|-----|
| 肺機能 | 脂質 | 糖尿病 | 血清 | 眼圧 | 骨粗鬆症 | 胃 | | 超音波 | 便潜血 | 胸部 | 喀痰 | 乳 | 子宮 |
| | | | | | | X線 | 内視鏡 | | | | | | |
| 104 | 187 | 315 | 58 | 3 | 68 | 85 | 26 | 41 | 134 | 334 | 0 | 61 | 70 |
| 4 | 41 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 97 | 30 | 0 | 0 | 1 | 5 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 1 | 0 | 8 | 0 | 0 | 1 | 5 | 17 | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 |
| 0 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 6 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 115 | 95 | 187 | 66 | 14 | 45 | 92 | 24 | 37 | 176 | 208 | 0 | 94 | 91 |
| 4 | 31 | 3 | 10 | 0 | 0 | 0 | 2 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 82 | 31 | 0 | 0 | 0 | 6 | 11 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 1 | 12 | 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 3 | 1 |
| 127 | 114 | 197 | 84 | 23 | 50 | 96 | 38 | 31 | 205 | 250 | 3 | 117 | 125 |
| 8 | 28 | 0 | 10 | 0 | 0 | 2 | 0 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 91 | 66 | 0 | 0 | 3 | 10 | 12 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 | 4 | 27 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 11 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 4 | 5 | 0 | 0 | 5 | 1 |
| 152 | 67 | 179 | 81 | 17 | 47 | 89 | 30 | 39 | 211 | 262 | 0 | 115 | 111 |
| 8 | 25 | 2 | 19 | 0 | 0 | 0 | 1 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 130 | 99 | 0 | 0 | 4 | 24 | 20 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 1 | 33 | 51 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 38 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 29 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 9 | 9 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| 110 | 31 | 130 | 59 | 18 | 32 | 66 | 26 | 20 | 189 | 217 | 2 | 89 | 84 |
| 4 | 20 | 4 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 113 | 97 | 0 | 0 | 8 | 19 | 24 | 12 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 2 | 16 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 36 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 45 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 | 1 | 4 | 11 | 2 | 0 | 4 | 2 |
| 144 | 20 | 102 | 93 | 24 | 32 | 61 | 19 | 25 | 207 | 218 | 1 | 87 | 90 |
| 11 | 22 | 0 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 88 | 121 | 0 | 0 | 11 | 34 | 33 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 11 | 0 | 0 | 2 | 23 | 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 30 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 84 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 0 | 6 | 2 | 0 | 9 | 8 | 5 | 9 | 5 | 5 | 0 | 2 | 1 |
| 199 | 23 | 75 | 144 | 40 | 18 | 35 | 30 | 24 | 229 | 238 | 0 | 87 | 81 |
| 11 | 17 | 3 | 35 | 0 | 0 | 0 | 2 | 83 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 90 | 159 | 1 | 0 | 26 | 33 | 48 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 2 | 16 | 0 | 0 | 2 | 28 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 33 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 107 | 27 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 16 | 8 | 9 | 20 | 7 | 5 | 0 | 1 | 1 |
| 212 | 25 | 56 | 179 | 41 | 17 | 21 | 20 | 25 | 219 | 237 | 3 | 82 | 74 |
| 11 | 16 | 3 | 33 | 0 | 0 | 0 | 1 | 82 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 93 | 176 | 2 | 0 | 15 | 34 | 62 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 0 | 0 | 17 | 0 | 0 | 4 | 48 | 64 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 23 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 113 | 26 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 16 | 9 | 6 | 18 | 13 | 3 | 0 | 1 | 0 |
| 1,163 | 562 | 1,241 | 764 | 180 | 309 | 545 | 213 | 242 | 1,570 | 1,964 | 9 | 732 | 726 |
| 61 | 200 | 15 | 154 | 0 | 0 | 2 | 6 | 378 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 784 | 779 | 3 | 0 | 68 | 165 | 215 | 77 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 | 1 | 2 | 84 | 0 | 0 | 17 | 192 | 329 | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 |
| 0 | 209 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 399 | 89 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 2 | 22 | 3 | 1 | 41 | 47 | 22 | 73 | 62 | 15 | 0 | 21 | 9 |
| 1,258 | 2,157 | 2,157 | 1,009 | 181 | 423 | 776 | 653 | 1,136 | 1,632 | 1,989 | 9 | 775 | 735 |

表3 性・年齢・項目別 判定状況(合計)

| 年齢区分 | 判定区分 | 総合判定 | 一 般 健 康 診 査 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|---------|-------|-------|-------|--|--|
| | | | 聴打診 | 聴力 | 循環器* | 血压 | 心電図 | 眼底 | 肺機能 | 血液一般 | 肝機能 | HBs抗原陽性 | 腎尿路* | 腎 | 尿 | | |
| ～39 | 1 | 36 | 847 | 721 | 407 | 665 | 472 | 205 | 0 | 519 | 541 | 187 | 440 | 371 | 488 | | |
| | 2 | 123 | 0 | 0 | 243 | 41 | 264 | 0 | 0 | 232 | 80 | 0 | 184 | 2 | 200 | | |
| | 3 | 235 | 0 | 0 | 109 | 122 | 0 | 0 | 0 | 58 | 125 | 0 | 55 | 56 | 5 | | |
| | 4 | 221 | 0 | 12 | 44 | 0 | 48 | 0 | 0 | 28 | 52 | 0 | 125 | 12 | 117 | | |
| | 5 | 57 | 0 | 0 | 6 | 10 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 6 | 6 | 0 | | |
| | 6 | 23 | 1 | 0 | 13 | 13 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 | | |
| | 7 | 156 | 3 | 12 | 29 | 0 | 9 | 20 | 0 | 2 | 51 | 0 | 37 | 0 | 37 | | |
| 40～44 | 1 | 10 | 576 | 503 | 244 | 396 | 372 | 285 | 0 | 360 | 312 | 252 | 268 | 435 | 324 | | |
| | 2 | 41 | 0 | 0 | 124 | 40 | 136 | 3 | 0 | 137 | 61 | 0 | 113 | 3 | 136 | | |
| | 3 | 107 | 0 | 0 | 74 | 94 | 1 | 0 | 0 | 37 | 132 | 0 | 70 | 77 | 4 | | |
| | 4 | 149 | 0 | 23 | 39 | 0 | 46 | 1 | 0 | 19 | 45 | 0 | 82 | 15 | 73 | | |
| | 5 | 61 | 0 | 0 | 15 | 17 | 1 | 0 | 0 | 12 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | | |
| | 6 | 41 | 0 | 0 | 28 | 30 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 7 | 168 | 1 | 10 | 53 | 0 | 10 | 43 | 0 | 0 | 25 | 0 | 40 | 2 | 38 | | |
| 45～49 | 1 | 8 | 702 | 594 | 266 | 422 | 440 | 306 | 0 | 430 | 367 | 294 | 314 | 520 | 390 | | |
| | 2 | 28 | 0 | 0 | 110 | 23 | 161 | 5 | 0 | 169 | 97 | 0 | 130 | 0 | 176 | | |
| | 3 | 134 | 0 | 0 | 115 | 154 | 2 | 0 | 0 | 50 | 175 | 0 | 94 | 94 | 8 | | |
| | 4 | 155 | 0 | 25 | 51 | 0 | 73 | 5 | 0 | 12 | 32 | 1 | 111 | 33 | 85 | | |
| | 5 | 99 | 0 | 0 | 21 | 24 | 1 | 0 | 0 | 27 | 0 | 0 | 9 | 7 | 2 | | |
| | 6 | 69 | 0 | 0 | 61 | 79 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 11 | 0 | 12 | | |
| | 7 | 209 | 0 | 31 | 78 | 0 | 9 | 70 | 0 | 3 | 28 | 0 | 33 | 3 | 29 | | |
| 50～54 | 1 | 10 | 670 | 533 | 242 | 356 | 427 | 352 | 0 | 406 | 389 | 301 | 299 | 496 | 379 | | |
| | 2 | 22 | 0 | 0 | 72 | 26 | 112 | 6 | 0 | 175 | 66 | 0 | 127 | 5 | 158 | | |
| | 3 | 82 | 1 | 0 | 92 | 136 | 5 | 0 | 0 | 31 | 144 | 0 | 66 | 67 | 6 | | |
| | 4 | 128 | 1 | 45 | 55 | 0 | 95 | 6 | 0 | 24 | 40 | 2 | 122 | 55 | 76 | | |
| | 5 | 80 | 0 | 0 | 15 | 22 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | | |
| | 6 | 134 | 0 | 0 | 115 | 134 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 19 | 0 | 20 | | |
| | 7 | 218 | 2 | 35 | 83 | 0 | 10 | 75 | 0 | 2 | 31 | 0 | 39 | 4 | 35 | | |
| 55～59 | 1 | 4 | 610 | 447 | 153 | 276 | 362 | 270 | 0 | 376 | 331 | 227 | 283 | 420 | 372 | | |
| | 2 | 6 | 0 | 0 | 72 | 14 | 129 | 11 | 0 | 169 | 60 | 0 | 85 | 7 | 108 | | |
| | 3 | 67 | 0 | 1 | 81 | 122 | 1 | 0 | 0 | 24 | 155 | 0 | 55 | 62 | 3 | | |
| | 4 | 97 | 0 | 54 | 44 | 0 | 83 | 11 | 0 | 13 | 39 | 1 | 127 | 71 | 73 | | |
| | 5 | 57 | 0 | 0 | 23 | 25 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 6 | 147 | 0 | 0 | 148 | 173 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 28 | 2 | 30 | | |
| | 7 | 232 | 0 | 57 | 89 | 0 | 13 | 78 | 0 | 2 | 21 | 0 | 30 | 10 | 22 | | |
| 60～64 | 1 | 2 | 649 | 384 | 119 | 243 | 353 | 266 | 0 | 409 | 332 | 328 | 313 | 446 | 408 | | |
| | 2 | 4 | 0 | 0 | 65 | 11 | 167 | 14 | 0 | 168 | 93 | 0 | 86 | 13 | 103 | | |
| | 3 | 39 | 2 | 1 | 86 | 132 | 4 | 0 | 0 | 38 | 161 | 0 | 40 | 53 | 1 | | |
| | 4 | 69 | 0 | 78 | 43 | 0 | 94 | 25 | 0 | 15 | 44 | 2 | 137 | 86 | 80 | | |
| | 5 | 41 | 0 | 0 | 15 | 17 | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | | |
| | 6 | 176 | 1 | 0 | 190 | 250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 32 | 2 | 32 | | |
| | 7 | 322 | 1 | 89 | 135 | 0 | 17 | 121 | 0 | 6 | 18 | 1 | 44 | 18 | 28 | | |
| 65～69 | 1 | 1 | 748 | 291 | 94 | 214 | 384 | 347 | 0 | 495 | 419 | 464 | 328 | 507 | 442 | | |
| | 2 | 4 | 2 | 0 | 46 | 4 | 170 | 31 | 0 | 177 | 97 | 0 | 107 | 21 | 145 | | |
| | 3 | 31 | 1 | 1 | 94 | 148 | 11 | 0 | 0 | 41 | 159 | 0 | 32 | 35 | 4 | | |
| | 4 | 67 | 0 | 111 | 55 | 0 | 152 | 42 | 0 | 15 | 53 | 6 | 176 | 131 | 79 | | |
| | 5 | 30 | 0 | 0 | 17 | 20 | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 6 | 197 | 0 | 0 | 294 | 367 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 47 | 2 | 51 | | |
| | 7 | 425 | 4 | 171 | 155 | 2 | 22 | 138 | 0 | 5 | 23 | 0 | 65 | 34 | 34 | | |
| 70～ | 1 | 1 | 764 | 148 | 64 | 178 | 353 | 304 | 0 | 520 | 420 | 584 | 311 | 463 | 455 | | |
| | 2 | 0 | 0 | 0 | 50 | 2 | 190 | 51 | 0 | 148 | 150 | 0 | 109 | 25 | 158 | | |
| | 3 | 22 | 2 | 3 | 93 | 163 | 31 | 0 | 0 | 66 | 118 | 0 | 38 | 33 | 10 | | |
| | 4 | 51 | 1 | 90 | 63 | 0 | 161 | 72 | 0 | 12 | 66 | 2 | 197 | 172 | 77 | | |
| | 5 | 14 | 0 | 0 | 20 | 24 | 5 | 0 | 0 | 13 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | | |
| | 6 | 197 | 1 | 0 | 299 | 408 | 2 | 0 | 0 | 1 | 9 | 8 | 39 | 1 | 42 | | |
| | 7 | 490 | 7 | 187 | 186 | 0 | 24 | 165 | 0 | 3 | 12 | 0 | 79 | 54 | 32 | | |
| 計 | 1 | 72 | 5,566 | 3,621 | 1,589 | 2,750 | 3,163 | 2,335 | 0 | 3,515 | 3,111 | 2,637 | 2,556 | 3,658 | 3,258 | | |
| | 2 | 228 | 2 | 0 | 782 | 161 | 1,329 | 121 | 0 | 1,375 | 704 | 0 | 941 | 76 | 1,184 | | |
| | 3 | 717 | 6 | 6 | 744 | 1,071 | 55 | 0 | 0 | 345 | 1,169 | 0 | 450 | 477 | 41 | | |
| | 4 | 937 | 2 | 438 | 394 | 0 | 752 | 162 | 0 | 138 | 371 | 14 | 1,077 | 575 | 660 | | |
| | 5 | 439 | 0 | 0 | 132 | 159 | 10 | 0 | 0 | 88 | 0 | 0 | 24 | 22 | 4 | | |
| | 6 | 984 | 3 | 0 | 1,148 | 1,454 | 3 | 0 | 0 | 5 | 30 | 13 | 181 | 7 | 192 | | |
| | 7 | 2,220 | 18 | 592 | 808 | 2 | 114 | 710 | 0 | 23 | 209 | 1 | 367 | 125 | 255 | | |
| 合計 | | 5,597 | 5,597 | 4,657 | 5,597 | 5,597 | 5,426 | 3,328 | 0 | 5,489 | 5,594 | 2,665 | 5,596 | 4,940 | 5,594 | | |

* 循環器・腎尿路には各検査の最も重い判定を計上

注. 新型コロナウイルス感染症対策のため、肺機能検査を中止

| 一 般 健 康 診 査 | | | | | | が ん 検 査 | | | | | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|-----|------|---------|-------|-------|-------|-------|----|-----|-----|-----|
| 膝機能 | 脂質 | 糖尿病 | 血清 | 眼圧 | 骨粗鬆症 | 胃 | | 超音波 | 便潜血 | 胸部 | 喀痰 | 前立腺 | 乳 | 子宮 |
| | | | | | | X線 | 内視鏡 | | | | | | | |
| 234 | 398 | 750 | 124 | 24 | 72 | 213 | 52 | 72 | 334 | 831 | 5 | 12 | 61 | 70 |
| 13 | 55 | 0 | 15 | 0 | 0 | 0 | 1 | 41 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 317 | 86 | 1 | 0 | 1 | 18 | 13 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 1 | 0 | 28 | 0 | 0 | 2 | 10 | 60 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 |
| 0 | 64 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 13 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 5 | 3 | 9 | 14 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 319 | 176 | 422 | 187 | 51 | 53 | 261 | 66 | 79 | 477 | 547 | 7 | 29 | 94 | 91 |
| 15 | 50 | 3 | 41 | 0 | 0 | 0 | 3 | 65 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 243 | 130 | 1 | 0 | 1 | 38 | 36 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 27 | 0 | 0 | 3 | 28 | 109 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 71 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 35 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 2 | 5 | 0 | 1 | 0 | 12 | 4 | 9 | 26 | 4 | 0 | 0 | 3 | 1 |
| 344 | 199 | 475 | 233 | 60 | 57 | 283 | 81 | 62 | 576 | 663 | 11 | 46 | 117 | 125 |
| 20 | 48 | 0 | 36 | 0 | 0 | 4 | 0 | 96 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 311 | 200 | 0 | 0 | 3 | 34 | 65 | 65 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 32 | 0 | 0 | 8 | 46 | 122 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 91 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 49 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 4 | 5 | 1 | 0 | 0 | 21 | 5 | 9 | 22 | 1 | 0 | 1 | 5 | 1 |
| 355 | 144 | 372 | 210 | 50 | 51 | 225 | 66 | 68 | 545 | 640 | 5 | 88 | 115 | 111 |
| 19 | 51 | 2 | 48 | 0 | 0 | 0 | 1 | 129 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 276 | 251 | 0 | 0 | 4 | 67 | 71 | 46 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 20 | 0 | 0 | 3 | 62 | 151 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 108 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 93 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 2 | 7 | 0 | 0 | 0 | 15 | 6 | 17 | 23 | 1 | 0 | 1 | 3 | 2 |
| 279 | 103 | 303 | 159 | 48 | 38 | 173 | 60 | 44 | 498 | 570 | 9 | 82 | 89 | 84 |
| 23 | 39 | 4 | 42 | 0 | 0 | 0 | 1 | 92 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 263 | 230 | 0 | 0 | 8 | 64 | 64 | 53 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 0 | 0 | 19 | 0 | 0 | 4 | 50 | 110 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 88 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 116 | 54 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 10 | 1 | 1 | 0 | 23 | 8 | 13 | 27 | 5 | 0 | 2 | 4 | 2 |
| 364 | 101 | 271 | 230 | 56 | 39 | 160 | 42 | 46 | 552 | 603 | 10 | 131 | 87 | 90 |
| 24 | 43 | 0 | 47 | 0 | 0 | 1 | 0 | 112 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 242 | 303 | 1 | 0 | 12 | 92 | 94 | 58 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 0 | 24 | 0 | 0 | 6 | 67 | 137 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 67 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 200 | 55 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 19 | 2 | 1 | 9 | 21 | 13 | 26 | 26 | 8 | 0 | 14 | 2 | 1 |
| 481 | 118 | 241 | 338 | 93 | 27 | 128 | 54 | 47 | 626 | 688 | 18 | 193 | 87 | 81 |
| 24 | 37 | 3 | 84 | 0 | 0 | 1 | 2 | 194 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 276 | 361 | 1 | 0 | 28 | 121 | 127 | 74 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 14 | 0 | 2 | 46 | 0 | 0 | 4 | 73 | 152 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 72 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 251 | 115 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4 | 1 | 18 | 3 | 1 | 17 | 27 | 19 | 49 | 38 | 13 | 0 | 8 | 1 | 1 |
| 569 | 143 | 183 | 471 | 103 | 32 | 76 | 36 | 48 | 626 | 688 | 28 | 188 | 82 | 74 |
| 34 | 41 | 3 | 91 | 0 | 0 | 0 | 3 | 220 | 0 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 278 | 444 | 3 | 0 | 16 | 114 | 157 | 62 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 24 | 0 | 0 | 38 | 0 | 0 | 12 | 102 | 194 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 42 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 269 | 113 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 41 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1 | 2 | 19 | 2 | 1 | 17 | 32 | 22 | 45 | 50 | 17 | 0 | 20 | 1 | 0 |
| 2,945 | 1,382 | 3,017 | 1,952 | 485 | 369 | 1,519 | 457 | 466 | 4,234 | 5,230 | 93 | 769 | 732 | 726 |
| 172 | 364 | 15 | 404 | 0 | 0 | 6 | 11 | 949 | 0 | 73 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 2,206 | 2,005 | 7 | 0 | 73 | 548 | 627 | 441 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 69 | 1 | 2 | 234 | 0 | 0 | 42 | 438 | 1,035 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 |
| 0 | 603 | 62 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 1,026 | 407 | 2 | 0 | 5 | 0 | 0 | 106 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 11 | 12 | 86 | 10 | 6 | 43 | 156 | 80 | 177 | 226 | 50 | 0 | 46 | 21 | 9 |
| 3,197 | 5,594 | 5,594 | 2,609 | 491 | 490 | 2,271 | 1,642 | 3,174 | 4,460 | 5,353 | 93 | 815 | 775 | 735 |

表4 性・年齢別発見疾患

2022年度

| 性別 | 年齢区分 | 受診数 | 主な発見疾患 | | | | | | | | 肥満度 | | | 体脂肪 | | |
|----|-------|-------|--------------|-------------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|-------------|-----------------|-----------------|
| | | | がん | 高血圧 正常高値 血圧 | 心電図 異常 | 貧血 | 肝機能 異常 | 脂質 検査 異常 | 耐糖能 異常 | 高尿酸 血症 | やせ | ふつう | 肥満 | やせ | ふつう | 肥満 |
| 男性 | ～39 | 504 | 0 | 101 | 45 | 11 | 191 | 267 | 67 | 64 | 27 | 287 | 190 | 12 | 325 | 167 |
| | 40～44 | 353 | 0 | 110 | 37 | 7 | 171 | 253 | 118 | 85 | 11 | 192 | 150 | 2 | 214 | 137 |
| | 45～49 | 435 | 0 | 195 | 69 | 9 | 200 | 328 | 157 | 107 | 11 | 246 | 178 | 5 | 245 | 184 |
| | 50～54 | 385 | 0 | 200 | 75 | 7 | 161 | 282 | 192 | 74 | 5 | 213 | 167 | 1 | 218 | 165 |
| | 55～59 | 365 | 2 | 231 | 71 | 22 | 167 | 271 | 191 | 75 | 7 | 206 | 152 | 2 | 216 | 146 |
| | 60～64 | 409 | 6 | 288 | 85 | 24 | 170 | 307 | 240 | 72 | 5 | 229 | 175 | 0 | 233 | 173 |
| | 65～69 | 484 | 1 | 380 | 136 | 35 | 167 | 368 | 318 | 62 | 17 | 272 | 195 | 3 | 282 | 197 |
| | 70～ | 505 | 6 | 409 | 165 | 59 | 143 | 360 | 378 | 67 | 6 | 305 | 194 | 2 | 280 | 216 |
| | 計 | 3,440 | 15 (0.44) | 1,914 (55.6) | 683 (19.9) | 174 (5.1) | 1,370 (39.8) | 2,436 (70.8) | 1,661 (48.3) | 606 (17.6) | 89 (2.6) | 1,950 (56.7) | 1,401 (40.7) | 27 (0.8) | 2,013 (58.5) | 1,385 (40.3) |
| 女性 | ～39 | 347 | 0 | 19 | 13 | 60 | 23 | 115 | 32 | 1 | 63 | 228 | 56 | 0 | 181 | 166 |
| | 40～44 | 224 | 0 | 19 | 21 | 46 | 20 | 94 | 34 | 1 | 28 | 149 | 47 | 1 | 107 | 105 |
| | 45～49 | 267 | 0 | 47 | 16 | 69 | 27 | 124 | 70 | 2 | 25 | 177 | 65 | 2 | 85 | 166 |
| | 50～54 | 289 | 0 | 81 | 35 | 39 | 38 | 197 | 108 | 6 | 29 | 185 | 75 | 0 | 105 | 159 |
| | 55～59 | 245 | 2 | 86 | 26 | 8 | 40 | 194 | 111 | 7 | 27 | 156 | 62 | 1 | 86 | 137 |
| | 60～64 | 244 | 2 | 104 | 32 | 21 | 44 | 202 | 142 | 5 | 32 | 151 | 61 | 6 | 78 | 145 |
| | 65～69 | 271 | 1 | 153 | 50 | 19 | 51 | 231 | 193 | 6 | 19 | 174 | 78 | 0 | 74 | 184 |
| | 70～ | 270 | 4 | 186 | 58 | 24 | 36 | 229 | 211 | 7 | 17 | 164 | 89 | 1 | 56 | 203 |
| | 計 | 2,157 | 9 (0.42) | 695 (32.2) | 251 (11.6) | 286 (13.3) | 279 (12.9) | 1,386 (64.3) | 901 (41.8) | 35 (1.6) | 240 (11.1) | 1,384 (64.2) | 533 (24.7) | 11 (0.5) | 772 (35.8) | 1,265 (58.6) |
| 合計 | ～39 | 851 | 0 | 120 | 58 | 71 | 214 | 382 | 99 | 65 | 90 | 515 | 246 | 12 | 506 | 333 |
| | 40～44 | 577 | 0 | 129 | 58 | 53 | 191 | 347 | 152 | 86 | 39 | 341 | 197 | 3 | 321 | 242 |
| | 45～49 | 702 | 0 | 242 | 85 | 78 | 227 | 452 | 227 | 109 | 36 | 423 | 243 | 7 | 330 | 350 |
| | 50～54 | 674 | 0 | 281 | 110 | 46 | 199 | 479 | 300 | 80 | 34 | 398 | 242 | 1 | 323 | 324 |
| | 55～59 | 610 | 4 | 317 | 97 | 30 | 207 | 465 | 302 | 82 | 34 | 362 | 214 | 3 | 302 | 283 |
| | 60～64 | 653 | 8 | 392 | 117 | 45 | 214 | 509 | 382 | 77 | 37 | 380 | 236 | 6 | 311 | 318 |
| | 65～69 | 755 | 2 | 533 | 186 | 54 | 218 | 599 | 511 | 68 | 36 | 446 | 273 | 3 | 356 | 381 |
| | 70～ | 775 | 10 | 595 | 223 | 83 | 179 | 589 | 589 | 74 | 23 | 469 | 283 | 3 | 336 | 419 |
| | 計 | 5,597 | 24 (0.43) | 2,609 (46.6) | 934 (16.7) | 460 (8.2) | 1,649 (29.5) | 3,822 (68.3) | 2,562 (45.8) | 641 (11.5) | 329 (5.9) | 3,334 (59.6) | 1,934 (34.6) | 38 (0.7) | 2,785 (49.8) | 2,650 (47.3) |

図1 主な発見疾患

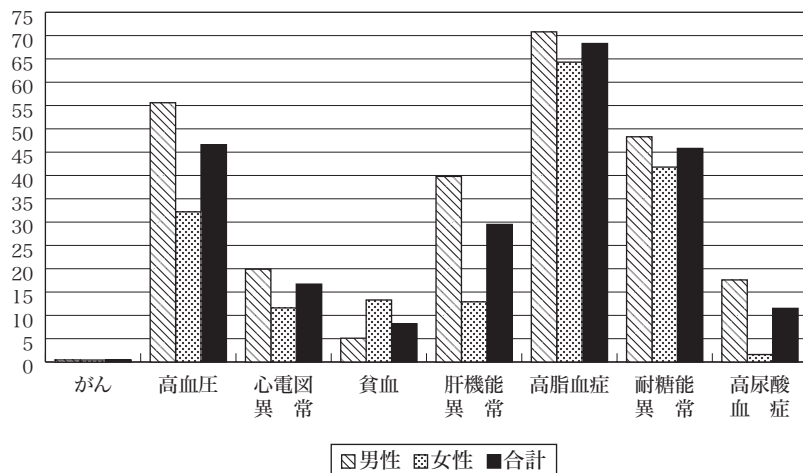


図2 肥満度・体脂肪

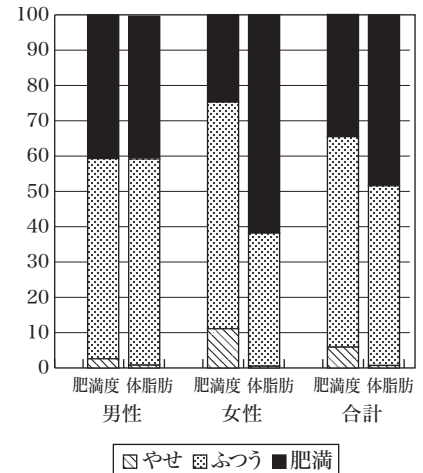


表5 精密検査実施状況及び検査項目別発見がん

2022年度

| | 性別 | 受診数 | 精 密 検 査 | | | | 発見がん | |
|--------------------------|-----|-------|---------|-----|-----|-------|-------|---|
| | | | 該当数 | 該当率 | 受診数 | 受診率 | | |
| 上部消化管 検 査 | X線 | 男 | 1,495 | 109 | 7.3 | 101 | 92.7 | 0 |
| | | 女 | 776 | 47 | 6.1 | 47 | 100.0 | 0 |
| | | 計 | 2,271 | 156 | 6.9 | 148 | 94.9 | 0 |
| | 内視鏡 | 男 | 989 | 58 | 5.9 | 58 | 100.0 | 4 |
| | | 女 | 653 | 22 | 3.4 | 22 | 100.0 | 3 |
| | | 計 | 1,642 | 80 | 4.9 | 80 | 100.0 | 7 |
| 便 潜 検 査 | 男 | 2,828 | 164 | 5.8 | 140 | 85.4 | 3 | |
| | 女 | 1,632 | 62 | 3.8 | 53 | 85.5 | 2 | |
| | 計 | 4,460 | 226 | 5.1 | 193 | 85.4 | 5 | |
| 腹 部 超 音 波 検 査 | 男 | 2,038 | 104 | 5.1 | 96 | 92.3 | 1 | |
| | 女 | 1,136 | 73 | 6.4 | 70 | 95.9 | 3 | |
| | 計 | 3,174 | 177 | 5.6 | 166 | 93.8 | 4 | |
| 胸 部 X 線 検 査 (喀痰含む) | 男 | 3,448 | 35 | 1.0 | 33 | 94.3 | 1 | |
| | 女 | 1,998 | 15 | 0.8 | 14 | 93.3 | 1 | |
| | 計 | 5,446 | 50 | 0.9 | 47 | 94.0 | 2 | |
| 乳 がん 検 診 | 男 | — | — | — | — | — | — | |
| | 女 | 775 | 21 | 2.7 | 19 | 90.5 | 0 | |
| | 計 | 775 | 21 | 2.7 | 19 | 90.5 | 0 | |
| 子 宮 がん 検 診 | 男 | — | — | — | — | — | — | |
| | 女 | 735 | 9 | 1.2 | 9 | 100.0 | 0 | |
| | 計 | 735 | 9 | 1.2 | 9 | 100.0 | 0 | |
| 前 立 腺 がん 検 診 | 男 | 815 | 46 | 5.6 | 43 | 93.5 | 6 | |
| | 女 | — | — | — | — | — | — | |
| | 計 | 815 | 46 | 5.6 | 43 | 93.5 | 6 | |

注. 乳がん検診の精密検査については、施設紹介分を計上

表6 発見がん内訳

2022年度

| | 男 | 女 | 計 |
|---------|----|---|----|
| 食 道 | 0 | 0 | 0 |
| 胃 | 3 | 3 | 6 |
| 十 二 指 腸 | 0 | 0 | 0 |
| 大 腸 | 3 | 2 | 5 |
| 肝 臓 | 0 | 2 | 2 |
| 胆のう・胆管 | 0 | 1 | 1 |
| 腎 臓 | 1 | 0 | 1 |
| 膵 臓 | 0 | 0 | 0 |
| 肺 | 1 | 1 | 2 |
| 乳 | — | 0 | 0 |
| 子 宮 | — | 0 | 0 |
| 前 立 腺 | 6 | — | 6 |
| そ の 他 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 15 | 9 | 24 |

表7 ピロリ菌・ペプシノゲン検査受診状況

2022年度

| ABC分類 | 男 | 女 | 計 | 平均年齢 |
|-------|----|----|-----|----------|
| A 群 | 56 | 39 | 95 | 45.6±1.2 |
| A2 群 | 7 | 2 | 9 | 65.8±3.4 |
| B 群 | 13 | 2 | 15 | 56.8±3.9 |
| C 群 | 3 | 3 | 6 | 52.1±4.7 |
| D 群 | 0 | 1 | 1 | 71.0±0.0 |
| E 群 | 12 | 7 | 19 | 61.0±2.9 |
| 計 | 91 | 54 | 145 | 50.5±1.1 |

ヘリコバクター・ピロリ菌抗体陽性 $\geq 10U/ml$
ペプシノゲン陽性:PGI $\leq 70ng/ml$ かつ I/II ≤ 3.0

表8 CT検査受診状況

2022年度

| | 男 | 女 | 計 |
|---------|-----|----|-----|
| 内 臓 脂 肪 | 143 | 79 | 222 |
| 肺 C T | 252 | 81 | 333 |

細胞診検体数の内訳

集検による細胞診検体数

2022年度

| | 婦 人 科 | | | 呼 吸 器 | | | 乳 腺 | 合 計 |
|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------------|--------------------|--------------------|----------|----------------------|
| | 車 検 診 | 日 母 施設検診 | 計 | が 生活習慣病 健 | 集 検 | 計 | 集 検 | |
| 細胞診 検 体 (枚数) | 頸部 | 頸部 | 頸部 | 95 (190) | 住民 | 11,718 (23,436) | 分泌 | 118,429 (130,401) |
| | 29,985 (29,986) | 74,892 (75,076) | 104,877 (105,062) | | 11,475 (22,950) | | 0 (0) | |
| | 体部 | 体部 | 体部 | | 事業所 | | 穿刺 | |
| | 8 (8) | 1,822 (1,887) | 1,830 (1,895) | | 148 (296) | | 4 (8) | |

集検以外の委託細胞診検体数

2022年度

| | 婦人科 | 呼吸器 | 乳腺 | 甲状腺 | 尿 | 体腔液 | 消化器 | その他 | 合計 |
|--------------------|--------------------|----------------|--------------|------------------|------------------|----------------|--------------|----------------|--------------------|
| 細胞診 検 体 (枚数) | 頸部 | 809 (3,188) | 217 (553) | 1,078 (4,479) | 1,125 (2,542) | 483 (2,143) | 214 (747) | 353 (1,779) | 28,907 (40,207) |
| | 20,972 (21,105) | | | | | | | | |
| | 体部 | | | | | | | | |
| | 3,656 (3,671) | | | | | | | | |

病 理 組 織 検 体 数 の 内 訳

1. 集検による病理組織検体数

2022年度

| | 胃・食道・十二指腸 | 大腸 | 婦人科 |
|-----------|-----------|-----|-----|
| 生検の検体数 *1 | 1,141 | 39 | 515 |
| 切除の検体数 *2 | 4 | 105 | |

*1. がん検診センターにて生検施行、標本作製したもの

*2. 内視鏡的切除を含む

2. 受託による病理組織検体数

2022年度

| | 消化器 | 婦人科 | その他 |
|-----|-------|-------|-----|
| 検体数 | 3,389 | 1,200 | 1 |

トピックス

第 62 回 日本消化器がん検診学会総会を終えて

私は、第 62 回日本消化器がん検診学会総会会長を拝命し、2023 年 6 月 30 日（金）～7 月 2 日（日）仙台国際センター展示棟において、「集団のパラダイムシフトー効率的で効果的な消化器がん対策を目指してー」をテーマとして同会を開催しました。

第 62 回総会は、現地開催とライブ配信、7 月 14 日～9 月 30 日までのオンデマンド配信によるハイブリッド形式で開催いたしました。日本消化器がん検診学会の全国学術集会は春の総会と秋の大会があり、仙台での開催は、昭和 39 年に第 3 回総会を当時東北大学第 3 内科教授であった故山形徹一先生、次いで昭和 63 年に当時東北大学公衆衛生学教授であった久道 茂先生が第 27 回総会、平成 25 年に宮城県対がん協会がん検診センター所長であった渋谷大助先生に続いて 4 回目、平成 7 年に仙台市医療センター仙台オープン病院の故望月福治先生が第 33 回大会を開催されておりますので、秋の大会を含めると 5 回目となります。

COVID-19 は 2023 年 5 月 8 日から感染症法上の位置づけが 5 類感染症に引き下げられ、マスク着用なしでも社会経済活動ができるようになりましたが、総会開催はちょうど第 9 波の入口とも言うべき時期で、現地にどのくらいの方々参集していただけるのか、感染対策は大丈夫か、やきもきしながらの開催となりました。幸い、多くの方々に現地参加いただき、オンライン参加も含めると総会としては過去最高の参加人数となりました。

宮城は、東北大学名誉教授の黒川利雄先生らが黒川・西山式車載レントゲン装置を開発し、昭和 35 年に世界で初めて検診バスによる胃がん集団検診を行ったことから「がん集団検診発祥の地」とされ、その記念碑が宮城県対がん協会の敷地に建てられております。今では、巡回バスによる集団検診は全国各地で行われておりますが、そのルーツは当協会にあるといっても過言ではありません。

しかし、その一方で、がん検診の黎明期と最近とでは疾病構造やリスク要因が異なってきており、医療機器も進歩し、がん検診を取り巻く社会経済環境も大きく変化してきています。このため、従来のがん検診ように、単に大勢の人を集めて検査をすれば良いという検診スタイルには限界が見えてきており、がんの罹患・死亡リスクや検診の利益・不利益を考慮して、科学的根拠に基づいて必要な方に必要な検診を適切に受けただけの新たな検診体制の構築が求められるようになってきました。こうした背景を踏まえ、集団検診の発祥の地である宮城において、新たながん検診のあり方を議論する端緒になれることを願い、第 62 回総会のテーマを「集団のパラダイムシフトー効率的で効果的な消化器がん対策を目指してー」とさせていただきます。

2024 年度は第 4 期がん対策推進基本計画が始まる年にあたります。第 4 期では誰一人取り残さないがん対策の推進を全体目標に、がん予防分野では受診率の目標値が 50%から 60%に引き上げられ、また、今後のがん検診の目指すべき姿として組織型検診が謳われるようになりました。そこで、第 62 回総会では、東北大学名誉教授で厚労省がん検診あり方検討会座長の大内憲明先生に「がん対策推進基本計画とがん検診のあり方について」、さらに、東海大学医学部公衆衛生学の立道昌幸先生に「職種におけるがん検診の精度管理と事業評価の考え方について」と題したご講演をお願いし、時宜を得たお

話を伺うことができました。

胃がん検診については、総会テーマに沿って「血液・胃 X 線・内視鏡による胃がんのリスク評価の課題と展望」と題したパネルを企画しました。胃癌は *Helicobacter pylori* (*H.pylori*) 感染が確実なリスク因子であることが広く知られ、さらに、除菌治療による胃癌罹患リスクの抑制効果についても報告されています。わが国では平成 25 年から *H.pylori* 感染胃炎の除菌治療が保険適用となっており、最近では胃がん検診の対象集団においても、*H.pylori* 未感染者や除菌者といったリスクの低い対象者の占める割合が高くなってきています。このため、従来のように年齢のみをリスク因子と捉え、一定年齢以上の住民を対象に一律に検査を行う検診スタイルでは、検診効果の目減りや低リスク者の不利益の増大などが問題とされるようになってきていました。胃がん検診においては、対象集団のリスク構成の変化に伴う集団のパラダイムシフトが現実のものとなってきております。

リスクの層別化については、2020 年 3 月の「がん検診のあり方に関する検討会」における議論の中間整理において、対象者のリスクに応じたがん検診を実施することによって、層別化された集団毎に利益・不利益のバランスのとれた検診を提供することができる可能性があると考えられています。現在、胃がん検診プログラムにリスク層別化を組み込むことを目指し、当協会の研究局長である山形大学名誉教授の深尾 彰先生を研究代表者として日本医療研究開発機構 (AMED)・革新的がん医療実用化研究事業「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究 (J-SASG)」が進められています。この大規模コホート研究は、*H.pylori* 感染情報と胃 X 線や内視鏡画像による胃粘膜萎縮評価によるリスク評価に基づいて、検診間隔の延長可能な低リスク集団を設定して低リスク者の検診負荷や不利益の低減を図るとともに、高リスク者を重点的な受診対象とすることで効率的・効果的な検診提供体制を構築することを目的としています。特に、2016 年から対策型検診への導入が承認された胃内視鏡検診では、検査に係るマンパワーやコストがその普及の足枷となっており、限られた医療資源を有効に活用するためにも個別リスクに応じた検診提供体制の構築に向けた研究には大きな期待が寄せられています。

こうした研究が進む一方で、受診者が個別リスクに応じて自身の適切な検診受診のあり方を理解・受容して選択してもらうためには、受診者のヘルスリテラシーの向上や SDM (Shared Decision Making) の仕組みの整備についても議論が必要となると考えます。そこで、第 62 回総会では、京都大学健康情報学分野の中山健夫先生には「がん検診分野におけるヘルスリテラシーと SDM について」、キャンサースキャンの福吉潤先生には「ナッジ理論によるがん検診の受診率向上策」と題したご講演をお願いしました。今後、がん検診分野でも重要性を増してくる領域と考えます。

大腸がん検診については、有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドラインの改訂時期にもあたり、その中心となっている帝京大学医療技術学部看護学科の濱島ちさと先生から「大腸がん検診のエビデンス：新たな評価方法による有効性の検証」と題してご講演をいただきました。大腸がん検診ガイドライン改訂版 (総会時点でドラフト版) では、大腸内視鏡検診の死亡率減少効果は現時点で証拠不十分とされ、全大腸内視鏡検査 (TCF) の対策型検診への導入は推奨されないようですが、総会では「大腸内視鏡検診導入の動向と実現可能な検診アルゴリズムを考える」をテーマにパネルディスカッションを企画しました。大腸内視鏡検診については、死亡率減少効果の検証はもちろんですが、TCF の

キャパシティー、10年に一度とも言われる検診間隔や対象年齢の設定、現行の便潜血検査との関係、さらにはポリペクの併用やその後のサーベイランスとの兼ね合いなど検討すべき課題も数多く残されています。

超音波検診のワークショップでは「超音波がん検診の問題点－高危険度群をどう扱うべきか－」をテーマに膵がんの早期診断を中心に議論しました。膵臓癌は死亡率も年々上昇しており、最近では日本人の癌死亡原因のトップ5に入る癌腫となっています。膵臓癌は今後のわが国のがん対策において重要な位置を占めることは間違いありません。しかしながら、膵臓癌については、その自然史も不明な点が多く、検診に落とし込める有効な診断スキームも確立されていません。当協会でも、生活習慣病健診（人間ドック）と連携した肝胆膵領域におけるがん検診の体系化や新たなスクリーニング方法の確立を事業目標に掲げ、正宗 淳教授のご指導のもと東北大学消化器内科との連携を図っています。将来的に、例えば膵がんドックや膵がんハイリスク検診などを導入するとしても、リスク要因によるトリアージやハイリスク集団の設定、管理検診のアルゴリズムなど検討すべき課題は数多く残されていると考えます。ワークショップでは現行の取り組みや課題について熱心な議論が交わされました。

総会に付随して、7月3日から13日までYouTubeで市民公開講座を配信しました。胃がん検診については当協会の浅沼清孝先生、大腸がん検診については東北大学消化器内科の志賀永嗣先生、膵癌については滝川哲也先生にお話ししていただき、数多くの市民の方にアクセスいただき、大変好評でした。

第62回総会の全てのプログラムがトラブル無く、盛会に終了できたのも、関係各位のお力添えがあったることと心より感謝しております。

公益財団法人宮城県対がん協会
がん検診センター所長 加藤 勝章

日本初 がん検診センターの歴史

初代がん検診センター（以下センター）は、当協会創立 10 周年にあたる昭和 43 年（1968 年）に、日本で初めてとなる民間のがん検診センターとして建てられました。建設にあたっては「がん集団検診の出張基地」「精密検査施設」「市内の施設検診の場」「がんに関する情報センター」「がん専門技術者の研修の場」といった目的が掲げられました。当協会 30 周年記念誌によれば、「このセンターは、全国的に初めてのもので厚生省（現厚生労働省）は早速研究班を組織して、実際に見学し、その必要性を評価し、その後全国の検診センターの建設の指導基準とした。」とあります。また、建設に際し、当時の伊澤平勝副会長が個人所有の土地を廉価でお譲りくださり、施工を担当した石井組様も前例の無い建築物に試行錯誤し、「資金的にも、非常に無理な注文にこたえてくださった」と記録されています。建設の原資となった宮城県内外からの多額のご寄付など、この日本初の施設へ大きな期待が寄せられたことがうかがわれます。

2 代目の現センターは、がん検診の普及や検診の多様化による受診者増に対応するため、昭和 56 年（1981 年）に初代センターの南東に位置する現在の地に移りました。当初は胃がん検診部門と子宮がん検診部門を分離して、細胞診センターを単独で建設する案も議論されましたが、理事会では「将来の検診センターとして総合的に考えるべきである」との意見がまとめられ、伊澤平勝、阿部哲男両副会長が建設用地の確保に奔走されました。幸いにも斎川慶一郎理事が建設用地を譲渡くださり建設が実現しました。平成元年（1989 年）には 3 階部分増築、平成 12 年（2000 年）事務局移設等を経て、現在に至ります。

そして 3 代目となる新センターもまた、隣接の五十嵐産婦人科様が土地を譲渡くださることで建設が可能となりました。新しいモダリティやバリアフリー化への対応など時代の要請に応えるべく、これまでの目的や使命を踏まえた上で、「人間ドック」「消化器内視鏡検診」「女性のための検診」を建設の柱に、ケーアンドイー様、熊谷組様、昭和設計様の設計施工、山下 PMC 様のコンサルタントのもとに次世代型のがん検診センターとして、皆様の期待に応えられるような施設を目指しております。



日本初のがん検診センター。
現在は専用駐車場となり、「がん集団検診発祥の地の碑」が建っています。



2 代目の現がん検診センター。
昭和 58 年（1983）年には、常陸宮殿下がご視察されました。



3 代目の新がん検診センター。
令和 6 年（2024）年 4 月開所予定。

法人総務課 伊藤 尚人

研究発表

胃内視鏡検診の基本的な考え方と対策型ならびに 職域がん検診としての精度管理の課題について

公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター

加 藤 勝 章
(所 長)

要 旨

胃内視鏡検診は2016年度から新たに対策型胃がん検診としての実施が承認された。しかしながら、対策型胃内視鏡検診の場合、検診と同時に実施する鉗子生検が精密検査として扱われ、記録画像のダブルチェックが必須となっている点などで、検診に参加する臨床医の戸惑いも大きく、他の検診に比べて検診のアルゴリズムが複雑な点が精度管理上の大きな問題となっている。現役世代のがん検診として中心的役割を果たす職域がん検診については、検診プログラムの標準化や検査精度の均霈化、精度管理基盤の整備などが進んでいないのが現状である。胃内視鏡検診についても、今後は統一したデータ管理ができるように精度管理基盤を整備し、地域と職域を合わせた組織型の胃がん検診の実現を目指していくべきと考える。診療と検診の違いを横断的に理解したスクリーニング認定医が胃内視鏡検診全般の精度向上や精度管理に中心的役割を果たすことが期待される。

Key words 胃内視鏡検診／胃がん検診／対策型検診／任意型検診／職域検診／精度管理／ダブルチェック／スクリーニング認定医

I はじめに

胃癌は年齢調整罹患率・死亡率とも減少傾向にあるとはいえ、未だ疾病負荷が高い疾患であり、2次予防対策としてのがん検診が必要とされる痛腫である。

現在、科学的根拠に基づいて国が推奨する胃がん検診は胃X線検診と胃内視鏡検診の2つである（Table 1）。胃内視鏡検診は、「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年度改訂版」¹⁾（以下、胃がん検診ガイドライン2014年度改訂版）において胃がん死亡率減少効果が証明され、対策型および任意型検診としての実施が推奨された。これを受けて、2016年2月に「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」²⁾（以下、厚労省指針）が改訂され、対策型胃がん検診としての上部消化管内視鏡検査の実施が承認された。

これ以降、胃内視鏡検診を導入する自治体が年々増加しており、受診者数の動向をみても胃X線検診から胃内

視鏡検診への置き換わりが進んできていることが示されている（Figure 1）³⁾。しかしながら、対策型胃内視鏡検診の普及については、検査医の確保や医療資源の偏在、読影体制の構築、自治体の財源などが課題となっており、他方、胃内視鏡検診を導入できた地域であっても、対策型検診としての精度管理に多くの問題を抱えているのが現状である。

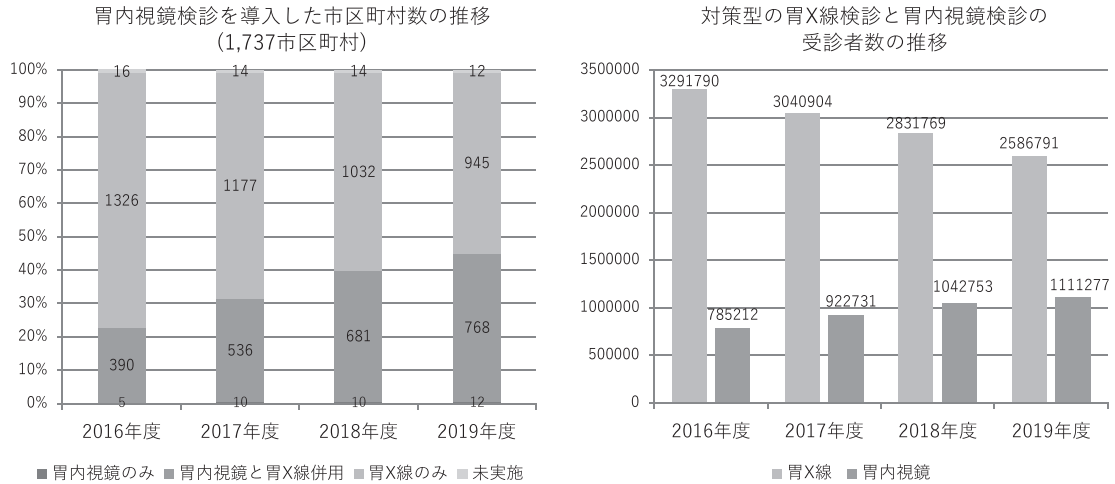
元々、上部消化管内視鏡検査は日常診療や人間ドックなどの健診の場において広く実施されており、検査医の資格要件、内視鏡機器および洗浄・消毒、また、実施手順などについては医療機関や検診機関または検査医の判断に任されていた。今般、新たに国の施策として胃内視鏡検診を導入するにあたっては、検査体制の仕様基準や標準的な実施手順、結果判定基準、精度管理体制などについて標準化を図る必要があり、2015年度厚労省科学特別研究事業「対策型検診としての内視鏡検診等の実施にかかる体制整備のための研究」（研究代表者：深尾彰）で検討が行われ、実施要綱を定めたマニュアルが策定された。これは2017年に日本消化器がん検診学会より「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル2017年度版」⁴⁾（以下、対策型胃内視鏡検診マニュアル）として市販版が発刊されている。厚労省指針²⁾では、新たに対策型として胃内視鏡検診を導入する地域は対策型胃内視鏡検診マニュアル⁴⁾に準じた実施体制や精度管理体制を構築するよう求めている。

一方、胃内視鏡検診は、職域のがん検診や人間ドックの任意型検診としても数多く実施されている。令和元年国民生活基礎調査⁵⁾によれば、胃がん検診の受診機会は、65歳以上の高齢者では自治体の実施する対策型の地域住民検診の比率が高いが、65歳未満の現役世代にあたる壮年層の多くが職場のがん検診を受診しているという構造的特徴がある（Figure 2）。

健康増進法に基づいて対策型検診として実施されている市区町村の地域がん検診と異なり、職域がん検診は実施に係る法的根拠がなく、事業主や保険者が労働者の福利厚生として任意に実施されてきたという経緯がある。このため、職域のがん検診では検査項目や方法の標準化やデータ管理の統一化が図られておらず、精度管理体制

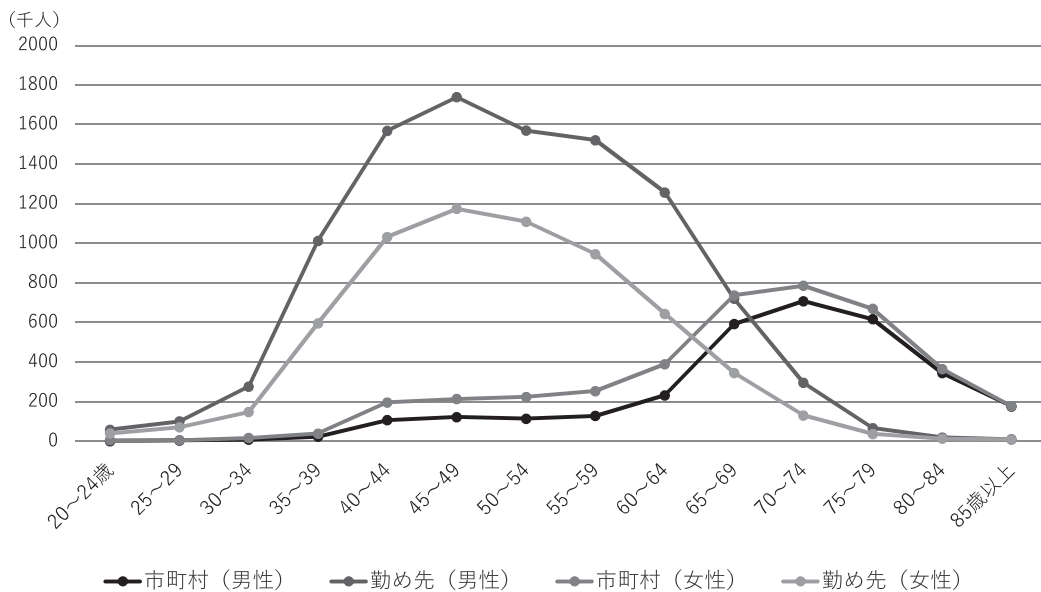
Table 1 科学的根拠に基づいて国が推奨する胃がん検診

| 検診項目 | 対象年齢 | 検診間隔 |
|--------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 胃X線検査 胃内視鏡検査（2016年度～） | 50歳以上（当分の間40歳以上も可） 50歳以上 | 2年に1回（当分の間1回実施も可） 2年に1回 |



出典：地域保健・健康増進事業報告

Figure 1 胃内視鏡検査を実施している自治体割合（％）と胃がん（胃内視鏡検査）検診受診者数の推移
2016年度から2019年度の厚生労働省「市区町村におけるがん検診の実施状況調査」の3.各がん種の実施状況 ③検診項目ならびに厚生労働省「令和元年度地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）」をもとに著者作成。



厚生労働省：令和元年国民生活基礎調査より著者作成

Figure 2 年齢階級別にみた胃がん検診の受診機会

厚生労働省、令和元年国民生活基礎調査 世帯人員（20歳以上）、がん検診受診状況（複数回答）・受診機会（複数回答）・性・年齢（5歳階級）・教育別より著者作成。

の整備も手つかずのままであり、本邦における胃がん対策の大きな課題となっている。

胃内視鏡検査は対策型および任意型の胃がん検診として広く普及してきており、本邦の胃がん対策において

極めて重要な役割を果たしていることは間違いない。本稿では対策型を基盤とする胃内視鏡検査の基本的な考え方、精検判定のアルゴリズムと精度管理上の課題、また、職域がん検診の問題などについて概説する。

II がん検診の基本的考え方

がん検診の目的は、対象集団の当該がんによる死亡率減少もしくは個人レベルでの当該がんの死亡・罹患リスクを低減させることにある。がん検診には対策型と任意型の2つの実施形態があり、健康増進法を根拠に公的資金を投じて市区町村が提供するがん検診は対策型、人間ドックなどで提供されるがん検診は任意型に該当する（Table 2）⁶⁾。

スクリーニングには「ふるいに掛ける・選別する」という意味がある。がん検診とは、無症状の健康な集団をスクリーニングにかけて「がん疑いがある者」と「がん疑いがない者」を選別し（スクリーニング）、前者を対象に精密検査を行い、“がん”が発見されれば適切な治療に誘導し、また、後者を次回の検診に導くまでの一連のプログラムである⁷⁾。

検診はやればやっただけ効果があがるというものではないし、検診はやれば必ず不利益が生じ、やればやっただけ増大する⁸⁾。検診の導入にあたっては、利益・不利益のバランスが重要視され、検診受診によって得られる利益を最大化し、不利益を最小化する検診方法や強度が選択される⁸⁾。

がん検診の対象は元々が健常者であるため有病率が低く、受診者のほとんどは「がんがない」者である。従っ

て、検査に伴う偶発症や過剰診断、見逃しなどによる偽陰性、また、偽陽性による不要な精密検査の実施や精神的不安などといった不利益を可能な限り低く抑えることが重要になる。対策型であれ、任意型であれ、科学的根拠がない検診は、検診による不利益が利益を上回る可能性があるため、提供しないことが肝要である。

がん検診には、健常者が検診を受けることに利益があるという科学的根拠と同時に、検診によって生じる不利益を最小化する精度管理が必須である。がん検診が成果をあげるためには、精度の高い検診を提供するための技術・実施体制の整備、さらに、検診プログラムが適正に運用されているか否かモニタリングして評価する精度管理体制の構築が重要となる。対策型がん検診のアウトカムは死亡率減少で評価されるが、その評価が得られるには長期間を要するため、短期的にはチェックリストやプロセス指標に基づいて事業評価を行うことが求められている（Table 3）⁹⁾。

III 胃内視鏡検診の有効性評価

がん検診の有効性は死亡率減少効果によって評価される。がん発見率や生存率、早期がん率などは有効性評価の指標とならない。がん検診の有効性評価方法として最も信頼度が高いのは無作為化比較対照試験（Randomized

Table 2 がん検診の実施形態

| | 対策型検診 | 任意型検診 |
|--------|------------------------------------|-------------------|
| 目的 | 対象集団全体の死亡率を下げる | 個人の疾病リスクを下げる |
| 利益と不利益 | 対象集団にとっての利益を最大化し、不利益を最小化することが重視される | 個人レベルで利益・不利益を判断する |
| 検診費用 | 公的資金を使用 | 基本的に全額自己負担 |
| 検診方法 | 死亡率減少効果が科学的に証明されている方法を選択する | 個人あるいは検診機関が自由に選択 |
| 検診精度 | 特異度を重視し不利益を最小化する | 感度の高い検査が優先されがち |
| 具体例 | 健康増進事業による市町村の住民検診 | 検診機関で行う人間ドック |

Table 3 精度管理のための評価指標と具体例

| 指標 | 具体例 |
|----------|---|
| 技術・体制的指標 | がん検診チェックリスト：県・市町村・検診機関（個別の医療機関） ・検診実施機関の体制確保（設備、医師・看護師・放射線技師など） ・実施手順の確立（標準的撮影法、二重読影など）：仕様書 |
| プロセス指標 | 受診率、要精検率、精検受診率、陽性反応適中度、がん発見率、感度、特異度、がん有病割合など ⇒検診の各プロセスをモニタリングする数的指標（目標値・許容値の設定） |
| アウトカム指標 | がん死亡率 |

市町村事業におけるがん検診の事業評価の手法について（胃がん・子宮がん・乳がん・大腸がん検診）がん検診に関する検討会中間報告 平成19年6月がん検診に関する検討会

Controlled Trial : RCT) である⁷⁾。次善の方法としてコホート研究 (対照群あり) や症例対照研究が用いられることがあるが、セルフ・セレクション・バイアスが紛れ込む恐れがあるため、複数の研究で同様の結果が示されることが必要となる⁷⁾。

1) 胃内視鏡検診の死亡率減少効果

胃内視鏡検診の有効性については、2005年度に公表された祖父江班による有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン¹⁰⁾では証拠不十分とされたが、胃がん検診ガイドライン2014年度改訂版¹⁾では胃内視鏡検診には3年以内の内視鏡受診で概ね30～60%の死亡率減少効果があると判断され、対策型・任意型検診への導入が推奨された。

その後、Zhangら¹¹⁾は、2018年までの6つのコホート研究^{12)～17)}と4つの症例対照研究^{18)～21)}を用いてメタアナリシスを行い、胃内視鏡検診には40% (相対リスク (RR)=0.60, 95% CI: 0.49-0.73) の胃癌死亡率減少効果が認められたと報告している。最近の中国のコホート研究では、胃内視鏡検査受診による上部消化管癌の死亡率の減少効果は23% (RR=0.77, 95% CI: 0.74-0.81), 罹患率の減少効果は57% (RR=0.43, 95% CI: 0.40-0.47) であったと報告されている²²⁾。

2) 胃内視鏡検診の検査精度

胃内視鏡検診のスクリーニング精度は、Hamashimaら²³⁾による米子市のデータでは1年1回の検診実施の場合、初回検診の感度は95.5%, 特異度は85.1%, 継続受診ではそれぞれ97.7%, 88.8%と報告されており、同様に逐年検診を行っていた新潟市でも胃内視鏡検診の感度は96.8%と報告されている²⁴⁾。胃X線検診の感度が概ね70-80%, 特異度は90%である¹⁾のに比べて胃内視鏡検診の検査精度は高いとされている。

検診発見がんをベースに (検診発見がん数)/(検診発見がん数+中間期がん数) として感度を測定すると、検診に罹患超過や過剰診断がある場合、感度が過大評価されてしまう可能性がある。検診発見数を考慮に入れず、過剰診断やレンジス・バイアスの影響を受けにくい感度測定方法として、対象集団の胃癌罹患率から推計された期待発見数をもとに (期待発見数-中間期がん)/(期待発見数) として算出する incidence method が知られている²⁵⁾。Hamashimaら²³⁾は、incidence method を用いた場合、先の米子市の胃内視鏡検診の初回検診の感度は88.6%, 継続受診では95.4%となり、発見がん数を用いて算出した感度よりも低い値となると報告している。

従来の胃内視鏡検診の感度・特異度の報告は逐年検診

として実施されていた地域からの報告であり、検診後1年以内の発見癌を中間期がんとして算出されていることは留意すべきである。厚労省指針²⁾に基づいて2年1回の胃内視鏡検診が実施されている国内地域で測定された胃内視鏡検診の感度・特異度については未だデータはない。2年1回の胃内視鏡検診を実施している韓国のデータ (2015-2016年) では感度69.3%, 特異度99.1%と報告されている²⁶⁾。韓国では、胃X線検診の感度は17.6% (2015-2016年)²⁶⁾と本邦の胃X線検診に比べて著しく劣ることもあり、韓国の胃がんスクリーニングのガイドライン²⁷⁾では、胃X線検診は胃内視鏡検診よりも低い推奨度となっている。

3) 胃内視鏡検診の過剰診断と偽陰性

がん検診の不利益として必ず問題となるのは過剰診断である。過剰診断とは、がん検診を行うことで、本来は生命予後には影響しない“がん”を発見することであり²⁸⁾、良性疾患や境界病変を誤って悪性と診断した場合などのように病理学的に“がん”でないものを“がん”と診断したという意味ではない。

Hamashimaら²⁹⁾は、胃内視鏡検診の実測罹患数と受診者集団の年齢構成から求めた期待罹患数の比であるO/E比 (観測値/予測値) が1.9 (P=0.3649) となり、胃内視鏡検診では罹患超過になる可能性を指摘している。しかしながら、胃内視鏡検診の罹患超過には、将来死亡の原因となる胃癌を先行して発見したのものも含まれている可能性があり、そのすべてが過剰診断となるわけではないとしている²⁹⁾。

偽陰性も不利益のひとつであるが、これには中間期がんの追跡が必要である。細川ら³⁰⁾は福井県のがん登録データを用い、検診後3年以内の検診外発見がんを偽陰性とした場合の偽陰性率は22.2%, 後藤ら³¹⁾は院内登録システムを用いて検査後3年の偽陰性率38.1%, 2年偽陰性率35.8%, 1年偽陰性率14.9%と報告している。一般に、中間期がんは検診受診時に「がんなし (検査陰性)」と判断され、次回検診までに診断された“がん”と定義されるが³²⁾、従来の胃内視鏡検診の偽陰性率の報告は、検査間隔の設定や中間期がんの把握方法もまちまちであり、必ずしも信頼度の高い報告とは言えないものであった。

偽陰性率は (1-感度) としても表されるが、先に述べたように検診発見がんをベースとした感度を測定すると、検診に罹患超過や過剰診断により感度が過大評価され、偽陰性率が過小評価されてしまう可能性があり注意を要する。いずれにしろ、胃内視鏡検診であっても10%前後の偽陰性が生じることに留意すべきである。

4) 胃内視鏡検診の偶発症

上部消化管内視鏡検査は胃X線検査に比べて侵襲性が高く、内視鏡操作による穿孔や裂創、生検に伴う出血、経鼻内視鏡検査による鼻出血、鎮静剤による呼吸抑制や前処置薬に対するアレルギーなどの偶発症が報告されている^{33), 34)}。このため、胃がん検診ガイドライン2014年度改訂版¹⁾では、胃内視鏡検診の実施は推奨されるが、重篤な偶発症に迅速かつ適切に対応できる体制が整備できないうちは実施すべきでないとの付記がついている。

日本消化器がん検診学会による2018年度偶発症調査³⁴⁾でも、胃X線検診による偶発症は10万件あたり32.4件であったのに対し、胃内視鏡検診では187.4件で、胃X線検診に比べて胃内視鏡検診による偶発症の発生が多くなっている。胃内視鏡検診の偶発症では、経鼻内視鏡による鼻出血の報告が多数を占めているが、生検後出血や鎮静剤による呼吸抑制などの報告もあり、入院を要する重篤な偶発症は胃X線検診よりも発生頻度が高いとされている³²⁾。

IV 対策型検診としての胃内視鏡検診の実施体制について

対策型胃内視鏡検診では、厚労省指針²⁾において、対策型胃内視鏡検診マニュアル⁴⁾を参考にして実施体制や精度管理体制を構築することが求められている (Figure 3, Table 4 ~ 6)。

対策型胃内視鏡検診の実施体制の基盤は胃内視鏡検診運営委員会 (仮称) にある (Figure 3)⁴⁾。胃内視鏡検診運営委員会 (仮称) は、地域の実情、特に内視鏡処理能に配慮しつつ、自治体の胃内視鏡検診の運営方針を決定し、検査医の認定や精度管理を担う (Table 4)⁴⁾。対策型胃内視鏡検診マニュアル⁴⁾に示された検査医の資格要件を Table 5 に示す。

対策型胃内視鏡検診では、胃内視鏡検診運営委員会 (仮称) のもとに読影委員会を設置し、撮影画像のダブルチェックを実施することが原則となっている (Figure 3, Table 6)^{4), 9)}。ダブルチェックとは、検査医以外の読影委員会のメンバーが検査画像をチェックすることを言う^{4), 9)}。

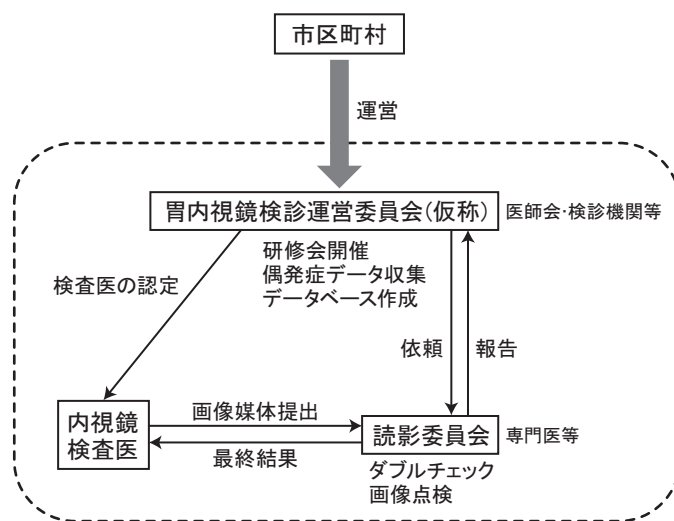


Figure 3 対策型胃内視鏡検診の実施体制 (文献4より転載)

濱島ちさと, 胃内視鏡検診運営委員会 (仮称), 日本消化器がん検診学会 対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル, P27, 図1, 2017, 南江堂, 東京より転載。

Table 4 胃内視鏡検診運営委員会 (仮称) の役割

- 胃内視鏡検診運営委員会 (仮称) には、胃内視鏡検診を担当する地域の医師会、検診機関や専門医などが含まれなくてはならない。
- 胃内視鏡検診運営委員会 (仮称) は、地域の実情、特に内視鏡処理能に配慮し、胃内視鏡検診の運営方針を決定する。
 - ✓ 実施要綱の策定 (対象や方法)
 - ✓ 検査医の要件の設定および認定
 - ✓ 読影委員会の運用方法
 - ✓ 研修会開催
 - ✓ 偶発症対策
 - ✓ 検診データベース管理 など

Table 5 胃内視鏡検診に参加する医師の資格要件

| |
|--|
| ① 日本消化器がん検診学会認定医，日本消化器内視鏡学会専門医，日本消化器病学会専門医のいずれかの有資格者 |
| ② 概ね年間100件以上の上部消化管内視鏡検査を実施している医師 |
| ③ 地域の胃内視鏡検診運営委員会（仮称）が定める条件に適用し，①または②の条件を満たす医師と同等の経験・技量を有すると認定された場合 |

Table 6 仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目

| |
|---|
| 胃内視鏡検査及び胃内視鏡画像の読影 |
| <input type="checkbox"/> 胃内視鏡検査の実施に当たっては，日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアルを参考に行う。 |
| <input type="checkbox"/> 胃内視鏡検診運営委員会（仮称），もしくはそれに相当する組織が設置する読影委員会により，ダブルチェックを行う。 ※ ダブルチェックとは，内視鏡検査医以外の読影委員会のメンバーが内視鏡画像のチェックを行うことである。ただし，専門医が複数勤務する医療機関で検診を行う場合には，施設内での相互チェックをダブルチェックの代替方法とすることができる。 ※※ 専門医の条件は下段参照 |
| <input type="checkbox"/> 読影委員会のメンバーは，日本消化器がん検診学会認定医あるいは日本消化器内視鏡学会専門医の資格を取得する。 |

文献9から転載

Table 7 読影委員会によるダブルチェックの主な役割

| |
|---|
| <input type="checkbox"/> 読影委員会では，受診者全例の全コマをレビューする。 |
| <input type="checkbox"/> 胃内視鏡検診の結果は，生検の有無，判定，診断名を基準とする。 |
| <input type="checkbox"/> 判定基準：がんなし・がん疑い・胃がんあり・胃がん以外の悪性病変。 |
| <input type="checkbox"/> ダブルチェックでは検査医の診断や生検の妥当性を検証する。 |
| <input type="checkbox"/> 診断名は必要に応じて記載：治療の要・否などを事後指導で説明。 |
| <input type="checkbox"/> 検査医が見逃した「胃がん疑い」所見を拾い上げて再検査を指示する。 |
| <input type="checkbox"/> 鉗子生検の標的部位や狙撃性，得られた病理診断の妥当性を評価し，必要であれば「胃がん疑い」として再生検を指示する。 |
| <input type="checkbox"/> 不要な鉗子生検が為されていれば，検査医にその低減を指導する。 |
| <input type="checkbox"/> 読影に適さない無益な画像撮影の改善を検査医に指導する。 |
| <input type="checkbox"/> 第三者によるチェックを受けることで検査医の責任を按分する。 |

専門医が複数勤務する医療機関で検診を行う場合には，施設内での相互チェックをダブルチェックの代替方法とすることも可能である⁹⁾。

1) 胃内視鏡検診におけるダブルチェックの重要性

胃内視鏡検診の第一義的な標的病変は胃癌であり，安全で見逃し（偽陰性）のない検査を行うことは言うまでもない。しかし，胃癌検診の対象者は，元々が胃癌の有病率の低い健常者であるため，内視鏡検査を受けても胃癌が見つからない受診者が大多数を占めることになる。このため，胃内視鏡検診では，胃癌の発見に努めることのみならず，胃癌がない人を正しく「胃癌がない」と判定して安心してもらうこと，そして，胃癌がない人に対する不要な要精検（偽陽性）を減らして不利益の低減を図ることが重要となる。

胃内視鏡検診におけるダブルチェックの目的は，必ずしも専門家ばかりが参加するとは限らない検診業務において，胃内視鏡検診に従事する検査医間の技量差を補い，内視鏡検査技術や診断レベルの向上を図ることにあ

る（Table 7）⁴⁾。ダブルチェックを厳正に行うことで，胃内視鏡検診の見逃しや無駄な生検が回避できることが報告されている^{35), 36)}。

その一方で，読影医が安易なダブルチェックを行い，不必要な再検査や再生検の指示を出してしまうのも問題である。一度で済むはずの検査を繰り返し受けるのでは，受診者の負担も大きいし，再検査に伴う偶発症のリスクも懸念される。胃内視鏡検診の精度は，ダブルチェックの質にも大きく依存している。

また，ダブルチェックは，対策型胃内視鏡検診における精度管理の要であると同時に，検診に参加する検査医の責任を読影医と按分するための重要なプロセスであることも理解しておく必要がある。

人間ドックなどで行われる任意型の胃内視鏡検診の場合，必ずしも内視鏡画像のダブルチェックを必須とするものではないが，がん検診としての精度を担保するためには，検診提供施設の責務としてダブルチェックを実施することが望ましいと考える。

2) ダブルチェックを前提とした胃内視鏡検診のルーチン撮影

ダブルチェックを前提とした胃内のルーチン撮影では、検査医以外の第三者が全コマ・レビューして「胃癌がない」と判定できる記録画像を残す必要がある。限られた観察時間で効率よく読影を処理するには、撮影画像数は必要かつ最小限に留め、胃内全体を網羅的・俯瞰的・系統的に撮影した画像記録を残すことが求められる。

内視鏡観察法については順行性³⁷⁾や逆行性³⁸⁾などがあり、検査医によって様々な考え方や流儀があるため、これを全国的に統一し標準化することは難しい。しかしながら、ダブルチェックの処理効率を考えると、対策型であれば胃内視鏡検診運営委員会（仮称）で地域内の標準化を図るとか、人間ドックであれば施設内の取り決めとして撮影法の統一を図るなどといった対応をとることが望ましい。

咽頭・食道領域は上部消化管内視鏡検診の挿入ルートであり、胃内視鏡検診においても食道はルーチンの観察範囲に含まれている⁴⁾。近年、新たな画像強調内視鏡技術（Image Enhancement Endoscopy：IEE）の登場³⁹⁾により、内視鏡治療が可能な咽頭・食道領域の扁平上皮癌の発見が期待されるようになった^{40), 41)}。Kimら⁴²⁾による韓国の後ろ向きコホート研究では、胃内視鏡検診未受診群に対して受診群では食道癌の死亡率が35.3%減少したと報告している（HR=0.64795% CI, 0.617-0.679）。

胃癌の死亡率減少のみならず、胃内視鏡検診の受診に付随して、食道癌の死亡率減少効果が期待できるデータも報告されるようになってきている。とはいえ、本邦の対策型胃内視鏡検診に関して、咽頭・食道癌などの早期発見を胃内視鏡検診のメリットとして喧伝するには未だ証拠不十分である。今後、さらにエビデンスを集積する必要がある。

3) 胃内視鏡検診における鉗子生検の取り扱いについて

胃内視鏡検診であっても、日常診療と同様に、内視鏡観察中に「がん疑いあり」と判断された所見があれば、検査医の判断で鉗子生検を実施できる。鉗子生検と病理組織診断については、検診として実施した内視鏡検査に係る部分を除いて保険診療として診療報酬が請求できる（平成15年7月30日厚生労働省保険局医療課事務連絡）。

対策型の胃内視鏡検診においては、鉗子生検は胃癌の確定診断を得るための精密検査に該当する。このことは胃内視鏡検診のプロセス評価において極めて重要であり、検査医は生検は精検であることを踏まえて対策型胃内視鏡検診を実施しなければならない。

鉗子生検は出血や穿孔といった重篤な偶発症のリスク

を伴う侵襲的な手技であり³²⁾、胃癌の診断を目的としない生検や過剰な生検は、不要な生検として受診者の不利益の増大に繋がることになる。安易な生検や不用意な生検をしてしまったがために、病変の拡大内視鏡観察や内視鏡治療に支障を来してしまう可能性もあることも留意しておくべきである。鉗子生検の実施は検査医の裁量に任されているとはいえ、胃内視鏡検診における生検は「がん疑いあり」の場合に限定し、その適用を慎重に判断する必要がある。

一方、人間ドックで実施されている胃内視鏡検診では対策型のように鉗子生検を精密検査として扱うという規定は定められていない。しかしながら、人間ドックで実施される任意型検診であっても、健常者を対象とする以上は不必要・不用意な生検による偶発症のリスクを最小限に留める責務がある。「がん疑いあり」以外に良性病変の診断を目的とした鉗子生検を行う場合があるのであれば、その利益・不利益について受診者に予め十分説明しておくことが望ましい。

V 胃内視鏡検診における精検判定のアルゴリズム

対策型がん検診では、厚労省の地域保健・健康増進事業報告（以下、事業報告）に検診ならびに精検結果を報告する義務がある。事業報告では、対策型胃内視鏡検診における要精検者は、①胃内視鏡検査と同時に鉗子生検が実施された者（同時生検）、②ダブルチェックで再検査と判定された者（要再検査）の2つと定義し、①と②について結果が判明している場合を精検受診者として扱うことになっている。Figure 4に対策型胃内視鏡検診の精検判定のアルゴリズムを示す。

①の同時生検の受診者は、生検が実施された時点で「精検受診済み」として扱うので注意を要する。同時生検受診者のダブルチェックにおける判定は「胃がんあり」・「胃がん以外の悪性腫瘍」・「胃がん疑いあり」・「胃がんなし」の4区分である（Figure 4の※3）⁴⁾。

同時生検受診者であっても、読影医がレビューして生検部位以外に新たに「胃がん疑いあり」となる所見が指摘された場合、また、生検部位が不適切もしくは狙撃性が悪いため病理診断が偽陰性となっている可能性が危惧される場合などは、読影医は「胃がん疑いあり」と判定して要再精検（要再検査）の指示を出す（Figure 4の※4）。同時生検受診者で要再検査（再精検）となった者が再検査（再精検）未受診・未把握の場合は、事業報告では精検受診者のうち「胃がん疑いまたは未確定」として計上する（Figure 4の※5）。この「胃がん疑いまたは未確定」には、同時生検受診者のうち生検病理診断結果

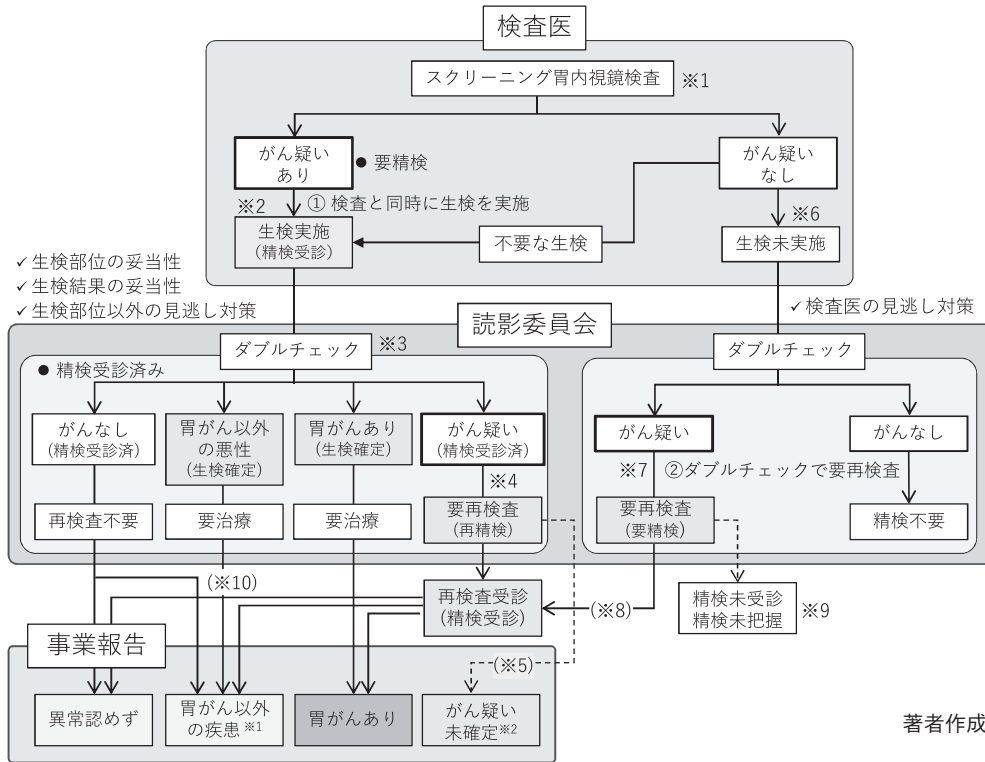


Figure 4 対策型胃内視鏡検診の精検判定のアルゴリズム

地域保健・健康増進事業報告をもとに筆者が作成。検査医は胃内全体を網羅的に観察し、「胃がん疑いあり」と判断した所見があった場合、検査医は自身の判断で内視鏡検査中に鉗子生検を実施する（※1, 2）。同時生検を実施した者（同時生検受診者）は、ダブルチェックにおいて、生検病理診断結果を踏まえて精検受診者としての読影判定を行う（※3）。「胃がんあり」および「胃がん以外の悪性腫瘍」は同時生検の病理診断結果で確定できる。悪性が確定しなかった者のうち、読影医がレビューして「胃がん疑いあり」と判定した場合には、要再精検（要再検査）の指示を出す（※4）。同時生検受診者で要再検査（再精検）となった者が再検査未受診・未把握の場合は、事業報告では精検受診者のうち「胃がん疑いまたは未確定」として計上する（※5）。検査医は「胃がん疑いなし」と判断し同時生検が未実施の場合、読影委員会に画像を提出しダブルチェックを受ける（※6）。読影医がレビューして新たに「胃がん疑いあり」と判断する所見を見いだした場合には、要精検（要再検査）として再度の胃内視鏡検査の実施を指示する（※7）。要精検（要再検査）と判定された者が精密検査（胃内視鏡検査の再検）を受診し、結果が判明した場合に「精検受診者」とし（※8）、精検結果の報告を受けて精検受診者としての判定区分を振り分ける。要再検査（要精検）者が未受診・未把握の場合、事業報告では「同時生検未受診のうち再検査未受診・未把握」として計上する（※9）。※10は本文参照。

が不明な者も含まれる。

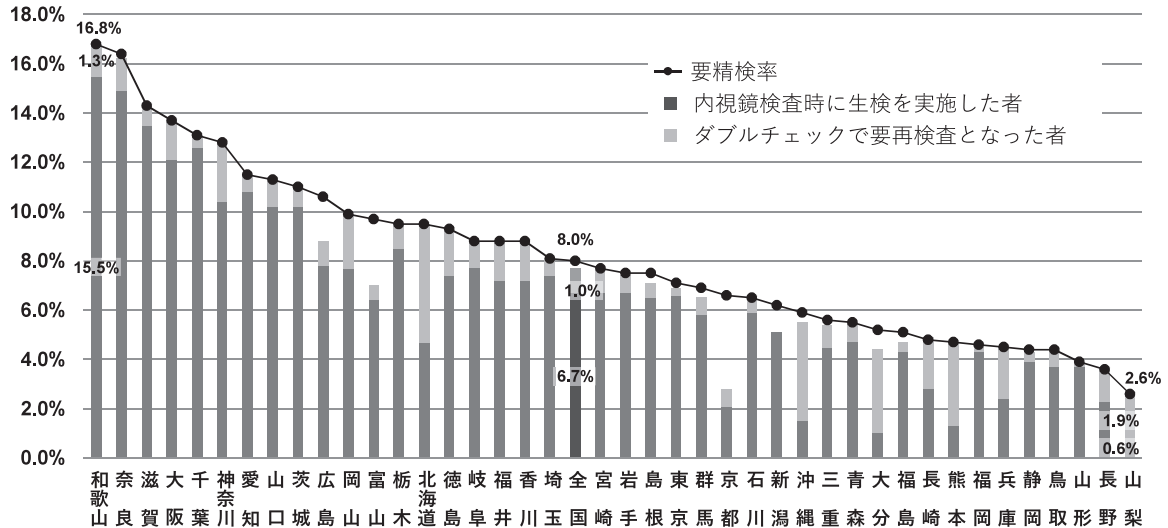
②ダブルチェックで再検査と判定された者（要再検査）とは、検査医は「胃がん疑いなし」と判断し同時生検が未実施の者（Figure 4の※6）で、読影医がレビューして新たに「胃がん疑いあり」と判断し、要再検査（要精検）と判定された者である（Figure 4の※7）。要再検査（要精検）者が精密検査（胃内視鏡検査の再検）を受診し、結果が判明した場合に「精検受診者」として扱い（Figure 4の※8）、再検査未受診・未把握の場合は「同時生検未受診のうち再検査未受診・未把握」として別途集計する（Figure 4の※9）。

なお、食道癌や転移性胃癌、悪性リンパ腫などの「胃がん以外の悪性腫瘍」は、事業報告では「胃がん以外の疾患」に分類され、消化性潰瘍やポリープなどの良性病変と一緒に集計されることに留意する（Figure 4の※10）。

VI 対策型胃内視鏡検診のプロセス評価の課題

対策型胃内視鏡検診の精検判定のアルゴリズムは複雑であり、精度管理上の混乱を生じる要因となっている⁴³⁾。厚生労働省の令和元年度地域保健・健康増進事業報告³⁾によると、2018年度の対策型胃内視鏡検診の要精検率は全国平均で8.0%（同時生検率6.7%）、胃がん発見率は0.37%であったが、都道府県別にみると要精検率は16.8%から2.6%程度に留まる地域まであり地域較差が大きく（Figure 5）、また、同時生検未実施者のダブルチェックによる要精検（再検査）率と精検（再検査）受診率は地域間で大きなバラツキがみられた（Figure 6）⁴⁴⁾。

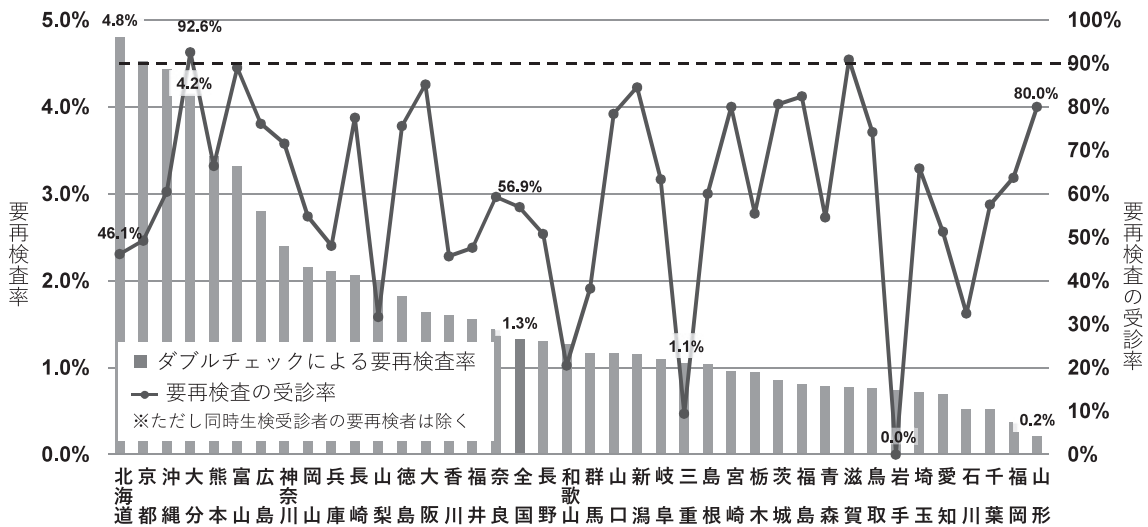
こうした背景には、要精検の大部分を占める同時生検に対する検査医の意識のずれや理解不足があると考えられる。また、ダブルチェックの要再検査が精検に該当することや、検診後1年以内に再検査が行われないと事業



2018年度の胃内視鏡検診の受診数が1,000人未満であった愛媛、高知、佐賀、鹿児島、宮城、秋田は除外
令和元年度地域保健・健康増進事業報告より著者作成

Figure 5 都道府県別にみた平成30年度胃内視鏡検診の要精検率（同時生検＋要再検査）

令和元年度地域保健・健康増進事業報告（平成30年度検診受診者の検診・精検結果）データをもとに著者作成。受診者数が1,000人未満であった愛媛、高知、佐賀、鹿児島、宮城、秋田は除外。折れ線グラフは同報告で要精検率として報告された値、棒グラフは同時生検受診者数と要再検査者数（同時生検未受診）から算出。文献43より転載。



2018年度の胃内視鏡検診の受診数が1,000人未満であった愛媛、高知、佐賀、鹿児島、宮城、秋田は除外
同じく要精検数、同時生検数、再検査、未把握・未受診数が一致していない東京・静岡を除外
令和元年度地域保健・健康増進事業報告より著者作成

Figure 6 都道府県別にみた平成30年度胃内視鏡検診の同時生検未受診者における要再検査率と再検査受診率

令和元年度地域保健・健康増進事業報告（平成30年度検診受診者の検診・精検結果）データをもとに著者作成。受診者数が1,000人未満であった愛媛、高知、佐賀、鹿児島、宮城、秋田、また、要精検数、同時生検数、再検査、未把握・未受診数が一致していない東京・静岡を除外。棒グラフは同時生検未受診者における要再検査率、折れ線グラフは同報告で要再検査受診率として報告された値。文献43より転載。

報告の集計に間に合わないといったルールが理解されていないことなどもデータのバラツキを生じる要因となっていると考えられる。

検査医や読影医は、胃内視鏡検診の精検判定のアルゴ

リズムを理解し、それに則った対応をとることが求められる。

Ⅶ 職域における胃内視鏡検診の課題

職域のがん検診は実施に係る法的根拠がなく、事業主や保険者が労働者の福利厚生として任意に実施されてきた経緯がある。しかしながら、職域のがん検診は、特定健診や労働安全衛生法に基づく事業主の法定健診などと同時に実施されることも多く、現役世代のがん検診として受診機会が極めて高いことを踏まえると、対策型に準じた扱いが本来は求められるべきものである。

こうしたことを受け、厚労省は2018年3月「職域におけるがん検診に関するマニュアル」⁴⁴⁾を策定し、保険者や事業者が職域におけるがん検診を実施する際の参考となるように、国が推奨するがん検診の種類や検査項目などを明確化した。このマニュアルでは、職域検診においても、対策型と同様に科学的根拠に基づく検診を適切な精度管理の下で実施すること、そして、保険者および事業主は精度管理のためのチェックリストやプロセス指標 (Table 3)⁹⁾に基づいて事業評価を行うことを求めている。

先に述べたように、職域のがん検診では任意型検診として人間ドックの胃内視鏡検診を受診している者も多いと考えられる。しかしながら、人間ドックではダブルチェックの実施については検診機関の判断に任されており、同時生検や要再検査を精検該当として扱うという規定はない。また、人間ドックの判定区分⁴⁵⁾は健診としての判定区分であり、対策型の精検判定とは齟齬がある。もちろん、任意型と対策型とでは、その目的に違いがあるため、両者の精検判定基準にずれが生じるのはやむを得ないが、同じモダリティでありながら統一したデータ管理や精度管理基盤が共有できないことは、本邦の胃がん対策における極めて大きな課題となっている。

Ⅷ おわりに

対策型胃内視鏡検診が承認され、その導入を図る自治体も増加しつつあるが、内視鏡医のマンパワーや財源の問題、精度管理体制の構築などまだまだ課題は多い。その一方で、現役世代のがん検診として中心的役割を果たす職域がん検診については、検診プログラムの標準化や検査精度の均霑化、精度管理基盤の整備などが進んでいないのが現状である。胃内視鏡検診についても、今後は統一したデータ管理ができるように精度管理基盤を整備し、地域と職域を合わせた組織型の胃がん検診の実現を目指していくべきと考える。

日本消化器内視鏡学会では2022年度より消化管内視鏡スクリーニング認定医制度を発足させた⁴⁶⁾。今後、スクリーニング認定医制度の教育プログラムを通して、診療

と検診、健診と検診の違いを理解したスクリーニング認定医が、地域や職域の胃内視鏡検診の精度向上や精度管理における中心的役割を果たすことを期待したい。

本論文内容に関連する著者の利益相反：なし

文献

1. 平成24・25年度がん研究開発費「科学的根拠に基づくがん検診法の有効性評価とがん対策計画立案に関する研究」班（主任研究者：斎藤博）および平成26年度がん研究開発費「検診ガイドライン作成と検診提供体制の政策提言のための研究」（主任研究者：斎藤博）. 有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年度版. 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター, 2015.
2. 厚生労働省. がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知別添）, 令和3年10月1日一部改正, 2021.
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000838645.pdf> (2022年7月19日閲覧).
3. 厚生労働省. 令和元年度地域保健・健康増進事業報告.
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/les?page=1&toukei=00450025&tstat=000001030884> (2022年7月19日閲覧).
4. 日本消化器がん検診学会対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル作成委員会編. 対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル. 南江堂, 東京, 2017.
5. 厚生労働省. 令和元年国民生活基礎調査世帯人員(20歳以上), がん検診受診状況(複数回答)・受診機会(複数回答)・性・年齢(5歳階級)・教育別.
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450061&tstat=000001141126&cycle=7&tclass1=000001141142&tclass2=000001142126&tclass3val=0> (2022年7月19日閲覧).
6. 国立がん研究センター. がん情報サービスがん検診について.
https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/screening/screening.html (2022年7月19日閲覧).
7. 国立がん研究センター. がん対策研究所がん検診の有効性評価がん検診の考え方.
<http://canscreen.ncc.go.jp/kangae/index.html> (2022年7月19日閲覧).

8. Harris RP, Wilt TJ, Qaseem A. A value framework for cancer screening: advice for high-value care from the American College of Physicians. *Ann Intern Med* 2015 ; 162 : 712-7.
9. 国立がん研究センター. がん対策情報センターがん医療支援部検診実施管理支援室「事業評価のためのチェックリスト」および「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」.
http://ganjoho.jp/med_pro/pre_scr/screening/check_list.html (2022年7月19日閲覧).
10. 平成17年度厚生労働省がん研究助成金「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」班主任研究者祖父江友孝. 有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン. 2006.
11. Zhang X, Li M, Chen S et al. Endoscopic Screening in Asian Countries Is Associated With Reduced Gastric Cancer Mortality: A Meta-analysis and Systematic Review. *Gastroenterology* 2018 ; 155 : 347-54.
12. Jun JK, Choi KS, Lee HY et al. Effectiveness of the Korean National Cancer Screening Program in reducing gastric cancer mortality. *Gastroenterology* 2017 ; 152 : 1319-28.e7.
13. Hamashima C, Shabana M, Okada K et al. Mortality reduction from gastric cancer by endoscopic and radiographic screening. *Cancer Sci* 2015 ; 106 : 1744-9.
14. Hamashima C, Ogoshi K, Okamoto M et al. A community-based, case-control study evaluating mortality reduction from gastric cancer by endoscopic screening in Japan. *PLoS One* 2013 ; 8 : e79088.
15. Matsumoto S, Yoshida Y. Efficacy of endoscopic screening in an isolated island : a case-control study. *Indian J Gastroenterol* 2014 ; 33 : 46-9.
16. Hosokawa O, Miyanaga T, Kaizaki Y et al. Decreased death from gastric cancer by endoscopic screening : association with a population-based cancer registry. *Scand J Gastroenterol* 2008 ; 43 : 1112-5.
17. Riecken B, Pfeiffer R, Ma JL et al. No impact of repeated endoscopic screens on gastric cancer mortality in a prospectively followed Chinese population at high risk. *Prev Med* 2002 ; 34 : 22-8.
18. Chen Q, Yu L, Hao CQ et al. Effectiveness of endoscopic gastric cancer screening in a rural area of Linzhou, China : results from a case-control study. *Cancer Medicine* 2016 ; 5 : 2615-22.
19. Matsumoto S, Yamasaki K, Tsuji K et al. Results of mass endoscopic examination for gastric cancer in Kamigoto Hospital, Nagasaki Prefecture. *World J Gastroenterol* 2007 ; 13 : 4316-20.
20. Hamashima C, Ogoshi K, Narisawa R et al. Impact of endoscopic screening on mortality reduction from gastric cancer. *World J Gastroenterol* 2015 ; 21 : 2460-6.
21. Kim H, Hwang Y, Sung H et al. Effectiveness of gastric cancer screening on gastric cancer incidence and mortality in a community-based prospective cohort. *Cancer Res Treat* 2018 ; 50 : 582-9.
22. Chen R, Liu Y, Song G et al. Effectiveness of onetime endoscopic screening programme in prevention of upper gastrointestinal cancer in China : a multicentre population-based cohort study. *Gut* 2021 ; 70 : 251-60.
23. Hamashima C, Okamoto M, Shabana M et al. Sensitivity of endoscopic screening for gastric cancer by the incidence method. *Int J Cancer* 2013 ; 133 : 653-9.
24. 小越和栄, 成澤林太郎, 加藤俊幸ほか. 新潟市住民に対する胃がん内視鏡検診. *Endoscopic Forum* 2010 ; 26 : 5-16.
25. Day NE. Estimating the sensitivity of a screening test. *J Epidemiol Community Health* 1985 ; 39 : 364-6.
26. Ryu JE, Choi E, Lee K et al. Trends in the Performance of the Korean National Cancer Screening Program for Gastric Cancer from 2007 to 2016. *Cancer Res Treat* 2022 ; 54 : 842-9.
27. Park HA, Nam SY, Lee SK et al. The Korean guideline for gastric cancer screening. *J Korean Med Assoc* 2015 ; 58 : 373-84.
28. Vainio H, Bianchini F, eds. IARC Handbooks of cancer prevention. Volume 7. Breast cancer screening. IARC Press, Lyon, 2002 ; 144-7.
29. Hamashima C, Okamoto M, Shabana M et al. Comparison of Observed and Expected Numbers of Detected Cancers in the Research Center for Cancer Prevention and Screening Program. *Jpn J Clin Oncol* 2006 ; 36 : 301-8.
30. 細川治, 服部昌和, 武田孝之ほか. 胃がん拾い上げにおける内視鏡検査の精度. *日本消化器集団検診学*

- 会雑誌2004；42：33-9.
31. 後藤信雄, 池上文詔, 桜井幸弘. 職域胃内視鏡検診の検討. 日本消化器集団検診学会雑誌 2005；43：197-205.
 32. Perry N, Broeders M, de Wolf C et al. European Guidelines for Quality Assurance in Breast Cancer Screening and Diagnosis, 4th Ed. European Commission, Luxemburg, 2006.
 33. 古田隆久, 加藤元嗣, 伊藤進ほか. 消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査報告2008～2012年までの5年間. 日消内視鏡学会誌2016；58：1466-91.
 34. 日本消化器がん検診学会胃がん検診精度管理委員会. 委員会報告2018年度胃がん検診偶発症アンケート調査報告. 日本消化器がん検診学会雑誌2022；60：105-21.
 35. 三吉博, 中野真, 三好和夫ほか. さいたま市における胃がんX線・内視鏡併用個別検診の現況—大宮地区のデータをもとに—. 日消がん検診誌2015；53：571-7.
 36. 羽柴厚, 竹田康男, 鍛冶恭介ほか. 『個別検診の現状とあるべき姿』—地域医師会の役割—. 日消がん検診誌2015；53：607-21.
 37. 長男明道. 「内視鏡観察のコツ」上部消化管—ルーチン撮影法—上部から下部へ順に. 胃と腸2004；39：955-9.
 38. 赤松泰次. 「内視鏡観察のコツ」上部消化管—ルーチン撮影法—引き抜き法. 胃と腸2004；39：1058-62.
 39. Lee W. Application of Current Image-Enhanced Endoscopy in Gastric Diseases. Clin Endosc 2021；54：477-87.
 40. Muto M, Minashi K, Yano T et al. Early detection of superficial squamous cell carcinoma in the head and neck region and esophagus by narrow band imaging : a multicenter randomized controlled trial. J Clin Oncol 2010；28：1566-72.
 41. Ono S, Kawada K, Dohi O et al. Linked Color Imaging Focused on Neoplasm Detection in the Upper Gastrointestinal Tract : A Randomized Trial. Ann Intern Med 2021；174：18-24.
 42. Kim JH, Han KD, Lee JK et al. Association between the National Cancer Screening Programme (NSCP) for gastric cancer and oesophageal cancer mortality. British Journal of Cancer 2020；123：480-6.
 43. 加藤勝章, 千葉隆士, 只野敏浩ほか. 本邦における胃がん検診精度管理の現状と将来への取り組み. 胃と腸2022；57：1103-12.
 44. 厚生労働省. 職域におけるがん検診に関するマニュアル 平成30年3月. 2018.
<https://www.mhlw.go.jp/-le/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000204422.pdf> (2022年3月29日閲覧).
 45. 日本人間ドック学会 画像検査判定ガイドライン作成委員会 上部消化管内視鏡部門. 上部消化管内視鏡健診判定マニュアル.
https://www.ningen-dock.jp/wp/wp-content/uploads/2013/09/UpperGastrointestinal_Endoscopy.pdf (2022年7月19日閲覧).
 46. Mabe K, Inoue K, Kamada T et al. Endoscopic screening for gastric cancer in Japan: Current status and future perspectives. Digestive Endoscopy 2022；34：412-9.

※本論文は日本消化器内視鏡学会雑誌65(1):5-18, 2023.1に掲載したものを転載

宮城県肺がん検診喀痰細胞診の 成績からみる近年の傾向と細胞像

公益財団法人宮城県対がん協会細胞診センター

中 川 朋 美
(細胞検査士)

【はじめに】

宮城県の肺がん検診は宮城県肺がん対策協議会のもと、1982年の検診開始から40年が経過した。喫煙率の低下に伴い受診数および肺門部扁平上皮癌の発見数は減少しており、肺がん検診における喀痰細胞診の役割が危ぶまれている。

当施設では喀痰細胞診を担当しており、この間の喀痰細胞診の成績をまとめ、近年における喀痰細胞診の傾向を考察する。また代表的な細胞像を提示する。

【方法】

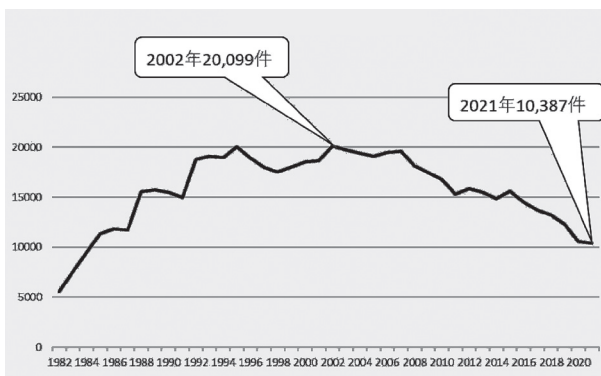
1982年から2021年の喀痰細胞診における要精検（D、E判定）数、がん確定数、組織型を集計し、10年毎の発見がんの推移と近年の傾向を分析した。

【結果】

1982年から2021年までの喀痰細胞診判定数の推移を（表1）に示した。検体数が最も多かったのは2002年の20,099件で、2021年はピーク時の半分まで減少した。2015年から6か月以内に血痰のあった者は検診対象とせず、また厳しく高危険群に絞った検診を実施することが、受診数の減少に影響した。

40年間におよぶ判定数の総数は、627,492件で、そのう

表1 喀痰細胞診件数の推移



ちD判定863件、E判定959件であった。確定したがんは、扁平上皮癌741例、腺癌112例、その他のがん76例であった（表2）。10年毎に集計した判定数は1982～1991年で119,240件、発見がんは扁平上皮癌263例、腺癌17例、その他11例の291例で発見がん率は10万対244.0であった。1992～2001年で186,751件、発見がんは扁平上皮癌265件、腺癌43例、その他24例の332例で10万対177.8であった。2002～2011年では185,143件、発見がんは扁平上皮癌142件、腺癌34例、その他11例の187例で10万対101.0であった。2012～2021年では137,358件、発見がんは扁平上皮癌71例、腺癌18例、その他28例の117例で10万対85.2であった。

<精検結果の内訳について>

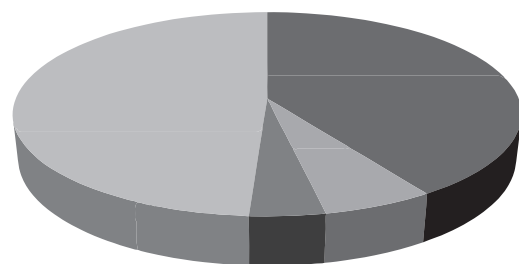
D判定とE判定を合わせた要精検数は1,822件あった。

検診年度から2年後に精検調査を行い929件が癌と判明した。その内訳は扁平上皮癌741例、腺癌112例、その他が76例で、残りの893件は未確定であった。未確定の中には、継続フォローの方や受診拒否の方も含む。

表2 1982年から2021年までの総数

| | |
|----------|----------|
| 喀痰細胞診判定数 | 627,492件 |
| D判定 | 863件 |
| E判定 | 959件 |
| 確定したがん | 929件 |
| ◎内訳 | |
| 扁平上皮癌 | 741件 |
| 腺癌 | 112件 |
| その他の癌 | 76件 |

精検結果の内訳

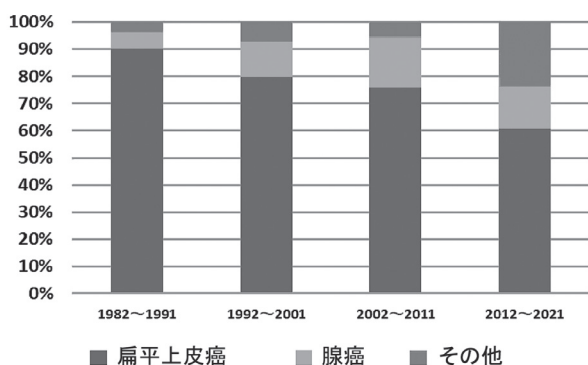


■扁平上皮癌 ■腺癌 ■その他 ■未確定

表3 10年毎の集計

| | 判定数 | D判定 | E判定 | 扁平上皮癌 | 腺癌 | その他 |
|--------------------------------------|---------|-----|-----|-------|----|-----|
| 1982年～1991年 発見がん数291例 (10万対244.0) | 119,240 | 300 | 284 | 263 | 17 | 11 |
| 1992年～2001年 発見がん数332例 (10万対177.8) | 186,751 | 292 | 316 | 265 | 43 | 24 |
| 2002年～2011年 発見がん数187例 (10万対101.0) | 185,143 | 201 | 211 | 142 | 34 | 11 |
| 2012年～2021年 発見がん数117例 (10万対85.2) | 137,358 | 70 | 148 | 71 | 18 | 28 |

表4 10年毎の発見がん種類別比率の比較

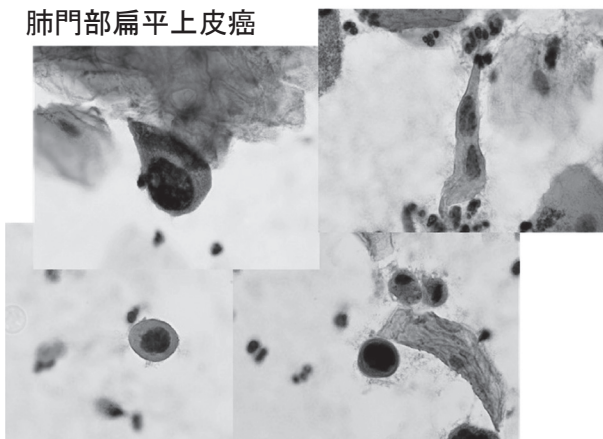


集計結果から、発見された扁平上皮癌の比率は、年々低下し(表4)、近年、その他の癌の割合が増加していた。

確定した扁平上皮癌は741症例あった。このうち発生部位やX線所見の記載が明確にあったものを集計した結果、肺門部の扁平上皮癌は224症例で、このうちX線陰性は159症例あった。末梢部の扁平上皮癌は155症例で、このうちX線陰性は81症例あった。

【主な細胞像と細胞所見】(対物レンズ×100)

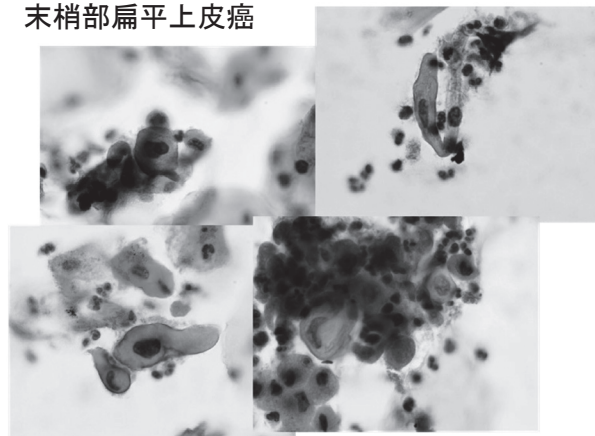
肺門部扁平上皮癌



細胞質は厚く、パンプキンオレンジ、レモンイエローを呈する。N/C比大、核形不整、クロマチン増量、多核などを示し、比較的孤立性に出現している。

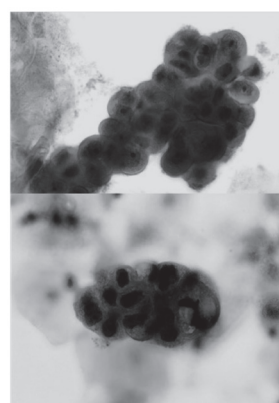
その他の癌には、小細胞癌の他、中咽頭癌、下咽頭癌、喉頭癌、食道癌、声門癌などがあった。

末梢部扁平上皮癌



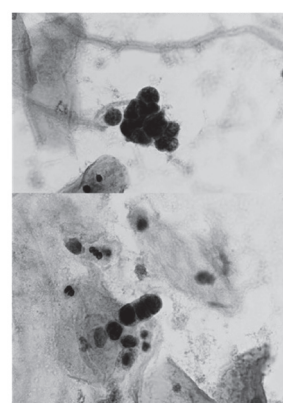
炎症性細胞や組織球と絡まって出現。細胞は小型、N/C比は小さく細胞質は重厚でレモンイエロー、核クロマチン増量を示し、奇形な形の異形細胞も認める。

腺癌



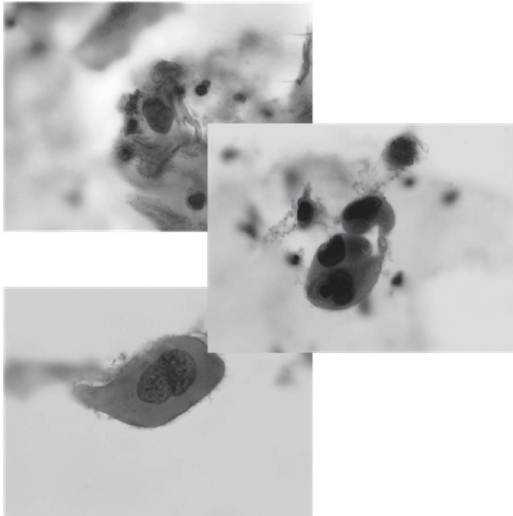
泡沫状細胞質、不規則重積、N/C比大、核小体、粘液空胞がみられる。

小細胞癌



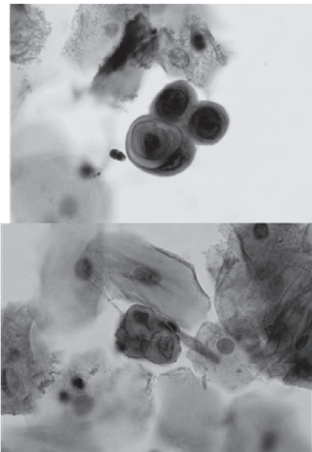
細胞小型、N/C比大、細顆粒状クロマチン増量、鑄型状の対細胞を呈する。

食道癌



細胞質は薄いが大形で、核クロマチン増量したOG好性やLG好性の異型細胞が見られる。

咽頭癌



OG好性の異型細胞と結合性が比較的強固でN/C比大、核小体、クロマチン増量のLG好性の異型細胞の集塊が見られる。

【まとめ】

喀痰細胞診は、検診開始当初は増加傾向を示し2002年には20,099件あったが、2003年からは徐々に減少傾向となった。これは2003年施行の「健康増進法」等により喫煙率の減少が伺われるようになったことが受診に影響を及ぼしていると思われる。

発見がんにおいては、開始初期は9割が扁平上皮癌であったが、近年は6割にとどまっている。これも喫煙率の減少の影響があると考えられる。

但し、X線陰性の扁平上皮癌を発見する契機となっている症例があることは示された。

肺門部扁平上皮癌の早期発見を目的に施行されている喀痰細胞診であるが、集計結果から末梢部扁平上皮癌や耳鼻科系の癌も見つかっていることが示され、これらの発見にも喀痰細胞診は寄与すると考えられた。

以上から、受診者の減少とともに肺がん発見数も減少しているが、喀痰細胞診を行う意義はあると考えられる。

対策型大腸がん検診における 高齢者のFITカットオフ値に関する検討

公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター

只 野 敏 浩

(消化器担当医長
兼消化器内視鏡検診副センター長)

〔要 旨〕

当協会の成績から高齢者に対するFITのカットオフ(以下、CO)値について検討した。対象は2012-2016年度の期間に当協会でのFIT2日法による対策型検診を受けた40歳以上の男女。FITはヘモテクトNS-primeを用いCO値を30 μ g/gに設定した。5歳階級別に同CO値におけるプロセス指標値を算出したのち、75歳以上におけるCO値別の成績をシミュレーションした。5歳階級別にみた要精検率、がん発見率は加齢に伴い増加傾向であった。特に要精検率は75-79歳で7.1%、80歳以上で8.9%と高値であったが、一方で陽性反応適中度(以下、PPV)は70-74歳をピークに低下傾向にあり、75歳以上では高い陽性率に伴う偽陽性の増加の可能性が示唆された。そこで75歳以上を対象としCO値の成績をシミュレーションしたところ、50 μ g/gまで引き上げた際、要精検率は5.2%まで低下し、がん発見率、PPV、早期がん割合のいずれも40-74歳の期間平均や5歳階級別と比較し遜色のない成績となった。FITは逐年による検診プログラムであり、75歳以上の受診者においては、74歳以下よりも比較的高いCO値の設定が不利益を低減しつつ効果的ながん検診に繋がるかもしれない。

〔はじめに〕

現在わが国では健康増進法に基づく対策型大腸がん検診として、40歳以上の地域住民を対象とする便潜血検査免疫法(以下、FIT)の2日法が実施されている¹⁾。このFITによる対策型大腸がん検診においては、年齢を問わない一律のカットオフ(以下、CO)値が設定されるため、高齢者の要精検率が比較的高くなることが報告されている²⁾。要精検率が高い場合に検討すべき事項として、厚労省「がん検診事業のあり方について」では有病率の高い集団に偏っている可能性の他、偽陽性が多い可能性を挙げている³⁾。従って高齢者の高い要精検率の要因として有病率の増加は十分考えられるが、同時に加齢に伴い生理的出血(ヘモグロビン)が増加することが指摘

されているなど⁴⁾、偽陽性が増加し不利益への影響をもたらしている可能性も否定できない。特に高齢者においては、精密検査として実施される全大腸内視鏡やその前処置による偶発症が比較的多い傾向にあることが報告されており^{5,6)}、このような偽陽性をはじめとした不利益を極力低減することが必要となろう。

一方で、IARC(国際がん研究機関)では、FITベースの大腸がんスクリーニングプログラムを実施するに際して年齢や性別に基づいたCO値を設定することで、有効かつ効率的なものに繋がること指摘されている⁷⁾。

そこで本稿では高齢者に対する適切なFITのCO値について検討するため、当協会の成績から高齢者におけるプロセス指標値の特性を確認した上で、これら高齢者に対する適切なFITのCO値についてシミュレーションすることとした。

〔対象と方法〕

対象は2012-2016年度の期間に当協会でのFIT2日法による対策型検診を受けた40歳以上の男女とした。FITはヘモテクトNS-primeを用い、CO値を30 μ g/g(150mg/ml)に設定した。検討1として、5歳階級もしくは80歳以上に分け、同CO値における要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度(以下、PPV)を算出し、年齢階級別にみた成績の傾向を評価した。検討2として、75歳以上における要精検率、がん発見率、PPV、早期がん割合をCO値別(30, 50, 100, 200, 400 μ g/g)にシミュレーションし、CO値30 μ g/gで実施した40-74歳(5歳階級別および期間平均)における成績と比較することで、効果的かつ効率的なカットオフ値を検討した。

〔結 果〕

FITは283,320名に実施された。年齢階級別にみた要精検率は、40-44歳では3.2%と低く、加齢とともに増加傾向にあり、特に75-79歳では7.1%、80歳以上では8.9%と高かった。がん発見率も同様に40-44歳では0.08%、60-

2012-2016年度：ヘモテクトNS-Plus；カットオフ値：30 μ g/g（150ng/ml）

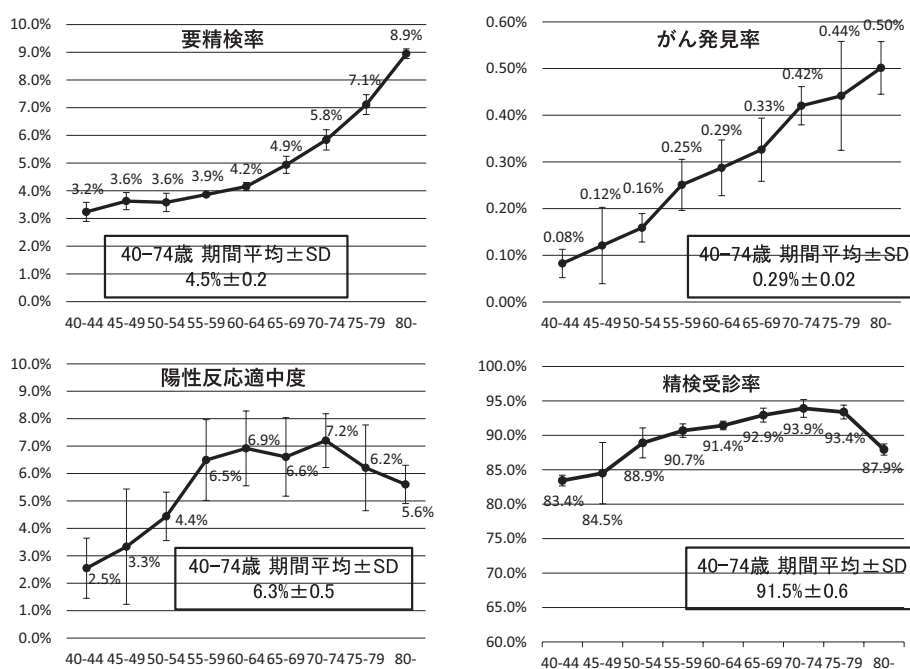


図1 2012-2016年度 当協会における5歳階級別にみた大腸がん検診プロセス指標値（期間平均±SD）

表1 仮想カットオフ値における当協会の75歳以上の大腸がん検診プロセス指標値（現行のCO値における40-74歳の期間平均との比較）

| | 40-74歳 | 75歳以上 | 75歳以上の仮想CO値 | | | |
|---------|----------------------------|----------------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| | | | ≥50 μ g/g | ≥100 μ g/g | ≥200 μ g/g | ≥400 μ g/g |
| FIT CO値 | ≥30 μ g/g ≥150mg/ml | ≥30 μ g/g ≥150mg/ml | ≥250mg/ml | ≥500mg/ml | ≥1000mg/ml | ≥2000mg/ml |
| 要精検率 | 4.5% | 7.9% | 5.2% | 2.6% | 1.3% | 0.5% |
| がん発見率 | 0.29% | 0.47% | 0.36% | 0.22% | 0.15% | 0.07% |
| PPV | 6.30% | 5.90% | 6.91% | 8.63% | 11.1% | 15.5% |
| 早期がん割合 | 71.8% | 68.2% | 63.6% | 53.2% | 44.7% | 30.6% |

64歳では0.29%、75-79歳では0.44%と加齢に伴い増加傾向であった。また精検受診率においては40-44歳では83.4%、45-49歳では84.5%、また80歳以上で87.9%とやや低下傾向にあるものの、全体としていずれの年齢階級においてもプロセス指標の目標値である90%に近い良好な成績であった。一方、PPVは加齢とともに増加傾向にあるものの70-74歳での7.2%をピークに、75-79歳では6.2%、80歳以上では5.6%と徐々に低下傾向にあった（図1）。

そこで75歳以上を対象としCO値を30 μ g/gから徐々に400 μ g/gまで上げた際の成績を、元来の30 μ g/gで実施した40-74歳における期間平均と比較した。例えばCO値を100 μ g/gとすると、要精検率は2.6%まで抑えられ

（40-74歳における要精検率の期間平均は4.5%）、PPVも8.6%まで上がるが（40-74歳におけるPPVの期間平均は6.3%）、がん発見率は0.22%と40-74歳の期間平均0.29%と比較しても低くなり、また早期がん割合も53.2%と低下が目立ち始めた。一方、仮にカットオフ値を50 μ g/gとすると、要精検率は5.2%まで抑えられ、がん発見率は0.36%、かつPPVは6.9%と40-74歳における期間平均と比較しても遜色なく、偽陽性をはじめとした不利益を減らしつつ、効果性もある程度担保された、より効率的なCO値になると想定された（表1）。次に75歳以上を対象としCO値を30 μ g/gから50 μ g/gまで上げた際の成績を、5歳階級別の成績とも比較を行った。75歳以上において、元来のCO値30 μ g/gでは、高い要精検率（7.9%）とPPV

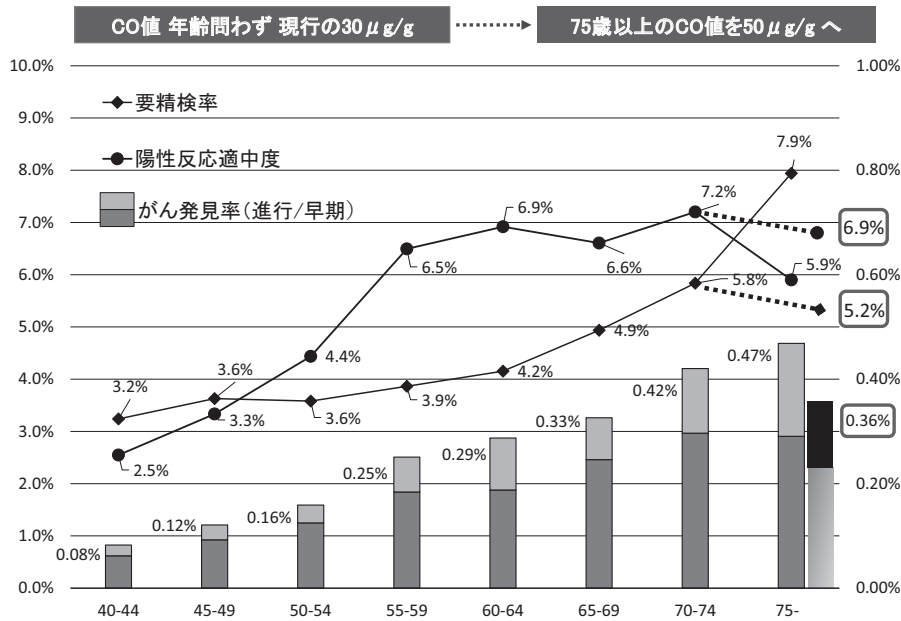


図2 仮想カットオフ値における当協会での75歳以上の大腸がん検診プロセス指標値 (現行のCO値における40-74歳の5歳階級別成績との比較)

の落ち込み (5.9%) が認められるが、CO値50 μ g/gまで上げたと仮定すると、要精検率は70-74歳の5.8%に次ぐ値まで抑えられ、がん検出率は70-74歳の0.42%に次いで高い値となり、またPPVも55-74歳 (6.5-7.2%) と遜色のない値まで高くなるため、効果的かつ効率的なCO値となりえる可能性が示唆された (図2)。

〔結 語〕

対策型検診としてFITが一律のCO値で実施された際、年齢階級別にみると有病率が上がるであろう加齢に伴い要精検率、がん発見率が高くなる一方で、75歳以上よりPPVが低下傾向にあった。75歳以上におけるPPVの低下、つまり要精検者に占めるがんの検出割合の低下の理由は精検受診率の影響が比較的少ないことから、高い要精検率に伴う偽陽性の増加に起因する可能性が示唆された。

FITは逐年による検診プログラムであることを踏まえると、75歳以上の受診者に対するFITのCO値のシミュレーション結果からは、75歳以上の受診者は74歳以下よりも比較的高いCO値の設定が不利益を低減しつつ効果的ながん検診に繋がる可能性が示唆された。

文 献

1. 厚生労働省. がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針. 平成20年3月31日付け健発第0331058号 厚生労働省健康局長通知別添. (平成28年2月4日

一部改正).

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000111662.pdf> [2024.1.4]

2. 島田剛延, 千葉隆士, 加藤勝章, 他. 大腸がん検診における適正な要精検率を、どのように考えどう対処すべきか. 日消がん検診誌2017; 55: 31-44.
3. 「がん検診のあり方について」(案) 令和4年12月 <https://www.mhlw.go.jp/content/10901000/001102889.pdf> [2024.1.4]
4. 藤田昌英. 大腸がん検診を始める前に知っておくべきことー免疫便潜血検査について. よくわかる大腸がん検診ガイドブック, メディカ出版, 大坂, 1998, 46-66.
5. Rutter CM, Johnson E, Miglioretti DL, Mandelson MT, Inadomi J, Buist DS. Adverse events after screening and follow-up colonoscopy. Cancer Causes Control. 2012; 23: 289-96.
6. 医療事故調査・支援センター (一般社団法人 日本医療安全調査機構) (2020). 医療事故の再発防止に向けた提言 第10号. 大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析. <https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/teigen-10.pdf>
7. IARC Hnadbooks of cancer prevention. colorectal cancer screening. volume17: 2019.

資 料

宮城県対がん協会の沿革概要

- 1958年度 (昭和33年度) ・創立－日本対ガン協会（8月1日発足）の提唱するガン征圧国民運動の趣旨に賛同し、日本対ガン協会宮城県支部・宮城県対がん協会を結成する。県衛生部予防課内に事務所を置く。（9. 1）
・財団設立の許可を受ける。黒川利雄博士初代会長に就任。宮城県から30万円を補助される（12. 15）
・ガンの登録制実施－東北大学医学部公衆衛生学教室、瀬木三雄教授の研究に協力して「ガンの登録制」を実施する。（1. 1）
- 1959年度 (昭和34年度) ・協会事務所を宮城県医師会館内に移転し専従職員3名を置く（12. 30）
・胃集団検診用X線装置完成。2月26日より角田市対策に試用。（X線検査1,730人、胃がん発見3人）
- 1960年度 (昭和35年度) ・黒川・西山式胃集団検診車“日立号”完成（7. 5）
・協会事務所を仙台市元寺小路160番地に移転（7. 10）
・“日立号”名取市対策に初出動。以後各町村及び事業所に普及（7. 11）
・ガン特別展を藤崎百貨店で開催（2. 24～28）
- 1961年度 (昭和36年度) ・東北大学山形内科、大柴三郎・上野恒太郎・富永忠彦・菊池隆三、各博士は胃カメラを初めて集団検診に導入（12. 18）
・婦集団検診開始－子宮がん（乳がん）の集団検診方式を設定し、南方村をモデル地区として実施（1. 17）
- 1962年度 (昭和37年度) ・胃集団検診車“きぼう号”完成（2. 1）
- 1963年度 (昭和38年度) ・保健文化賞受賞－保健衛生を実際に著しく向上させた団体として認められ第15回保健文化賞を受賞（9. 19）
・協会機関紙「ともしび」創刊号発行（8. 1）
・日本対ガン協会、宮城県対がん協会の創立5周年を記念し「第1回ガン対策推進全国大会」を仙台市電力ホールに於て開催（8. 5～6）
・七十七銀行の好意により、同行健保会館に事務所を移転（12. 27）
- 1964年度 (昭和39年度) ・真田松郎、事務局長に就任（4. 1）
・全国初の婦人科がん検診車“第一みずほ号”誕生（6. 30）
－この資金は、県農協婦人部が中心になり、農協中央会・同共済連・同信連・同経済連・同組合長からの拠出による。
・二階堂昇博士、診療所長に就任（10. 1）
・事務所に併設して診療所落成（10. 1）
・診療所落成披露式を行う（10. 26）
- 1965年度 (昭和40年度) ・東北大学山形内科、石岡国春博士ら直視下細胞組織診を集団検診に導入、以来早期がん発見数が飛躍的に向上（4. 1）
・第3回胃集団検診学会が仙台市で開催（学会長 山形徹一教授）（4. 28）
・東日本ガン対策連絡協議会を結成（9. 29）
- 1966年度 (昭和41年度) ・北川正伸博士、診療所長に就任（4. 1）
・日本自転車振興会補助による胃集団検診車“第2きぼう号”完成（6. 30）
・当協会胃集団検診センター建設期成会を設置（8. 29）
・宮城県より胃集団検診車“はぎ号”貸与される（11. 16）
・事務所及び診療所を仙台市北七番丁7番地に移転（12. 26）
- 1967年度 (昭和42年度) ・日本母性保護医協会宮城県支部と提携して、医療施設による子宮がん検診方式を開始（5. 20）
・検診センター建設に着工（9. 2）－比較的遅れている市街地及び近郊地域への検診拡大と、県下一円にわ

たる精密検査を迅速的確に処理するとともに、入院・治療を要する患者を適切に関係医療施設に誘導する機能を果たし、また、がん対策の調査研究資料の蒐集、頒布の役割りを果たす情報センターでもあり、さらに、がん対策に従事する人々のための研修・教養の施設として検診センター建設に着工。

- 河北文化賞受賞—集団検診によるがん征圧体制の確立に尽力した功績が認められ河北文化賞を受賞 (1. 17)
- 宮城県より婦人科検診車“しあわせ号”貸与される (2. 27)
- 厚生省からの医師研修の委託 (全国より 9 名) (11.~12.)
- 1968 年度 (昭和 43 年度) • 検診センター (一部 5 階建) が完成—総工費 1 億 4 千余万円の資金は、ガン征圧記念切手の配分金、日本自転車振興会、県、市町村補助金、財界、農林水産団体及び有志各位の絶大なるご厚志、ご援助による (6. 10)
- 「みやぎよろこびの会」の結成—集団検診によって疾患を発見され、手術を受けて満 5 年を経過し、健康で活躍している 132 名が集まり「みやぎよろこびの会」を結成した (9. 26)
- 協会創立 10 周年記念式典並びに記念講演会を電力ホールに於て開催「癌医療の現況」と題し、黒川利雄会長が、また「生命の愛惜」と題し、東京大学教授、中村元博士が記念講演を行った (9. 29)
- 第 1 回「日本対ガン協会賞」を西山正治医学博士と登米郡南方町が受賞。小田原市 (10. 31)
- 黒川利雄会長、文化勲章を受賞 (11. 3)
- 宮城県知事より多年衛生思想の普及と保健衛生の向上に尽力した功績により、当協会が衛生功労団体の表彰を受ける (11. 3)
- 胃集団検診 50 万人達成。多賀城町 (3. 8)
- 1969 年度 (昭和 44 年度) • 胃集団検診の撮影方法を 4 枚法より 6 枚法に変更 (4. 1)
- 宮城県より胃集団検診車“第二はぎ号”貸与される (4. 28)
- 1970 年度 (昭和 45 年度) • 婦人科検診の効率化を図るため検診方式を変更し、細胞の染色・診断を検診センターで行う (4. 1)
- 野田起一郎講師「日本対ガン協会賞」受賞。東京都 (9. 30)
- 九嶋勝司教授、野田起一郎講師は子宮がん集検の体制を確立、全国的普及に尽力し、子宮がん死亡を顕著に減少させた功績により「河北文化賞」を受賞 (1. 17)
- 1971 年度 (昭和 46 年度) • 保健所及び市町村の保健婦研修会を開催 (6. 8)
- 宮婦連「健康を守る母の会」の活動を支援し、同会幹部 120 名を集め、がんの正しい知識を中心に研修する。宮城町作並温泉、以後毎年継続開催 (7. 6)
- 伊澤平勝副会長「日本対ガン協会賞」受賞。札幌市 (9. 13)
- 宮城県より胃集団検診車“第 3 はぎ号”貸与される (10. 30)
- 日本自転車振興会の補助による胃集団検診車“第 3 きぼう号”完成 (12. 2)
- 1972 年度 (昭和 47 年度) • 「東日本ガン征圧大会」を仙台市で開催 (6. 2)
- 日本自転車振興会と宮城県の補助による胃集団検診車“きぼう TV 号”完成 (9. 18)
- 久道茂博士、検診センター所長に就任 (12. 1)
- 「みやぎよろこびの会」宮城県知事賞受賞 (12. 1)
- 1973 年度 (昭和 48 年度) • 各種がん検診診断委員会発足—間接読影委員会 (9 名)、内視鏡診断委員会 (14 名)、婦人科検診診断委員会 (10 名) (5. 1)
- 組織機構を改正し、副所長制をしき、野崎公男博士検診センター副所長に就任 (7. 1)
- 1974 年度 (昭和 49 年度) • 日本対ガン協会に集検委員会が発足し、運営部会長に真田松郎事務局長、胃技術部会副部会長に久道茂検診センター所長、婦人科技術部会長に野田起一郎理事が就任。
- 宮城県より胃集団検診車“第 5 はぎ号”貸与される (5. 2)
- 胃集団検診車“第 2 きぼう TV 号”完成 (5. 17)
- 河北新報社は「ともしびを求めて、がんとの闘い」の連載 (72 回) を行い、がんに関するあらゆる面の記

- 事を登載し、大きな反響をよんだ。またその後、単行本として販売された (1. 3~3. 30)
- ・乳がん対策委員会 (12 名)、肺がん対策委員会 (12 名) 発足 (2. 20)
- 1975 年度 (昭和50年度)
- ・東岩井久博士、検診センター副所長 (婦人科担当) に就任 (5. 1)
 - ・全国胃集検合同研究会設置される。会長に国立がんセンター市川平三郎博士が就任 (5. 1)
 - ・胃集団検診 100 万人達成。古川市 (7. 14)
 - ・婦集団検診 50 万人達成。南方町 (9. 17)
- 1976 年度 (昭和51年度)
- ・内視鏡検査の効率化を図るため、二次スクリーニングの胃カメラ検査をファイバースコープ検査に切り替えた (4. 1)
 - ・宮城県新生物レジストリー委員会 (18 名) を設置 (5. 1)
 - ・被曝線量を軽減するため、I. I 方式を採用 (5. 29)
 - ・郵政省の補助による胃集団検診車 “第 6 きぼう TV 号” 完成 (5. 29)
 - ・みやぎよろこびの会「東日本ガン対策連絡協議会長賞」受賞 (6. 10)
 - ・日本対ガン協会と共催により、ガン征圧全国大会及びガン対策推進合同研究会を仙台市民会館に於て開催 (9. 28~29)
 - ・山形徹一副会長「日本対ガン協会賞」受賞。仙台市 (9. 29)
- 1977 年度 (昭和52年度)
- ・乳がん診断委員会 (32 名) を設置した (4. 1)
 - ・乳がん住民検診として山元町で検診開始 (5. 19)
 - ・菅原伸之博士、検診センター副所長に就任 (6. 1)
 - ・乳精検用ゼロラディオグラフィー設置 (6. 9)
 - ・阿部哲男副会長「日本対ガン協会賞」受賞。名古屋市 (9. 14)
 - ・日本自転車振興会の補助による “第 7 きぼう TV 号” 完成 (11. 24)
 - ・「みやぎよろこびの会」結成 10 年を期し、会員の体験手記集「すばらしい今日」を発行 (12. 1)
 - ・宮城県より婦人科検診車 “しあわせ 2 号” を貸与される (3. 1)
 - ・肺がん施設検診として検診開始 (3. 24)
 - ・宮城県より胃集団検診車 “第 6 はぎ号” を貸与される (3. 26)
- 1978 年度 (昭和53年度)
- ・協会創立 20 周年記念式典並びに記念講演を行うとともに、展示会及びがんの無料相談を行った。県民会館 (9. 4)
 - ・宮婦連、健康を守る母の会 (会長・高橋はつみ常任理事)「日本対ガン協会賞」受賞。東京都 (9. 19)
 - ・黒川利雄会長、名誉会長に就任、山形徹一副会長、会長に就任 (12. 15)
- 1979 年度 (昭和54年度)
- ・松川金七副会長「日本対ガン協会賞」受賞。松山市 (9. 12)
 - ・日本自転車振興会の補助による乳がん精密検診車 “すみれ号” 完成。マンモグラフィー・超音波装置・自動現像機を搭載 (11. 28)
 - ・宮城県より胃集団検診車 “第 7 はぎ号” を貸与される (1. 29)
- 1980 年度 (昭和55年度)
- ・胃集団検診の撮影法を 6 枚法より 7 枚法に変更 (4. 1)
 - ・胃集団検診 150 万人達成。小牛田町 (4. 3)
 - ・新がん検診センターの建設に着工 (8. 4)
 - ・婦集団検診 100 万人達成 (8. 12)
 - ・河合宇三郎常任理事「日本対ガン協会賞」受賞。京都市 (9. 26)
 - ・桑原恒雄、事務局長に就任 (1. 1)

- 1981年度 (昭和56年度)
- ・組織機構を改正し、法人事務局・がん検診センター・細胞診センターの三制をしく (4. 1)
 - ・泌尿器科がん対策委員会 (9名)、同診断委員会 (18名) 発足 (7. 1)
 - ・新がん検診センターの開所式を行う (7. 7)
 - ・久道茂所長、東北大学医学部公衆衛生学教授に就任 (8. 1)
 - ・菅原伸之副所長、がん検診センター所長に、山家泰内視鏡部長、がん検診センター副所長に就任 (8. 1)
 - ・東岩井久検診センター副所長、がん検診センターに併設された細胞診センター所長に就任 (8. 1)
 - ・日本母性保護医協会宮城県支部 (支部長・斎藤一夫常任理事)「日本対ガン協会賞」受賞。千葉市 (9. 18)
 - ・津山町をモデル地域として、大腸がん検診を行った (9.)
 - ・日本自転車振興会の補助による胃集団検診車“第8きぼう号”完成 (10. 1)
 - ・津山町をモデル地域として、肺がん検診を行った (11. 13)
 - ・宮城県肺がん対策協議会として発足、宮城県の肺がん対策が全県組織で施行されることになった (2. 26)
 - ・東北地区放射線技術部会発足 (3. 26)
- 1982年度 (昭和57年度)
- ・宮城県肺がん対策協議会実施要綱に基づき、肺がん住民検診として中田町はじめ 15 町村のモデル地域で検診開始 (4. 5)
 - ・ガン征圧パネル展を仙台駅エスパルで開催 (9. 3~7)
 - ・九嶋勝司顧問「日本対ガン協会賞」受賞。富山市 (9. 10)
 - ・日本自転車振興会と宮城県の補助による胃集団検診車“第10きぼう号”完成 (11. 25)
 - ・老人保健法施行される (2. 1)
 - ・ガン閣僚会議設置 (3. 28)
- 1983年度 (昭和58年度)
- ・久道茂常任理事「第1回有賀記念学会賞」受賞 (5. 29)
 - ・対ガン10カ年総合戦略決定 (6. 7)
 - ・日本宝くじ協会の補助による胃がん検診車“きぼう11号”完成 (6. 23)
 - ・黒川利雄名誉会長、名誉都民に推挙 (9. 16)
 - ・山形徹一会長、石巻市民功労者に推挙 (9. 27)
 - ・第6回アアジア・太平洋癌会議 会長・山形徹一) を開催。ホテル仙台プラザ (9. 27~30)
 - ・ガン征圧全国大会開催。宮城県民会館 (9. 27)
 - ・「全国よろこびの会」設立総会
 - ・「みやぎよろこびの会」結成15年式典
- } 仙台市レジャーセンター (9. 28)
- ・日本自転車振興会の補助による胃集団検診車“きぼう12号”完成 (11. 28)
 - ・胃がん検診200万人達成。岩沼市 (1. 17)
- 1984年度 (昭和59年度)
- ・乳がん検診10万人達成 (4. 18)
 - ・胃がん検診車、海を渡って出島へ。離島の人々にとって初めての胃の検診が行われた (5. 11)
 - ・大腸がん診断委員会 (16名) 発足 (7. 4)
 - ・肝・胆・膵疾患診断委員会 (23名) 発足 (7. 4)
 - ・ガン征圧パネル展を仙台駅エスパルで開催 (8. 30~9. 3)
 - ・「みやぎよろこびの会」会員の体験手記集「すばらしい明日」を発行 (9. 11)
 - ・二階堂昇常任理事「日本対ガン協会賞」受賞。熊本市 (9. 28)
 - ・老健法 (国庫・県) の補助事業による胃がん検診車“きぼう13号”完成 (11. 19)
- 1985年度 (昭和60年度)
- ・ガン征圧パネル展を三越仙台支店で開催 (9. 25~29)
 - ・日本自転車振興会の補助により、胃がん検診車“きぼう15号”完成 (11. 11)
 - ・日立製作所は創立75周年を記念して、日本対ガン協会に20億円を寄贈し、各県にがん検診車を配置され、当協会には、胃がん検診車“きぼう16号”を貸与された (11. 11)

- ・大腸がん対策委員会（9名）発足（2. 24）
- ・老健法（国庫・県）の補助事業による胃がん検診車“きぼう17号”完成（3. 13）
- ・肝・胆・膵疾患対策委員会（14名）発足（3. 18）
- 1986年度
(昭和61年度)
 - ・院内 胃がん登録電算システムの運用（4. 1）
 - ・ガン征圧パネル展を三越仙台支店で開催（9. 2～7）
 - ・老健法（国庫・県）の補助事業による子宮がん検診車“しあわせ3号”完成（9. 5）
 - ・真田松郎常任理事「日本対ガン協会賞」受賞。島根県（9. 12）
 - ・日本自転車振興会の補助により胃がん検診車“きぼう18号”完成（9. 15）
 - ・健康・体力づくり県民のひろば「健康・栄養展」を三越仙台支店で開催（10. 14～19）
 - ・千葉祐，事務局長に就任（1. 1）
 - ・後藤由夫常任理事「河北文化賞」受賞（1. 17）
 - ・老健法（国庫・県）の補助事業による胃がん検診車“きぼう20号”完成（3. 2）
- 1987年度
(昭和62年度)
 - ・子宮がん検診200万人達成（6. 16）
 - ・日本船舶振興会と宮城県の補助によるX線テレビ装置を整備（6. 30）
 - ・日本自転車振興会補助による胃がん検診車“きぼう21号”完成（8. 26）
 - ・「喫煙と健康を考える青空対話集会」が仙台市台原森林公園で開催された（9. 27）
 - ・乳がん検診20万人達成（9. 30）
 - ・健康・体力づくり県民のひろば「はつらつ健康展」を三越仙台支店で開催（10. 14～18）
 - ・第3回市町村退職保健婦研修会を開催（11. 4～5）
 - ・沖津貞夫副会長，会長代理として就任（1. 1）
 - ・佐藤寿雄常任理事「河北文化賞」受賞（1. 18）
 - ・黒川利雄名誉会長逝去（2. 21）
 - ・故黒川利雄名誉会長追悼式。川内記念講堂（3. 19）
 - ・創立30周年記念事業として宮城県補助によるがん予防健康教育車“けやき号”完成（3. 13）
 - ・老健法（国庫・県）の補助事業による胃がん検診車“きぼう22号”完成（3. 28）
- 1988年度
(昭和63年度)
 - ・胃がん検診電算システム（IBM汎用コンピューター）稼働（4. 1）
 - ・世界禁煙デーに県下全域にわたり禁煙と健康を考える街頭キャンペーンを実施した（4. 7）
 - ・第27回日本消化器集団検診学会（学会長・久道茂教授）の後援（5. 13～15）
 - ・禁煙マラソン運動を展開（6.）
 - ・宮城県対がん協会30年史「いのち尊し」編纂刊行2,000部（9. 1）
 - ・協会創立30周年記念式典（9. 1）
 - ・「がん集団検診発祥の地の碑」建立除幕式（9. 1）
 - ・「みやぎの対がん活動30年のあゆみ」をテーマに宮城県がん征圧パネル展を開催（9. 2～7）
 - ・健康・体力づくりの県民のひろば「いきいきファミリー健康展」に参加（11. 25～28）
 - ・がん検診センターの3階増築着工（12. 2）
 - ・山形徹一会長，名誉会長に就任，齊藤達雄副会長，会長に就任（12. 15）
 - ・老健法（国庫・県）の補助事業による胃がん検診車“きぼう23号”完成（12. 19）
 - ・日本自転車振興会補助による乳がん精密検診車“すみれ2号”完成（12. 22）
- 1989年度
(昭和64年度)
(平成元年度)
 - ・菅原伸之がん検診センター所長「第7回有賀記念学会賞」受賞（4. 27）
 - ・がん検診センター増築落成（4. 30）
 - ・「黒川利雄がん研究基金」創設（6. 27）
 - ・日本船舶振興会の補助によるX線テレビ装置を整備（6. 30）

- ・日本自転車振興会の補助による胃がん検診車“きぼう25号”完成(9. 7)
- ・塩釜医師会「日本対ガン協会賞」受賞。鹿児島市(10. 12)
- ・東日本ガン対策連絡協議会解散式。仙台市(11. 16)
- ・胃がん検診300万人達成(11. 17)
- ・老健法(国庫・県)の補助事業による胃がん検診車“きぼう26号”完成(1. 31)
- 1990年度(平成2年度)
 - ・宮城県農村健康管理センター開所。がん検診センター1階に事務所を置く(4. 2)
 - ・北川正伸常任理事「日本対ガン協会賞」受賞。札幌市(9. 13)
 - ・第1回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(9. 29)
 - ・日本自転車振興会の補助による胃がん検診車“きぼう27号”完成(10. 11)
 - ・老健法(国庫・県)の補助事業による胃がん検診車“きぼう28号”完成(1. 9)
- 1991年度(平成3年度)
 - ・第2回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 7)
 - ・黒川利雄先生胸像除幕式、並びに「黒川利雄記念室」開設(9. 27)
 - ・老健法(国庫・県)の補助事業による胃がん検診車“きぼう30号”完成(12. 27)
- 1992年度(平成4年度)
 - ・第3回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 18)
 - ・日本船舶振興会と宮城県の補助によるX線テレビ装置を整備(6. 30)
 - ・子宮がん検診300万人達成(8. 20)
 - ・元宮城県対がん協会次長藤島キシ氏「日本対ガン協会賞」受賞。水戸市(9. 18)
 - ・野田起一郎常任理事、子宮頸がん集検方法の確立に関する研究で「保健文化賞」受賞(9. 24)
 - ・日本自転車振興会と宮城県の補助による胃がん検診車“きぼう31号”完成(10. 8)
 - ・曾根悦夫、事務局長に就任(12. 1)
 - ・池田卓博士、がん検診センター所長に就任(1. 1)
 - ・老健法(国庫・県)の補助事業による胃がん検診車“きぼう32号”完成(3. 2)
 - ・老健法(国庫・仙台市)の補助事業による胃がん検診車“きぼう33号”完成(3. 9)
- 1993年度(平成5年度)
 - ・第4回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 17)
 - ・日本自転車振興会と宮城県の補助による胃がん検診車“きぼう35号”完成(8. 27)
 - ・日本癌学会「市民公開講座」共催(10. 8)
 - ・地域がん登録全国協議会第2回総会研究会(10. 8)
 - ・健康づくり県民のひろば「高齢化社会を豊かに生きるために」に参加(11. 7)
 - ・乳がん検診50万人達成(1. 27)
 - ・老健法(国庫・県)の補助事業による胃がん検診車“きぼう36号”完成(2. 1)
- 1994年度(平成6年度)
 - ・第5回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 17)
 - ・日本自転車振興会と宮城県の補助による乳房X線撮影装置を整備(7. 20)
 - ・胃がん検診400万人達成(9. 7)
 - ・沖津貞夫顧問(前副会長)「日本対ガン協会賞」受賞。花巻市(9. 30)
 - ・郵政省(お年玉年賀ハガキ)と宮城県の補助による胃がん検診車“きぼう37号”完成(11. 11)
 - ・老健法(国庫・県)の補助事業による胃がん検診車“きぼう38号”完成(1. 27)
 - ・老健法(国庫・仙台市)の補助事業による胃がん検診車“きぼう40号”完成(3. 29)
- 1995年度(平成7年度)
 - ・佐藤信二博士、細胞診センター所長(兼がん検診センター副所長)に就任(4. 1)
 - ・深尾彰研究局長「第13回有賀記念学会賞」受賞(4. 20)
 - ・全国よろこびの会総会(松島町で開催)の後援(6. 8)
 - ・第6回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 15)
 - ・第33回日本消化器集団検診学会秋季大会(学会長・望月福治理事)の後援(10. 27~28)

- ・老健法（国庫・県）の補助事業による胃がん検診車“きぼう41号”完成（3. 5）
- ・大柴三郎常任理事，会長に就任（3. 21）
- 1996年度（平成8年度）
 - ・植竹恒夫，事務局長に就任（4. 1）
 - ・第7回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 20）
 - ・斉藤達雄会長，名誉会長に就任（6. 25）
 - ・宮城県の補助によるX線テレビ装置を整備（7. 31）
 - ・斉藤達雄名誉会長「日本対ガン協会賞」受賞。佐賀市（9. 13）
 - ・日本自転車振興会と宮城県の補助による胃がん検診車“きぼう43号”完成（10. 30）
- 1997年度（平成9年度）
 - ・第8回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 20）
 - ・老健法（国庫・仙台市）の補助事業による胃がん検診車“きぼう45号”完成（3. 4）
 - ・宮城県の補助によるX線テレビ装置（DRシステム）を整備（3. 25）
 - ・厚生省が「がん検診の有効性評価に関する研究班」の報告書発刊（3.）
- 1998年度（平成10年度）
 - ・がん検診が“老人保健法”から除外（一般財源化として措置）（4. 1）
 - ・第9回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 22）
 - ・日本財団と宮城県の補助によるX線撮影装置DRシステムを整備（6. 29）
 - ・宮城県の補助による子宮がん検診車“しあわせ号”完成（8. 25）
 - ・山形敵一名誉会長逝去（9. 14）
 - ・みやぎよろこびの会「日本対ガン協会賞」受賞。広島市（9. 17）
 - ・「みやぎよろこびの会」結成30周年記念大会を開催（9. 18）
 - ・宮城県の補助による胃がん検診車“きぼう46号”完成（11. 6）
 - ・「みやぎよろこびの会」会員の体験手記集「すばらしい明日」を発刊（3. 1）
- 1999年度（平成11年度）
 - ・渋谷大助博士，がん検診センター所長に就任（4. 1）
 - ・乳がん検診（50歳から69歳）にマンモグラフィ併用検診を導入（4. 1）
 - ・第10回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 24）
 - ・胃がん検診500万人達成（7. 2）
 - ・宮城県税事務所跡地を借用し，“日の出分室”竣工，検診部門移転（8. 9）
 - ・郵政省（お年玉年賀ハガキ）の補助による乳がん検診車“すみれ3号”完成（8. 26）
 - ・宮城県の補助による胃間接X線装置を整備（9. 28）
- 2000年度（平成12年度）
 - ・第11回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 21）
 - ・宮城県対がん協会事務局をがん検診センターに併設し移転（7. 5）
 - ・旧事務局跡地を受診者用駐車場として整備（9. 1）
 - ・伊藤潔博士，細胞診センター所長（兼がん検診センター副所長）に就任（2. 1）
- 2001年度（平成13年度）
 - ・前立腺がん対策診断委員会（18名）を発足（4. 1）
 - ・第12回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 21）
 - ・前立腺がん検診を色麻町で実施（7.）
 - ・がん征圧パネル展を宮城県庁2Fロビー（9. 7～21），若林区役所1Fロビー（9. 10～14）で開催
 - ・大内憲明常任理事，がん征圧全国大会にて「第1回朝日がん大賞」受賞。長崎市（9. 14）
 - ・「がん検診センター健康まつり」開催（9. 29）
 - ・日本宝くじ協会の補助による胃がん検診車“きぼう47号”完成（10. 20）
 - ・宮城県の補助による胃がん検診車“きぼう48号”完成（11. 22）
- 2002年度（平成14年度）
 - ・島田剛延消化器担当科長，理事・がん検診センター副所長に就任（4. 1）
 - ・鈴木務，事務局長に就任（4. 1）

- ・乳がん検診（40歳から49歳）にマンモグラフィ併用検診を導入（4. 1）
- ・第20回全国よろこびの会記念大会開催。東京都（6. 13）
- ・第13回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 24）
- ・胃がん発見1万例達成（8.）
- ・日本自転車振興会の補助による胃がん検診車“きぼう1号”を、(財)日本対がん協会から無償貸与（11. 21）
- ・乳がん検診100万人達成（11. 26）
- 2003年度
(平成15年度)
 - ・第14回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 24）
 - ・東岩井久常任理事（元細胞診センター所長）「日本対がん協会賞」受賞。静岡市（9. 17）
 - ・宮城県より土地を購入“宮城野分室”竣工，検診部門移転（2. 26）
 - ・胃がん検診車“きぼう2号”を購入（3. 31）
- 2004年度
(平成16年度)
 - ・渋谷大助がん検診センター所長「第3回学術奨励賞」を受賞（5. 20）
 - ・第15回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 22）
 - ・地域がん登録全国協議会第13回総会研究会。宮城県庁（9. 2）
 - ・日本対がん協会「21世紀初頭特別事業」によるデジタルマンモグラフィ装置搭載乳がん検診車“すみれ5号”完成（12. 24）
 - ・第1回マンモグラフィ読影講習会を開催（1. 8～9）
- 2005年度
(平成17年度)
 - ・子宮がん検診500万人達成（5. 31）
 - ・第16回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 21）
 - ・国庫補助（マンモグラフィ緊急整備事業費）によるデジタルマンモグラフィ装置搭載乳がん検診車“すみれ6号”完成（2. 14）
- 2006年度
(平成18年度)
 - ・第2回マンモグラフィ読影講習会を開催（5. 13～14）
 - ・デジタル胃検診車“きぼう3号・白鳥記念号”完成（5. 29）
 - ・渋谷大助がん検診センター所長「第24回有賀記念学会賞」を受賞（6. 1）
 - ・島田剛延がん検診センター副所長「第5回学術奨励賞」を受賞（6. 1）
 - ・全国よろこびの会総会（仙台市秋保温泉で開催）の後援（6. 8）
 - ・第17回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 20）
 - ・創立50周年記念事業実行委員会を発足（1. 1）
 - ・第3回マンモグラフィ読影講習会を開催（1. 20～21）
 - ・加藤秀則，事務局長に就任（3. 1）
- 2007年度
(平成19年度)
 - ・大柴三郎会長，名誉会長に就任，久道茂博士，会長に就任（4. 1）
 - ・がん対策基本法が施行（4. 1）
 - ・島田剛延がん検診センター副所長「第25回有賀記念学会賞」を受賞（6. 1）
 - ・第18回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 19）
 - ・超音波装置搭載乳がん検診車“ほほえみ1号”完成（10. 1）
 - ・第1回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催（12. 22）
 - ・第4回マンモグラフィ読影講習会を開催（12. 23～24）
 - ・宮城県が「宮城県がん対策推進計画」を策定（3.）
- 2008年度
(平成20年度)
 - ・渋谷大助がん検診センター所長，厚生労働科学研究費補助金によるがん臨床研究事業研究代表者に就任（4. 1）
 - ・加藤勝章がん検診センター消化器担当科長「第7回学術奨励賞」を受賞（5. 30）
 - ・第19回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 24）
 - ・宮城県対がん協会創立50周年記念式典を開催。ホテル仙台プラザ（9. 11）
 - ・がん征圧全国大会を宮城県にて開催。仙台サンプラザ（9. 12）

- ・大柴三郎名誉会長「日本対がん協会賞」受賞。仙台市（9. 12）
 - ・第1回「がん検診一番町啓発行進」を実施（9. 28）
 - ・第5回マンモグラフィ読影講習会を開催（11. 22～23）
 - ・第2回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催（11. 24）
 - ・宮城県対がん協会創立50周年記念誌「がんと闘って」編纂刊行1,700部（12. 12）
- 2009年度
(平成21年度)
- ・第20回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 23）
 - ・国による女性特有のがん検診推進事業実施。子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の配布（6.）
 - ・第2回「がん検診一番町啓発行進」を実施（9. 6）
 - ・第1回マンモグラフィソフトコピー診断講習会を開催（9. 6）
 - ・平成21年度日本対がん協会東北・北海道ブロック会議を開催。ホテル仙台プラザ（10. 23）
 - ・第3回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催（11. 21）
 - ・第6回マンモグラフィ読影講習会を開催（11. 22～23）
 - ・JKAの補助による胃がん検診車“きぼう6号”完成（2. 1）
- 2010年度
(平成22年度)
- ・宮城県がん在宅療養支援センターを設置（4. 1）
 - ・第21回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 24）
 - ・第3回「一番町啓発行進」を実施（9. 5）
 - ・日本対がん協会が公益法人化（10. 1）
 - ・渋谷大助がん検診センター所長，厚生労働科学研究（がん臨床研究）推進事業がん医療従事者等研修会を開催（10. 8）
 - ・第2回マンモグラフィソフトコピー診断講習会を開催（10. 31）
 - ・第4回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催（11. 27）
 - ・第7回マンモグラフィ読影講習会を開催（11. 27～28）
 - ・東日本大震災に伴い，大崎市と名取市において健康状態確認等の支援活動を実施（3. 23～4. 28）
 - ・東日本大震災に伴い，医薬品の運搬支援活動を実施（3. 26～5. 12）
- 2011年度
(平成23年度)
- ・国による大腸がん検診の無料クーポン券の配布（4. 1）
 - ・乳がん検診における視触診廃止（4. 1）
 - ・50周年記念募金による胃がん検診車“きぼう7号”完成（5. 10）
 - ・第22回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 23）
 - ・第4回「一番町啓発行進」を実施（9. 4）
 - ・東日本大震災に伴い，県からの委託で民間賃貸住宅入居者健康調査の実施（1. 24～3. 30）
- 2012年度
(平成24年度)
- ・公益法人制度改革関連法案の施行に伴い，新に「公益財団法人宮城県対がん協会」として発足（4. 1）
 - ・田勢亨博士，細胞診センター所長（兼がん検診センター副所長）に就任（4. 1）
 - ・フラットパネル搭載乳がん検診車“すみれ7号”完成（6. 7）
 - ・第23回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式（6. 11）
 - ・第5回「一番町啓発行進」を実施（9. 2）
 - ・菅原伸之元がん検診センター所長「日本対がん協会賞」を受賞。高松市（9. 14）
 - ・斉藤達雄名誉会長逝去（11. 4）
 - ・第8回マンモグラフィ読影講習会を開催（11. 23～24）
 - ・第5回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催（11. 25）
 - ・東日本大震災に伴い県からの委託で民間賃貸住宅入居者健康調査の実施（1. 24～3. 22）
 - ・大柴三郎名誉会長逝去（3. 21）

- 2013年度
(平成25年度)
- ・胃がん検診車“きぼう8号”完成(5. 3)
 - ・第52回日本消化器がん検診学会総会を仙台市で開催(学会長 渋谷大助がん検診センター所長)(6. 7~8)
 - ・第24回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 11)
 - ・第6回「一番町啓発行進」を実施(9. 1)
 - ・第9回マンモグラフィ読影講習会を開催(11. 23~24)
 - ・第6回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(11. 23)
 - ・日本財団の補助による胃がん検診車“きぼう11号”完成(11. 28)
- 2014年度
(平成26年度)
- ・がん検診センターにヘリカルCT装置を設置(4. 1)
 - ・液状化検体細胞診検査導入(4. 1)
 - ・加藤勝章消化器担当科長「第32回有賀記念学会賞」を受賞(6. 1)
 - ・第25回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 12)
 - ・全国よろこびの会総会(松島町ホテル一の坊)の後援(6. 19)
 - ・加藤勝章消化器担当科長, がん検診センター副所長に就任(消化器担当科長兼務)(7. 1)
 - ・第7回「一番町啓発行進」を実施(9. 7)
 - ・第3回マンモグラフィソフトコピー診断講習会を開催(9. 27~28)
 - ・胃がん検診800万人達成(10. 9)
 - ・がん検診センター健康まつりを開催(11. 8)
 - ・第10回マンモグラフィ読影講習会を開催(11. 22~23)
 - ・第7回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(11. 24)
 - ・東日本大震災に伴い県からの委託で民間賃貸住宅等入居者健康調査の実施(12. 3~2. 28)
 - ・JKAの補助による胃がん検診車“きぼう12号”完成(12. 25)
- 2015年度
(平成27年度)
- ・日本財団の補助による子宮がん検診車“しあわせ号”完成(4. 2)
 - ・第26回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 9)
 - ・第8回「一番町啓発行進」を実施(9. 6)
 - ・平成27年度日本対がん協会東北・北海道ブロック会議を開催。ホテルモンテレ仙台(10. 16)
 - ・日本財団の補助による胃がん検診車“きぼう13号”完成(1. 18)
- 2016年度
(平成28年度)
- ・深尾彰博士, 研究局長に就任(4. 1)
 - ・第27回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 6)
 - ・第9回「一番町啓発行進」を実施(9. 4)
 - ・第11回マンモグラフィ読影講習会を開催(9. 24~25)
 - ・第8回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(9. 24)
 - ・全国よろこびの会総会(栗原市栗駒 ハイルザーム栗駒)の後援(10. 20)
 - ・深尾彰研究局長, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」の研究開発代表者に就任(12. 12)
 - ・第1・2回がん検診従事者検診事業研修会の実施(12. 20)(2. 18)
 - ・第1回センター設立準備委員会を開催(12. 21)
 - ・日本財団の補助による胃がん検診車“きぼう15号”完成(3. 14)
 - ・宮城県がん総合支援センター「5年のあゆみ~がん患者さんに寄りそって~」を発刊(3. 31)
- 2017年度
(平成29年度)
- ・第28回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 6)
 - ・久道茂会長「山上の光賞」を受賞(6. 8)
 - ・全国よろこびの会総会(群馬県 伊香保温泉)の後援(6. 15~16)
 - ・阿部洋, 事務局長に就任(7. 1)

- ・第10回「一番町啓発行進」を実施(9. 3)
 - ・久道茂会長「朝日がん大賞」を受賞(9. 8)
 - ・第12回マンモグラフィ読影講習会を開催(9. 15~16)
 - ・第9回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(9. 17)
 - ・第1・2回がん検診従事者検診事業研修会の実施(12. 19)(3. 17)
 - ・日本財団の補助による胃がん検診車“きぼう16号”完成(3. 27)
- 2018年度
(平成30年度)
- ・島田剛延理事・がん検診センター副所長逝去(5. 25)
 - ・第29回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 6)
 - ・全国よろこびの会総会(山形県 天童温泉)の後援(6. 21~22)
 - ・加藤勝章がん検診センター副所長, 理事に就任(7. 1)
 - ・みやぎよろこびの会が解散(8. 1)
 - ・第11回「一番町啓発行進」を実施(9. 2)
 - ・第13回マンモグラフィ読影講習会を開催(9. 15~16)
 - ・第10回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(9. 17)
 - ・「がん検診センター健康まつり」を開催(10. 6)
 - ・久道茂会長, 涌谷町名誉町民推戴(10. 23)
 - ・久道茂会長「第68回 河北文化賞」受賞(1. 2)
 - ・JKAの補助による乳がん検診車“すみれ8号”完成(3. 28)
 - ・全国よろこびの会が解散(3. 31)
- 2019年度
(平成31年度)
(令和元年度)
- ・第30回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 4)
 - ・仙台市胃がん検診胃内視鏡検査開始(6. 17)
 - ・第12回「一番町啓発行進」を実施(9. 1)
 - ・元宮城県対がん協会副会長 矢嶋聰先生「日本対がん協会賞」受賞。松山市(9. 13)
 - ・第14回マンモグラフィ読影講習会を開催(9. 14~15)
 - ・第11回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(9. 16)
 - ・「がん検診センター健康まつり」を開催(11. 2)
 - ・胃がん検診車“きぼう17号”完成(3. 17)
- 2020年度
(令和2年度)
- ・浅沼清孝博士, がん検診センター副所長に就任(4. 1)
 - ・第31回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 2)
 - ・久道茂会長, 名誉会長に就任, 下瀬川徹みやぎ県南中核病院企業団企業長, 会長に就任(7. 1)
 - ・加藤勝章がん検診センター副所長, がん検診センター所長に就任(7. 1)
 - ・久道茂名誉会長逝去(10. 24)
 - ・加藤勝章がん検診センター所長「第36回仙台市医師会学術奨励賞」を受賞(1. 27)
- 2021年度
(令和3年度)
- ・伊藤潔教授, 細胞診センター所長に就任(4. 1)
 - ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため, ワクチン接種事業を実施(4. 22)
 - ・第32回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 8)
 - ・前がん検診センター所長, 渋谷大助博士が「日本対がん協会賞」受賞(9. 8)
- 2022年度
(令和4年度)
- ・第33回「黒川利雄がん研究基金」研究助成金贈呈式(6. 7)
 - ・乳がん検診200万人達成(6. 15)
 - ・第15回マンモグラフィ読影講習会を開催(9. 23~24)
 - ・第12回マンモグラフィ読影医師更新講習会を開催(9. 23~24)
 - ・新がん検診センター増築工事起工式(11. 1)
 - ・肝胆膵疾患対策・診断委員会を27年振りに開催(12. 1, 3. 14)

役員等名簿

2024年1月1日現在

【理事・監事・評議員】

| 氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 |
|---------------|--------------------------------|------------|-----------------------------|
| 会長理事 | | 監事 | |
| 下瀬川 徹 | みやぎ県南中核病院企業団企業長 | 三島 卓郎 | 三島法律事務所弁護士 |
| 副会長理事 | | 今野 薫 | 仙台商工会議所専務理事 |
| 鎌田 宏 | 株式会社七十七銀行相談役 | 黒田 隆士 | 株式会社七十七銀行常務取締役 |
| 佐藤 和宏 | 公益社団法人宮城県医師会長 | 評議員 | |
| 正宗 淳 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野教授 | 安藤 健二郎 | 一般社団法人仙台市医師会長 |
| 八重樫 伸生 | 仙台赤十字病院院長統括補佐 | 石井 幹子 | 公益社団法人宮城県看護協会会長 |
| 理事 | | 一力 敦彦 | 東北放送株式会社代表取締役社長 |
| 志賀 慎治 | 宮城県保健福祉部長 | 一力 雅彦 | 株式会社河北新報社代表取締役社長 |
| 氏家 照彦 | 株式会社七十七銀行取締役会長 | 海野 倫明 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野教授 |
| 石田 孝宣 | 東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野教授 | 鈴木 玲子 | 宮城県地域婦人団体連絡協議会長 |
| 大沼 裕之 | 株式会社宮城テレビ放送 取締役会長 | 岡田 克典 | 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野教授 |
| 藤ノ木 正哉 | 株式会社東日本放送 代表取締役社長 | 小澤 信義 | 宮城県産婦人科医会監事 |
| 伊藤 潔 | 公益財団法人宮城県対がん協会 細胞診センター所長 | 山本 俊二 | 仙台商工会議所副会頭 |
| 業務執行理事 | | 谷川原 真吾 | 宮城県産婦人科医会長 |
| 加藤 勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター所長 | 實澤 篤 | 東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野教授 |
| 阿部 洋 | 公益財団法人宮城県対がん協会 事務局長 | | |

【顧問】

| 氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 |
|-------------|--------------------------------|-------|----------------------------------|
| 学術顧問 | | 山田 秀和 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター総長 |
| 笹野 公伸 | 東北大学名誉教授・東北大学大学院 医学系研究科客員教授 | 奥田 光崇 | 仙台市病院事業管理者 |
| 伊藤 明宏 | 東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野教授 | 畑 正樹 | 仙台厚生病院診療管理者 |
| 橋本 省 | 公益社団法人宮城県医師会副会長 | 福原 賢治 | 塩釜市立病院事業管理者兼院長 |
| 土屋 誉 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院長 | 石橋 悟 | 石巻赤十字病院長 |
| 江面 正幸 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター院長 | 大内 憲明 | 東北大学名誉教授・東北大学大学院 医学系研究科客員教授 |
| 新倉 仁 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター副院長 | 横田 憲一 | 気仙沼市病院事業管理者 兼気仙沼市立病院長 |
| 舟山 裕士 | 仙台赤十字病院長 | 平本 哲也 | 栗原市病院事業管理者 |
| 井樋 栄二 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院長 | 椎葉 健一 | 石巻市病院局石巻市立病院長 |
| 佐藤 賢一 | 東北医科薬科大学病院長 | 並木 健二 | 大崎市民病院事業管理者 |

| 氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 |
|-------------|--------------------------------|-------|-----------------|
| 宮崎 修吉 | みやぎ県南中核病院長 | 平井 完史 | 一般社団法人柴田郡医師会長 |
| 東岩井 久 | 医療法人社団 村口きよ女性クリニック顧問 | 高山 敦 | 一般社団法人角田市医師会長 |
| 小池 智幸 | 東北大学病院消化器内科准教授 | 板橋 敏之 | 一般社団法人亶理郡医師会長 |
| 木内 喜孝 | 東北大学高度教養教育 ・学生支援機構臨床医学開発室教授 | 丹野 尚昭 | 一般社団法人名取市医師会長 |
| 運営顧問 | | 板橋 俊隆 | 一般社団法人岩沼市医師会長 |
| 鈴木 隆 | 株式会社仙台銀行代表取締役頭取 | 新海 準二 | 一般社団法人黒川医師会長 |
| 福原 一宏 | 株式会社仙台放送専務取締役 | 鈴木 啓之 | 一般社団法人加美郡医師会長 |
| 佐野 和夫 | 宮城県農業協同組合中央会 代表理事会長 | 赤石 隆 | 公益社団法人宮城県塩釜医師会長 |
| 澁谷 涼子 | J Aみやぎ女性組織協議会長 | 鎌田 修二 | 一般社団法人大崎市医師会長 |
| 寺沢 春彦 | 宮城県漁業協同組合代表理事組長 | 鎌田 啓 | 一般社団法人遠田郡医師会長 |
| 佐藤 律子 | 宮城県食生活改善推進員協議会長 | 石垣 英彦 | 一般社団法人桃生郡医師会長 |
| 我妻 洋子 | 宮城県地域婦人団体 連絡協議会副会長 | 千葉 淑朗 | 一般社団法人石巻市医師会長 |
| 齋 清志 | 宮城県町村会長 | 八嶋 徳吉 | 一般社団法人登米市医師会長 |
| 加藤 邦治 | 仙台市健康福祉局長 | 森田 潔 | 一般社団法人気仙沼市医師会長 |
| 小松 和久 | 一般社団法人白石市医師会長 | 宮城島 堅 | 一般社団法人栗原市医師会長 |

黒川利雄がん研究基金運営委員会委員

2024年1月1日現在

| 氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 |
|-------------|-----------------------------|--------|--------------------------------|
| 委員長 | | 岡田 克典 | 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野教授 |
| 正宗 淳 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野教授 | 寶澤 篤 | 東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野教授 |
| 副委員長 | | 八重樫 伸生 | 仙台赤十字病院院長統括補佐 |
| 橋本 省 | 公益社団法人宮城県医師会副会長 | 石田 孝宣 | 東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野教授 |
| 委員 | | 加藤 勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター所長 |
| 鈴木 陽 | 保健医療監兼大崎保健所長 | 伊藤 潔 | 公益財団法人宮城県対がん協会 細胞診センター所長 |

各種検診対策委員会並びに診断委員会名簿

2024年1月1日現在

胃がん対策委員会委員

委員長 正宗 淳 (五十音順)

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|-------|----------------------------|-------|---------------------------|
| 浅野 直喜 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 | 正宗 淳 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 |
| 加藤 勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 増田 高行 | 古川クリニック |
| 小池 智幸 | 東北大学消化器内科 | | |

胃集検診断委員会委員

委員長 小池 智幸 (五十音順)

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|--------|--------------------------------|--------|----------------------------|
| 相田 重光 | 相田内科医院 | 大矢内 幹 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 |
| 浅沼 清孝 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 尾形 洋平 | 東北大学消化器内科 |
| 浅野 直喜 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 | 奥口 文宣 | 奥口内科クリニック |
| 阿曾 沼 祥 | みやぎ県南中核病院 | 小野 義高 | 東北大学消化器内科 |
| 熱海 智章 | 熱海病院 | 加藤 勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター |
| 阿部 慎哉 | 阿部内視鏡内科 | 加宅田 公子 | 東北大学消化器内科 |
| 阿部 寛子 | 東北大学消化器内科 | 川名 さやか | 東北医科薬科大学若林病院 健診センター |
| 阿見 麗子 | 東北公済病院 | 川村 昌司 | 仙台市立病院 |
| 荒 誠之 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター | 菅野 武 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 |
| 有川 正志 | 江川クリニック | 菊地 徹 | 菊地胃腸科内科医院 |
| 石田 一彦 | 石田医院 | 菊池 弘樹 | J R 仙台病院 |
| 伊藤 博敬 | 大崎市民病院 | 菊地 亮介 | J R 仙台病院 |
| 猪股 芳文 | いのまた胃と腸・内科クリニック | 北川 正基 | 胃腸科内科北川医院 |
| 今谷 晃 | 東北大学大学院医学系研究科 成人看護学分野 | 北川 靖 | 白根胃腸クリニック |
| 今村 茂 | 泉内科消化器科 | 金 笑 奕 | 東北大学消化器内科 |
| 岩井 涉 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 金原 孝行 | きんばらクリニック |
| 内山 志保 | J R 仙台病院 | 草野 啓介 | 東北大学消化器内科 |
| 宇野 要 | 東北大学消化器内科 | 久保田 祐司 | ひかりクリニック |
| 枝 幸基 | あすと長町えだクリニック | 小池 智幸 | 東北大学消化器内科 |
| 遠藤 博之 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 | 金 俊 夫 | こがね医院 |
| 大方 英樹 | 内科・胃腸科小田原クリニック | 小西 秀知 | 森さい生医院 |
| 大原 秀一 | 仙台胃腸クリニック | 小林 剛 | 佐竹医院 |

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|--------|--------------------------------|--------|---------------------------|
| 近藤 穰 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 | 中野 絵里子 | 仙台赤十字病院 |
| 今野 豊 | 今野医院 | 永沼 昭太郎 | ながぬま内科胃腸科クリニック |
| 齋藤 晃弘 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 | 長野 正裕 | 長野内科胃腸科 |
| 齋藤 方志 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 野口 謙治 | おろしまちクリニック 内科・内視鏡内科 |
| 齊藤 真弘 | 東北大学消化器内科 | 野口 哲也 | 荒井駅前のごち内科クリニック |
| 佐々木 浩 | 一迫内科クリニック | 八田 和久 | 東北大学消化器内科 |
| 佐藤 彰 | | 迫 研一 | |
| 佐藤 伊佐雄 | 東北大学消化器内科 | 畑山 裕 | 東北大学消化器内科 |
| 佐藤 匡 | 公立刈田総合病院 | 濱田 史朗 | 医療法人寶樹会仙塩利府病院 |
| 佐藤 恒明 | 恒心会佐藤医院 | 半田 朋子 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 |
| 佐藤 寛 | 寛内科胃腸科クリニック | 日野 典之 | 日野クリニック |
| 佐藤 弘房 | 中田内科胃腸科医院 | 平澤 大 | 仙台厚生病院 |
| 首藤 千博 | 東北大学消化器内科 | 平澤 頼久 | 平澤内科医院 |
| 渋谷 大助 | 宮城県社会保険診療報酬支払基金 宮城支部 | 深尾 彰 | 公益財団法人宮城県対がん協会 |
| 菅原 伸之 | 栗原中央病院健診センター | 藤田 直孝 | 医療法人仁泉会みやぎ健診プラザ |
| 杉山 幸一 | 杉山内科 | 藤谷 拓 | 気仙沼市立病院 |
| 鈴木 清寿 | 東北医科薬科大学病院 がん治療支援科 | 星 達也 | 気仙沼市立病院 |
| 鈴木 仁 | すずきクリニック | 前嶋 隆平 | 石巻赤十字病院 |
| 鈴木 雅貴 | 八木山すずきクリニック | 増田 高行 | 古川クリニック |
| 須藤 洗一郎 | 東北大学消化器内科 | 宮崎 武文 | クレアクリニック |
| 妹尾 重晴 | 富谷中央病院 | 村田 次啓 | 栗原市立栗原中央病院 |
| 曾根 眞一郎 | 医療法人松田会松田病院 | 目黒 真哉 | 仙台胃腸クリニック |
| 高橋 功 | さくら内科消化器科 | 本島 正 | 本島内科胃腸科クリニック |
| 高橋 信孝 | 鬼怒川産婦人科 女性診療医院 | 谷地 一真 | 東北大学消化器内科 |
| 高橋 靖 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター | 矢吹 法孝 | いしのまき矢吹クリニック |
| 只野 敏浩 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 結城 豊彦 | 医療法人結城クリニック |
| 大楽 尚弘 | 仙台赤十字病院 | 米地 真 | よねち内科クリニック |
| 千田 信之 | 千田内科 | 渡邊 みか | 東北公済病院 |
| 千葉 隆士 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | | |
| 坪野 吉孝 | 東北大学大学院 法学研究科 | | |
| 中川 健一郎 | 仙台消化器・内視鏡内科クリニック | | |

婦人科検診診断委員会委員

委員長 新倉 仁 (五十音順)

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|---------|--------------------------------|---------|----------------------------|
| 伊 藤 潔 | 公益財団法人宮城県対がん協会 細胞診センター | 田 勢 亨 | |
| 大 友 圭 子 | | 新 倉 仁 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 小 澤 信 義 | おざわ女性総合クリニック | 東岩井 久 | 医療法人社団 村口きよ女性クリニック |
| 海 法 道 子 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 山 川 洋 光 | 医療法人社団 桂高森S・Sレディースクリニック |
| 佐 藤 滋 | 洞口・佐藤クリニック | | |

乳がん対策委員会委員

委員長 石田 孝宣 (五十音順)

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|---------|--------------------------------|---------|---------------------------|
| 石 田 孝 宣 | 東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 | 椎 葉 健 一 | 石巻市立病院 |
| 大 内 憲 明 | 東北大学大学院医学系研究科 | 鈴 木 昭 彦 | 東北医科薬科大学乳腺内分泌外科 |
| 大 貫 幸 二 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 豊 島 隆 | 仙台乳腺クリニック |
| 小 澤 信 義 | おざわ女性総合クリニック | 平 川 久 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 |
| 角 川 陽一郎 | 仙台赤十字病院 | 本 多 博 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 |
| 加 藤 勝 章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 渡 辺 隆 紀 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 笹 野 公 伸 | 東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野 | | |

乳がん診断委員会委員

委員長 鈴木 昭彦 (五十音順)

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|---------|--------------------------------|---------|--------------------------------|
| 赤 石 洋 | 赤石病院 | 江 幡 明 子 | 東北大学総合外科 |
| 阿 部 忠 義 | 仙台桃太郎クリニック | 遠 藤 公 人 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院 |
| 阿 保 昌 樹 | 錦ヶ丘ヒルズクリニック | 大 江 大 | あんどろクリニック |
| 甘 利 正 和 | 東北公済病院 | 大 越 崇 彦 | 中嶋病院 |
| 飯 田 雅 史 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 大 瀧 忠 | 医療法人社団いずみクリニック |
| 石 田 孝 宣 | 東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 | 大 槻 修 一 | 公立黒川病院 |
| 石 橋 忠 司 | 東北大学 | 大 貫 幸 二 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター |
| 伊 藤 賢 司 | 南光台伊藤クリニック | 小 川 則 彦 | みのりファミリークリニック |
| 伊 藤 淳 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター | 小 田 聡 | 宮城利府掖済会病院 |
| 伊 藤 正 裕 | 東北公済病院 | 角 川 陽一郎 | 仙台赤十字病院 |
| 岩 指 元 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 片 山 正 文 | 三浦クリニック |

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|--------|-------------------------------------|---------|---------------------------|
| 加藤 恵里奈 | 東北大学放射線診断科 | 原田 雄 功 | 原田乳腺クリニック |
| 菅野 明 弘 | 宮城利府掖済会病院 | 引地 理 浩 | 東北公済病院 |
| 菊地 直心夫 | 友仁会松島病院 | 平川 久 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 |
| 木島 穰 二 | 医療法人木島医院 一番町きじまクリニック | 深町 佳世子 | 東北大学総合外科 |
| 國井 康 男 | 一般財団法人宮城県成人病予防協会 中央診療所レディースクリニック | 深谷 雄一郎 | 小倉整形外科 |
| 兒玉 英 謙 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院 | 福原 賢 治 | 塩釜市立病院 |
| 齊藤 美穂子 | 東北大学放射線診断科 | 古田 明 美 | 石巻赤十字病院 |
| 酒井 信 光 | 一般財団法人宮城県成人病予防協会 | 本多 博 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 |
| 坂本 有 | 石巻赤十字病院 | 松尾 幾 | 東北医科薬科大学若林病院 |
| 坂本 宣 英 | 中嶋病院 | 宮下 穰 | 東北大学総合外科 (乳腺・内分泌グループ) |
| 佐川 純 司 | 北仙台診療所 | 向田 和 明 | 医療法人永仁会永仁会病院 |
| 櫻井 遊 | あすと長町さくらクリニック | 武藤 功 | 介護老人保健施設春風のころ |
| 佐藤 章 子 | 東北公済病院 | 本成 登貴和 | 東北大学総合外科 |
| 佐藤 馨 | 東北医科薬科大学若林病院 | 谷内 亜 衣 | 仙台市立病院 |
| 椎葉 健 一 | 石巻市立病院 | 柳 垣 美 歌 | 東北大学総合外科 (乳腺・内分泌グループ) |
| 鈴木 昭 彦 | 東北医科薬科大学乳腺内分泌外科 | 山崎 あすみ | 東北大学総合外科 |
| 高木 ま ゆ | まゆ乳腺クリニック | 横山 忠 明 | 塩釜市立病院 |
| 高橋 信 孝 | 鬼怒川産婦人科 女性診療医院 | 渡部 剛 | 東北医科薬科大学乳腺内分泌外科 |
| 高橋 喜 徳 | 高橋内科乳腺外科 | 渡辺 新 吉 | 榴岡わたなベクリニック |
| 武田 元 博 | 泉中央乳腺クリニック | 渡辺 隆 紀 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 武田 裕 | 医療法人宏人会長町クリニック | 和田 直 文 | 森洋子クリニック |
| 多田 寛 | 東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 | | |
| 角掛 聡 子 | 東北大学総合外科 | | |
| 豊島 隆 | 仙台乳腺クリニック | | |
| 中川 紗 紀 | 東北大学乳腺・内分泌外科 | | |
| 中島 護 雄 | 泉中央乳腺クリニック | | |
| 濱中 洋 平 | 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 | | |
| 原田 成 美 | 東北大学総合外科 (乳腺・内分泌グループ) | | |

大腸がん対策委員会委員

委員長 正宗 淳 (五十音順)

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|-------|------------------------------|-------|---------------------------|
| 加藤 勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 正宗 淳 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 |
| 木内 喜孝 | 東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室 | 増田 高行 | 古川クリニック |
| 樋渡 信夫 | 医療法人ひろせ会広瀬病院 | | |

大腸がん診断委員会委員

委員長 木内 喜孝 (五十音順)

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|--------|----------------------------|--------|--------------------------------|
| 相澤 宏樹 | 東北新生園 | 尾花 伸哉 | 尾花内科クリニック |
| 相田 重光 | 相田内科医院 | 角田 洋一 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 |
| 相原 裕之 | 仙台国税局診療所 | 加藤 勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター |
| 浅沼 清孝 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 萱場 佳郎 | 内科萱場クリニック |
| 泉山 泰宏 | 気仙沼市立病院 | 川端 和歌子 | 仙台消化器・内視鏡内科クリニック 泉中央院 |
| 市川 遼 | 気仙沼市立病院 | 川原田 博章 | かわらだ内科・胃・大腸クリニック |
| 伊藤 薫 | 東北公済病院 | 菊地 悟 | おなかのクリニック |
| 伊藤 啓紀 | 東北大学消化器内科 | 菊地 達也 | 仙台市立病院 |
| 猪股 優志 | 登米市立登米市民病院 | 菊地 亮介 | JR仙台病院 |
| 猪股 芳文 | いのまた胃と腸・内科クリニック | 木内 喜孝 | 東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室 |
| 今井 豪 | 今井クリニック | 木村 智哉 | 貝ヶ森きむら医院 |
| 岩城 英也 | 東北大学消化器内科 | 木村 光雄 | くにも内科クリニック |
| 岩渕 正広 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター | 日下 順 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター |
| 上埜 楓美子 | みやぎ県南中核病院 | 熊谷 進司 | 医療法人財団明理会 イムス明理会仙台総合病院 |
| 内海 潔 | | 熊谷 裕司 | くまがいクリニック内科・消化器科 |
| 梅村 賢 | たいとみ胃腸内科医院 | 黒羽 正剛 | 恒心会佐藤医院 |
| 漆山 みき | 東北大学消化器内科 | 桑島 一郎 | 桑島内科消化器科クリニック |
| 遠藤 克哉 | 東北医科薬科大学病院 | 小島 康弘 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 |
| 大方 高志 | おおかた内科胃腸科医院 | 是川 海 | 東北大学消化器内科 |
| 大坂 龍也 | 東北大学消化器内科 | 佐々木 敦宏 | 東北大学消化器内科 |
| 大森 信弥 | 仙台赤十字病院 | 佐藤 弘房 | 中田内科胃腸科医院 |
| 大山 秀晃 | 東北大学消化器内科 | 佐藤 雄一郎 | 大崎市民病院 |
| 小野寺 基之 | 大崎市民病院 | 澤橋 基 | 東北大学消化器内科 |

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|-------|----------------------------|-------|---------------------------|
| 志賀永嗣 | 東北大学消化器内科 | 平澤頼久 | 平澤内科医院 |
| 渋谷大助 | 宮城県社会保険診療報酬支払基金 宮城支部 | 平塚敬士 | 東北大学消化器内科 |
| 下山雄丞 | 東北大学消化器内科 | 平本圭一郎 | みやぎ県南中核病院 |
| 白木学 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 | 樋渡信夫 | 医療法人ひろせ会広瀬病院 |
| 杉村美華子 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター | 船山広幸 | 公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 |
| 鈴木仁人 | 宮城利府掖済会病院 | 前川浩樹 | 六丁の目胃と腸クリニック |
| 高木承 | 高木医院 | 幕内大貴 | 東北大学消化器内科 |
| 高橋早友未 | 東北大学消化器内科 | 増田高行 | 古川クリニック |
| 只野敏浩 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 松下良 | 東北大学消化器内科 |
| 千葉隆士 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 松村吉史 | 医療法人社団松村クリニック |
| 内藤健夫 | 東北大学消化器内科 | 三浦正明 | 若柳消化器内科 |
| 中嶋和幸 | 登米市立登米市民病院 | 宮澤輝子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院 |
| 永井博 | 東北大学消化器内科 | 森元富造 | 森元クリニック |
| 奈良志博 | 吉岡まほろばクリニック | 諸井林太郎 | 東北新生園 |
| 根来健一 | 青葉女子学園 | 矢野翔太 | 東北大学消化器内科 |
| 野口光徳 | 野口胃腸内科医院 | 山崎日出雄 | 吉成台内科胃腸科 |
| 野村栄樹 | 仙台市立病院 | 山下和良 | 仙台中江病院 |
| 半田智之 | 栗原市立栗原中央病院 | 横山直信 | 総合南東北病院 |
| 東岡誠一 | 東岡内科医院 | 横山大 | JR仙台病院 |
| 菱沼佳純 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 | 渡邊浩光 | 荒巻なべ胃腸科内科クリニック |
| 平澤元 | 平沢内科 | | |

前立腺がん対策診断委員会委員

委員長 伊藤 明宏 (五十音順)

| 氏名 | 勤務先 | 氏名 | 勤務先 |
|-------|----------------------------|------|--------------------------|
| 青木大志 | 仙台赤十字病院 | 齋藤英郎 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 池田義弘 | 大崎市民病院 | 笹野公伸 | 東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野 |
| 石井智彦 | 石巻赤十字病院 | 佐藤琢磨 | 東北大学泌尿器科 |
| 石戸谷滋人 | 仙台市立病院 | 佐藤信 | M&T在宅クリニック |
| 伊藤明宏 | 東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野 | 鈴木貴 | 東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野 |
| 太田章三 | M&T総合クリニック福室 | 棚橋善克 | 棚橋よしかつ+泌尿器科 |
| 加藤勝章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 三塚浩二 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台病院 |
| 川村貞文 | M&T泌尿器科クリニック袋原 | 山下慎一 | 東北大学大学院医学系研究科 泌尿器科学分野 |

肝・胆・膵疾患対策委員会委員

委員長 正宗 淳 (五十音順)

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|---------|----------------------------|---------|---------------------------|
| 海 野 倫 明 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野 | 佐 藤 晃 彦 | みやぎ県南中核病院 |
| 大 槻 昌 夫 | 宮城県医師会健康センター | 鈴 木 勃 志 | 内科佐藤病院 |
| 小野寺 博 義 | 医療法人翠十字老人保健施設 杜の倶楽部 | 正 宗 淳 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 |
| 加 藤 勝 章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | | |

肝・胆・膵疾患診断委員会委員

委員長 正宗 淳 (五十音順)

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|-----------|-----------------------------|-----------|---------------------------|
| 赤 羽 武 弘 | 石巻赤十字病院 | 澤 橋 里 子 | 東北大学消化器内科 |
| 池 田 未 緒 | 東北大学消化器内科 | 鈴 木 範 明 | 仙台市立病院 |
| 伊 藤 啓 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 | 高 橋 信 孝 | 鬼怒川産婦人科女性診療医院 |
| 小笠原 鉄 郎 | 独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 | 滝 川 哲 也 | 東北大学消化器内科 |
| 小 川 貴 央 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 | 田 邊 暢 一 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 小野寺 博 義 | 医療法人翠十字老人保健施設 杜の倶楽部 | 中 野 絵 里 子 | 仙台赤十字病院 |
| 片 岡 史 弥 | 東北大学消化器内科 | 長 崎 太 | 独立行政法人地域医療機能推進機構 仙台南病院 |
| 金 澤 義 彦 | 金澤内科胃腸科 | 西 岡 可 奈 | 医療法人松田会松田病院 |
| 菅 野 良 秀 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 | 二 宮 匡 史 | 東北大学高度教養教育・学生支援機構 |
| 楠 瀬 寛 顕 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 | 濱 田 晋 | 東北大学消化器内科 |
| 糸 潔 | 東北大学消化器内科 | 林 秀 大 | 東北大学消化器内科 |
| 小 堺 史 郷 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 | 藤 田 直 孝 | 医療法人仁泉会みやぎ健診プラザ |
| 越 田 真 介 | 公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 | 正 宗 淳 | 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 |
| 小 林 剛 | 佐竹病院 | 松 本 諒 太 郎 | 東北新生園 |
| 坂 野 美 紗 子 | 東北大学消化器内科 | 三 浦 晋 | 東北大学消化器内科 |
| 佐々木 滉 | 東北大学消化器内科 | 矢 野 明 | 矢野内科クリニック |
| 佐 藤 公 亮 | 東北大学消化器内科 | 吉 田 直 樹 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 佐 野 貴 紀 | 東北大学消化器内科 | | |

宮城県肺がん対策協議会

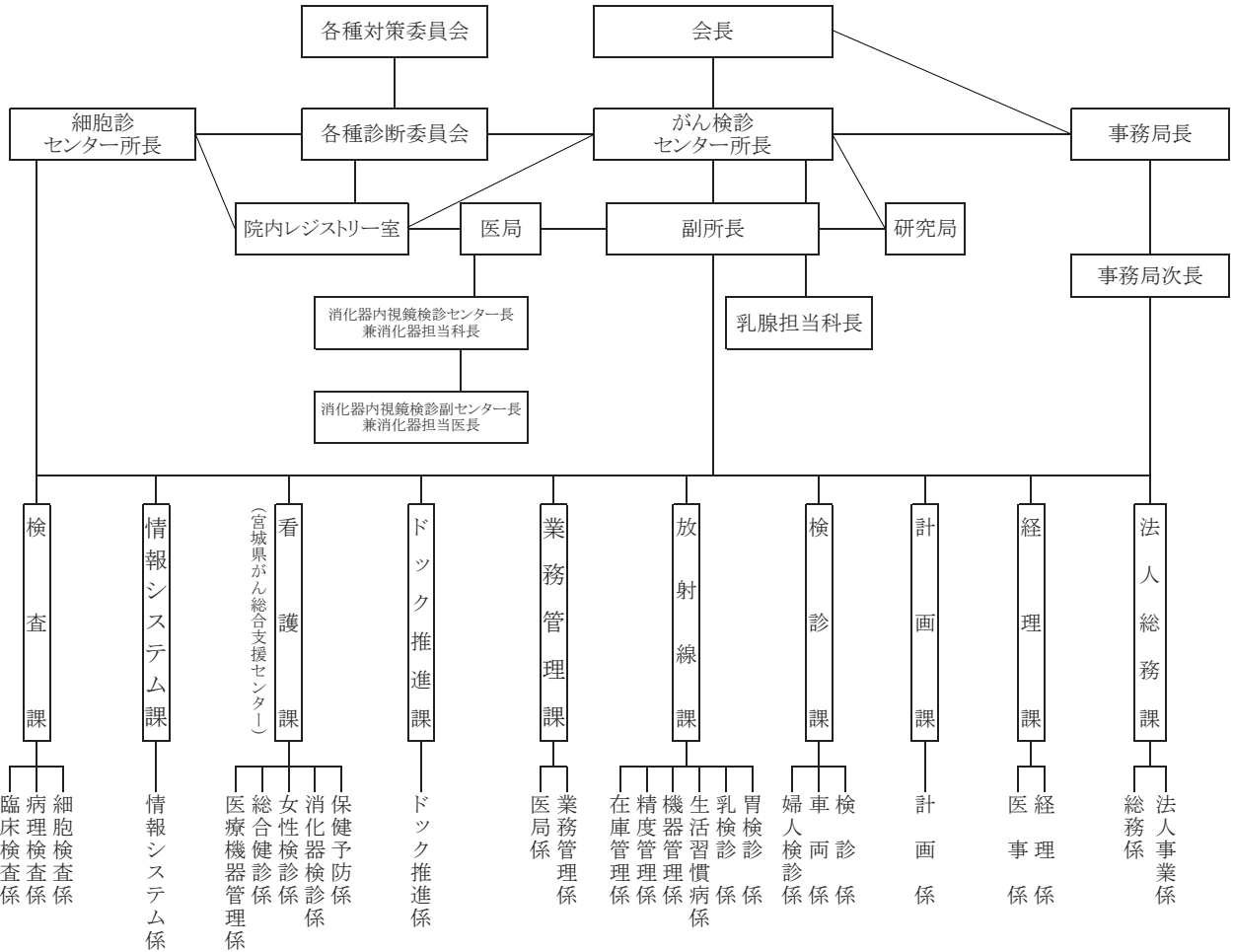
(五十音順)

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|----------------|--------------------------------|---------|--------------------------------|
| 名誉会長 | | 奥 友 洸 二 | 石巻赤十字病院 |
| 近 藤 丘 | 東北大学 | 小野寺 賢 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 会長 | | 片 平 真 人 | みやぎ県南中核病院 |
| 岡 田 克 典 | 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 | 川 村 昌 輝 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 対策委員会委員 | | 草 野 萌 | 大崎市民病院 |
| 岡 田 克 典 | 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 | 熊 田 早希子 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター |
| 加 藤 勝 章 | 公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター | 小 林 俊 介 | 公益財団法人宮城県結核予防会 複十字健診センター |
| 加 藤 邦 治 | 仙台市健康福祉局 | 斎 藤 泰 紀 | 公益財団法人宮城県結核予防会 複十字健診センター |
| 金 村 政 輝 | 宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部 | 佐 川 元 保 | 東北医科薬科大学病院 |
| 菊 地 徹 | 菊地胃腸科内科医院 | 櫻 田 晃 | みやぎ県南中核病院 |
| 小 林 隆 夫 | こばやし医院 | 柴 田 沙 織 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 近 藤 丘 | 東北大学 | 島 田 和 佳 | 大崎市民病院 |
| 齋 藤 泰 紀 | 公益財団法人宮城県結核予防会 複十字健診センター | 菅 原 麟 棋 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 佐 川 元 保 | 東北医科薬科大学病院 | 菅 原 崇 史 | 東北医科薬科大学病院 |
| 櫻 田 晃 | みやぎ県南中核病院 | 杉 山 初 美 | 東北大学呼吸器内科 |
| 志 賀 慎 治 | 宮城県保健福祉部 | 鈴 木 聡 | 石巻赤十字病院 |
| 杉 浦 久 敏 | 東北大学呼吸器内科 | 鈴 木 綾 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター |
| 鈴 木 陽 | 大崎保健所 | 鈴 木 修 治 | 公益財団法人宮城県結核予防会 |
| 野津田 泰 嗣 | 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 | 鈴 木 隆 哉 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 橋 本 省 | 公益社団法人宮城県医師会 | 高 橋 里 美 | 公益財団法人宮城県結核予防会 |
| 広 瀬 俊 雄 | 宮城厚生協会 仙台錦町診療所 | 田 中 遼 太 | たんぼぼクリニック |
| 松 田 堯 | 公益財団法人宮城県結核予防会 | 田 畑 俊 治 | 東北医科薬科大学病院 |
| 診断委員会委員 | | 玉 田 勉 | 東北大学呼吸器内科 |
| 安 達 哲 也 | 東北医科薬科大学病院 | 富 山 史 子 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 阿 部 二 郎 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 新井川 弘 道 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 石 橋 直 也 | 東北医科薬科大学 | 野 田 雅 史 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 伊 藤 潔 | 公益財団法人宮城県対がん協会 細胞診センター | 野津田 泰 嗣 | 東北大学加齢医学研究所 呼吸器外科学分野 |
| 植 田 信 策 | 石巻赤十字病院 | 蓮 池 美 樹 | 公益財団法人宮城県結核予防会 |
| 遠 藤 千 顕 | 紫山公園ファミリークリニック | 羽 隅 透 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター |
| 大 石 久 | 東北大学加齢医学研究所 | 畠 山 雅 行 | 公益財団法人東京都結核予防会 |

| 氏 名 | 勤 務 先 | 氏 名 | 勤 務 先 |
|---------|--------------------------------|---------|--------------------------------|
| 大久田 和 弘 | 公益財団法人宮城県結核予防会 | 早 坂 一 希 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 岡 崎 敏 昌 | 大崎市民病院 | 平 間 崇 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 福 原 達 朗 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 八重柏 政 宏 | 公益財団法人宮城県結核予防会 健康相談所興生館 |
| 星 史 彦 | 独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター | 矢 吹 皓 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター |
| 松 田 堯 | 公益財団法人宮城県結核予防会 | 吉 村 成 央 | 東北医科薬科大学 |
| 松 原 信 行 | たんぼぼクリニック | 渡 辺 有 為 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 三 友 英 紀 | 東北医科薬科大学 | 渡 邊 龍 秋 | 東北大学加齢医学研究所 |
| 宮 部 真 悟 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター | 渡 邊 香 奈 | 地方独立行政法人宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター |
| 村 井 翔 | 東北大学加齢医学研究所 | 渡 辺 新 吉 | 榴岡わたなべクリニック |
| 森 田 潔 | 森田医院 | | |

公益財団法人宮城県対がん協会 組織機構図(業務分担表)

2023年4月1日現在



| | |
|---|---|
| 法人総務課 法人事業係 記念事業・寄付、検診拡大・機関誌、ホームページ、県委託事業、がん相談健康教育・研修会等、役員会・評議員会、組織活動、黒川基金・研究寄付、 総務係 総務全般、人事管理、福利厚生、職員教育 | 業務管理課 業務管理係 胃・乳・大腸・その他がん検診 一次、精検結果処理及び経過観察者の管理 検査事務係 子宮がん検診結果処理、細胞診・病理組織診、事務担当 医局係 医局業務、がん登録に関する業務 |
| 経理課 経理係 経理全般、物品発注・管理、財産保守管理 医事係 がん検診センター総合受付、管理全般 | ドック推進課 ドック推進係 がん・生活習慣病健診企画・調整 受付・結果処理及び管理 |
| 計画課 計画係 各種がん検診の企画・立案・調整 | 看護課 保健予防係 普及啓発、健康相談、事後管理、患者管理 消化器検診係 胃がん、大腸がん、肝胆膵検診全般 女性検診係 子宮がん、乳がん検診全般 総合健診係 がん・生活習慣病健診、特定健診、前立腺がん検診全般 医療機器管理係 緊急体制の整備、薬剤の管理、医療機器の保守・点検 (宮城県がん総合支援センター) |
| 検診課 検診係 検診車による各種検診の実施及び管理 車両係 検診車の製作・整備、公用車の整備 車両の運行管理、安全運転の指導・監督 婦人検診係 検診担当医の送迎 | 放射線課 胃検診係 胃撮影技術、胃検診及びX線装置の整備 乳検診係 乳撮影技術、乳検診及びX線装置の整備 生活習慣病係 がん・生活習慣病健診に関する管理、センターX線業務全般の管理 機器管理係 胃検診車の保守管理、新規製作に関すること 精度管理係 学術調査・研修に関すること 在庫管理係 放射線漏洩線量の管理。書籍の管理 |
| 情報システム課 情報システム係 システム開発、コンピューター運用、ホームページ 各種検診情報報資料作成、調査研究、機器管理 事業年報 | 検査課 細胞検査係 各種細胞検査 病理検査係 各種病理組織検査 臨床検査係 各種臨床検査 |

がん検診における個人情報のお取扱いに関するお約束

公益財団法人 宮城県対がん協会
個人情報管理責任者 事務局長

私たちは、お客様の個人情報の保護と皆様の信頼が当協会の事業の推進に最も重要であることを認識し、情報の取得と利用にあたっては協会内の管理体制・ネットワークの安全性の確保に努めるとともに、ウェブサイト上で取り扱われる情報に関しても暗号化を施すなど最新の注意を払い、万全の安全対策を講ずることをここにお誓いいたします。

【個人情報保護方針】

1. 法令等の遵守
 - ①当協会は、「個人情報の保護に関する法律」、「同法律施行令」、厚生労働省が定める「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」等、関係法令ならびに指針等を遵守します。
 - ②本プライバシーポリシーを当協会役職員（嘱託・臨時職員等を含みます。）に周知徹底するとともに内容および取り組みについて継続的な改善に努めます。
2. 個人情報の取得・利用
 - ①当協会は、業務上必要な範囲内で適正かつ適法な手段により、お客様の個人情報を取得します。
 - ②法令等により定められた場合を除き、お客様の同意を得ることなく、公表する利用目的の範囲を越えて個人情報を利用しません。
3. 個人データの第三者への提供
当協会は、お客様の同意を得ている場合および法令により例外として扱われる場合を除いて、お客様にかかる個人情報を第三者に提供しません。
4. 個人データの管理
 - ①当協会は、お客様にかかる個人データを正確かつ最新の内容に保つよう努めるとともに、個人データの紛失、破壊、改ざん及び漏洩等を防止するため、適切な安全管理を講じます。
 - ②個人データの取扱いを委託する先においても同様の安全管理措置が講じられるよう、適切に監督します。
5. お客様本人への保有個人データの開示等
 - ①お客様からご自身に関する保有個人データ（当協会が開示・訂正等の権限を有する等一定の要件を満たすものとして、「個人情報の保護に関する法律」に定義される個人データ）の開示および利用目的の通知のご請求があった場合は、当協会所定の手続に従い、特別な理由のない限り開示等を行います。
 - ②保有個人データの訂正、利用停止、消去等のご請求に関しては、その理由をお伺いした上で、同じく当協会所定の手続に従い、必要な対応を行います。
6. お客様からのご意見・ご要望への取組
当協会は、個人情報の取扱いに関するお客様からのご意見・ご要望への取組体制を整備し、適切かつ迅速な対応に努めます。
7. 内部体制の整備
個人情報の適切な取扱いを推進するため、個人情報保護規程の設置、個人情報保護委員会の設置及び全職員に対する職員教育など、協会内部の組織体制・責任体制を構築します。

【個人情報の利用目的ならびに保有個人データの開示請求等にかかる手続等の公表】

当協会では、お客様および実施主体等からご提示いただく個人情報の利用目的ならびに保有個人データの開示等の請求にかかる手続について、あらかじめお客様のご理解を得られるよう、当協会ホームページに掲載するとともに、当協会の受付においてもチラシを準備しております。本プライバシーポリシーと併せてご覧いただきますようお願いいたします。

また、利用目的については、検診会場等への掲示・備付けするチラシ等でもお知らせします。

【個人情報の取扱いに関するご質問ならびにご意見・ご要望の受付先】

個人情報の取扱いに関するご質問ならびにご意見・ご要望については、下記の受付先までお申し出下さい。

公益財団法人宮城県対がん協会 法人総務課
〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号

TEL：022-263-1636

FAX：022-263-1548

ホームページ：<https://www.miyagi-taigan.or.jp>

E-mail：office@miyagi-taigan.or.jp

2005年4月1日制定

個人情報利用目的

公益財団法人 宮城県対がん協会（以下「当協会」といいます。）は、法令で定めた場合を除き、お客様の個人情報を以下の業務ならびに利用目的の達成に必要な範囲で利用するものとし、その範囲を越えて取り扱う場合は、あらかじめご本人の同意を得ることとします。

【業務内容】

当協会は、がんや生活習慣病などの疾患を征圧するため、これらの疾患の予防・早期発見・治療に関する事業を行っています。

中心となる業務は、がんや生活習慣病などの早期発見で、各種がん検診やがん・生活習慣病健診およびこれらに関連する精密検査など（以下「検診など」といいます。）が該当します。これらは、当協会が市町村・事業所・健保組合・医師会（以下「実施主体」といいます。）を通して委託を受ける場合や、お客様から直接委託を受ける場合があります。この他の業務としてがんや生活習慣病などに関する知識の普及、健康相談や医療相談、調査研究の実施や支援、診断や治療の技術研修なども行っています。

【個人情報の利用目的】

上記目的を達成するために、個人情報を以下のように使用します。

- ①住所・氏名・生年月日・性・電話番号・メールアドレスなどは、検診の予約・事前準備・受診勧奨・会計事務・結果通知・事後指導・紹介状発行・受療状況の把握などの際に使用します。
- ②検査結果や受療状況などは、当協会と実施主体（お客様が直接申し込んだ場合は協会のみ）にて一定期間保管し、結果通知・事後指導・他の医療機関への紹介・次年度以降の診断の参考にしたり、検診などの精度管理のために使用します。
- ③他の医療機関で受けた過去の検査結果などが、お客様の診断や治療に大変有用な場合があります。正確で適切な医療を提供するために、お客様が受診した他の医療機関と連携を図り、検査結果を共有することがあります。
- ④ご家族への病状説明に使用する場合があります。
- ⑤会計処理のため、国民健康保険や社会保険などの支払い機関への報告や支払い機関からの照会に対する回答に使用します。
- ⑥検診に係わる事故等の際のご本人への対応及び実施主体、保険会社等の関係機関への報告等に使用する場合があります。
- ⑦各種疾病調査（事業報告・がん登録・生活習慣病に関する調査など）を実施あるいは支援したり、職員研修・学会・研究会等への発表に使用することがありますが、公表するときは、個人を識別できないようにします。
- ⑧研究補助やがん予防の普及・啓発活動等のため寄付をした方々のお名前を広報誌や新聞などに掲載する場合があります。
- ⑨当協会からの事務連絡・案内・アンケートなどに使うことがあります。
- ⑩その他、より良い医療提供のため必要なサービスを行う場合など。

【診断や検査の委託】

当協会では、より正確な診断や迅速な判定を行うため、外部の専門医や専門機関に診断や検査を委託する場合があります。この場合、委託先とは個人情報保護規程を含む契約を結び、適正に管理します。

【個人情報に関するお問い合わせ】

お客様が、ご自身の個人情報の開示、訂正、削除、利用・提供の停止等を希望する場合、その他ご意見・ご相談等については、ご本人であることを確認の上、速やかに対応します。

【個人情報に関するお問い合わせ先】

公益財団法人宮城県対がん協会 法人総務課
〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号

TEL : 022-263-1636

FAX : 022-263-1548

ホームページ : <https://www.miyagi-taigan.or.jp>

E-mail : office@miyagi-taigan.or.jp

個人情報管理責任者 事務局 長

2005年4月 1日制定

2005年4月15日改定

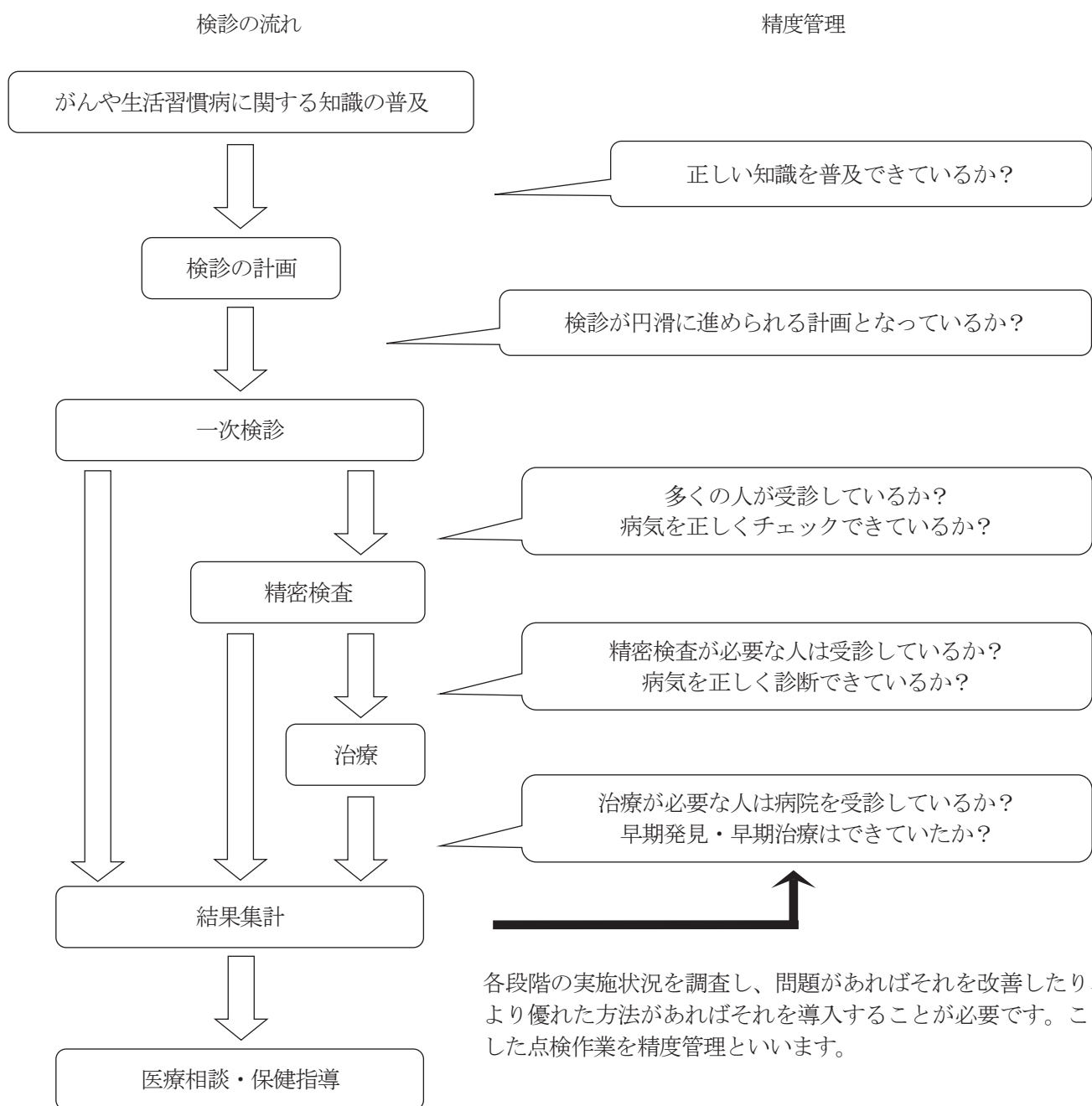
【 精度管理の必要性について 】

がん検診や生活習慣病健診は、下図左のような仕組みで行われています。この一連の流れのどこかに問題があると、がん検診や生活習慣病健診は十分な効果を発揮しません。従って、各段階の実施状況を常に調査し、問題があればそれを改善したり、より優れた方法があればそれを導入することが必要です。こうした点検作業を精度管理といいます。

例えば、精密検査結果や治療成績を把握することは、一次検診方法の妥当性や改善点を検討するために不可欠です。また、検診や精密検査の受診状況を調査することは、より多くの方が受診しやすい仕組みを作るために大切なことです。

こうした精度管理のために、皆様の受診状況、精密検査や治療の結果などを把握させていただきますが、個人情報保護法を遵守し慎重に対処いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

図：検診と精度管理の概略



保有個人データの開示等

公益財団法人 宮城県対がん協会
個人情報管理責任者 事務局長

当協会は、法令に基づき、お客様本人を識別できる保有個人データの「開示、利用目的の通知、訂正・追加・削除・利用停止・消去または第三者提供の停止」（以下「開示等」といいます。）の請求に以下のとおり対応しております。

1. 開示等の対象となる保有個人データ等および取扱手数料

(1) 開示

①開示する保有個人データ

以下の開示内容よりご選択いただきます。いずれの開示内容においても、対象保有個人データを特定するため、お名前と住所等の事項をご提示いただきます。

【属性情報開示】（お客様本人にかかる一般的な保有個人データ）

・ご本人の情報：氏名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、世帯主

【診療記録の開示】（お客様本人の診療記録の保有個人データ）

・診療記録（検診の結果、精密検査の結果、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、経過観察等）

※開示可能な診療記録等の保存期間は5年となっております。

【特定項目開示】（その他の保有個人データ）

・ご希望の保有個人データを特定しうる事項を具体的にご提示いただきます。

②開示手数料

・当協会窓口でお渡しする場合……………330円（税込み）

・郵送による場合……………550円（税込み）

※定形外の郵便物や開示資料の従量等により、実費をいただくことがあります。

※郵送による開示は、法定代理人以外の代理人が開示請求する場合があります。

(2) 利用目的の通知

①通知する利用目的

・当協会が公表しているすべての保有個人データの利用目的

※当協会のインターネットホームページに掲載する他、がん検診センター、検診会場に掲示しております。

・お客様にご指定いただいた、ご本人にかかる保有個人データについての、より個別具体的な利用目的

②通知手数料

・郵送による場合のみ……………550円（税込み）

(3) 訂正・追加・削除（以下「訂正等」といいます。）

①訂正等の対象となる保有個人データ

お客様からその内容が事実でないという理由による訂正等のお申し出をいただき、当協会が調査の結果、お申し出のとおりであると確認できた保有個人データ（実施主体に対し確認をとる場合もあります。）

②取扱手数料

手数料はいただきません。

(4) 利用停止・消去・第三者提供の停止（以下「利用停止等」といいます。）

①利用停止等の対象となる保有個人データ

お客様から当協会が適正かつ適法な手段以外の方法で取得した、あるいは、利用目的の範囲を越えて取扱っているといった理由により利用停止等のお申し出をいただき、お申し出のとおりであると確認できた保有個人データ

②取扱手数料

手数料はいただきません。

2. 開示等の請求にかかる手続（共通事項）

(1) 開示等の請求の申込先

当協会の法人総務課にお申込下さい。

(2) 開示等の請求をすることが出来る方

お客様本人ならびに法令により認められた代理人（未成年者又は成年被後見人の法定代理人および開示等の請求をすることにつきお客様本人が委託した代理人）に限られております。

(3) 開示等の請求に際しての必要書類

開示等の請求に際しては、以下の開示等にかかる依頼書、本人確認資料および代理人にかかる資料が必要となります。

【開示等にかかる依頼書】

当協会所定の依頼書によりお申し込みいただきます。各依頼書は当協会ホームページからダウンロードいただくか、当協会の受付でお申しつけ下さい。

【本人確認資料】

本人確認資料として以下の公的証明書をご提出いただきます。また、代理人による場合も、代理人本人の確認にかかる同様の公的証明書のご提出をお願いいたします。

運転免許証、住民基本台帳カード（写真付）、旅券（パスポート）のうちいずれか1点
※上記の写真入りの公的証明書をお持ちでないお客様は、健康保険証、年金手帳、住民票、印鑑証明書、戸籍謄本（抄本）等、別途当協会が指定する公的証明書のうち2点が必要となります。詳しくは当協会法人総務課へご連絡下さい。

【代理人にかかる資料】

法定代理人による請求の場合には、法定代理権があることを証明できる書類（戸籍謄本、後見開始審判書等）をご提出いただきます。

また、法定代理人以外の代理人が請求される場合は、当協会指定の委任状の提出が必要となります。委任状につきましては、当協会所定のもの以外は受付しかねますので、当協会ホームページからダウンロードいただくか、当協会の受付でお申し付け下さい。

(4) 代理人の代理権確認方法

お客様の個人情報を保護する観点から、代理人本人であることの確認のほか、当協会が定める代理権にかかる確認（代理権の有無、任意代理人の場合は委任状とは別に、別途電話等によるご本人からの代理権授与の意思確認等）をさせていただきます。

(5) 開示等にかかる協会からの通知方法等

お客様本人あて、あるいは法定代理人による請求の場合は代理人あて、いずれも書面にて通知させていただきます。（任意代理人による請求の場合は、お客様本人あて郵送により通知させていただきます。なお、郵送の場合は、当協会に登録されている住所への郵送となります。）

なお、ご請求の内容によりまして、数日から数週間の調査日数をいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(6) 各種手数料の支払方法

開示等の請求に際しての申請手数料は、直接当協会受付に現金にてお支払いいただきます。

(7) 開示等の不開示事由

以下に定める事由に該当する場合は、請求された保有個人データの全部又は一部について開示等を行わないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- ①請求用紙に記載された住所、本人確認資料に記載された住所ならびに当協会に登録されている住所が一致しないなど、お客様本人または正当な住所の確認が困難なとき
- ②代理人の申請に際して、代理権を確認できないとき
- ③請求用紙の記載に不備があるとき
- ④開示等の請求の対象が「保有個人データ」に該当しないとき
- ⑤その他法令等に定める場合等

※なお、開示等を行わない場合は、その旨と理由を通知いたします。その場合におきましてもお預かりした手数料はご返却いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

公益財団法人宮城県対がん協会 法人総務課
〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号

TEL : 022-263-1636
FAX : 022-263-1548
ホームページ : <https://www.miyagi-taigan.or.jp>
E-mail : office@miyagi-taigan.or.jp

2005年4月1日制定

編集後記

昨年、新型コロナが5類に移行され、様々なイベント等も徐々に復活し経済も上昇傾向に転ずることが期待されました。しかし、順調に回復するかと思っただけ、夏には記録的な猛暑に見舞われ、更にインフルエンザ等の感染症も流行するなど平穏な生活に戻ったとは言えず、がん検診も思いのほか伸び悩み、厳しい一年となりました。年が明け今年こそはと期待し、迎えた1月1日、誰もが想像しなかった能登半島地震が発生、翌日には航空機衝突事故と、お正月とは思えない信じがたい光景を目にしました。被災地では寒さなどによる健康被害の拡大が心配されます。早い復旧・復興をお祈りいたします。夏にはオリンピックが開催されます。世界中で起こっている紛争・自然災害等、多々障害がありますが、世界中が笑顔になることを願っています。

先日、新聞の記事で、宮城県議会が「がん対策条例」の来春制定に向けて検討会が始まったとの掲載がありました。県内のがん死亡率が全国平均よりもやや高いことから条例を通じてがん検診への関心を高める狙い。早い時期での制定を期待します。

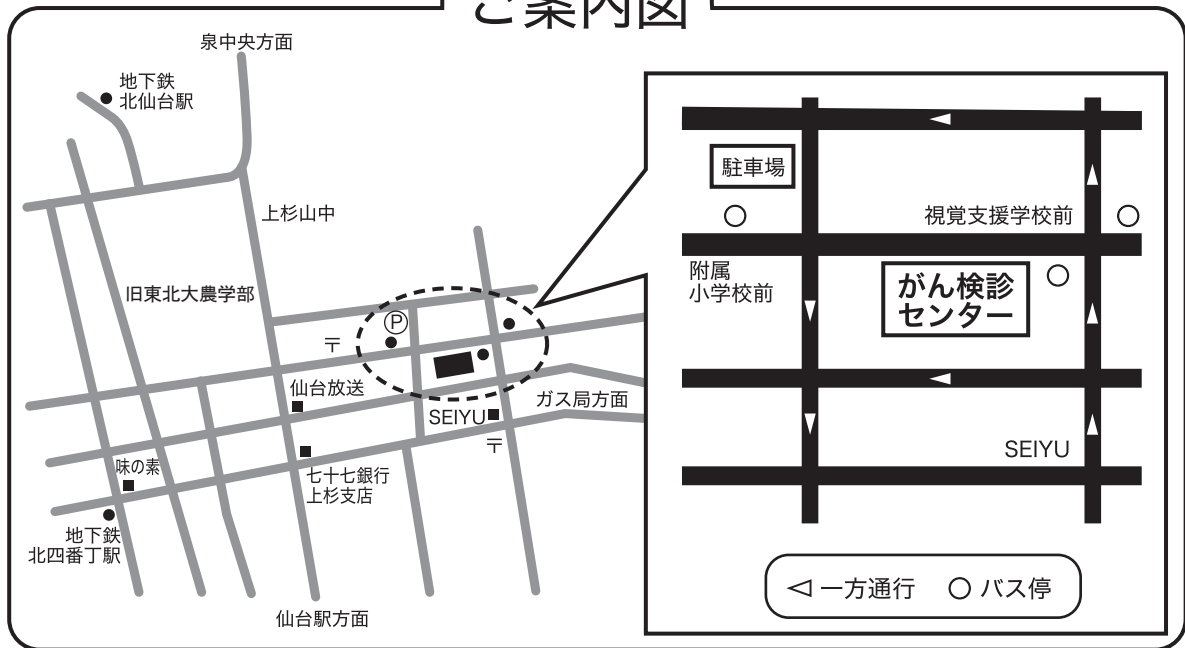
新センターの建設も順調に進み、いよいよ4月オープンとなります。たくさんの方々よりご支援をいただき感謝申し上げます。新しい施設での検診を職員も心待ちにしておりました。たくさんの方々においでいただくことを心待ちにしております。がん検診も過渡期を迎え、これからも「がん検診」を取り巻く環境は厳しい状況にあります。「がん検診の必要性・精度管理の重要性」を理解していただくことが重要と考えます。日々、受診者のための検診になるよう業務に取り組んでまいります。ホームページもリニューアルし新センターの情報も掲載しております。ぜひご覧ください。

最後になりますが、事業年報の作成にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

2024年3月

(情報システム課；北村 伸司)

ご案内図



市営地下鉄南北線 北仙台駅・北四番丁駅より徒歩15分

2022(令和4)年度 事業年報

2024年3月29日発行

公益財団法人 宮城県対がん協会
事務局/がん検診センター/細胞診センター

〒980-0011 仙台市青葉区上杉五丁目7番30号

電話 022-263-1525(代)

FAX 022-263-1548(事務局)

FAX 022-262-3775(センター)

ホームページ <https://www.miyagi-taigan.or.jp>

Eメール office@miyagi-taigan.or.jp

宮城野分室

〒983-0832 仙台市宮城野区安養寺三丁目1番5号

電話 022-292-0112

FAX 022-292-0118

編集 公益財団法人宮城県対がん協会

印刷 カガワ印刷 TEL262-5551